

# スピークス @

# 取扱説明書

エス ビー エル エス エス ビー エル エス ダブル  
**SPL-S50/SPL-S50W**

エス ビー エル エス ブイ エス ビー エル エス ブイ ダブル  
**SPL-S505V/SPL-S505VW**

キーボードで  
文字入力ができる



文字入力(→P.24)

メールがかんたん

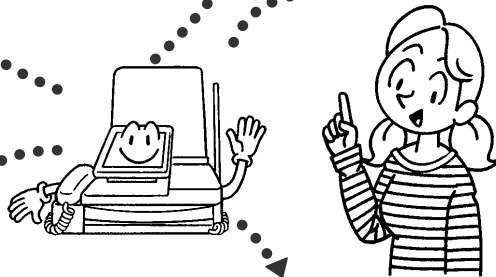


かんたんメール(→P.73, 75)

Lモードで  
らくらく情報収集



Lモード(→P.63)



画面やキーボードで  
楽しいことが  
いっぱい♡

画面でファクスが  
見られる



画面でファクス  
(画面受信)(→P.43)

キーボードで入力した  
文字をファクス送信



画面でファクス  
(キーボード送信)(→P.40)



Lモード (→P.63)



ナンバー・ディスプレイ (→P.54)  
(ネーム・ディスプレイ対応)



キャッチホン/  
モデムダイヤルイン (→P.60)

### 注意

- 製品をご使用の前に必ず本書をお読みください。
- 本書はいつでも活用できるように大切に保管ください。

# はじめに

このたびはコードレス留守番電話付きファクシミリ「スピークス@ (アットマーク) SPL-S50/S50W/S505V/S505VW」をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

品名	機器構成	備考
SPL-S50	親機(本機)と子機1台	増設できる子機の台数は最大2台まで
SPL-S50W	親機(本機)と子機2台	増設できる子機の台数は最大1台まで
SPL-S505V	親機(本機)と子機1台	増設できる子機の台数は最大2台まで
SPL-S505VW	親機(本機)と子機2台	増設できる子機の台数は最大1台まで

なお、本書ではSPL-S50/S505Vについて子機を増設した場合を含めて説明しています。SPL-S50W/S505VWを購入された方は、SPL-S50/S505Vに子機を1台増設した場合として本書をお読みください。







## 本書の見かた

操作がうまくできなかつたり、思うように操作が進まないなどということがないよう、守っていただきたい注意事項や気をつけていただきたいことが記載されています。

状況に応じた対応方法などが記載されています。

操作上のアドバイスや、知っておいていただきたいことなどが記載されています。

### <操作手順中のイラスト>

-  …親機の手柄をとる操作を表しています。
-  …親機の手柄を戻す操作を表しています。
-  …充電器から子機をとる操作を表しています。
-  …充電器に子機を戻す操作を表しています。
-  ストップ  などのボタンは、そのボタンを押す操作を表しています。

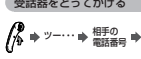
文章中にある[▲][▼]は、親機または子機の「電話帳」ボタンを上下に押す操作を表しています。また、親機の「電話帳」ボタンを左右に押す場合は[◀][▶]、子機の「電話帳」ボタンを左右に押す場合は[<][>]で表しています。

### 電話

#### 親機で電話をかける


- ・子機使用中(「内線2 使用中」と表示される時)、コピー中、ファクスの送受信中、登録・設定中、Lモード画面表示中のときは、電話をかけられません。

#### 受話器をとってかける



- ▶ 番号を確認したら：一度受話器を戻し、もう一度ダイヤルする
- ▶ 番号を確認してからかけるには：受話器を置いたままダイヤルしたあと、受話器をこる
- ▶ 相手の声を大きくしたい(発信音確認)：通話中にキーボード部の[音量 大]ボタンを繰り返し押しすと大きくなり、[音量 小]ボタンを繰り返し押しすると小さくなる

#### 受話器を置いたままかける(オンフックダイヤル)

オンフック 


- ▶ 番号を確認したら：[オンフック]ボタンを押し、最初からやり直す

#### [オンフック]ボタンの使いかた(通話中)

親機で通話中に[オンフック]ボタンを押してから受話器を戻すと、通話が切れずスピーカから相手の声が聞こえます。オンフック中は、こちらの声は相手に聞こえません。オンフック中に、再度[オンフック]ボタンを押すと通話が切れます。

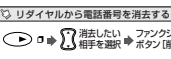
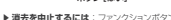
#### 同じ相手にもう一度かける(リダイヤル)

- ・最新のものが最大10件まで、1件につき最大32桁まで電話番号が記憶されています。
- ・リダイヤルには、ファクス送受信や話中時で通話できなかった相手も含まれます。
- ・子機でかけた相手に、親機からリダイヤルすることはできません。




#### らくらく電話帳(「下記」でかけたときは：リダイヤル画面に相手先が表示される)

- ▶ 受話器をとってかけられるには：
  - ① 受話器をとって[▶]ボタンを押す
  - ② [▲][▼]ボタンでかけたい相手を選択する
  - ③ [スタート/コピー]ボタンを押す
- ▶ リダイヤルデータの表示を切り替えるには：リダイヤル履歴で相手先を表示しているときに、ファンクションボタン[表示切替]を押すと、相手先名表示と電話番号表示を切り替えることができます
- ▶ リダイヤルから電話番号を消去するには：
 


- ▶ 表示を確認 
- ▶ 消去を中止するには：ファンクションボタン[いいえ]または[ストップ]ボタンを押す

#### らくらく電話帳でかける

- ・あらかじめ電話帳に登録してください(→P.33)。
- ・最大100件まで登録できます。
- ・子機で登録した電話帳は、親機では使えません。



- ▶ 電話帳の表示順は：よみがなが「なし-カナ(50音順)→空白+カナ→数字・記号→アルファベット(大文字)→アルファベット(小文字)」の順に表示される(一部の記号はアルファベットのあとに表示される)
- ▶ 受話器をとってかけられるには：
  - ① 受話器をとって[▲][▼]ボタンでかけたい相手を選択する
  - ② [スタート/コピー]ボタンを押す
- ▶ 電話帳が1件も登録されていないときは：「電話番号が登録されていません。登録、必ず行う」と表示される。登録する場合は、ファンクションボタン[はい]を押して電話帳登録画面を表示させ、登録操作を行う(親機に登録する→P.34)

28

2


# 安全にお使いいただくために一必ずお読みくださいー


本機を安全にお使いいただくために、必ず守っていただきたい事項の表示と図記号の意味は次のようになっています。


**⚠ 危険** ・ この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

**⚠ 警告** ・ この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**⚠ 注意** ・ この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例  **(高温注意)** : △記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は高温注意)が描かれています。

 **(分解禁止)** : ⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

 **(電源プラグをコンセントから抜け)** : ●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

- 本機と電話網の間にアダプタなどが接続された場合、アダプタなどが電話網の仕様と完全には一致しないため、本機が正常に動作しないことがあります。
- 本機の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、受信文書の全部、または一部が消失したり、通信や録音などの機会を逸したために生じた損害や万が一、本機に登録された情報内容が消失してしまうこと等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本機に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本機を改造しないでください。改造・回路変更などを行った場合、当社は一切責任を負いません。

- この取扱説明書は、本機の利用のしかたを説明したものです。
- この取扱説明書をお手元に置き、常に本機を最良の状態でご使いいただくための手引書としてご利用ください。

本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

## ご使用にあたってのお願い

本機のご使用にあたって、NTT東日本またはNTT西日本のレンタル電話機が不要となる場合は、NTT東日本またはNTT西日本へご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、「機器使用料」は不要となります。詳しくは、局番なしの116番(無料)へお問い合わせください。

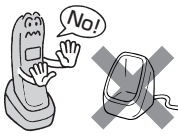
本機のインターネット機能は株式会社ACCESSのCompact NetFront® を搭載しています。  
Copyright ©1998-2001 ACCESS CO.,LTD.  
Compact NetFront は株式会社ACCESS の日本国における登録商標です。

本機の日本語かな漢字変換機能はNECビューテクノロジー株式会社と使用契約を締結し、使用しているものです。  
Copyright ©1991-2001 NEC View technology,Ltd.

## ⚠ 危険



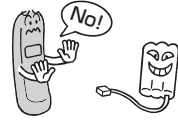
充電は、子機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となることがあります。



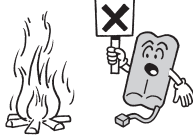
電池パックを単体では充電しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。



専用の電池パックを使用してください。また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。



電池パックを火の中に投入したり、加熱しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。



電池パックに直接はんだ付けしないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。



電池パックのコネクタの赤（プラス）・黒（マイナス）を針金などの金属類で接触しない（ショートさせない）でください。火災・感電の原因となります。



電池パックのビニールカバー（チューブ）は、はがさないでください。電池パックの液漏れ、発熱、破裂の原因となることがあります。



電池パックを分解・改造しないでください。電池パックの発熱、破裂の原因となることがあります。



電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。目に傷害を与える恐れがあります。また漏れた液が皮膚や衣服についたときは、きれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となります。



電池パックを使用中や充電中、または保管中に異音を発したり、発熱したり、変色・変形その他、今までと異なることに気がついたときは、子機から電池パックを取り出し、使用を中止してください。

## ⚠ 警告



電源プラグをコンセントから抜く

万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



電源プラグをコンセントから抜く

万一、本機を落したり、キャビネットを破損した場合、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

## ⚠ 警告



電源プラグをコンセントから抜く

万一、内部に水などがいった場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。



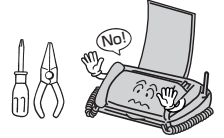
電源プラグをコンセントから抜く

本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお客様のいるご家庭ではご注意ください。



分解禁止

本機を分解したり、改造したりしないでください。火災・感電および故障の原因となることがあります。



禁止

本機の上やそばに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水のいった容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止

ふる場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。



必ずアース線を接続せよ

万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。アース線を取り付けられるところは次の部分です。

- ・電源コンセントのアース端子
  - ・銅片などを65cm以上、地中に埋めたもの
  - ・接地工事（第D種）が行われている接地端子
- 次のようなところには絶対にアース線を取り付けしないでください。
- ・ガス管・電話専用アース線・避雷針・水道管や蛇口



禁止

AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災や故障の原因となることがあります。

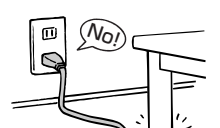


電源プラグおよび充電器のプラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると、火災・感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重いものを載せたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

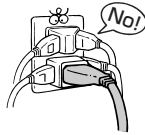
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



## ⚠️ 警告


❗ 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

🚫 禁止 テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。




⚠️ 本機は国内電源仕様になっていますので、海外ではご使用になれません。

❗ 電源プラグおよび充電器のプラグは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグをコンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。



🚫 ぬれ手禁止 ぬれた手で本機を操作しないでください。感電の原因となることがあります。



🚫 禁止 本機は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くに設置、および近くで使用しないでください。




- ・ 電子機器が誤動作したりするなどの原因となることがあります。
- ・ 使用を制限された場所では使用しないでください。例：医療用電子機器など

🚫 禁止 コードレスシステムは、航空機内や病院内などの使用を禁止された区域には、持ち込まないでください。電子機器や医用機器に影響を与え、事故の原因になります。

🚫 禁止 子機は、総務省の技術基準に適合したものです。内部を改造したり、外部にアンテナを取り付けて電波を強くするなど、感電や故障の原因となるだけでなく、法律で禁じられています。

🚫 分解禁止 充電器の内部には、高電圧がかかっているので、分解しないでください。感電の原因となることがあります。

🚫 禁止 子機をねじったり、重いものを載せたり、(ポケットに入れたままイスなどに)強く押しつけたりして、圧迫しないでください。子機が破損し、火災、けが、やけどの原因となることがあります。



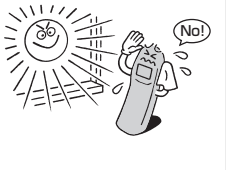
## ⚠️ 注意

🚫 禁止 雷が鳴り出したら、電源コードに触れたり、周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷により、感電の原因となります。

🚫 禁止 電源コードを熱器具に近づけないでください。電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。


🔄 電源プラグをコンセントから抜く 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

🚫 禁止 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器具のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。




❗ 移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、電話回線接続コードなど外部の接続線を外したことを確認のうえ行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

🚫 禁止 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



🚫 禁止 インクフィルム交換などでカバーを開けるときは接触禁止、高温注意マークのラベルが貼ってある部分には、触らないように注意してください。

🚫 禁止 ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



🚫 禁止 ハンドスキャナを落としたり、固いものにぶつけたりしないでください。ガラスが破損してけがをしたり、故障の原因となります。

🚫 禁止 モニタスピーカに耳を近づけないでください。大音量により耳を痛める場合があります。

⚠️ 本機のアンテナを誤って目にささないように注意してください。

⚠️ 指をはさまれないよう注意 インクフィルム交換および記録紙セットなどで開閉部を開け閉めするときは、指挟み、指のけがにご注意ください。

🚫 禁止 漆、カーペット等、高温で変色する可能性のある材質の上には置かないでください。変色の原因となることがあります。

🚫 禁止 本機の底面部は温度が上昇しますので、カーペットやソファなどの上に置かないでください。焦げたり、火災の原因となることがあります。

⚠️ [開く] ボタンを押すと液晶パネルが上に移動しますので、顔や手を近づけないでください。また、液晶パネルの角度を変えるときや閉じるときは指をはさまないように注意してください。

## ⚠ 注意



本機底面にはゴム製の滑り止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。



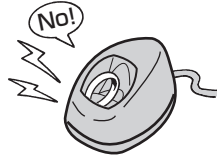
禁止

子機は、ほこりの多い場所や振動の激しい場所に置かないでください。



禁止

充電器の充電部分に金属製のピンや指輪などを置かないでください。発熱し、やけどの原因となることがあります。



禁止

本機を落としたり、強い衝撃を与えないでください。また、液晶パネルをつかんで持ち上げたり、ねじったりしないでください。故障の原因となります。



禁止

本機の上に重いものを載せたり、衝撃を与えたりしないでください。本機の破損、故障の原因となります。



禁止

通信やコピー等の動作中に電源プラグを抜いたり、本機のカバーを開けたりしないでください。故障の原因となります。



禁止

ファクスを受信すると自動的に記録紙を排出します。装置の上に物を置いたり、布をかけたりしないでください。紙が詰まって、故障の原因となります。



記録品質への悪影響および故障の原因となることがありますので、当社指定の記録紙のご使用をお勧めします。



禁止

インクフィルムは、子供の手の届かないところに保管してください。



禁止

インクフィルムは開封した状態で放置しないでください。



禁止

ゴミブリなどが入ると、故障の原因となることがあります。



禁止

自動車やオートバイが近くを通ったときや、電気製品や蛍光灯のスイッチを「入」「切」にしたときなど、通話に雑音が入ることがあります。



禁止

製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本機が正常に動作しないことがあります。



禁止

テレビ、スピーカボックスの近く、こたつの上など、磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。本機が正常に動作しないことがあります。



禁止

冷えきった部屋をストーブなどで急激に暖めたときなどは本機の内部に水滴が付着し、部分的に写らないコピーが発生する原因となります。



禁止

極端に暑い場所 (35℃以上) や寒い場所 (5℃以下) では使用しないでください。誤作動・故障の原因となります。

## ⚠ 注意



禁止

以下のようなところには置かないでください。  
・クーラ、暖房器具、換気口などから風が直接あたる場所  
・ほこりや振動が多い場所  
・換気の悪い場所  
・揮発性可燃物やカーテンに近い場所



本機の設定場所等によっては、近くに置いたラジオへの雑音やテレビ画面のチラツキやゆがみなどが発生する場合があります。このような現象が本機の影響によると思われる場合は、本機の電源プラグをいったん抜いてください。電源プラグを抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試みてください。

- ・本機をテレビ等から遠ざける
- ・本機またはテレビ等の向きを変える



禁止

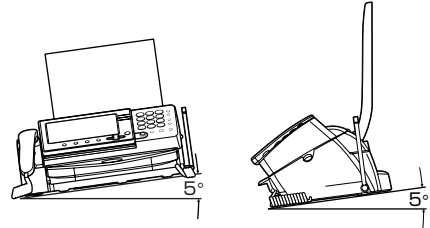
本機は、簡易生活防水が施されていません。以下のような使用はしないでください。

- ・浴室で使用したり、水の中につけたりしないでください。
- ・水滴が付いた場合は、なるべく早く乾いた布などで拭き取ってください。
- ・受話口や送話口の穴などに水滴が付いたときは、水滴を取り除いてからお使いください。
- ・子機に水滴が付いたまま、充電器に戻さないでください。



禁止

本機は下図の傾き以上に傾けないようにしてください。正常に動作しないことがあります。



禁止

ナンバー・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。



禁止

ハンズキャナや受話器を無理に引っ張らないでください。親機の落下により、けがや事故の原因となります。



禁止

キーボード部を開いた状態で、チルト式液晶パネルを持って本機を持ち上げないでください。けがや故障の原因となります。

はじめに .....	2
安全にお使いいただくために .....	3
目次 .....	7

## 準備

はじめにご確認ください .....	10
各部の名称とはたらき .....	11
記録紙について .....	16
記録紙の保管について .....	16
インクフィルムの保管について .....	16
本機の接続のしかた .....	16
作業の流れ .....	16
作業前の確認 .....	17
子機を組み立てる .....	18
通話範囲について .....	18
子機使用上のご注意 .....	18
梱包用テープ類をはがす .....	18
電池パックを取り付ける .....	19
充電器を電源に接続する .....	19
子機を充電する .....	20
親機を組み立てる .....	20
梱包用テープ類をはがす .....	20
記録紙カセットを取り付ける .....	20
記録紙をセットする .....	21
受話器を取り付ける .....	21
電話回線に接続する .....	21
電源に接続する .....	22
回線種別の設定 .....	22
Lモードを申し込む .....	22
時刻をセットする .....	22
アンテナを立ててのばす .....	22
契約しているサービスを確認する .....	22
確認テストをする .....	23
組み立ての確認をする .....	23
電話がかけられることを確認する .....	23
お買い求め時の状態について .....	23
操作を間違えたときは .....	23
親機のキーボードで文字を入力する .....	24
入力モードと入力方法について .....	24
ローマ字入力のしかた .....	25
かなめくり入力のしかた .....	26
文字入力時に行える操作 .....	26
子機で文字を入力する .....	27

## 電話

親機で電話をかける .....	28
受話器をとってかける .....	28
受話器を置いたままかける (オンフックダイヤル) .....	28
同じ相手にもう一度かける (リダイヤル) .....	28
らくらく電話帳でかける .....	28
保留にする .....	29
親機で電話を受ける .....	29

子機で電話をかける .....	29
子機をとってかける .....	29
同じ相手にもう一度かける (リダイヤル) .....	30
らくらく電話帳でかける .....	30
ワンタッチダイヤルでかける .....	30
保留にする .....	30
子機で電話を受ける .....	31
親機と子機で通話する (内線通話) .....	31
親機から子機にかける .....	31
子機から親機にかける .....	31
子機から子機にかける .....	32
外線電話を他の電話機に転送する (外線転送) .....	32
親機から子機に転送する .....	32
子機から親機に転送する .....	33
子機から子機に転送する .....	33
らくらく電話帳に登録する .....	33
親機に登録する .....	34
親機のリダイヤル表示から登録する .....	34
親機の電話帳の登録内容を変更する .....	34
親機の電話帳の登録内容を削除する .....	35
子機に登録する .....	35
子機のリダイヤル表示から登録する .....	35
子機の電話帳の登録内容を変更する .....	35
子機の電話帳の登録内容を消去する .....	36
親機の電話帳を子機に転送する (電話帳転送) .....	36
子機のワンタッチダイヤルに登録する .....	37
通話中の会話を録音する (通話録音) .....	37
通話録音をする .....	37
通話中の相手に録音内容を聞かせる .....	37
トーン信号に切り替える .....	37

## ファクス/コピー

ファクス/コピーの前に .....	38
読み取れる原稿のサイズと厚さ .....	38
そのままでは読み取れない原稿 .....	38
読み取れる範囲 .....	38
原稿セットのしかた .....	38
写真や小さい文字の原稿のとき (画質モード) .....	39
ファクスを送る .....	39
ファクスを自動で送る (自動送信) .....	39
相手と話してから送る (手動送信) .....	40
キーボードで入力した文書を送る (画面でファクス/キーボード送信) .....	40
ファクスを受ける .....	41
自動で受ける .....	41
手動で受ける (手動受信) .....	42
ファクス情報サービスを利用する .....	42
メモリに受信したファクスを画面に表示する (画面でファクス/画面受信) .....	43
画面受信を設定する .....	43
メモリに受信したファクスを表示する .....	43
拡大/縮小する .....	43
回転する .....	44
コピーする .....	44

## ハングスキャナ

ハングスキャナの取り外し／取り付け	45
取り外す	45
取り付け	45
ハングスキャナの使いかた	45
読み取れる原稿サイズ	45
ハングスキャナの置きかた／動かしかた	45
ハングスキャナでコピーする	46
ハングスキャナでファクスを送る	46

## 留守電

「留守」を設定すると	48
親機で留守番電話を使う	49
「留守」を設定する	49
「留守」を解除する	49
録音された用件を聞く	49
不要な用件を消去する	50
子機で留守番電話を使う	50
「留守」を設定する	50
「留守」を解除する	50
録音された用件を聞く	50
不要な用件を消去する	51
応答メッセージを録音／消去する	51
外出先から留守番電話を操作する	
(外線リモート)	52
リモート操作の設定とパスワードの登録	52
外出先から「留守」を設定する	52
外出先から用件を聞く	52
用件が録音されたら外出先に転送する	
(用件転送)	53
転送先を登録する	53
用件転送を設定／解除する	53
用件転送先での受けかた	53

## ナンバー・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイを利用する	54
ナンバー・ディスプレイサービスを 利用した便利な機能	54
利用申し込みにあたって	54
自分の電話番号の通知・非通知について	55
表示の見かた	55
着信データを使って電話をかける	
(コールバック)	55
親機でかけ直す	55
子機でかけ直す	56
留守中にかけてきた相手を確認する	
(留守録着信データ)	57
電話に出たくない相手先には	
着信拒否のメッセージを流す(着信拒否)	57
着信拒否の電話番号を登録する	57
お話し中に電話がかかってきたとき	
(キャッチホン・ディスプレイ)	58
キャッチホン・ディスプレイの ご利用にあたって	58
お話し中に電話が かかってきたときの表示例	58
相手の名前を確認する(ネーム・ディスプレイ)	59
ネーム・ディスプレイご利用時の表示例	59

## キャッチホン／モデムダイヤルイン

キャッチホンを利用する	60
ご利用にあたって	60
キャッチホンを受ける	60
モデムダイヤルインを利用する	60
ご利用申し込みにあたって	60
ダイヤルインの動作	61
ダイヤルインの利用例	61
ダイヤルインの登録をする	61

## Lモード

Lモードをご利用になる前に	
必ずお読みください	63
こんなことができます	63
Lモードを申し込む	64
Lモードが使えるように設定する	65
Lモードのトップメニュー	65
ブラウザ(情報閲覧)サービス	66
メールサービス	66
おぼえておいてください	67
Lモード用パスワードを変更する	68
Lモード用パスワードの入力方法	68
パスワード入力の要／不要を設定する	69
メールアドレスを変更する(マイアドレス)	69
Lモードゲートウェイと接続して	
各種サービスを利用する	71
サイトに接続する	71
よく利用するサイトをマイメニューに 登録する	71
マイメニューに登録したサイトに接続する	71
画面上での基本操作	72
メールを作成して送信する	73
新規メールを作成して送信する	73
登録したメールを[フタタッチ]ボタンで 送信する	74
一度に複数の人にメールを送信する (同報メール)	75
メールを受信する	75
メールを受信して読む	76
画面の見かた	76
メールを自動受信する	77
メールを読む	78
未送信メール／送信済メール一覧を利用する	78
保存していた未送信メールを送信する	78
画面の見かた	79
未送信メール／送信済メールを 編集して送信する	79
送信済メールを保護／解除する	80
未送信メール／送信済メールを削除する	81
未送信メール／送信済メールを印刷する	81
受信メール一覧を利用する	81
受信メールを保護／解除する	81
受信メールに返信する(返信メール)	82
受信メールを他の宛先に転送する (フォワードメール)	82
送信者のメールアドレスを電話帳に登録する	83
受信メールを削除する	83
受信メールを印刷する	84
定型文を編集する	84



ホームページを見る (URL 入力) .....	85	お客様ご相談窓口などのご案内 .....	120
お気に入りのサイト／ホームページを登録する (Bookmark) .....	85	修理・保守などのご相談は .....	120
お気に入りのサイト／ホームページを Bookmarkに登録する .....	86	インフォメーションサービス .....	121
Bookmarkを使ってサイト／ ホームページを見る .....	86	NEC フィールドینگ (株) パーソナルコールセンター一覧 .....	121
表示中のページの内容を保存しておく (画面メモ) .....	86	仕様 .....	123
気に入ったページを画面メモに登録する .....	86	操作早わかりガイド .....	124
保存した画面メモを見る .....	87	索引 .....	128
画面メモの画像を待ち受け画面に表示させる .....	87	スピークス 消耗品 注文のご案内 .....	131
ページを更新して最新の情報を見る (再読込) .....	87		
表示されている情報を使って親機を操作する .....	88		
表示されている電話番号に電話をかける (PHONE TO 機能) .....	88		
表示されているメールアドレス宛に メールを送信する (MAIL TO 機能) .....	88		
表示されている URL に接続する (WEB TO 機能) .....	88		
ファクスデータを受信する (FAX TO 機能) .....	89		
ページを印刷する .....	89		
サイトから新しい着信メロディを ダウンロードする .....	89		
機種変更後も電話帳／Bookmark データを 利用できるようにする (データアップロード) ...	90		

## いろいろな登録・設定

親機での登録・設定 .....	91
子機での登録・設定 .....	103

## こんなときは

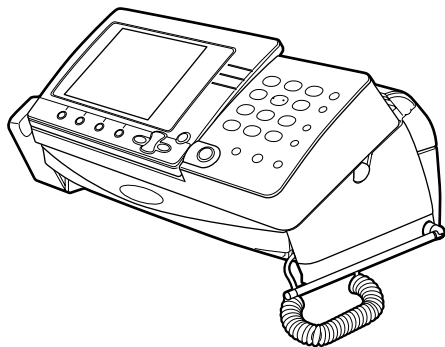
その他のサービスを利用する .....	104
メッセージ到着お知らせサービスを 利用する .....	104
INS ネット 64 を利用するには .....	104
パソコンやモデムにつなぐには .....	105
ADSL 回線を利用するには .....	105
紙づまりのときは .....	106
「記録紙がつまりました」と表示されたとき .....	106
「原稿がつまりました」と表示されたとき .....	107
インクフィルムを交換する .....	107
インクフィルムカートリッジを取り外す .....	107
インクフィルムカートリッジを取り付ける .....	108
お手入れのしかた .....	108
親機・子機の外装の清掃 .....	108
ハンドスキャナの清掃 .....	108
原稿送り用ローラの清掃 .....	109
記録ローラの清掃 .....	109
記録紙給紙用ローラの清掃 .....	109
子機について .....	110
電池パックを交換する .....	110
子機を増設するとき .....	110
停電したとき .....	111
停電が復旧したとき .....	111
定型文／顔文字／絵文字／記号一覧 .....	111
困ったときは (Q&A) .....	113
オプション品・消耗品のご案内 .....	120

## はじめにご確認ください

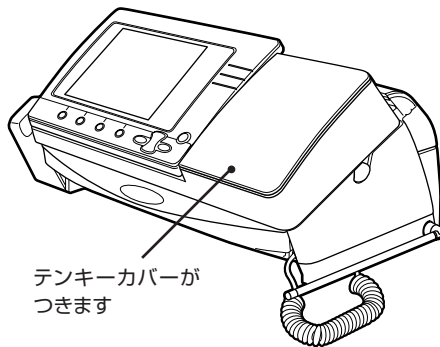
次のものがそろっているか、 欄にチェックをして確認してください。付属品に足りないものがあったり、取扱説明書に落丁があった場合には、販売店にご連絡ください。

親機(本機) 1台

SPL-S50/S50W



SPL-S505V/S505VW



テンキーカバーが  
つきます

テスト用インクフィルム 1本

あらかじめ本機にセットしてあります。

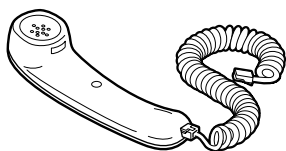
このインクフィルムは、正しくプリントできることを確認したものです。

別売の消耗品よりもプリントできる枚数が少なくなります。(→P.107)

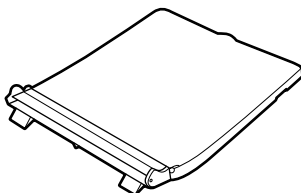
交換用インクフィルムは、指定(型名:**SP-FA430**)のインクフィルムをお買い求めください。

型名:**SIF-A4040**、**SIF-A4030T**のインクフィルムは、使用できません。

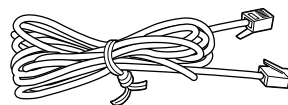
受話器 1個



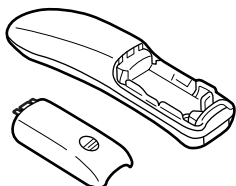
記録紙カセット 1個



電話回線接続コード 1本

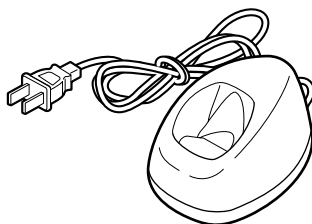


子機 1台(電池カバー付)



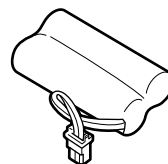
※SPL-S50W/S505VWでは2台

子機充電器 1台



※SPL-S50W/S505VWでは2台

電池パック 1個(子機用)



※SPL-S50W/S505VWでは2個

取扱説明書 1冊(本書)

かんたん取り付けガイド 1部

保証書 1枚:保証書は大切に保管してください。

保証期間やご購入店名などの記載事項をご確認ください。

NTT東日本、西日本 Lモードサービスご利用申込書 一式

# 各部の名称とはたらき

## 親機の前面

※下図は、[開く] ボタンを押してキーボード部を開いた状態です (→P.13)。

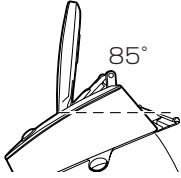
### コントラスト調整つまみ



画面が見えづらいときは、調節つまみを左右にスライドさせて調節します。

### チルト式液晶パネル

見やすい角度に調整できます。キーボード部を閉じた状態で約70°、キーボード部を開いた状態で約85°



(→右図)まで角度を調整できます。表示部には、保護用のシートが付いています。

### 受話器

補聴器対応(ヒヤリングエイド対応)で、誘導コイルタイプの補聴器をお使いの方も聞き取りやすい構造になっています。

### 原稿排出口

原稿排出口  
操作パネル (→P.12)  
操作パネル開レバー  
ハンズキャナ (→P.45)  
ハンズキャナ用コード

### 記録紙カバー

記録紙カバー (→P.12)  
※SPL-S505V/S505VW  
のみにつきます。

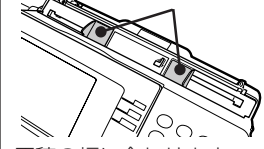
### アンテナ

### 記録紙排出口

### ダストカバー

ダストカバー  
原稿をセットするときに開けます。

### 原稿セットガイド



原稿の幅に合わせます。

## 親機の背面

### 記録紙カセット

記録紙カセット  
A4サイズの記録紙を  
20枚までセットできます。

### 電源コード

### アース端子(底面) (→P.20)

アース端子(底面) (→P.20)  
底面にアース端子(銀色のネジ)があります。

モニタスピーカ  
用件を再生すると、  
ここから聞こえます。

### 受話器用コード

### 受話器端子

回線端子 (→P.21)  
電話回線接続コードを  
接続します。

※本機のプラスチックの一部に、光の具合によってキズに見える部分があります。これはプラスチック製作過程で生じるものですが、構造上および機能上は問題ありません。安心してお使いください。

## 親機のボタンの名称と使いかた

### <操作パネル>

#### 留守ランプ(赤)

消灯: 留守を設定していないとき  
 点灯: 留守を設定しているとき(用件録音なし)  
 点滅: 留守を設定しているとき(用件録音あり)

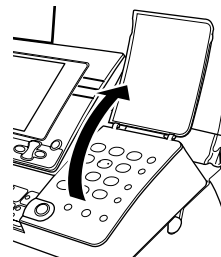
#### メールランプ(黄)

消灯: 新着メールと未読メールがないとき  
 点灯: Lモードゲートウェイ(→P.63, 75)に新着メールがあるとき  
 点滅: 親機に未読メールがあるとき

#### 画面受信ランプ(緑)

消灯: 画面受信を設定していないとき(未読ファクスなし)  
 点灯: 画面受信を設定しているとき(未読ファクスなし)  
 点滅: 未読ファクスがあるとき

- SPL-S505V/S505VWの場合、テンキーカバーを開けてダイヤルボタンなどの操作を行います(→右図)。  
 また、機能選択中/通話/ファクス通信/プリントなどの動作中にダイヤルボタンのバックライトが点灯します(SPL-S505V/S505VWのみ)。動作終了後、約5分で消灯します。



ディスプレイの表示について(→P.15)

#### ファンクションボタン(表記例: ファンクションボタン[機能])

ディスプレイ下部に表示される機能名に対応しており、その機能を実行するときに押します。

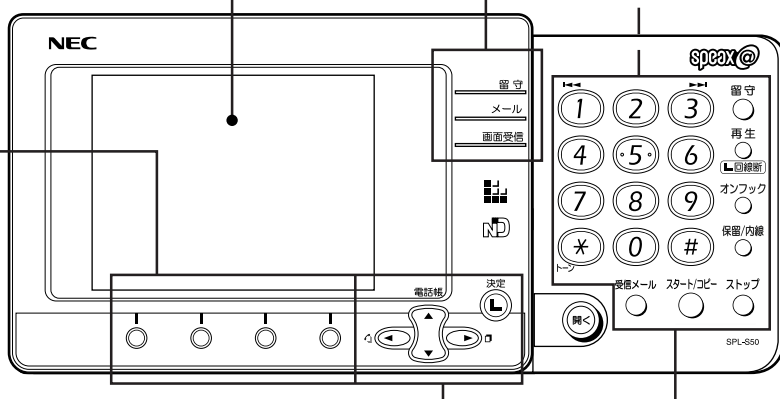
#### 電話帳 ([▲][▼][◀][▶] ボタン)

メニューや電話帳を検索するとき、カーソルを上下に移動させるときなどに押します。

☎ ◀ …… かってきた相手の電話番号を表示させるとき(ナンバー・ディスプレイ契約時)、カーソルを左に移動させるときに押します。

▶ ☎ …… 同じ相手にもう一度かけるとき、カーソルを右に移動させるときに押します。

決定 (L) ([L] ボタン)  
 Lモードを利用するときや、選択している項目を決定するときなどに押します。



① ~ # (ダイヤルボタンまたは [1] ~ [#])

ダイヤルするときに押します。

① …… 再生中の用件をもう一度聞いたり、ひとつ前の用件を聞くとときに押します。

③ …… 再生中の用件の次の用件を聞くとときに押します。

\* …… ダイヤル回線を使用している方が、トーン(プッシュ)信号を送りたいときに押します。

留守 (留守) ボタン  
 留守を設定するときなどに押します。

再生 (再生/L回線断) ボタン  
 留守番電話の用件を再生するとき、Lモードゲートウェイとの接続を切断するときに押します。

オンフック (オンフック) ボタン  
 受話器を置いたまま電話をかけるときに押します。

保留/内線 (保留/内線) ボタン  
 子機との内線通話、電話を保留にするときに押します。

受信メール (受信メール) ボタン  
 受信したメールを読むときに押します。

スタートコピー (スタート/コピー) ボタン  
 ファクスの送受信、コピーをするときに押します。

ストップ (ストップ) ボタン  
 送信やコピーをやめるとき、登録や設定を途中でやめるときなどに押します。

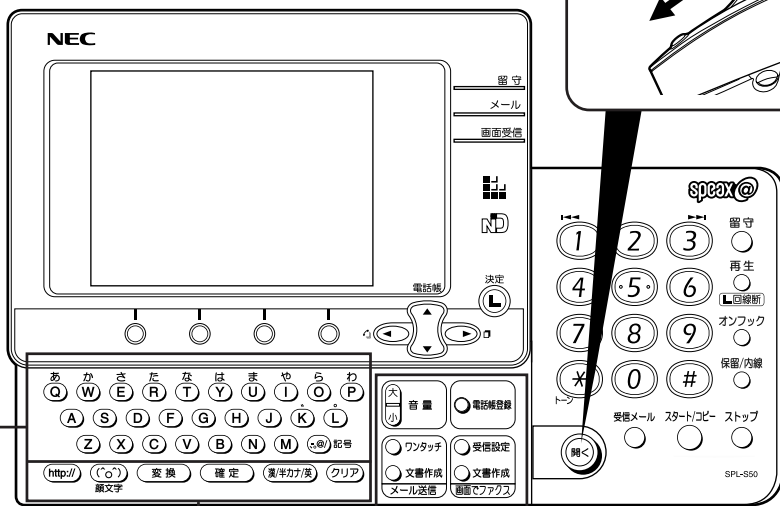
<キーボード部>

- ・[開く] ボタンを押すと、液晶パネルが上に移動しますので、顔や手を近づけないでください。また、液晶パネルの角度を変えるときや閉じるときは指をはさまないように注意してください。

▶ キーボードで文字を入力するには (→P.24)

Ⓚ ([開く] ボタン)  
 キーボード部を利用するときに押すと、液晶パネルが開きます。

▶ **液晶パネルを閉じるときは**：液晶パネルの角度を調節している場合は元に戻したあと(①)、パネル上部を押しながら手前に手でスライドさせる(②)



あ  
 Ⓚ ~ Ⓜ ([Q] ~ [M]) 記号 ([Q] ~ [M])  
 文字を入力するときに押します。

Ⓜ ([http://] ボタン)  
 「http://」 「.co.jp」 などを入力するときに押します。

Ⓜ ([顔文字] ボタン)  
 顔文字を入力するときに押します。

Ⓜ ([変換] ボタン)  
 文字変換時に、次候補を表示させるときに押します。

Ⓜ ([確定] ボタン)  
 変換中の文字や選択項目を確定するときに押します。

Ⓜ ([漢/半カナ/英] ボタン)  
 入力モード(かな漢字モード、半角カナモード、英字モード)を切り替えるときに押します。

Ⓜ ([クリア] ボタン)  
 カーソル上の文字(カーソル上に文字がないときは1つ前の文字)を削除するときに押します。

Ⓜ 音量 ([音量 大] [音量 小] ボタン)  
 各種音量を調節するときに押します。

Ⓜ 電話帳登録 ([電話帳登録] ボタン)  
 電話帳に登録するときに押します。

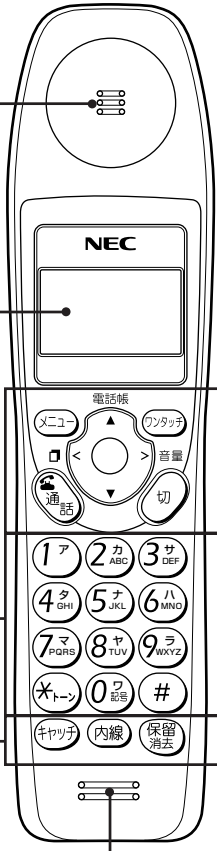
送信メール

- Ⓜ ワンタッチ ([ワンタッチ] ボタン)  
 あらかじめ作成しておいたメールをワンタッチで送信するときに押します。
- Ⓜ 文書作成 ([文書作成] ボタン)  
 メールを新規に作成するときに押します。

画面で

- Ⓜ 受信設定 ([受信設定] ボタン)  
 画面受信を設定するときに押します。
- Ⓜ 文書作成 ([文書作成] ボタン)  
 キーボード送信をするときに押します。

## 子機のボタンの名称と使いかた



受話口

ディスプレイの表示について(→P.15)

1ア～# (表記例：ダイヤルボタンまたは[1]～[#])  
ダイヤルするとき、文字を入力するときなどに押します。

\* ( [\* ] ボタン)  
ダイヤル回線使用時に、トーン(プッシュ)信号を送りたいときに押します。

キャッチ ( [キャッチ] ボタン)  
キャッチホンを受けるときに押します。簡易子機間通話の送受信の切り替えに使用します(子機が2台以上ある場合のみ)。

内線 ( [内線] ボタン)  
内線通話のときに押します。

保留/消去 ( [保留/消去] ボタン)  
電話を保留にするとき、電話番号や文字入力を間違えたときに押します。

送話口

メニュー ( [メニュー] ボタン)  
各種設定や登録のときに押します。

ワンタッチ ( [ワンタッチ] ボタン)  
よく電話をかける相手を登録して、ワンタッチで電話をかけるときに押します。

▲ ▼ ( [▲] [▼] ボタン)  
メニューや電話帳を検索するときなどに押します。

< > ( [ < ] ボタン)  
1回押す：直前にかけた相手の電話番号を表示させます。  
2回押す：かかってきた相手の電話番号を表示させます(ナンバー・ディスプレイ契約時)。

[ > ] ボタン  
各種音量を調節するときを押します。

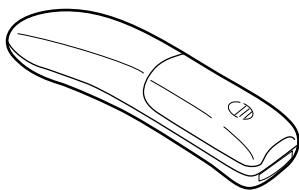
[ < ] [ > ] ボタン  
カーソルを左右に移動させるときに押します。

通話 ( [通話] ボタン)  
電話をかけるとき、受けるときに押します。

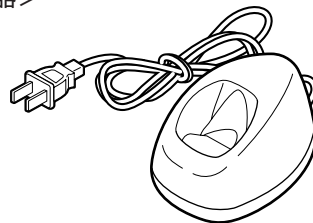
切 ( [切] ボタン)  
通話を切るとき、登録・設定を途中でやめるときに押します。

## 子機の背面と充電器

<背面>



<充電器>



## 子機の待ち受け中の状態について

子機を充電器からとったあと以下の操作をして、[通話] ボタンが消灯している状態を「待ち受け中」といいます。クイック通話(→P.103)の設定によって操作が異なります。

<クイック通話「OFF」のとき(お買い求め時)> <クイック通話「ON」のとき>



[通話] が消灯していることを確認



[通話] が点灯していることを確認



[切] を押す



[通話] が消灯していることを確認

## ディスプレイの表示 (画面) について

### <親機>

●音量表示  
 通話時の受話音量を示します。

(小) (大)  
 音量: 「小」「中」「大」

ベル音量を示します。

(1) (6)  
 音量: 「切」「1」～「6」

留守番電話の用件再生時などのモニタスピーカ音量を示します。

(小) (大)  
 音量: 「切」「小」「中」「大」

日付、時刻を表示します。

メッセージやアニメーションを表示します。待ち受け画面で「カレンダー」を設定しているとき(→P.93)は、カレンダーを表示します。また、Lモードでダウンロードした画像や「新緑」「花」「ウサギ」「羽」に切り替えることができます。

### ファンクションボタン

画面下部に表示される機能名に対応しています。各機能名に対応するファンクションボタンを押すと、その機能を実行することができます。本書では以下のように記載しています。

(例)「機能」の表示の下にあるファンクションボタンを押す場合：ファンクションボタン[機能]を押します。

・本機は、お客様がご使用にならないとき(操作をしない時間が5分以上続いたとき)は画面のバックライトが消え、表示は見えなくなります。操作を行う場合は、最初に[ストップ]ボタンを押し、表示が見えるようになってから操作をしてください(表示までに数秒かかることがあります)。

▶画面が見えづらいときは：液晶パネルの上面にあるコントラスト調整つまみ(→P.11)を左右にスライドさせて調整する

### <子機>

ピクトは全点灯時を表しています。

12桁×1行で文字を表示します。何も操作していないときは、内線番号が表示されています。

内線 …… 内線で通話中に表示されます。

外線 …… 外線で通話中に表示されます。

着信データ …… 過去にかかってきた電話番号を表示させる操作をしたときに表示されます(ナンバーディスプレイ)。

リダイヤル …… 同じ相手にもう一度電話をかける操作をしたときに表示されます(リダイヤル)。

バッテリー …… バッテリーが消耗したときに表示されます。

ベル切 …… 呼出音が鳴らないようにしているときに表示されます。

電話中は、ディスプレイに通話時間が表示されます。表示される時間はあくまでも目安としてご利用ください。

親機 …… ダイヤル後、約10秒経つと表示され、相手が出ると再度0秒から表示し直されます。

子機 …… [通話]ボタンを押すと通話時間表示が始まり、相手が出てからも続けて表示されます。また相手が出なくても表示されます。

・受話器や子機を戻したあとでも約5秒間、通話時間が表示されます。

・通話時間が59分59秒を超えたときは、0分00秒から表示し直されます。

## 記録紙について

安定した品質・性能でお使いいただくために、記録紙はA4サイズ、紙厚0.08mm～0.1mm(500枚包みの場合、厚さ40mm～50mm)のもので、表面にオーバーコートなどの処理をしていない普通紙(コピー用紙)をお使いください。

記録紙の種類によって、文字のかすれなど印刷品質が異なります。より鮮明な印刷品質をお求めの場合には、下記の記録紙もお使いいただけます。

### ・普通紙

型名 : FUJIFILM 熱転写用紙  
ファクス用普通紙  
FAX A4×100  
サイズ・数量 : A4・100枚

- ・感熱紙は使用できません。
- ・記録紙の種類によっては、記録紙給紙不良や記録紙づまりの原因となります。  
次のような記録紙は使用しないでください。
  - オーバーコートされた紙の裏面
  - 一度プリントした紙の裏面
  - 一度複数枚送りした紙
  - 湿っている紙
  - OHP フィルム
  - 薄い紙 (紙厚が0.08mmより薄い紙)
  - 厚い紙 (紙厚が0.1mmより厚い紙)
  - しわ・折れのある紙
  - 表面に光沢のある紙
- ・記録紙の品質はメーカーによって異なるため、印刷品質や記録紙給紙性能が異なる場合があります。記録紙を大量に購入されるときには、一度テストプリントすることをお勧めします。
- ・記録紙を補充するときは、記録紙カセットに残っている記録紙をすべて取り出し、追加する記録紙と合わせてよくさばいたあと、さばいた側を下に先端をそろえてそっと置いてセットしてください。

▶ 「記録紙が詰まりました」と表示されたときは(→P.106)

## 記録紙の保管について

記録紙は日光のあたる場所、湿気の多い場所、高温になる場所を避け、乾燥した冷暗所に保管してください。また、記録紙カセットに長期間セットしたままにしたり、湿気を含んだりすると、品質が劣化して先端が波打った状態になります。

- ・品質が劣化した記録紙は使用しないでください。記録紙給紙不良の原因となります。

## インクフィルムの保管について

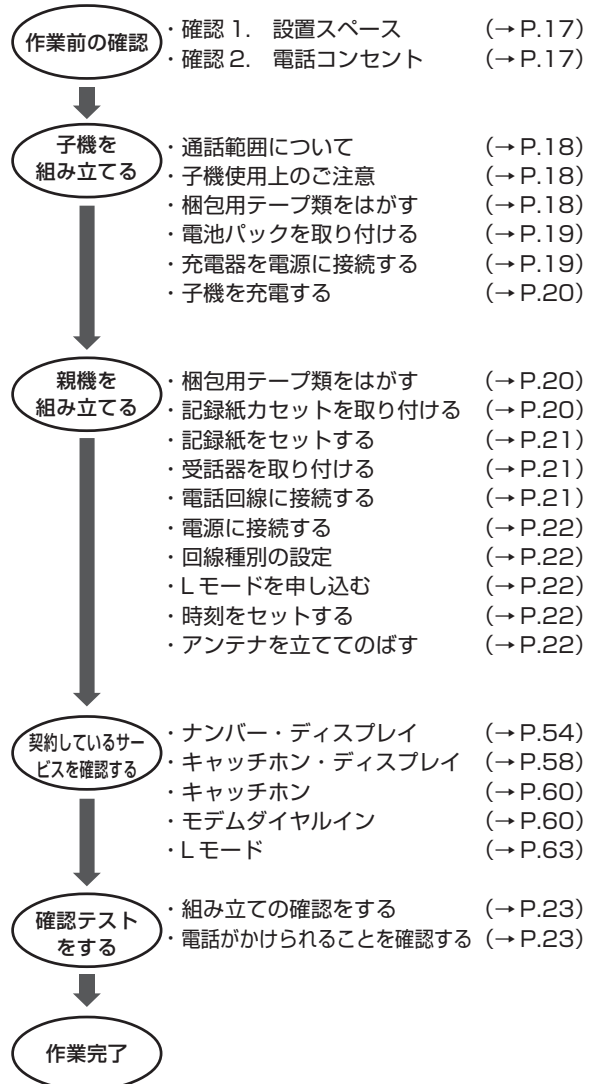
本機にセットする前のインクフィルムは袋に入れ、以下のことに注意して保管してください。

- ・直射日光を避け、0℃～35℃で保管してください。
- ・結露した場合は、乾燥後に使用してください。

## 本機の接続のしかた

### 作業の流れ

本機を組み立て、使えるようになるまでの全体の流れは、次のようになります。



本機を自由にご活用ください



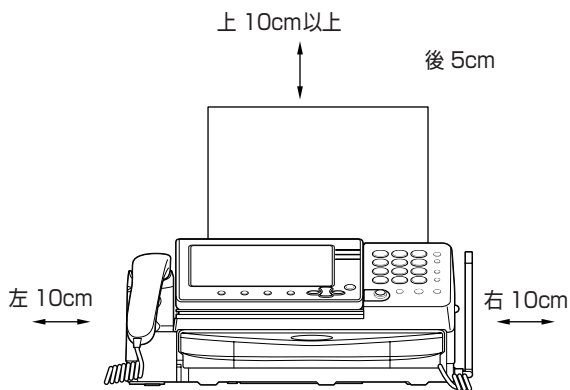
## 作業前の確認

## 確認 1. 設置スペース

親機を置く場所には十分なスペースがありますか？

操作や消耗品類の交換、日常点検などを行うため、右図を参考に必要なスペースを確保してください。

- ・親機は壁にかけての使用はできません。
- ・水平な場所に設置しないと、正常に使えないことがあります。
- ・次のような機器の近くに親機を設置しないでください。雑音や誤動作の原因になることがあります。
  - ビジネスホン、モデム、パソコン、ターミナルアダプタ、ルータ、ワープロ、無線機、コピー機、他のコードレス電話機など
  - 携帯電話、PHS、ポケットベル、充電器およびACアダプタ
  - テレビ、ラジオ、蛍光灯、CDプレーヤー、ヘッドライナー、電子レンジ、ステレオ、電気こたつなど
  - 自動車、オートバイ、ネオンサインなど
- ・親機の近くで子機を使用しないでください。雑音や誤動作の原因になることがあります。
- ・「安全にお使いいただくために」(→P.3)の記載も参照してください。



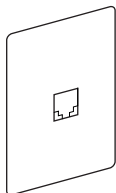
- ・直射日光の当たる場所には置かないでください。送信/コピー画質が薄くなったり、装置誤動作、故障の原因となります。

## 確認 2. 電話コンセント

電話コンセントはどのタイプですか？

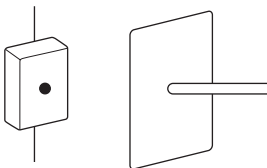
コンセントのタイプによって、そのまま接続できないことがあります。コンセントの形を確認してください。

モジュラ式



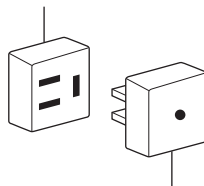
そのまま接続できます。  
カチッとなるまで差し込んでください。

直接配線(ネジ止め式)



このままでは親機を接続できません。  
NTT東日本またはNTT西日本の窓口などにご相談ください。

3ピンプラグ式



このままでは親機を接続できません。  
市販のモジュラ付電話キャップをお買い求めください。

- ・接続工事には、工事担任者の資格が必要です。

▶INSネット64を利用するには(→P.104)

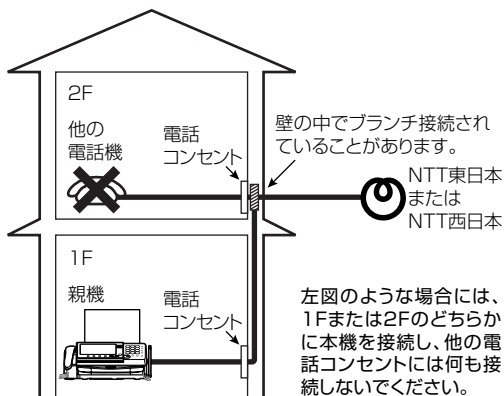
▶パソコンやモデムにつなぐには(→P.105)

▶ADSL回線を利用するには(→P.105)

- ・他の電話機とブランチ接続(並列接続)にしないでください。
- ・家の中に2つ以上電話コンセントがある場合、壁の中で配線がブランチ接続になっていることがあります(→右図)。NTT東日本またはNTT西日本に確認してください。

### ブランチ接続すると、こんなことが起こります

- ・電話がかかってきたときに呼出ベルが途中で鳴り止むことがあります。
- ・ファクスを送受信しているとき、ブランチ接続されている電話機の手話器をとると、ファクスの画像に異常が起きます。
- ・ファクスが受信できないことがあります。
- ・ダイヤルインサービスやナンバー・ディスプレイサービスが利用できません。



壁の中でブランチ接続されていることがあります。

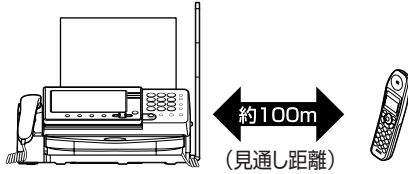
NTT東日本  
または  
NTT西日本

左図のような場合には、1Fまたは2Fのどちらかに本機を接続し、他の電話コンセントには何も接続しないでください。

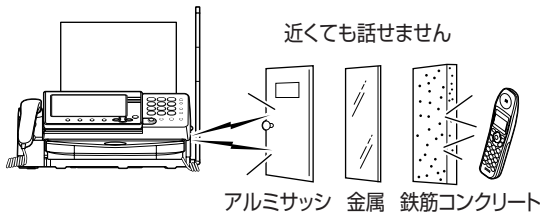
## 子機を組み立てる

### 通話範囲について

- 使用できる範囲は、親機と子機の間には障害物がない状態で約100mです。子機と親機が離れすぎると、通話できなくなったり、呼出ベルが鳴らなくなったりします。



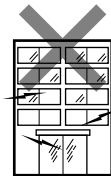
- 子機と子機で通話（簡易子機間通話、子機増設時のみ）するときも、お互い親機と通話できる範囲（上記）でご使用ください。子機同士が近くても、どちらかが親機と通話できる範囲から外れると、子機どうしの通話はできなくなります。
- 建物内の異なる階層（上下）や屋外を経由すると、通話できないことがあります。
- 親機のアンテナは、まっすぐ立ててお使いください。アンテナを倒した状態では、子機で通話できる範囲が狭くなったり、通話に雑音が入ることがあります。
- 親機と子機の間には鉄筋コンクリート、金属、アルミサッシなどの障害物がある場合は、電波が届きません。



- 親機と子機の間には何も障害物がなくても、次のような場合は、電波の届く範囲が狭くなったり、通話に雑音が入ることがあります。



・金属製家具の近くなど



・マンションなど、鉄筋コンクリートの壁や金属製のドアなどが使用された建物の場合



・蛍光灯などの電気製品の近くなど

## 子機使用上のご注意

- 子機は電波を使っているため、通話中に雑音が入ることがありますが、故障ではありません。
- 子機は電波を使っているため、特殊な装置により盗聴される恐れがあります。大切な話しは親機を使用するなど、注意してお使いください。
- 通話中に「ピーッ、ピーッ…」という音がしたときは、通話圏外まで離れています。親機に近づいてください。通話圏外のままですと、約15秒後に親機側で保留になります。さらに1分経過すると電話が切れます。
- 通話中に「ピッ、ピッ、ピッ…」という音がしたときは、電池の充電残量が少なくなっています。このまま通話を続けると、約1分後に子機通話が切れ、親機側で保留になります。さらに1分経過すると電話が切れます。電池の充電残量が少なくなる（電池電圧が約2.3V以下になる）と子機は使用できなくなります。
- 近隣で他のコードレス電話機を使っていると、まれに誤動作する場合があります。子機で電話がつかない、通話の途中で切れた、などの場合は、いったん切ってからもう一度かけ直してください。
- 車のダッシュボードなど、直射日光の当たるところに放置しないでください。
- 次のような機器の近くに親機を設置したり、近くで子機を使用したりしないでください。雑音や誤動作の原因となることがあります。
  - ・ ビジネスホン、モデム、パソコン、ターミナルアダプタ、ルータ、ワープロ、無線機、コピー機、他のコードレス電話機など
  - ・ 携帯電話、PHS、ポケットベル、充電器およびACアダプタなど
  - ・ テレビ、ラジオ、蛍光灯、CDプレーヤー、ヘッドライヤー、電子レンジ、ステレオ、電気こたつなど
  - ・ 自動車、オートバイ、ネオンサインなど
- ふろ場やシャワールームなど、湿度の高いところで使用しないでください。
- 自動車やオートバイが近くを通ったときや、電気製品や蛍光灯のスイッチを「入」「切」にしたときなどに雑音が入ることがあります。
- めぬれた手で子機を操作したり、子機に水をかけたりしないでください。本製品の子機には防水機能がありませんので、故障の原因になります。

### 梱包用テープ類をはがす

子機と付属品をビニール袋から取り出し、貼り付けてあるテープ類をはがします。

## 電池パックを取り付ける

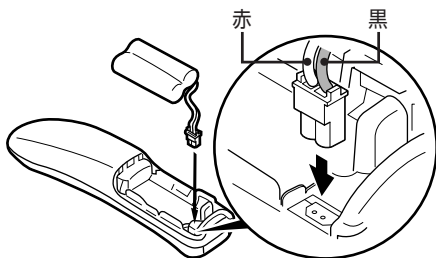
## ⚠危険

- 子機の充電は、子機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 専用の電池パックを使用してください。また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックを水や火の中に投入したり、加熱しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックに直接はんだ付けしないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックのコネクタの赤（プラス）・黒（マイナス）を、針金などの金属類で接触しない（ショートさせない）でください。火災、感電の原因となります。
- 電池パックを分解・改造しないでください。電池パックの発熱、破裂の原因になります。
- 電池パックのビニールカバー（チューブ）は、はがさないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 万一、電池パックが液漏れして、液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。また、漏れた液が皮膚や衣服についたときは、きれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となります。
- 電池パックを使用中や充電中、または保管中に異臭を発したり、発熱したり、変色・変形その他、今までと異なることに気がついたときは、子機から電池パックを取り外し、使用を中止してください。

## ⚠注意

- 電池パックの取り付けは、充電器に置いたままで行わないでください。故障の原因となります。

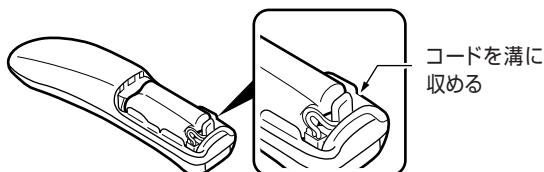
## 1 電池パックのコネクタを差し込む



## ⚠注意

- コネクタの向きが合わない状態で、無理に差し込まないでください。発煙、故障の原因となります。

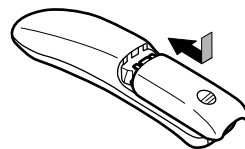
## 2 電池パックを取り付ける



コードを溝に  
収める

## 3 電池カバーを取り付ける

子機の溝に合わせて、奥に  
差し込みます。

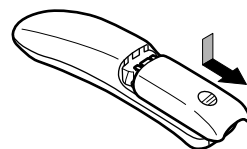


## ⚠注意

- 電池パックのコードを子機と電池カバーの間にはさまないようにしてください。断線、故障の原因となります。

## 👉 電池カバーを外したい

電池カバーを下に押しながら  
手前に引くと外れます。



## 充電器を電源に接続する

- テレビやステレオなどと同じコンセントに充電器のプラグをつなぐと、雑音の原因となることがあります。できるだけ、別のコンセントにつないでください。近くに別のコンセントがない場合は、テレビやステレオなどから充電器を離してください。

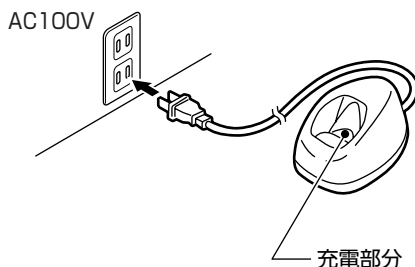
## ⚠危険

- 付属の充電器以外を使用しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。


## ⚠警告

- ぬれた手で充電器のプラグを抜き差ししないでください。漏電して、感電の原因となることがあります。
- 充電器および子機をぬらしたり、水につけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。

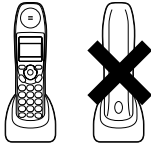
充電器のプラグを電源コンセントに差し込みます。



## 子機を充電する

- ・お買い求め時は、充電されていません。
- ・初めてご使用のときは10時間以上充電してください。十分に充電されていないと、使用時に「ピーツ、ピピツ」という音がして子機が使えません。このときは、しばらくの間充電すると使えるようになります。
- ・子機のディスプレイに  が表示されているときは、電池残量が足りないため、お使いになれません。

## 1 ボタンが前にくるように、子機を充電器に置く 裏返しに置くと、正しく充電されません。



## 2 が赤く点灯し、充電が始まる

### △注意

- 充電器の充電部分に、金属物をのせないでください。発熱・やけどの原因となります。

- ▶ **子機を使わないときは**：できるだけ充電器に戻しておく。充電し過ぎにはならない
- ▶ **子機の使用可能時間は(フル充電時)**：連続通話時は約6時間、連続待ち受け時は約200時間
- ▶ **充電しても、すぐ電池がなくなって使えなくなるときは**：電池パックの寿命の可能性がある(通常の使用で約2年)電池パックを交換するときは(→P.110)
- ▶ **子機を増設するときは**(→P.110)

### 子機を長時間使わないときは

旅行や引越など子機を長時間使わない、または充電できないときは、子機の電池パックのコネクタを抜いて保管してください。充電器のプラグをコンセントから抜いておいたり、子機を充電器から外して充電しないまま放置すると、電池パックが劣化して使えなくなることがあります。

## 親機を組み立てる

### 梱包用テープ類をはがす

本機と付属品をビニール袋から取り出し、貼り付けてあるテープ類をはがします。

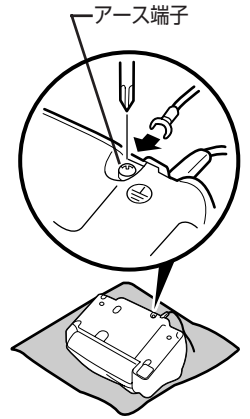
### △注意

- 特に湿気の多い場所で親機を使用する場合は、必ずアース接続をしてください。アース線は別売品となります。

アース接続は、液晶パネルとテンキーカバー(SPL-S505V/S505VWのみ)を閉じた状態で、親機を裏返して行います。その際、記録紙カセットを取り外し、親機およびディスプレイに無理な力がかからないように座布団などを敷いてください。

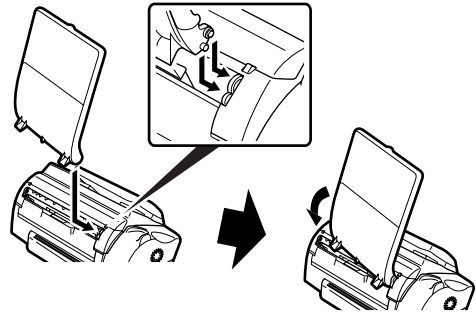
プラスドライバとアース線を準備してください。

▶ **安全にお使いいただくために**(→P.3)



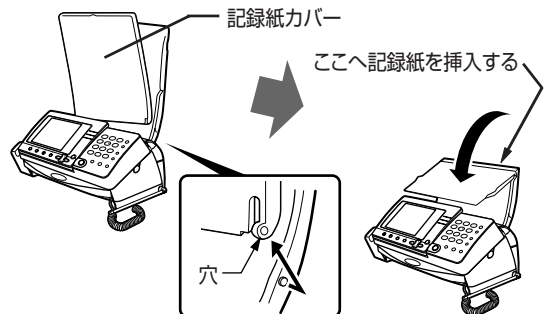
### 記録紙カセットを取り付ける

記録紙カセットの片側を先に親機の穴に差し込み、次に逆側を差し込みます。取り付けたあと、記録紙カセットを軽く前後に動かして、外れないことを確認してください。



### 記録紙カセットはたたんだ状態でも使えます

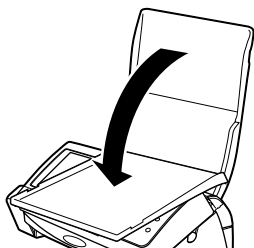
記録紙カバーの穴を記録紙カセットから片側ずつ外し、記録紙カセットを折りたたみます。記録紙カセットをたたんだ状態でセットできる記録紙は1枚です。



## 記録紙をセットする

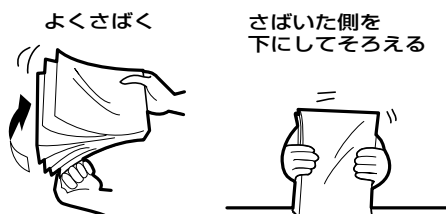
- ・必ず普通紙をセットしてください。感熱紙をセットすると故障の原因となることがあります。
- ・液晶パネルとテンキーカバー（SPL-S505V / S505VWのみ）を閉じた状態で、記録紙をセットしてください。

### 1 記録紙カバーを前に倒す



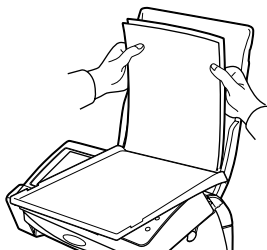
### 2 記録紙をさばく

- ・記録紙をさばかずにセットすると、一度に複数枚の記録紙が送られることがあります。



### 3 記録紙を入れる

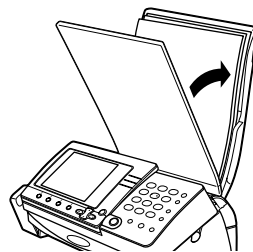
記録紙の先端をそろえて、そっと置いてください(奥まで差し込まないでください)。



- ・セットできる枚数は20枚までです。
- ・記録紙を補充するときは、記録紙カセットに残っている記録紙をすべて取り出し、追加する記録紙と合わせてよくさばいたあと、さばいた側を下に先端をそろえてそっと置いてセットしてください。
- ・プリント中は記録紙を追加しないでください。
- ・記録紙を長期間記録紙カセットにセットしたままにしないでください。記録紙が湿気などを含み、劣化する原因になります。劣化した記録紙をそのままお使いになると、記録紙づまりの原因になります。

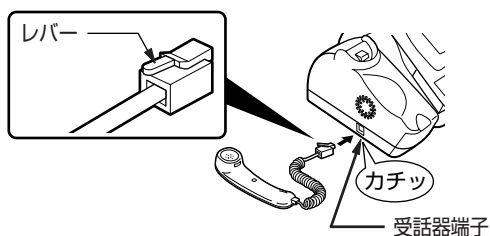
## 4 記録紙カバーを起こす

- ・記録紙カバーは必ず取り付けて、起こした状態で使用してください。



### 受話器を取り付ける

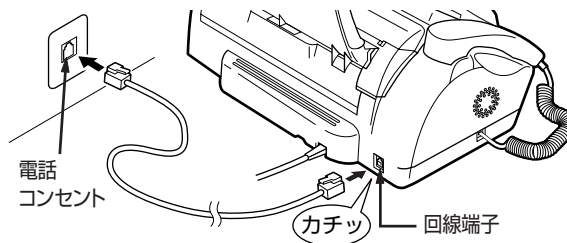
受話器端子に受話器用コードを「カチッ」と音がするまで差し込みます。



- ▶ 受話器コードを抜くときは：レバーを押さえながら引き抜く

### 電話回線に接続する

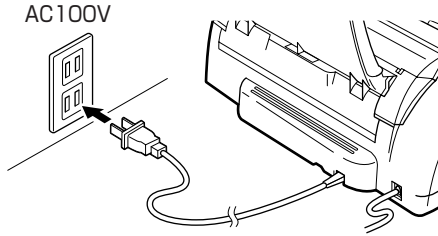
付属の電話回線接続コードを親機背面の回線端子と電話コンセントに差し込みます。



- ▶ 電話コンセントのタイプ (→P.17)
- ▶ INS ネット64を利用するには (→P.104)
- ▶ パソコンやモデムにつなぐには (→P.105)
- ▶ ADSL回線を利用するには (→P.105)

## 電源に接続する

電源プラグをコンセントに差し込みます。



・電話回線に接続せずに電源に接続すると、しばらくしてデモモード（宣伝用自動表示）が始まります。その場合、電話回線に接続するとデモモードは終了します。

▶ 電話回線に接続する（→P.21）

## 回線種別の設定

電源プラグをコンセントに差し込むと、画面に「しばらくお待ちください」と表示され、自動的に回線種別（ブッシュ回線／ダイヤル回線）を選択します。終了すると、「Lモード加入お勧め」画面が表示されます。

▶ 「回線設定してください」と表示されたときは：手動で設定する（回線種別→P.94）。ISDNターミナルアダプタに本機を接続している場合など、回線によっては回線種別が自動設定されないことがある

▶ 「ハンズキャナがはずれています」と表示されたときは：ハンズキャナを取り外し、もう一度セットする（ハンズキャナの取り付け／取り外し→P.45）

## Lモードを申し込む

回線種別の選択が終了すると「Lモード加入お勧め」画面が表示されます。

・90秒以上何も操作しなかったときは時刻設定画面が表示されます。

・ここで申し込みを行わなかった場合は、「Lモードを申し込む」（→P.64）の手順で申し込みを行ってください。

### 1 ファンクションボタン [はい] を押す

▶ Lモードを申し込まない場合は：ファンクションボタン [いいえ] または [ストップ] ボタンを押す（時刻設定画面が表示される）

### 2 画面のメッセージに従ってLモードを申し込む

申し込み方法の詳細は、「Lモードを本機の操作で申し込む」の操作を参照してください（→P.64 手順2以降）。

▶ 操作を途中でやめるときは：[ストップ] ボタンを押す（時刻設定画面が表示される）

## 時刻をセットする

Lモードに関する操作を終了すると、「時刻を設定します Lボタンを押してください」と表示されます。現在の時刻をセットしてください。

・西暦（4桁）、月（2桁）、日（2桁）、時刻（24時間制）で入力してください。月日や時刻が1桁のときは、頭に0を付けてください。

例：2003年2月1日の午後3時30分に設定する場合は「200302011530」と入力する

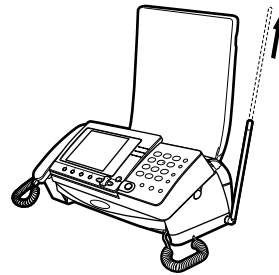
決定 ▶ ダイヤルボタンで年月日・時刻を入力 決定

▶ 入力を間違えたときは：[◀]または[▶]ボタンでカーソルを動かし、入力し直す

▶ 時刻を設定し直すときは（時刻設定→P.96）

## アンテナを立ててのぼす

親機のアンテナをまっすぐ立て、のぼしてください。アンテナを倒したままでは、子機の通話範囲が狭くなったり、通話中に雑音が入ることがあります。



## 契約しているサービスを確認する

NTTサービスなどを契約している方は、設定が必要な場合があります。 にチェック ✓ し、設定が必要なときは該当ページを見て設定してください。

### NTTサービスの契約をしていますか？

ナンバー・ディスプレイ（→P.54）

設定が必要です。  
ナンバーディスプレイ利用（→P.99）

キャッチホン・ディスプレイ（→P.58）

設定が必要です。  
キャッチホン・ディスプレイを設定するときは（→P.100）

キャッチホン（→P.60）

設定の必要はありません。

モデムダイヤルイン（→P.60）

設定が必要です。  
ダイヤルインを登録するときは（→P.61）

※PB信号方式のダイヤルインには対応していません。

Lモード（→P.63）

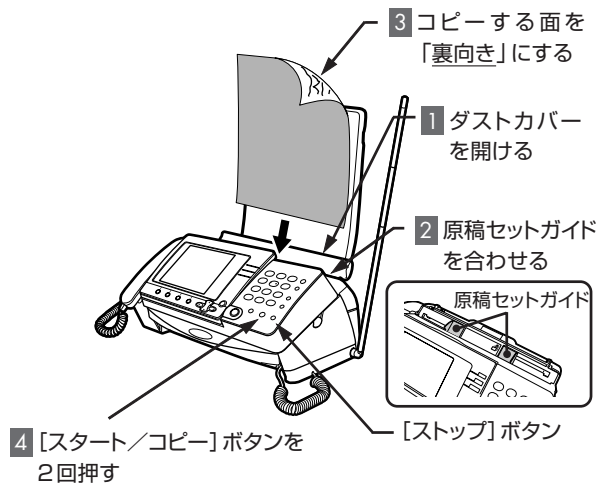
設定が必要です。  
Lモードを設定するときは（→P.65）

## 確認テストをする

組み立て、接続が正しくできたか、確認のための動作テストを行います。

### 組み立ての確認をする

コピーをとって、確認してみましょう。



### 1 ダストカバーを開ける

### 2 原稿セットガイドを原稿の幅に合わせる

### 3 コピーする面を「裏向き」にして、原稿を軽く差し込む

原稿が数cm引き込まれます。

### 4 を2回押す

コピーが終わると原稿、記録紙が排出され、「ピー」という音がします。

- ▶ **途中でコピーをやめるときは**：[ストップ] ボタンを押す
- ▶ **白紙が出てきたときは**：原稿の表裏を逆にセットすると白紙になる。コピーする面が「裏向き」になっていることを確認し、もう一度コピーをする
- ▶ **紙づまりのときは**：  
「原稿がつまりました」と表示されたときは(→P.107)  
「記録紙がつまりました」と表示されたときは(→P.106)
- ▶ **B4の原稿をコピーすると**(→P.44)

## 電話がかけられることを確認する

電話をかけたり、受けたりできることを確認してください。

- ▶ **電話をかけられないときは**(困ったときは→P.113)
- ▶ **電話がかけられるが、受けられない**：ナンバー・ディスプレイの契約と設定が一致しているかどうかを確認する
  - 契約している場合…「利用する」(お買い求め時のまま)
  - 契約していない場合…「利用しない」に設定が必要(ナンバー・ディスプレイの設定→P.99)
- ▶ **ダイヤルイン(→P.60)/メッセージ到着お知らせサービス(→P.104)を契約している場合**：ナンバー・ディスプレイの契約にかかわらず、ナンバー・ディスプレイの設定を「利用する」にする(→P.99)


## お買い求め時の状態について

お買い求め時の本機は、ファクスを自動で受けられるように設定されています(→P.41)。

- ▶ **お買い求め時の設定は**(→P.92~103)

## 操作を間違えたときは

### <親機の場合>

**ストップ**  
 : [ストップ] ボタンを押すと、操作/設定がキャンセルされ、待ち受け状態に戻ります。ファンクションボタン[戻る]を押すと、ひとつ前の状態に戻ります。

### <子機の場合>

 **切** : 充電器に戻すか、[切] ボタンを押してください。

# 親機のキーボードで文字を入力する

[開く] ボタンを押すとキーボード部が現れます。閉じるときは、手でスライドさせます(→P.13)。キーボードを使ってローマ字入力を行うことができます。また、かなめくり入力も利用できます。

- ・キーボードは必ず指で入力してください。ペンなど先の尖ったもので入力すると故障の原因となります。

## 入力モードと入力方法について

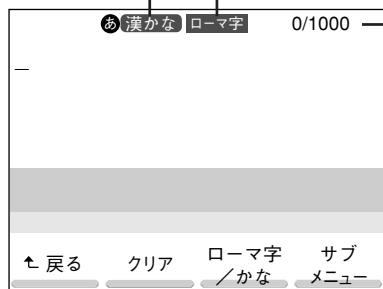
### <入力モード>

かな漢字／半角カナ／英字モードの切り替え

キーボードの[漢／半カナ／英] ボタンを繰り返し押しすと、「漢かな」(かな漢字モード)→「半カナ」(半角カナモード)→「英字」(英字モード)→「漢かな」…の順に入力モードが切り替わります。

※入力する場面により、入力可能な入力モードが異なります。

ファンクションボタン[ローマ字／かな]を押すと、「ローマ字」↔「かなめくり」と表示が切り替わります。



(現在入力文字数) / (入力可能文字数)を示します。

※半角換算、発信元入力時は全角換算

### サブメニュー

ファンクションボタン[サブメニュー]を押すと、以下のようなサブメニューが表示されます。

- 1.定型文挿入
- 2.改行挿入
- 3.絵文字挿入
- 4.記号挿入
- 5.オールクリア

※入力する場面により、表示される項目が異なります。

### <入力方法>

ローマ字入力とかなめくり入力の切り替え

ファンクションボタン[ローマ字／かな]を押すと、ローマ字入力とかなめくり入力を切り替えることができます。

## <文字入力で使うボタン>

押すボタン		機能内容	
キーボード部	英字ボタン((A) ~ (Z))	文字を入力します。	
	記号	かな漢字／半角カナモード	ー、。!?「」(“スペース”)を入力します。
		英字モード	.@_—/・:!”#\$%&’()*+,-;=<=>?[¥]^`{ }を入力します。
	http://	pipopa.ne.jp biglobe.ne.jp .ne.jp .co.jp .com http:// www. .htmlを入力します(英字モード時のみ)。	
	顔文字	顔文字を入力します(→P.111)。	
	変換	入力した文字の変換候補を表示します。変換候補表示中には、繰り返し押しして変換候補を選択することができます。	
	確定 (または 決定)	変換中の文字や選択項目を確定させます。	
	漢/半カナ/英	入力モード(かな漢字モード、半角カナモード、英字モード)を切り替えます。	
クリア	カーソル上の文字(カーソル上に文字がないときは1つ前の文字)を削除するときに押します。		
操作パネル	左右移動ボタン	カーソルを左右に移動させます。変換候補表示中には、繰り返し押しして変換候補を選択することができます。	
	上下移動ボタン	カーソルを上下に移動させます。	
	ダイヤルボタン	数字、*、#が半角で入力されます(全角にしたいときは、[変換] ボタンを押して変換してください)。 メニュー選択時は、選択肢の選択または確定をします。	

\*1 電話帳およびBookmark(タイトル、URL)の入力のときは表示されません。

▶ **英字モードでアルファベットを入力するときは**：英字ボタンを押すと、アルファベットの半角小文字が入力される

- ・全角英字にするときは、[変換] ボタンを押す
  - ・大文字にするときは、同じ英字ボタンを2回押す
- 同じボタンの文字を入力するときは、入力後[▶] ボタンでカーソルを1つ右に移動してから次の文字を入力する



ローマ字入力のかた

<ローマ字入力時の文字入力一覧表>


あ	あ い う え お	は ひ ぶ へ ほ	は ひ ぶ へ ほ	ざ じ ず ぜ ぞ	ざ じ ず ぜ ぞ
	A I U E O		HA HI HU HE HO		ZA ZI ZU ZE ZO
か	あ い う え お	は	ひゃ ひい ひゅ ひえ ひょ	ざ	じゃ じい じゅ じえ じょ
	LA LI LU LE LO		HYA HYI HYU HYE HYO		JYA JYI JYU JYE JYO
か	か き く け こ	は	ふぁ ふう ふえ ふぉ	だ	だ ぢ づ で ど
	KA KI KU KE KO		FA FI FE FO		DA DI DU DE DO
か	きゃ きい きゅ きえ きょ	ま	ふゃ ふい ふゅ ふえ ふょ	だ	ぢゃ ぢい ぢゅ ぢえ ぢょ
	KYA KYI KYU KYE KYO		FYA FYI FYU FYE FYO		DYA DYI DYU DYE DYO
さ	くぁ	ま	みゃ みい みゅ みえ みょ	だ	でゃ दै でゅ दैえ दैょ
	KWA		MYA MYI MYU MYE MYO		DHA DHI DHU DHE DHO
さ	さ し す せ そ	ま	や い ゆ いえ よ	だ	どう
	SA SI SU SE SO		YA YI YU YE YO		DWA
さ	しゃ しい しゅ しえ しょ	や	ゃ い ゅ えよ	ば	ば び ぶ べ ぼ
	SYA SYI SYU SYE SYO		LYA LYI LYU LYE LYO		BYA BYI BYU BYE BYO
さ	SHA SHU SHE SHO	や	XYA XYI XYU XYE XYO	ば	びゃ びい びゅ びえ びょ
					PYA PYI PYU PYE PYO
た	た ち つ て と	ら	ら り る れ ろ	ぱ	ぱ ぴ ぷ ぺ ぽ
	TA TI TU TE TO		RA RI RU RE RO		PA PI PU PE PO
た	ちゃ ちい ちゅ ちえ ちょ	ら	りゃ りい りゅ りえ りょ	ぱ	ぴゃ ぴい ぴゅ ぴえ ぴょ
	TYA TYI TYU TYE TYO		RYA RYI RYU RYE RYO		PYA PYI PYU PYE PYO
た	CYA CYI CYU CYE CYO	わ	わ うえ を	ヴぁ	ヴぁ ヴい ヴ ヴえ ヴぉ
	CHA CHU CHE CHO		WA WI WU WE WO		VA VI VU VE VO
た	つぁ つい つえ つぉ	ん	ん ン*	っ	後ろに子音を2つ続けます
	TSA TSI TSE TSO				[例] だった…DATTA
た	てゃ てい てゅ てえ てょ	ん		っ	っ
	THA THI THU THE THO				LTU (単独で入力するとき)
な	とう	が	が ぎ ぐ げ ご	っ	XTU
	TWU		GYA GYI GYU GYE GYO		
な	な に ぬ ね の	が	ぐぁ		
	NA NI NU NE NO		GWA		
な	にゃ にい にゅ にえ にょ				
	NYA NYI NYU NYE NYO				

\* "ん" はNに続いて子音(K,T,P,S,Z,J,Dなど)がくれば"ん"となります。

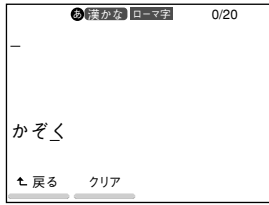
<入力のしかた>

例:「家族」と入力する場合

1 ファンクションボタン[ローマ字/かな]を押し、画面上部の表示を「ローマ字」にする(→P.24)

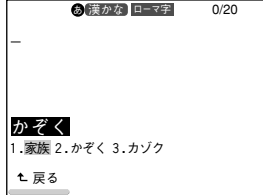
2  と押す  
「かぞく」が表示されます。



▶変換範囲を変えたいときは: [◀][▶]ボタンでカーソルを移動(一番左にある文字を始点にカーソル位置にある文字までを変換できる)する

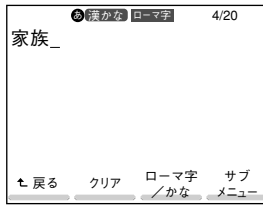


3 **変換** を押す  
変換候補が表示されます。

▶変換範囲を変えたいときは: ファンクションボタン[戻る]を押す(手順2の画面に戻る)。  
[◀][▶]ボタンでカーソルを移動(一番左にある文字を始点にカーソル位置にある文字までを変換できる)し、[変換]ボタンを押す



4 **変換** または  /  で単語を選択し、**確定** または [L] ボタンを押す  
漢字が確定されます。



## かなめくり入力のしかた

### <かなめくり入力時の文字入力一覧表>

かなめくり入力にしたときは、下表を参考にして文字を入力します。

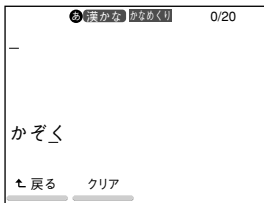
押す回数	キーボード上のボタン											
	あ Q	か W	さ E	た R	な T	は Y	ま U	や I	ら O	わ P	°(濁点) K	°(半濁点) L
1回	あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ	°(濁点)	°(半濁点)
2回	い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	を		
3回	う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	ん		
4回	え	け	せ	て	ね	へ	め	ゃ	れ			
5回	お	こ	そ	と	の	ほ	も	ゅ	ろ			
6回	あ			っ				ょ				
7回	い											
8回	う											
9回	え											
10回	お											

### <入力のしかた>

例:「家族」と入力する場合

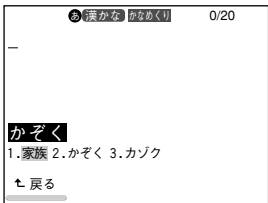
1 ファンクションボタン[ローマ字/かな]を押し、画面上部の表示を「かなめくり」にする(→P.24)

2 か W を1回、 さ E を5回、 ° K を1回、 か W を3回押す  
「かぞく」が表示されます。



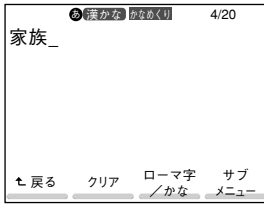
▶変換範囲を変えたいときは(→P.25 手順2)

3 変換 を押す  
変換候補が表示されます。



▶変換範囲を変えたいときは(→P.25 手順3)

4 変換 または ◀ / ▶ □ で単語を選択し、 確定 または [L] ボタンを押す  
漢字が確定されます。



▶同じボタンの文字を続けて入力するときは: 先の文字を入力後[▶]ボタンでカーソルを1つ右に移動してから次の文字を入力する

例:「てつ」と入力する場合

- ① [R] (た) を4回押す(「て」が表示される)
- ② [▶] ボタンを押す(カーソルが1つ右に移動する)
- ③ [R] (た) を3回押す(「つ」が表示される)

### 文字入力時に行える操作

文字入力時のサブメニュー(→P.24)から、次のような操作が行えます。

- ・起動される場面により、表示される項目が異なります。
- ・Lモードをご利用の場合は、定型文を編集することができます(→P.84)。
- ・定形文挿入時、入力可能な文字数を超えた場合は、入力可能な文字数だけ挿入されます。

#### <改行を入力するには>

文字入力中に  
ファンクションボタン ➡ 「改行挿入」を選択 ➡ 確定  
[サブメニュー]

#### <定型文/絵文字/記号を入力するには>

文字入力中に  
ファンクションボタン ➡ 「絵文字挿入」などを選択 ➡ 確定 ➡

➡ ◀ / ▶ / □ 文字や文を選択 ➡  
➡ 確定

▶文字入力画面に戻るには: ファンクションボタン[戻る]を押す

▶入力できる定型文/絵文字/記号は(→P.111)

#### <顔文字を入力するには>

文字入力中に (°o°) ➡  
顔文字

➡ ◀ / ▶ / □ 顔文字を選択 ➡  
➡ 確定

▶入力できる顔文字は(→P.111)

#### <文字をすべて消去するには>

ファンクションボタン ➡ 「オールクリア」を選択 ➡ 確定  
[サブメニュー]

## 子機で文字を入力する

## &lt;文字入力一覧表&gt;

下表を参考にして、子機のダイヤルボタンを使って文字を入力します。

押す回数	ダイヤルボタン									
	① <sup>ア</sup>	② <sup>カ</sup> <sub>ABC</sub>	③ <sup>サ</sup> <sub>DEF</sub>	④ <sup>タ</sup> <sub>GHI</sub>	⑤ <sup>ナ</sup> <sub>JKL</sub>	⑥ <sup>ハ</sup> <sub>MNO</sub>	⑦ <sup>マ</sup> <sub>PRQRS</sub>	⑧ <sup>ヤ</sup> <sub>TUV</sub>	⑨ <sup>ラ</sup> <sub>WXYZ</sub>	⑩ <sup>ワ</sup> <sub>0</sub>
1回	ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	ワ
2回	イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	ユ	リ	ヲ
3回	ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ヨ	ル	ン
4回	エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	8	レ	0
5回	オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	T	ロ	"
6回	1	2	3	4	5	6	7	U	9	°
7回	ア	A	D	G	J	M	P	V	W	-
8回	イ	B	E	H	K	N	Q	ヤ	X	.
9回	ウ	C	F	I	L	O	R	ユ	Y	(空白)
10回	エ			ツ			S	ヨ	Z	(
11回	オ									)
12回										.
13回										'
14回										*
15回										#
16回										&

## &lt;入力のしかた&gt;

例:「テツヤ8」と入力する場合

1 ④<sup>タ</sup><sub>GHI</sub> を4回押す

2  [➤] を押す

「テ」「ツ」のように同じボタンの文字を続けて入力するときは、先の文字を入力後[➤]ボタンでカーソルを1つ右に移動してから次の文字を入力します。

3 ④<sup>タ</sup><sub>GHI</sub> を3回押す

4 ⑧<sup>ヤ</sup><sub>TUV</sub> を押す

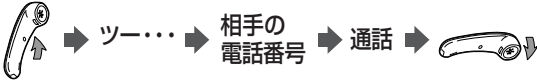
5  [➤] を押す

6 ⑧<sup>ヤ</sup><sub>TUV</sub> を4回押す

## 親機で電話をかける

・子機使用中（「内線2 使用中」と表示されるとき）、コピー中、ファクスの送受信、登録・設定中、Lモード画面表示中のときは、電話をかけられません。

### 受話器をとってかける



- ▶ **番号を間違えたら**：一度受話器を戻し、もう一度ダイヤルする
- ▶ **番号を確認してからかけるには**：受話器を置いたままダイヤルしたあと、受話器をとる
- ▶ **相手の声を大きくしたい（受話音量）**：通話中にキーボード部の「音量 大」ボタンを繰り返し押しすと大きくなり、「音量 小」ボタンを繰り返し押しすと小さくなる

### 受話器を置いたままかける（オンフックダイヤル）



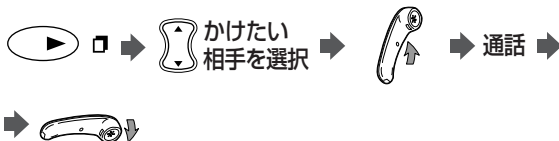
- ▶ **番号を間違えたら**：「オンフック」ボタンを押し、最初からやり直す

### 【オンフック】ボタンの使いかた（通話中）

- ・親機で通話中に「オンフック」ボタンを押してから受話器を戻すと、通話が切れずにスピーカから相手の声が聞こえます。
- ・オンフック中は、こちらの声は相手に聞こえません。
- ・オンフック中に、再度「オンフック」ボタンを押すと通話が切れます。

### 同じ相手にもう一度かける（リダイヤル）

・最新のものから最大 10 件まで、1 件につき最大 32 桁まで電話番号が記憶されています。  
 ・リダイヤルには、ファクス送信先や話し中で通話できなかった相手も含まれます。  
 ・子機でかけた相手に、親機からリダイヤルすることはできません。



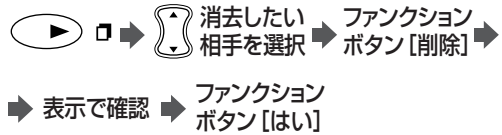
▶ **らくらく電話帳（→下記）でかけたときは**：リダイヤル一覧に相手先名が表示される

▶ **受話器をとってからかけるには**

- ① 受話器をとって「▶」ボタンを押す
- ② 「▲」「▼」ボタンでかけたい相手を選択する
- ③ 「スタート／コピー」ボタンを押す

▶ **リダイヤルデータの表示を切り替えるには**：リダイヤル履歴で相手先を表示しているときに、ファンクションボタン「表示切替」を押すと、相手先名表示と電話番号表示を切り替えることができる

### リダイヤルから電話番号を消去するには



▶ **表示で確認** ▶ ファンクションボタン「はい」

▶ **消去を中止するには**：ファンクションボタン「いいえ」または「ストップ」ボタンを押す

### らくらく電話帳でかける

- ・あらかじめ電話帳に登録してください（→P.33）。最大 100 件まで登録できます。
- ・子機で登録した電話帳は、親機では使えません。



▶ **電話帳の表示順は**：よみがなが「なし→カナ（50音順）→空白+カナ→数字・記号→アルファベット（大文字）→アルファベット（小文字）」の順に表示される（一部の記号はアルファベットのあとに表示される）

▶ **受話器をとってかけるには**：

- ① 受話器をとって「▲」「▼」ボタンでかけたい相手を選択する
- ② 「スタート／コピー」ボタンを押す

▶ **電話帳が 1 件も登録されていないときは**：「電話番号が登録されていません 登録しますか?」と表示される。登録する場合は、ファンクションボタン「はい」を押して電話帳登録画面を表示させ、登録操作を行う（親機に登録する→P.34）

## 👉 かけたい相手をすばやく探すには

ディスプレイに相手先が表示されているときに、探したい相手先名(電話帳の「よみがな」)の先頭の文字が含まれている行が割り当てられたキーボード部の上段のボタン、またはダイヤルボタンを押します。

- ・該当する行に登録がない場合は、ボタンを押しても表示は変わりません。
- ・同じ行に複数の相手先が登録されている(例:「佐藤」「鈴木」…)ときは、[▲][▼]ボタンで相手先を選択してください。

### <キーボード部で探すには>

キーボード部の上段ボタン([Q](あ)~[P](わ)を押します。

例:「佐藤」さんを探すときは[E](さ)を押す

### <ダイヤルボタンで探すには>

ダイヤルボタンの文字の割り当ては次のとおりです。

[1]…あ行 [2]…か行 [3]…さ行 [4]…た行 [5]…な行

[6]…は行 [7]…ま行 [8]…や行 [9]…ら行 [0]…わ行

例:「佐藤」さんを探すときは[3](さ)を押す

## 保留にする

通話の途中で相手に待ってもらう間、メロディ音を流すことができます。メロディ音が流れている間は、こちらの声は相手に聞こえません。

- ・10分以上保留にしたら自動的に保留が解除され、電話は切れます。
- ・内線通話の保留はできません。
- ・保留中に受話器を戻しても、電話は切れません。受話器をとると、もう一度話しができます。


通話中に  → 保留中 → もう一度  話すときは 

▶ **親機で保留にした電話を子機でとりたいとき**: 受話器を戻し、子機をとって[通話]ボタンを押すと話しができる

▶ **保留メロディを変えたい**(保留メロディ→P.94)

## 親機で電話を受ける

- ・ナンバーディスプレイを利用すると、相手の電話番号をディスプレイで確認してから電話に出ることができます。

ベルが鳴る →  → 通話 → 

▶ **相手の声を大きくしたい(受話音量)**: 通話中にキーボード部の[音量 大]ボタンを繰り返し押しすと大きくなり、[音量 小]ボタンを繰り返し押しすと小さくなる

▶ **ベル音・メロディを変えたい**(親機ベル音・メロディ→P.92)

▶ **ベル音量を調節するには**: 待ち受け中または着信中にキーボード部の[音量 大]ボタンを繰り返し押しすと大きくなり、[音量 小]ボタンを繰り返し押しすと小さくなる  
内線呼び出し時のベル音量も同時に切り替わる

## 👉 「ポーポー…」という音が聞こえたら

- ・「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください」というメッセージが流れたら、受話器を戻してください。
- ・ファクスかんたん受信を「しない」に設定しているとき(→P.41)は、メッセージが流れません。この場合は、下記の「無音だったら」と同じ操作をしてください。

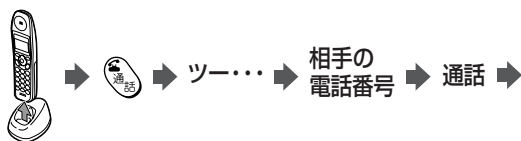
## 👉 無音だったら

ファクスかもしれません。[スタート/コピー]ボタンを押してみてください。

## 子機で電話をかける

- ・親機が使用中(通話中、ファクスの送受信、登録・設定中、Lモード画面表示中、コピー中など)のときや、他の子機が通話中のときは、電話をかけられません。
- ・通話中に親機の[スタート/コピー]ボタンを押すと、通話は切れます。

## 子機をとってかける



▶ **番号を間違えたら**: [切]ボタンを押してから[通話]ボタンを押し、「ツー…」という音が聞こえたら相手の電話番号をダイヤルする

▶ **「ツー…」と聞こえないときは**: もう一度[切]ボタンを押してから[通話]ボタンを押す

▶ **充電器に置いていないとき**: [通話]ボタンを押し、「ツー…」という音が聞こえたら相手の電話番号をダイヤルする

▶ **番号を確認してからかけるには**: 相手の電話番号をダイヤルしてから[通話]ボタンを押す。番号を間違えたら[保留/消去]ボタンを押すごとに1文字ずつ取り消すことができる

▶ **相手の声を大きくしたい(受話音量)**: 通話中に[>]ボタンを繰り返し押し。「標準」→「大」→「特大」→「標準」…の順に受話音量が切り替わる

▶ **受話音量を「特大」にしても音が小さい**: 受話音量を全体的に大きくする(子機の受話音量→P.95)

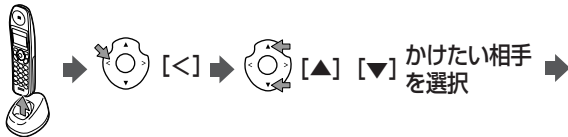
▶ **子機のボタンを押したときの音を消すには**(キータッチトーン→P.103)

## 👉 クイック通話とは

- ・「ON」のとき  
子機を充電器からとるだけでダイヤルできます。または電話に出られます。
  - ・「OFF」のとき(お買い求め時)  
子機を充電器からとり、[通話] ボタンを押してダイヤルします。または電話に出ます。
- ▶ **クイック通話の設定を変更する** (クイック通話→P.103)

## 同じ相手にもう一度かける (リダイヤル)

- ・最新のものから最大 10 件、1 件につき最大 20 桁まで電話番号が記憶されています。
- ・リダイヤルには、話し中で通話できなかった相手も含まれます。
- ・親機でかけた相手やファクスを送った相手に、子機からリダイヤルすることはできません。



## 👉 リダイヤルから電話番号を消去するには

- 
- ▶ **保留消去** 表示で確認 ▶ **保留消去** または **メニュー**
- ▶ **消去を中止するには**：確認メッセージを表示中に[▲]または[▼]ボタンを押し、「チュウシ シマスカ?」と表示されたら[メニュー]ボタンを押す

## らくらく電話帳でかける

- ・あらかじめ電話帳に登録してください(→P.33)。最大 80 件まで登録できます。
- ・親機で登録した電話帳は、子機の電話帳に転送しなければ使えません(電話帳転送→P.36)。



▶ **電話帳の表示順は**：よみがなが「空白+文字→数字→カナ(50音順)→アルファベット→記号→相手先名のない電話番号」の順に表示される

## 👉 かけたい相手をすばやく探すには

- ・ディスプレイに相手先が表示されているときに、探したい相手先名の先頭の文字が含まれている行が割り当てられたダイヤルボタンを押します。
  - ・該当する行に登録がない場合は、ダイヤルボタンを押しても表示は変わりません。
- 例：「サトウ」さんを探すときは[3] (サ)を押す  
同じ行に複数の相手先が登録されているときは、同じダイヤルボタンを押すたびに、その行の相手先が順番に表示されます。
- 例：[3] (サ)を押すたびに「サトウ」「スズキ」…
- ・相手先名が記号で始まる場合は、[0]を押すと“-”や“(“、“\*”などで始まる相手先名が表示されます。記号で始まる相手先を表示中には、[▼]ボタンを押すと次の相手先が表示されます。

## ワンタッチダイヤルでかける

[ワンタッチ] ボタンを押すだけで電話をかけることができます。

- ・あらかじめワンタッチダイヤルに登録してください(→P.37)。登録できる相手先は 1 件です。



## 保留にする

通話の途中で相手に待ってもらう間、メロディ音を流すことができます。メロディ音が流れている間は、こちらの声は相手には聞こえません。

- ・10分以上保留にしたまましていると、自動的に保留が解除され、電話は切れます。
- ・内線電話の保留はできません。
- ・保留中に子機を充電器に戻しても、電話は切れません。
- ・クイック通話(→左記)が「ON」のときは子機を充電器からとると保留が解除され、「OFF」のときは子機を充電器からとって[通話] ボタンを押すと保留が解除されて、もう一度話しがができます。

通話中に **保留消去** ▶ **保留中** ▶ もう一度話すときは **保留消去**

## ▶ 通話中

▶ **子機で保留にした電話を親機でとりたいとき**：子機を充電器に戻すか[切] ボタンを押したあと親機の手話器をとると話しがができる

▶ **保留メロディを変えたい**(保留メロディ→P.94)

## 子機で電話を受ける

- ・子機のベルは、親機より少し遅れて鳴り、このとき「通話」ボタンが点滅します。
- ・通話中に親機の「スタート/コピー」ボタンを押すと、通話は切れます。



- ▶ **充電器に置いていないときは**：ベルが鳴っているときに「通話」ボタンを押すと、電話に出られる
- ▶ **相手の声を大きくしたい**（受話音量→P.29）
- ▶ **ベル音・メロディを変えたい**（子機ベル音・メロディ→P.92）
- ▶ **ベル音量を調節するには**：待ち受け中に「>」ボタンを2秒以上押すたびに「ピツ」または「ピー」（OFFのとき）と音がして、音量が変わる（「大」→「小」→「OFF」→「大」…の順）内線呼び出し時のベル音量も同時に切り替わる

### 「ポーポー…」という音が聞こえたら

- ・「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください。」というメッセージが流れたら、「切」ボタンを押すか、子機を充電器に戻してください。
- ・ファクスかんたん受信を「しない」に設定しているとき（→P.41）は、メッセージが流れません。この場合は、下記の「無音だったら」と同じ操作をしてください。

### 無音だったら

ファクスかもしれません。「内線」ボタンを押してから[6]を押してみてください。

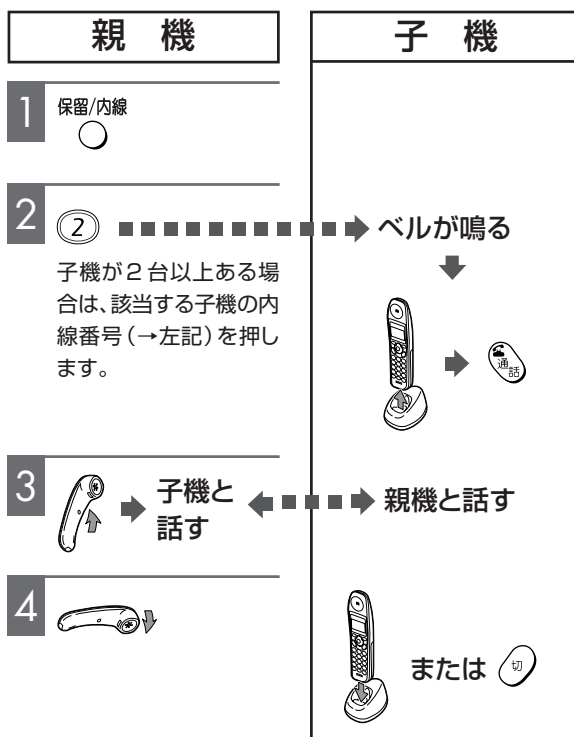
## 親機と子機で通話する（内線通話）

親機と子機で話しをしたり、子機どうして話しをしたりすること（内線通話）ができます。内線通話をかけるときは、親機や子機に割り当てられた内線番号をダイヤルします。

- ・内線番号1：親機
  - ・内線番号2：付属の子機（1台目）
  - ・内線番号3：増設した子機（2台目）
  - ・内線番号4：増設した子機（3台目）
- ・SPL-S50W/S505VWでは、内線3も付属の子機となります。
  - ・どちらかが外線通話中は、内線通話はできません。
  - ・三者通話はできません。
  - ・内線通話は保留できません。
  - ・増設子機は別売です（子機を増設するときは→P.110）。

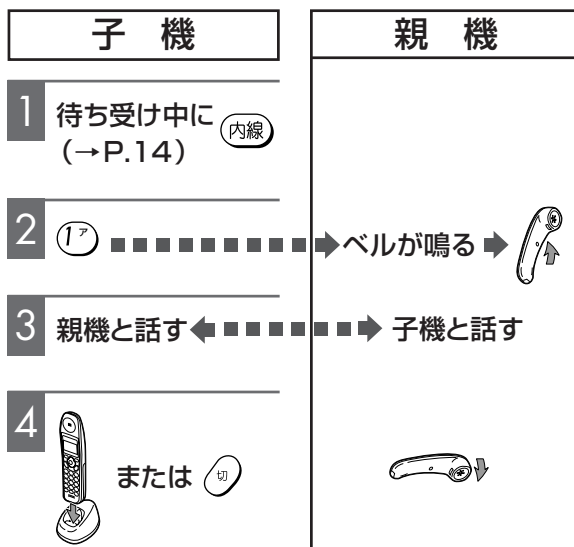
- ▶ **すべての親機・子機を呼び出すには**：内線番号のかわりに「\*」を押す

## 親機から子機にかける



- ▶ **内線通話中に外線に出るには**：内線の呼び出し中や、内線通話中に外線がかかってくると、内線の呼び出しや内線通話が中断し、外線のベルが鳴る。外線に出るときは、親機は一度受話器を戻して再度受話器をとる。子機は「通話」ボタンを押す

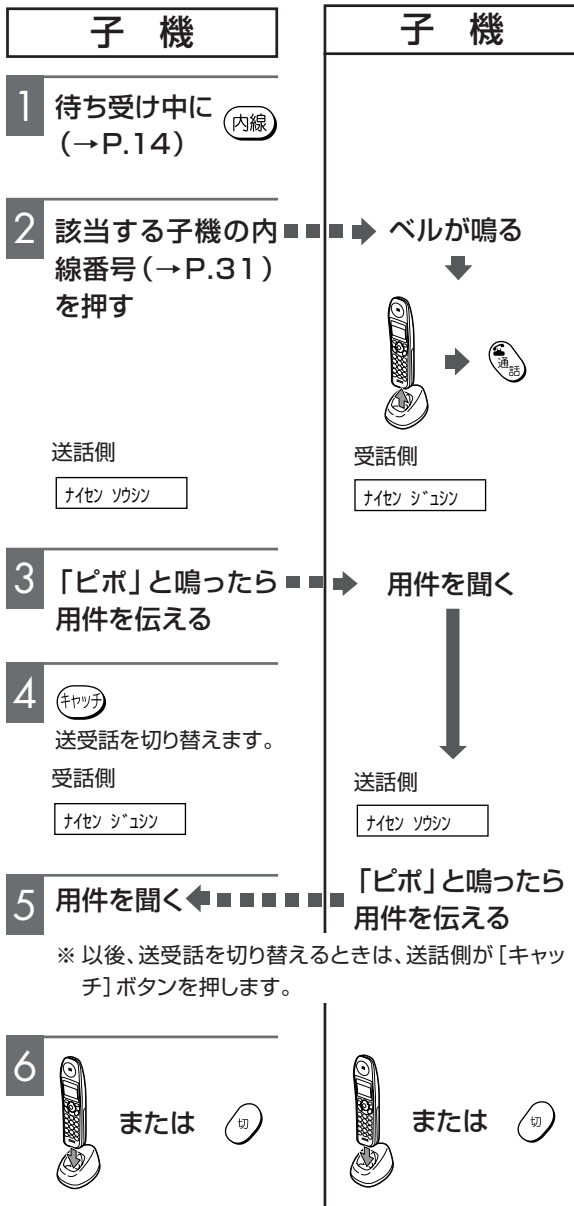
## 子機から親機にかける



## 子機から子機にかける

子機を2台以上お使いの場合は、子機と子機で簡易子機間通話(トランシーバー方式)ができます。

- ・親機または他の子機で外線通話中は、簡易子機間通話はできません。
- ・三者通話はできません。
- ・簡易子機間通話は保留できません。
- ・相手と同時に話すことはできません。送話側が話したあと[キャッチ]ボタンを押すと、送話側と受話側が入れ替わります。
- ・送受話の切り替えおよび終話は、送話側の子機のみ行えます。
- ・送話側が話せる時間は、最大50秒間です。50秒を過ぎると、簡易子機間通話は自動的に終了します。

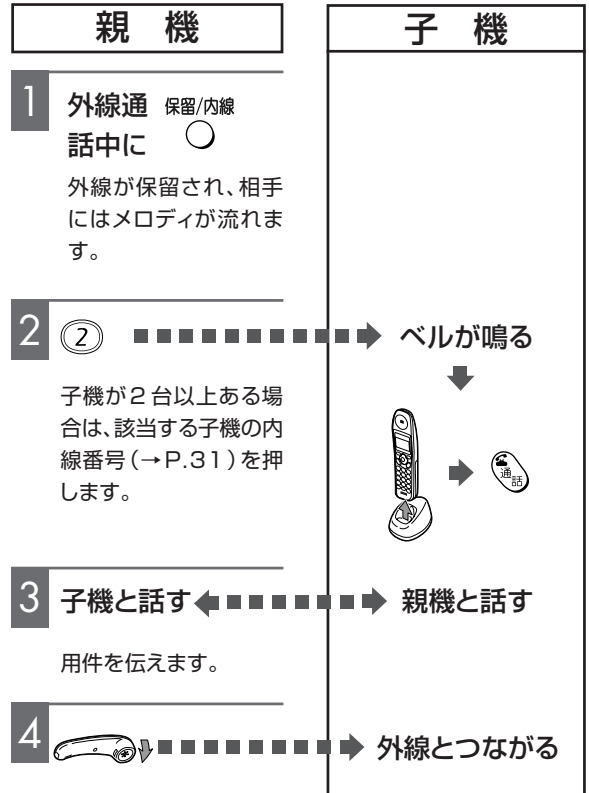


▶簡易子機間通話中に外線がかかってくると：内線の呼び出しや内線通話が中断し、外線のベルが鳴る

## 外線電話を他の電話機に転送する(外線転送)

外線電話を親機から子機に、または子機から親機や他の子機に転送することができます。

### 親機から子機に転送する

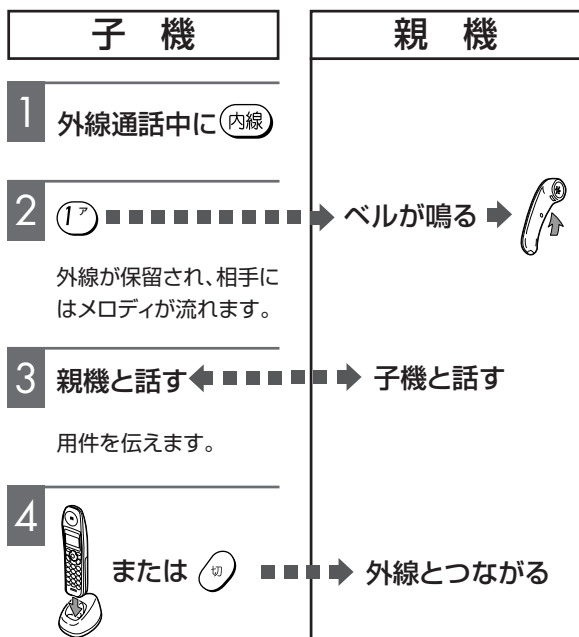


▶子機が出ないときは：[保留/内線]ボタンを押すと、外線との通話に戻る

▶子機に切り替えたい(1人で転送する)：外線と通話中に[保留/内線]ボタンを押し、受話器を戻してから子機をとり、[通話]ボタンを押すと、子機で外線と通話ができる



## 子機から親機に転送する

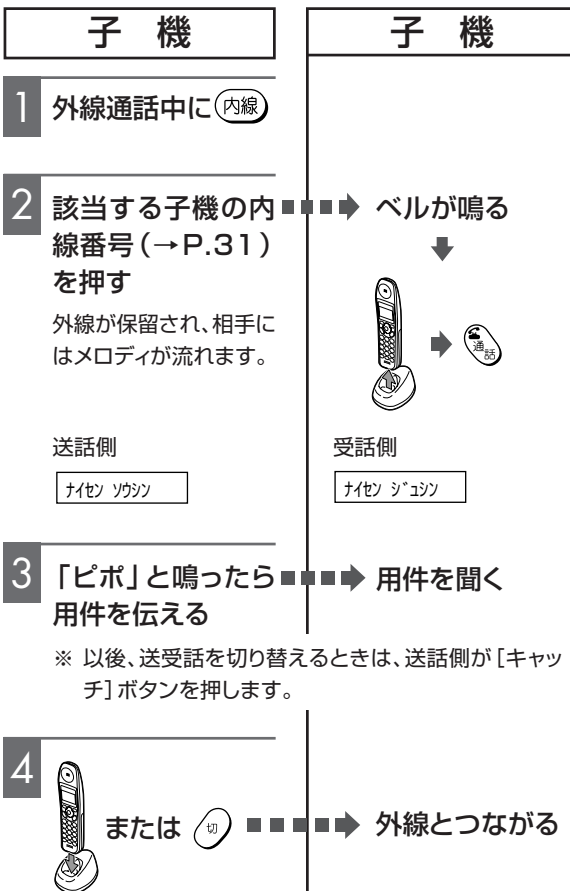


- ▶ **親機が出ないときは**：[内線] ボタンを押すと、外線との通話に戻る
- ▶ **親機に切り替えたい(1人で転送する)**：外線と通話中に[保留/消去]ボタンを押し、子機を充電器に戻すか[切]ボタンを押したあと、親機の手話器をとると親機で外線と通話ができる

## 子機から子機に転送する

子機を2台以上お使いの場合は、子機と子機で簡易子機間通話(トランシーバー方式)ができます。

- ・相手と同時に話すことはできません。送話側が話したあと[キャッチ]ボタンを押すと、送話側と受話側が入れ替わります。
- ・送受話の切り替えおよび転送は、送話側の子機のみ行えます。
- ・送話側が話せる時間は、最大50秒間です。50秒を過ぎると、自動的に外線が受話側に転送されます。



- ▶ **子機が出ないときは**：[内線] ボタンを押すと、外線との通話に戻る

## らくらく電話帳に登録する

電話やファクスをよく送る相手先を登録できます。

- ・「, (半角コンマ)」は入力できません。
- ・電話帳に登録/変更/削除後に電源を切る場合は、「保存中」の表示が消えて待ち受け画面に戻ってから電源を切ってください。待ち受け画面に戻る前に電源を切ると、変更されたデータは保存されません。
- ・ナンバー・ディスプレイ(→P.54)を利用している方は、必ず市外局番から入力してください。また、「\*」「#」「- (ポーズ)」「 (スペース)」は入力しないでください。
- ・ターミナルアダプタに本機を接続している場合(→P.104)は、「- (ポーズ)」を入れると電話がかかれなくなることがあります。

## 親機に登録する

・親機の電話帳は最大100件、相手先名は1件につき全角10文字/半角20文字まで、よみがなは半角20文字まで、電話番号は32桁まで、メールアドレスは半角50文字まで登録できます。

### 1 を押し、 を押す

電話帳登録画面が表示されます。

電話帳登録		Lボタンで編集
名前:	<input type="text"/>	
よみがな:	<input type="text"/>	
電話番号:	<input type="text"/>	
メールアドレス:	<input type="text"/>	
	<input type="text"/>	

### 2 で登録する項目を選択し、 を押す

「名前」「よみがな」「電話番号」「メールアドレス」から選択します。

### 3 項目の内容を入力し、 を押す

キーボードで文字を入力するには(→P.24)

### 4 続けて他の項目を登録するときは、手順2~3を繰り返す

### 5 ファンクションボタン[登録]を押す

「〇〇さんを登録しました」と表示されたあと、電話帳の一覧が表示されます。

続けて電話帳を登録するときは、[電話帳登録]ボタンを押し、手順2~5を繰り返します。

### 6 登録を終了するときは を押す

「保存中」と表示され、待ち受け画面に戻ります。

- ▶ **入力間違いのときは**：ファンクションボタン[クリア]またはキーボード部の[クリア]ボタンを押し直す
- ▶ **登録を途中でやめるときは**：[ストップ]ボタンを押す
- ▶ **「電話帳がいっぱいです」と表示されたときは**：不要な相手先を削除して(→P.35)、新しい相手先を登録する
- ▶ **電話番号に「- (ポーズ) 」(約3秒間間隔をあけること)を入力するには**：ファンクションボタン[ポーズ]を押す
- ▶ **登録した内容を確認するには**：電話帳の一覧をプリントする(電話番号リスト→P.91)
- ▶ **ナンバー・ディスプレイの着信データを電話帳に登録するには**(かんたん登録→P.56)

## 親機のリダイヤル表示から登録する

### 1 を押す

### 2 で登録する相手先を選択し、ファンクションボタン[登録]を押す

電話帳登録画面が表示されます。

電話帳登録		Lボタンで編集
名前:	<input type="text"/>	
よみがな:	<input type="text"/>	
電話番号:	<input type="text"/>	
0312345678		
メールアドレス:	<input type="text"/>	
	<input type="text"/>	

### 3 で入力する項目を選択し、 を押す

### 4 項目の内容を入力し、 を押す

キーボードで文字を入力するには(→P.24)

### 5 続けて他の項目を入力するときは、手順3~4を繰り返す

### 6 ファンクションボタン[登録]を押す

「〇〇さんを登録しました」と表示されたあと、リダイヤル一覧表示に戻ります。

### 7 登録を終了するときは を押す

「保存中」と表示され、待ち受け画面に戻ります。

## 親機の電話帳の登録内容を変更する

### 1 を押して電話帳の一覧を表示する

### 2 で変更する相手先を選択し、ファンクションボタン[変更/削除]を押す

かけたい相手をすばやく探すには(→P.29)


電話帳		1/12
電話帳登録ボタンを押すと登録できます		
名前	電話番号	メモ
鈴木	0312345678	
田中	0612345678	☑

### 3 ファンクションボタン[変更]を押す

登録内容が表示されます。


電話帳登録		Lボタンで編集
名前:	<input type="text" value="鈴木"/>	
よみがな:	<input type="text" value="双"/>	
電話番号:	<input type="text" value="0312345678"/>	
メールアドレス:	<input type="text"/>	
	<input type="text"/>	

### 4 で変更する項目を選択し、 を押す


5 項目の内容を変更し、を押す  
キーボードで文字を入力するには(→P.24)


6 続けて他の項目を変更するときは、手順4～5を繰り返す

7 ファンクションボタン[登録]を押す  
「〇〇さんを登録しました」と表示されたあと、電話帳の一覧が表示されます。

8 操作を終了するときは を押す  
「保存中」と表示され、待ち受け画面に戻ります。


### 親機の電話帳の登録内容を削除する

1 を押して相手先の一覧を表示する

2 で削除する相手先を選択し、ファンクションボタン[変更/削除]を押す  
かけたい相手をすばやく探すには(→P.29)

3 ファンクションボタン[削除]を押す

4 ファンクションボタン[はい]を押す  
削除を中止したいときは、ファンクションボタン[いいえ]を押します。  
「〇〇さんを削除しました」と表示されたあと、電話帳の一覧が表示されます。

5 操作を終了するときは を押す  
「保存中」と表示され、待ち受け画面に戻ります。

### 子機に登録する

- ・子機の電話帳は最大80件、相手先名は1件につき12文字まで、電話番号は16桁まで登録できます。
- ・各ボタンは60秒以内に操作してください。60秒経過すると「ピーピーピー」という音がして登録が中断されます。中断されたときは、手順1からやり直してください。


1 を押す デ`ンワ`ン`ソウ?

2 を押す `ナ`マ`I?

3 相手先の名前を入力する ニッホ`ン`テン`注  
子機で文字を入力するには(→P.27)

4 を押す \_デ`ンワ`ン`ソウ?

5 相手先の電話番号を市外局番から入力する  
12桁を超えて入力したときはスクロール表示されます。

6 を押す


▶ 入力を間違えたときは：[保留/消去]ボタンを押して入力し直す。[保留/消去]ボタンを2秒以上押し続けると、表示されているすべての文字が消える

▶ 登録を途中でやめるときは：[切]ボタンを押す

▶ 「デンワチョウ フル」と表示されたときは：不要な相手先を削除して(→P.36)、新しい相手先を登録する

▶ 電話番号に「- (ポーズ)」(約3秒間隔をあけること)を入力するには：[キャッチ]ボタンを押す

### 子機のリダイヤル表示から登録する


1 待ち受け中(→P.14)に  [<]を押す

2  [▲] [▼]で登録する相手先を選択する

3 「子機に登録する」の手順2～6を行う(→左記)

### 子機の電話帳の登録内容を変更する


1  [▲] [▼]で変更したい相手先を選択する ニッホ`ン`テン`ソキ

2 を押す ニッホ`ン`テン`ソキ  
名前を変更しないときは、手順5に進んでください。

3  [<] [>]で、変更したい文字を点滅させる

4 名前を入力し直す  
子機で文字を入力するには(→P.27)  
文字や数字を消すには(→P.36)

5 を押す 0312345678  
電話番号を変更しないときは、手順8に進んでください。

6  [<] [>]で、変更したい数字を点滅させる

## 7 番号を入力し直す

## 8 を押す

▶ **文字や数字を消すには**：点滅中に[保留/消去]ボタンを押すと、文字が1文字消える。[保留/消去]ボタンを2秒以上押し続けると、表示されているすべての文字や数字が消える

▶ **登録を途中でやめるときは**：[切]ボタンを押す

### 子機の電話帳の登録内容を消去する

## 1 [▲] [▼]で消去したい相手先を選択する

## 2 を押す

## 3 または を押す

▶ **消去を途中でやめるときは**：手順2のあと[▲]または[▼]ボタンを押し、「チュウシ シマスカ?」と表示されたら[メニュー]ボタンを押す

### 親機の電話帳を子機に転送する（電話帳転送）

親機に登録した電話帳の内容を、子機に転送することができます。電話帳の転送のしかたには次の2つがあります。

- ・電話帳の内容を一度に全部転送する（一斉転送）
- ・1件ずつ転送する（個別転送）

転送した内容は、子機の電話帳に追加されます。

- ・子機から親機には転送できません。
- ・転送されるのは「よみがな」と「電話番号」です。「名前」と「メールアドレス」は転送されません。
- ・「よみがな」に子機で入力できない文字（アルファベットの小文字や記号の一部）が使われているときは、「よみがな」は転送されません。
- ・17桁以上の電話番号は転送されません。
- ・子機に同じ相手先名と電話番号が登録されているときは転送されません。
- ・子機の電話帳がすでに80件登録されていると転送できません。
- ・子機の電話帳の登録件数が80件になった時点で転送は終了します。
- ・転送中に着信があったり、エラーが発生したときは、その時点で転送を終了します。
- ・転送中、相手の子機には「テンソウチュウ」と表示され、使用できません。
- ・登録内容が転送できないと「異常終了しました」と表示されます。そのあと待ち受け画面に戻ります。

### 一度に転送する（一斉転送）

## 1 ファンクションボタン[機能]を押す

## 2 で「4.登録メニュー」を選択し、 を押す

## 3 で「5.電話帳転送」を選択し、 を押す

## 4 で「1.一斉」を選択し、 を押す

## 5 を押す

「転送件数/登録件数」が表示されます。

## 6 子機の電話帳の内容を見て、正しく転送されたことを確認する

- ▶ **子機が2台以上あるときは**：手順4のあと、転送したい子機の内線番号を選択し、[L]ボタンを押す
- ▶ **「転送終了しました ××件転送できません」と表示されたときは**：電話番号が16桁以内か、または子機の電話帳が80件登録されていないか確認し、転送されなかった電話帳の内容を個別転送するか、再度一斉転送し直す

### 1件ずつ転送する（個別転送）

## 1 ファンクションボタン[機能]を押す

## 2 で「4.登録メニュー」を選択し、 を押す

## 3 で「5.電話帳転送」を選択し、 を押す

## 4 で「2.個別」を選択し、 を押す

## 5 で転送する相手先を選択し、 を押す

## 6 を押す

続けて転送したいときは、手順5～6を繰り返します。

## 7 転送を終了するときは を押す

## 8 子機の電話帳の内容を見て、正しく転送されたことを確認する

- ▶ **子機が2台以上あるときは**：手順4のあと、転送したい子機の内線番号を選択し、[L]ボタンを押す

## 子機のワンタッチダイヤルに登録する

よく電話をかける相手先を登録できます。

- ・登録できる相手先は1件です。相手先名は12文字まで、電話番号は最大16桁まで登録できます。
- ・親機では登録できません。
- ・ナンバー・ディスプレイ(→P.54)を利用している方は、必ず市外局番から入力してください。また、「\*」「#」「- (ポーズ)」「 (スペース)」は入力しないでください。

### 1 待ち受け中(→P.14)に を押す

### 2 **【▲】【▼】**で「ワンタッチダイヤル」を表示させる

### 3 を押す

名前を入力しないときは、もう1度[メニュー]ボタンを押して手順5に進んでください。

### 4 相手先の名前を入力する

子機で文字を入力するには(→P.27)

### 5 を押す

### 6 相手先の電話番号を市外局番から入力する

12桁を超えて入力したときはスクロール表示されます。

### 7 を押す

- ▶ **入力間違えたときは**：[保留/消去]ボタンを押して入力し直す。[保留/消去]ボタンを2秒以上押し続けると、表示されているすべての文字が消える


## 通話中の会話を録音する(通話録音)

親機で通話中の会話を録音することができます。メモのかわりにご利用ください。また、録音内容を相手に聞かせることもできます。

### 通話録音をする

- ・子機では通話録音できません。
- ・内線電話は、通話録音できません。
- ・録音時間の残りが約20秒以内のときは、通話録音できません。
- ・通話録音の1件は留守電の用件1件分としてカウントされます。留守電の用件と合わせた合計が約15分または最大30件まで録音できます。
- ・自分で録音した応答メッセージや受信したファクスの内容が残っていると、録音できる時間は少なくなります。
- ・録音開始時の「ピー」という音は、相手側にも聞こえます。これは、無断で通話を録音すると、プライバシーの侵害となることがあるためです。

通話中に  
ファンクションボタン[録音] → ピー → 通話録音 →

終了する ストップ  
ときは 

- ▶ **通話を保留したいときは**：通話録音中は、保留できないため、通話録音を終了してから保留にする

### 録音の途中でメモリがいっぱいになったときは

録音の途中でメモリがいっぱいになると、「メモリがいっぱいです」というメッセージが流れ、画面に「メモリがいっぱいです」と表示されます。メモリがいっぱいになると、録音は中断されません。

### 通話録音した会話を聞く/不要な用件を消去するには

通話録音した内容は、留守番電話に録音した用件と同じ操作で再生/消去することができます。

- ▶ **録音された用件を聞く**：親機で(→P.49) 子機で(→P.50)
- ▶ **不要な用件を消去する**：親機で(→P.50) 子機で(→P.51)

## 通話中の相手に録音内容を聞かせる

通話録音した内容を再生し、相手に聞かせることができます。このとき、留守番電話に録音されている用件があると、その内容も再生されます。

- ▶ 子機では、録音内容を相手に聞かせることはできません。

通話中に  → 再生 → 終了する ストップ  
ときは 

- ▶ **再生中の操作**(→P.49)

## トーン信号に切り替える

ダイヤル回線をご利用の方だけお読みください。テレホンサービスやファクス情報サービスなどを利用するときに操作してください。

- ▶ この操作は、一時的にトーン(プッシュ)信号を送出するための操作です。電話を切ると元に戻ります。

電話をかける → 親機は  子機は  → ダイヤルボタンを押す  
(トーン信号で送られる)

# ファクス/コピー

## ファクス/コピーの前に

### 読み取れる原稿のサイズと厚さ

1枚だけセットする場合と2枚以上セットする場合で、読み取れる原稿の長さや厚さが異なります。

	1枚だけセットする場合	2枚以上セットする場合
最大	257(幅)×1000(長さ)mm*	257(幅)×364(長さ)mm (B4サイズ)
最小	128(幅)×128(長さ)mm	128(幅)×128(長さ)mm
厚さ	0.05~0.15mm	0.065~0.10mm

\* シングルコピーの場合はA4サイズ、マルチコピーの場合はB4サイズまでです(→P.44)。

この取扱説明書の本ページの厚さが0.08mmです。

### そのままでは読み取れない原稿

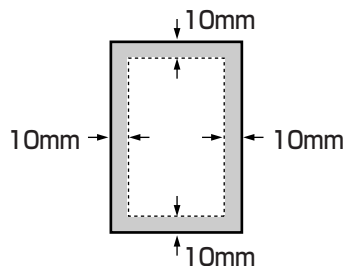
次のような原稿は、あらかじめ普通紙に複写機でコピーしておくか、またはハンドスキャナを使ってください(→P.45)。

読み取れない原稿	複写機でコピーした原稿	ハンドスキャナ
フィルムやトレーシングペーパーのような透明なもの	○	○*
破れたり、しわが入ったり、丸まった紙	○	○
感熱紙、感圧紙、裏カーボン紙などの化学処理した紙	○	○
ノリやテープで貼り合せた紙	○	×
小さすぎる紙 (128×128mm未満)	○	○*
薄すぎる紙 (0.05mm未満)	○	○*
厚すぎる紙 (0.15mmを超える紙)	○	○

\* 白い紙などの上に原稿を置いて読み取ってください。

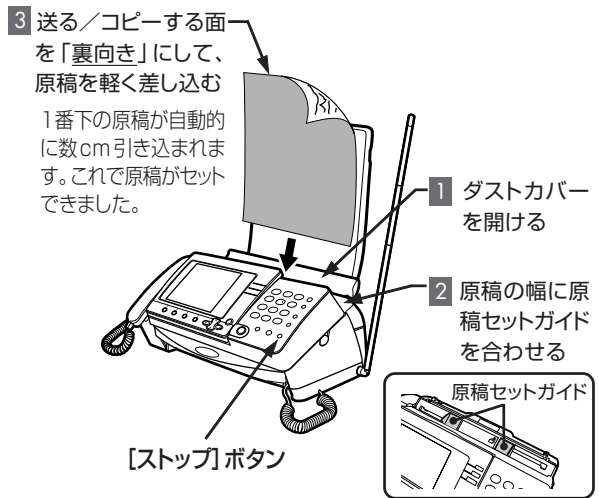
### 読み取れる範囲

原稿の縁から10mm以内の範囲にある文字などは、読み取れない場合があります。



## 原稿セットのしかた

- ・記録した文書が記録紙排出口に残っている場合は、取り除いてから原稿をセットしてください。
- ・クリップやホチキスの針は必ず取り除いてください。故障の原因となります。
- ・インクや修正液、ノリなどが付いた原稿は、完全に乾かしてからセットしてください。
- ・幅や厚さが異なる原稿を一緒にセットしないでください。原稿がつまったり、送信漏れが出たりする原因となります。
- ・液晶パネルとテンキーカバー(SPL-S505V/S505VWのみ)を閉じた状態で、原稿をセットしてください。



### 1 ダストカバーを開ける

### 2 原稿の幅に原稿セットガイドを合わせる

一度にセットできる原稿枚数は、5枚までです。  
原稿セットガイドは、原稿の幅にきちんと合わせてください。原稿が斜めに入ったり、つまったりする原因となります。

### 3 送る面を「裏向き」にして、原稿を軽く差し込む

1番下の原稿が自動的に数cm引き込まれます。これで原稿がセットできました。

ファクスを送る(→P.39)

コピーをとる(→P.44)

- ▶ **原稿を複数枚セットすると**：下から順に送られる
- ▶ **セットした原稿を取り除くには**：[ストップ]ボタンを押すと、原稿が排出される。無理に原稿を引き抜くと、原稿読み取り部に傷がつくので注意する
- ▶ **6枚以上の原稿を送る/コピーするときは**：何回かに分ける。コピーやファクス送信中に原稿を追加すると、原稿がつまったり、送信漏れが出たりする原因となる
- ▶ **コピーしてはいけないもの**：個人で使用する目的でも、法律でコピーが禁止されているものがある(→P.44)


## 写真や小さい文字の原稿のとき（画質モード）

文字の小さい原稿や、写真のように濃淡のある原稿を鮮明にファクス／コピーすることができます。送信やコピーの前に画質モードを設定してください。

### <画質モードの決めかた>

下表を参考に、画質モードを決めてください。

お買い求め時：ふつう

画質モード	原稿の状態
ふつう	文字がこのくらいの大きさ
小さい	文字がこのくらいの大きさのとき
細かい	文字がこのくらいの大きさのとき
写真	写真のとき
64階調 ハーフ トーン	

- ・「細かい」「写真」に設定すると、「ふつう」や「小さい」に比べ、送信に時間がかかります。
- ・黒い部分が多い原稿や色地の原稿、縦の罫線のある原稿は送信に時間がかかります。
- ・色地の原稿を送るときは「ふつう」または「小さい」に設定してください。「細かい」「写真」で送ると送信時間が極端に長くなる場合があります。
- ・「細かい」に設定した場合、相手機種によっては「小さい」で送信することがあります。
- ・「写真」に設定したとき、白い部分にゴマ模様の記録が出たら、読み取り濃度を薄くしてみてください（読み取り濃度→P.94）。

### 画質モードを選ぶ

- ・コピーのとき（→P.44）は「ふつう」に設定しても「小さい」でコピーされます。

#### 1 原稿をセットする （→P.38）

画質：ふつう

現在の画質モードが表示されます。

#### 2 ファンクションボタン [画質] を繰り返し押す

押すごとに画面の表示が変わります（「ふつう」→「小さい」→「細かい」→「写真」→「ふつう」…の順）。

### 原稿の色にご注意

- ・青色のボールペンやサインペンなどで書かれた原稿は、鮮明に読み取れないことがあります（ブルーブラックや紺色に近い青の場合は問題ありません）。薄い鉛筆や、蛍光マーカーで書かれた文字も鮮明に読み取れません。
  - ・赤は、黒と同様に鮮明に読み取ることができます。ただし、赤などの濃い地色の紙に黒で書かれた原稿は、地色と文字色がいずれも黒くなってしまうため、鮮明にファクス／コピーできません。
- ▶色をついた原稿や文字の薄い原稿のときは（読み取り濃度→P.94）

## ファクスを送る

受話器をとらずに送ったり、相手と話してから送ったりできます。

- ・原稿は自動的に排出されます。一時的に止まる場合がありますが、無理に引き抜かないでください。
- ・相手がA4サイズの記録紙を使用している場合、B4サイズの原稿を送信すると、A4サイズに縮小されて送信されます。
- ・相手の機種によっては送信時間が長くなる場合があります。

### ファクスを自動で送る（自動送信）

受話器をとらずにファクスを送ります。

原稿セット（→P.38）▶ ファンクションボタン [画質] で ▶ 画質モードを選ぶ

▶ 相手の電話番号 ▶  ▶ 送信 ▶ 送信完了

▶番号をダイヤルするかわりに：リダイヤル（→P.28）、らくらく電話帳（→P.28）、ナンバー・ディスプレイ契約時には着信データ（→P.56）も使える

▶番号を間違えたら：ファンクションボタン [クリア] を押して入力し直す

▶送信を途中でやめるときは：[ストップ] ボタンを押す。もう一度押すと「原稿排出中」と表示され、原稿が排出される

▶自分の名前や電話番号などを相手先の記録紙にプリントする（発信元記録→P.94）

▶海外にファクスを送るときは（海外通信→P.94）

▶ファクスの送信結果、受信結果の一覧を出力する（通信管理レポート→P.91）

▶「リダイヤル待ち1回目」と表示された：相手先が話し中などで送信できなかったときは、1分間隔で5回までかけ直す（オートリダイヤル）。それでも送信できないときは、不達レポートがプリントされる（→P.40）

## 相手と話してから送る（手動送信）

相手に電話をかけて話してから、そのままファクスを送ることができます。

- ・相手先から電話がかかってきた場合でも、話しをしたあとにそのままこちらからファクスを送ることができます。

原稿セット（→P.38） ➡ 電話をかける ➡ 通話 ➡

➡ 相手が受信操作 ➡  ➡ 

- ▶ 相手が電話に出ずに「ピーヒョロヒョロ」という音が聞こえたら：相手のファクスが自動受信になっているので、そのまま[スタート/コピー]ボタンを押せば送信できる
- ▶ 相手先が受信操作する前に[スタート/コピー]ボタンを押したときは：相手が受信操作をすれば送信できる
- ▶ 送信後、続けて話したいときは：受話器を戻さない(相手も)
- ▶ 送信を途中でやめるときは：[ストップ]ボタンを押す。もう一度押すと原稿が排出される

## キーボードで入力した文書を送る （画面でファクス/キーボード送信）

親機のキーボードで入力した文書を、ファクスとして送信できます。

- ・宛先には0～9の数字のほか、「\*」「#」「-（ポーズ）」を入力することができます。
- ・宛先には32桁まで、本文には全角500文字/半角1000文字まで入力できます。
- ・1行の文字数は最大全角40文字/半角80文字です。最大全角40文字/半角80文字を超える場合は自動的に改行されます。
- ・送信および印刷時の1ページはA4幅、最大50行（約24cm）です。1ページを超える場合は、自動的に改ページします。
- ・宛先には定型文を、本文には定型文/改行/絵文字/記号を挿入することができます（→P.26）。
- ・送信またはプリントした内容は、1件分が保存されます（上書きされます）。ただし、停電したときや親機の電源プラグをコンセントから抜いたとき（→P.111）は、保存された内容がすべて消えてしまいます。
- ・画質は選択できません。
- ・キーボードは必ず指で入力してください。

### 1 を押し、「画面でファクス」の を押す

キーボード送信画面が表示されます。送信/プリント操作をしたり、入力した宛先や文書を保存した場合は、最後に操作した内容が表示されます。

宛先	
本文	

### 2 で入力する項目を選択し、 を押す

「宛先」「本文」から選択します。

## 3 項目の内容を入力し、 を押す

キーボードで文字を入力するには（→P.24）

### ▶ 入力を途中でやめるときは：

- ・ファンクションボタン[戻る]を押す（入力した内容は保存される）
- ・[ストップ]ボタンを押す（入力した内容は保存されない）

宛先	0312345678
本文	こんにちは! 明日の集合時間は9時

## 4 ファンクションボタン[送信]を押す

作成した文書が保存され、自動でファクスが送信されます。

- ▶ 「宛先」または「本文」を削除するには：消去したい項目を選択し、ファンクションボタン[宛先クリア]またはファンクションボタン[本文クリア]を押す
- ▶ 入力を間違えたときは：ファンクションボタン[クリア]またはキーボード部の[クリア]ボタンを押して入力し直す
- ▶ プリントするには：手順3のあと、ファンクションボタン[印刷]を押す

### 電話帳から宛先を選択する

宛先を入力するかわりに、電話帳から相手先を選択することができます。

- ① キーボード送信画面で「宛先」を選択し、[L]ボタンを押す
- ② ファンクションボタン[サブメニュー]を押す
- ③ 「1.電話帳呼出」を選択し、[L]ボタンを押す
- ④ [▲][▼]ボタンで相手先を選択し、[L]ボタンを押す

### 送信できなかったときは

ファクスを正常に送信できなかったときは、自動で不達レポートがプリントされます。プリントされないように設定することもできます（不達レポート→P.95）。

- ・送信が中断されたときは、不達レポートにプリントされません。通信管理レポートでご確認ください（通信管理レポート→P.91）。

<プリント例>

不達 レポート					
2003年 2月 1日 1時02分					
日本電報					
以下の文書が送信できませんでした。					
送信開始日時	送信時間	相手先	モード	枚数	通信結果
2月 1日 15時29分	1分0秒	0312345678	G3	0	通信異常
					通信結果
					通信異常

### <通信結果の意味>

#### 「無応答」

- ・相手先が受信できない状態になっている
- ・相手先が電話に出ない
- ・電話回線が正しく接続されていないか、電話回線接続コードが断線している恐れがある

#### 「話し中」

- ・相手先が話し中である
- ・回線が混み合っている

#### 「呼び出し」

- ・相手先から通話予約などで呼び出しを受けている

#### 「通信異常」

- ・原稿が正しくセットされていない（→P.38）
- ・記録紙がなくなった（→P.21）
- ・記録紙がつまった（→P.106）
- ・原稿がつまった（→P.107）
- ・操作パネルが開いている（→P.107）



## ファクスを受ける

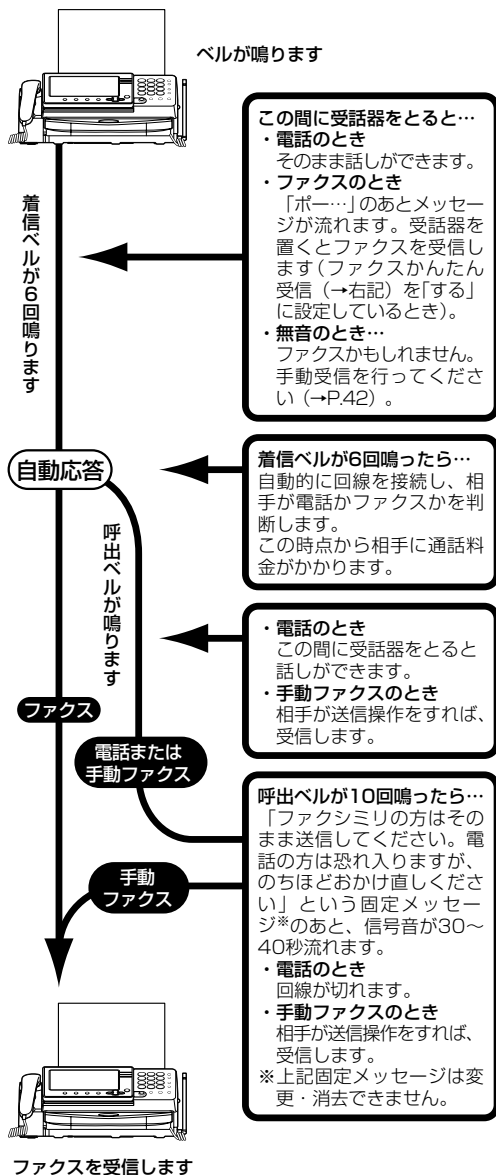
ファクスは、着信モードの設定によって自動で受けたり、通話のあとに手動で受けたりすることができます。

- ・記録した文書は、記録紙排出口に10枚以上ためないでください。また、記録紙カバーに、シールなどを貼り付けないでください。記録紙づまりの原因になります。

### 自動で受ける

お買い求め時の着信モードの設定は「電話／ファクス自動切替」になっています。この場合は、本機が自動で電話をつなぎ、相手が電話かファクスかを判断します。ファクスのときは、自動的に受信します。電話のときは、呼出ベルが鳴ります。

#### <電話／ファクス自動切替のしくみ>



- ・電話がつながると、相手の受話器から聞こえる呼出音が少し変わり、ここから相手に通話料金がかかります。

- ▶「留守」を設定したときには：電話のつながりかたやベルの鳴りかたが異なる（→P.48）
- ▶着信ベル回数を変える（→P.93）
- ▶呼出ベル回数を変える（→P.93）
- ▶ベルを鳴らさずに受信するには：着信ベル回数を、0回に設定する（→P.93）
- ▶ファクスの送信結果、受信結果の一覧を出力する（通信管理レポート→P.91）

#### 自動切替をやめるには

着信モードの設定を、いつも電話で受ける（電話専用）／いつもファクスで受ける（ファクス専用）に変更することができます。

##### ・電話／ファクス自動切替

設定回数着信ベルが鳴ると本機が自動で電話をつなぎ、相手が電話かファクスかを判断します。ファクスのときは自動的に受信し、電話のときは呼出ベルが鳴ります。

##### ・電話専用

ファクスを自動受信したくない場合や、電話に出なかったとき、相手に通話料金がかからないようにしたい場合などにご利用ください。普通の電話と同じように使うことができます。ファクスは手動で受信してください。

##### ・ファクス専用

設定回数着信ベルが鳴ったあと自動的にファクスを受信します。相手からかかってくるのがファクスだけとわかっているときにご利用ください。着信ベルが鳴っている間に電話に出たとき、相手が電話ならば話しかけます。

#### メモリーオーバーによる通信異常がひんぱんに起こるときは

本機は、ファクス受信中にインクフィルムや記録紙がなくなってもメモリー代行受信がはたらくように、いったんメモリーに蓄積しながらプリントしています。ただし、受信できるメモリー容量を超えるデータ量の原稿が送られてくると、メモリーオーバーとなり受信できません。このようなことがひんぱんに起こるときは、以下の操作を行ってください。

- ▶不要な用件を消す（→P.50、51）

- ▶メモリー受信を「しない」に設定する（→P.101）

#### ファクスかんたん受信とは

電話に出たとき、相手がファクスだった場合は「ポー・ポー…」という音が聞こえたあと「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください」というメッセージが流れます。

メッセージに従って受話器を戻すと、自動的にファクスを受信できる機能です。メッセージが流れる前に受話器を戻すと、回線が切れて受信できません。メッセージが流れてから受話器を戻してください。

ただし、以下の場合には、ファクスかんたん受信ができません。手動で受信してください。

- ・相手が無音のとき
- ・こちらから電話をかけたとき

- ▶ファクスかんたん受信（→P.92）

## 手動で受ける（手動受信）

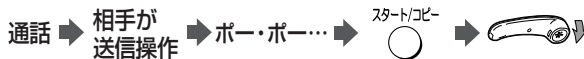
ファクスかんたん受信を「しない」に設定したときなどは、手動で受信してください。

### 親機で受ける

<ファクスがかかってきたとき>



<話しをしてから受信するとき>

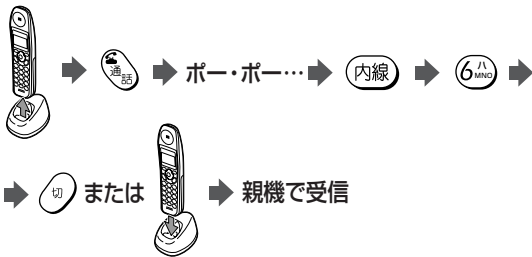


▶ **受信後、続けて話したいときは**：受話器を戻さない（相手も）

### 子機で受ける

▶ 受信後、続けて話しをすることはできません。

<ファクスがかかってきたとき>



<話しをしてから受信するとき>



▶ **「ポー・ポー…」という音が聞こえないときは**：相手の機種によっては聞こえないことがある。上記の「ファクスがかかってきたとき」の操作を試してみる

▶ **「ポー・ポー…」のあとメッセージが流れるときは**：「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください」というメッセージが流れるときは、ファクスかんたん受信がはたらいているので、受話器または子機を戻すと自動的に受信する。お買い上げ時は、ファクスかんたん受信は「する」に設定されている（ファクスかんたん受信→P.92）

▶ **相手が送信する前に受信操作をしたときは**：相手が送信操作をすれば、受信できる

## ファクス情報サービスを利用する

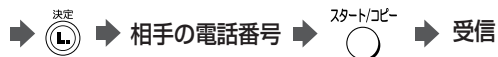
いろいろな情報をファクスで取り寄せることができます。

▶ ファクス情報の内容や情報の提供方式については、各サービスの提供元にお問い合わせください。

<提供元がポーリング方式のとき>

ポーリング方式とは、相手先にあらかじめ用意されている原稿を、受信側から操作して受信する利用方法です。

受話器を置いたまま  
ファンクションボタン [機能] →  「9.ファクス情報サービス」を選択 →



▶ **相手の番号をダイヤルするかわりに**：らくらく電話帳（→P.28）も使える

▶ **番号を間違えたら**：ファンクションボタン [クリア] またはキーボード部の [クリア] ボタンを押して入力し直す

<提供元がガイダンス方式のとき>

ガイダンス方式には、次の2つの利用方法があります。

・ガイダンスが流れている間に情報番号などを入力できる方法

・ガイダンスのあと「ピッ」という音が聞こえてから情報番号などを入力する方法

利用するファクス情報サービスに合わせて入力してください。

▶ **ダイヤル回線を使っているときに、情報番号などをトーン（ブッシュ）信号で入力する必要があるときは、トーン信号に切り替えてください（→P.37）。**



▶ **番号を間違えたら**：一度受話器を戻し、もう一度ダイヤルする

## メモリに受信したファクスを画面に表示する (画面でファクス/画面受信)

ファクスをメモリに受信し、プリントする前に画面で受信した内容を確認することができます。

- お買い求め時は「画面受信」が設定されていません。ファクスを受信する前に画面受信を設定してください。
- メモリに記憶できるファクスは、相手が画質モード「ふつう」で送信したとき、A4 (700文字程度) サイズの原稿で約 25 枚 (最大 10 文書) です。
- 受信したファクスを記憶するメモリと、留守番電話の用件などを録音するメモリは同じものです。そのために、メモリ内に用件などが残っていると受信できるファクスが少なくなってしまう可能性があります。不要な用件や、メモリ内のプリント済み受信ファクスをこまめに消してください。
- A4サイズより大きいファクスの場合、A4を超えた部分は表示されません。
- 受信したファクスを画面に表示しているときや、受信ファクスの印刷中に外線がかかってくると、表示や印刷が中断されます。

### 画面受信を設定する

画面受信の設定/解除は、「画面でファクス」の[受信設定]ボタンで切り替えます。画面受信を設定すると、受信したファクスは記録紙にプリントされずに、メモリに記憶されます。



- ▶ **設定を解除するには**：もう一度「画面でファクス」の[受信設定]ボタンを押す。受信設定を解除してもメモリに受信したファクスは消えない

<画面受信ランプについて>

画面受信ランプの状態	画面受信の設定	未読ファクスの有無
消灯	解除	なし
点灯	設定	なし
点滅	解除	あり
	設定	あり

### メモリに受信したファクスを表示する

- 1 **ファンクションボタン [ファクス一覧] を押す**  
メモリに記憶されているファクスの一覧が表示されます。  

ファクス一覧		1/1	
未読 (📧)	合計	03件	
No.	日付	時刻	枚数 相手先
📧 01	2/ 1	22:30	02 鈴木
📧 02	2/ 1	22:14	01 0312345678
📧 03	2/ 1	22:04	03 0312345678
- 2 **📧 で表示するファクスを選択し、ファンクションボタン [表示] を押す**  
ファクスの内容が表示されます。  

No.03 相手先: 0312345678 01/02

戻る 表示 次の 他の  
切替 ページ メニュー
- 3 **ファンクションボタン [戻る] を押す**  
ファクス一覧画面に戻ります。

- ▶ **「受信ファクスなし」と表示されたときは**：記憶されているファクスがない
- ▶ **画面をスクロールするには**：[▲]、[▼]、[◀]、[▶] ボタンを押す
- ▶ **次ページを表示するには**：ファンクションボタン [次ページ] を押す。最終ページでファンクションボタン [次ページ] を押すと、先頭ページに戻る
- ▶ **画面を全画面表示にするには**：ファンクションボタン [表示切替] を押す。元に戻すときはファンクションボタンのどれか一つを押す
- ▶ **表示しているページをプリントするには**：手順2のあと、ファンクションボタン [他のメニュー] を押し、ファンクションボタン [印刷] を押す

### 📧 ファクス一覧の見かた

表示やプリントをしていないファクスには、未読を表す「📧」が表示されます。ファクスを受信した日付、時刻、枚数が表示され、ナンバー・ディスプレイ (→P.54) を契約されている場合や、相手が自分の電話番号を登録しているときは、相手の電話番号が表示されます。電話帳に登録されている相手の場合は、名前が表示されます。

### 📧 メモリからファクスを消去するには

- ① ファクス一覧画面で消去するファクスを選択し、ファンクションボタン [消去] を押す
- ② ファンクションボタン [はい] を押す  
一度消去したファクスは、元に戻りません。

### 📧 内容を画面表示しないですぐにプリントするには

選択したファクスのすべてのページをプリントします。

ファクス一覧画面で ➡ **プリントするファクスを選択** ➡

➡ **ファンクションボタン [印刷]** ➡ **プリント開始** ➡

➡ **プリント終了** ➡ **ファクスの消去をたずねられたら**  
ファンクションボタン [はい] または [いいえ]

### 拡大/縮小する

- 1 **表示画面でファンクションボタン [他のメニュー] を押す**  

No.03 相手先: 0312345678 01/02

戻る 印刷 拡大/縮小 回転
- 2 **ファンクションボタン [拡大/縮小] を押す**  

No.03 相手先: 0312345678 01/02

戻る 縮小 拡大

### 3 ファンクションボタン [拡大] または [縮小] を押す

### 4 拡大/縮小の操作を終了するときはファンクションボタン [戻る] を押す

**表示倍率の変わりかた**

ファンクションボタン [拡大] または [縮小] を押すたびに、表示倍率が変わります。元の表示に戻すときは、ファンクションボタン [標準] を押します。

標準 [標準] 2×2倍 [標準] 4×4倍

### 回転する

**1 表示画面でファンクションボタン [他のメニュー] を押す**

No.03 相手先: 0312345678 01/02

戻る 印刷 拡大/縮小 回転

**2 ファンクションボタン [回転] を押す**

No.03 相手先: 0312345678 01/02

戻る 左に90度 180度回転 右に90度

### 3 ファンクションボタン [左に90度] / [180度回転] / [右に90度] のいずれかを押す

### 4 回転の操作を終了するときはファンクションボタン [戻る] を押す

**メモリ代行受信**

画面受信を解除している場合でも、以下の場合はメモリがかわって受信し、画面に表示して内容を確認することができます。

- 記録紙がセットされていない
- 記録紙がつかまっている
- インクフィルムがない
- サーマルヘッドが加熱した
- 操作パネルが開いている

メモリに記憶できるファクスの枚数や、受信したファクスの表示・プリントは画面受信のときと同じです。

## コピーする

本機を使って、簡単にコピーをとることができます。本機でとったコピーで、相手に送るファクスの状態を確認することができます。

- 一度にコピーできる部数は1～20部です。
- コピー中に記録紙カバーや記録紙力セットを取り外さないでください。記録紙づまりの原因となります。
- 原稿は自動的に排出されますので、無理に引き抜かないでください。
- コピー中は、液晶パネルの開閉操作を行わないでください。

原稿セット (→P.38) → 画質モードを選ぶ (→P.39) → スタートコピー

1部コピーするときは (2部以上コピーするときは部数を入力して )

- ▶ **コピーを途中でやめるには**：[ストップ] ボタンを押す
- ▶ **拡大/縮小コピーするとき**は：ハンドスキャナを使ってコピーする (→P.46)
- ▶ **A4/B4の定型を超える長さの原稿のとき**は：定型を超えた部分はコピーされません。原稿が縦方向に長い場合は、ハンドスキャナを使ってコピーする (→P.46)

**B4の原稿をコピーすると**

< 1部コピーしたとき (シングルコピー) >  
右図の部分がコピーされます (B4→A4の縮小は行われません)。

コピーされる部分  
コピーされない部分

< 2部以上コピーしたとき (マルチコピー) >  
B4→A4に縮小されてコピーされます。

**コピーしてはいけないもの**

個人で使用する目的でも、法律でコピーが禁止されているものがあります。

- 貨幣、紙幣、公債証券、政府発行の有価証券、郵便切手、印紙などは、外国で発行されたものも含め、法律でコピーが禁止されています。絶対にコピーしないでください。
- 書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画、写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内などの限られた範囲内で使用するなど、著作権法で認められている場合を除き、基本的にコピーが禁止されています。
- パスポートや免許証、民間発行の有価証券 (株券、手形、小切手など)、定期券、回数券、通行券、身分証明書、食券などのコピーも政府の指導により注意が呼びかけられています。

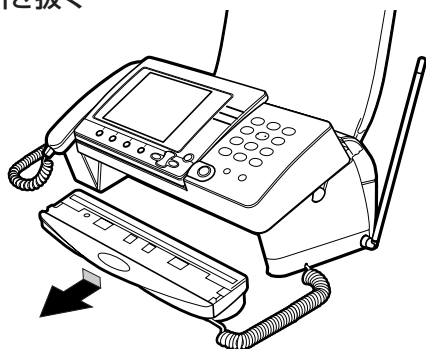
# ハンズキャナ

## ハンズキャナの取り外し／取り付け

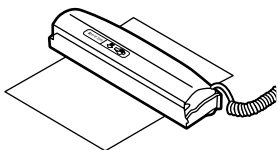
- ・使用したあとは、必ず親機に戻してください。ハンズキャナは、親機の原稿読み取り用として使います。
- ・ハンズキャナを落としたり、固いものにぶつけたりしないでください。
- ・原稿読み取り面は汚さないでください。汚れたら清掃してください（→P.108）。

### 取り外す

- 1 ハンズキャナを下に押しながら手前に引き抜く



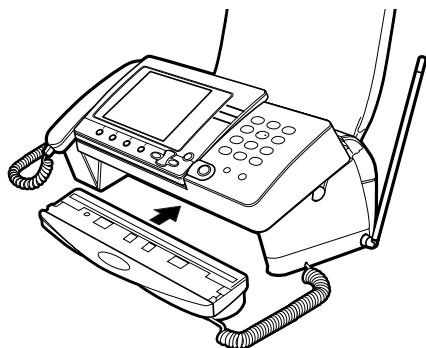
- 2 ハンズキャナを裏返し、原稿読み取り面を下に向けて原稿にのせる



### 取り付ける

- ・ハンズキャナのコードをはさまないようにしてください。断線の原因になります。

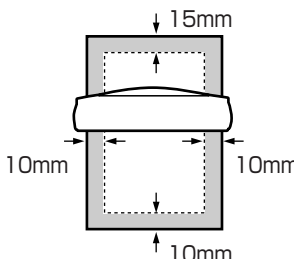
- 1 原稿読み取り面を上に向けて、親機に押し込む



## ハンズキャナの使いかた

本などのとじられた原稿や、親機にセットできない原稿（→P.38）などをコピーしたり送信したりできます。

### 読み取れる原稿サイズ



幅	B4サイズまで*
長さ	コピー：記録紙がなくなるまで
	ファクス：メモリがいっぱいになるまで

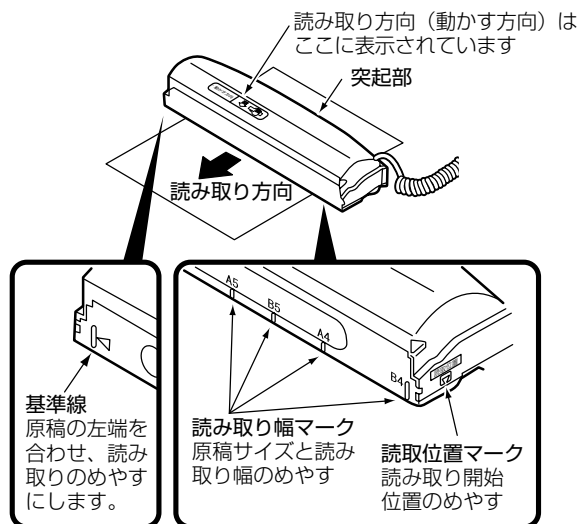
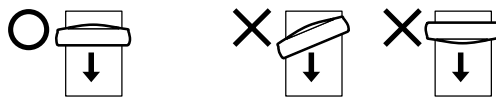
\* B4→A4縮小時の読み取り可能な最大サイズで、等倍の場合はA4サイズまでです。

読み取り幅・位置マークを原稿の先端に合わせて読み取りをしても、部分は読み取れないことがあります。

- ・次のような原稿には使わないでください。きれいに読み取れなかったり、本機が故障する原因になります。
  - 表面に凹凸のある原稿
  - コーティングなどで表面が滑りやすい原稿
  - 表面が汚れている原稿
  - インクや修正液、ノリなどが乾いていない原稿
- ・コピーしてはいけないものがあります（→P.44）。
- ・読み取り濃度を設定するとき（→P.94）は、ハンズキャナを取り外す前に設定してください。

### ハンズキャナの置きかた／動かしかた

- ・ハンズキャナは、斜めや逆に動かすとうまく読み取れません。読み取り方向に、まっすぐ動かしてください。



- ▶ 下が透けて見える原稿を読み取りたいときは：フィルムやトレーシングペーパーなどは、白い紙の上に置いてから読み取る

## ハンズキャナでコピーする

・光源自体は無害ですが、強い光が出ますのでハンズキャナの原稿読み取り面を顔に向けしないでください。

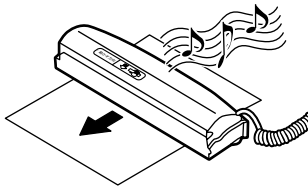
1 ハンズキャナを取り外して裏返し、原稿読み取り面を下に向けて原稿にのせる(→P.45)


2 ファンクションボタン[画質]を繰り返し押し、画質(「小さい」または「写真」)を選択する

3  を押す コピー中 A4 小さい

4 ハンズキャナを動かす(→P.45)

動かすと、スピードを表すメロディが流れます。メロディが流れていれば、速さに関係なく、正常に読み取れています。



5 読み取りが終わったら  を押す

6 プリントが終わるまで待つ

原稿読み取り面のランプが消灯したあと、プリントが終わります。

7 ハンズキャナを元どおりに取り付ける(→P.45)

▶ ハンズキャナを30秒以上動かさないと：読み取りを終了する

▶ 「ピッピッ…」と音がするときは：正常に読み取れていない。[ストップ]ボタンを押して最初からやり直す

▶ 原稿を拡大/縮小するには：拡大/縮小を設定したあと、ファクス/コピーをする(読み取り記録幅→P.100)

▶ 読み取りメロディを流す/止めるには(メロディハンズキャナ→P.100)

▶ 読み取りメロディの音量を調節するには：メロディが流れているときにキーボード部の[音量 大]または[音量 小]ボタンを繰り返し押し

▶ [ストップ]ボタンを押さずにハンズキャナを戻すと：ハンズキャナのローラが回って読み取りが作動し、記録紙の后端にコピーする必要のないものをプリントしてしまう場合がある。原稿読み取り後は、必ず[ストップ]ボタンを押してから本体に取り付ける

▶ 「ビー」という音が鳴り、「メモリがいっぱいです」と表示されたときは：しばらく待つとコピーが可能になる


▶ A4/B4の定型を超える長さの原稿の場合は：記録紙がなくなるまで読み取り、プリントされる

## ハンズキャナでファクスを送る

・電話で話したあとに、続けてハンズキャナで読み取った原稿を送ることはできません。  
・送信が終わると、メモリの内容は消去されます。  
・送信中に通信異常が起きた場合、メモリの内容は消去されません。このときは、最初からやり直してください。  
・光源自体は無害ですが、強い光が出ますのでハンズキャナの原稿読み取り面を顔に向けしないでください。

1 ハンズキャナを取り外して裏返し、原稿読み取り面を下に向けて原稿にのせる(→P.45)

2 ファンクションボタン[画質]を繰り返し押し、画質(「小さい」または「写真」)を選択する

3 相手の電話番号をダイヤルし、 を押す  
受話器を置いたまま、親機でダイヤルします。

4 ハンズキャナを動かす(→P.45)

動かすと、スピードを表すメロディが流れます。メロディが流れていれば、速さに関係なく、正常に読み取れています。

5 読み取りが終わったら  を押す

6 プリントが終わるまで待つ

送信確認

原稿読み取り面のランプが消灯したあと、プリントが終わります。

7 プリント内容を確認し、ファンクションボタン[はい]を押す

送信を開始します。

8 ハンズキャナを元どおりに取り付ける(→P.45)

▶ 番号をダイヤルするかわりに：リダイヤル(→P.28)、らくらく電話帳(→P.28)、ナンバー・ディスプレイ契約時には着信データ(→P.56)も使える

▶ ハンズキャナを30秒以上動かさないと：読み取りを終了する

▶ 「ピッピッ…」と音がするときは：正常に読み取れていない。[ストップ]ボタンを押して最初からやり直す

▶ 原稿を拡大/縮小するには：拡大/縮小を設定したあと、ファクス/コピーをする(読み取り記録幅→P.100)

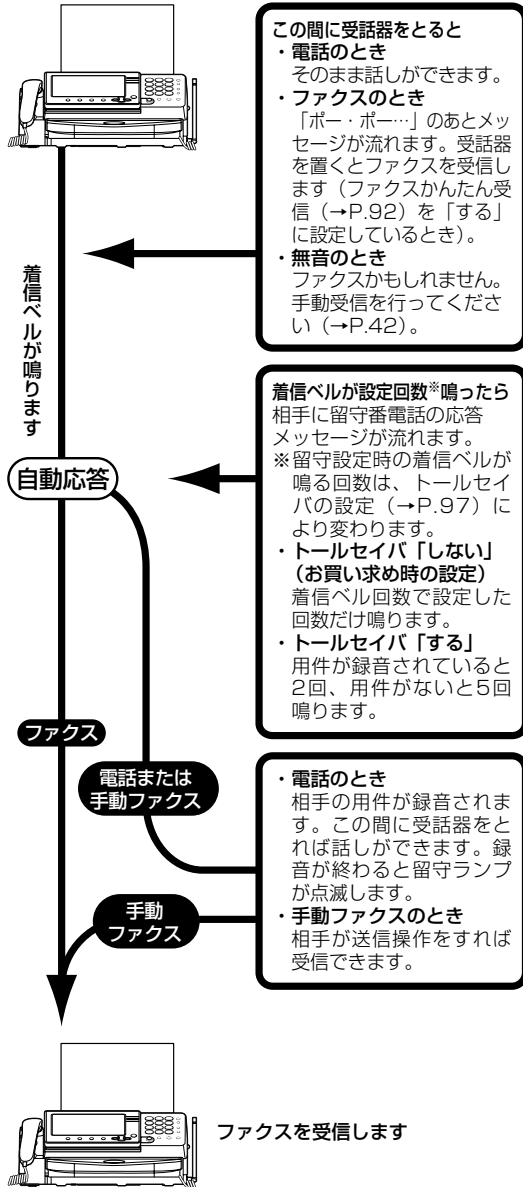
▶ 読み取り直すときは：手順6のあとファンクションボタン[いいえ]を押した後、スタートボタンを押して読み取り直す

▶ 送信をやめるときは：手順6のあとファンクションボタン[いいえ]を押し、[ストップ]ボタンを押す

- ▶ **【ストップ】ボタンを押さずにハndsキャナを戻すと**：ハndsキャナのローラが回って読み取りが作動し、記録紙の後端にコピーする必要のないものをプリントしてしまう場合がある。原稿読み取り後は、必ず【ストップ】ボタンを押してから本体に取り付ける
- ▶ **「ピー」という音が鳴り、「メモリがいっぱいです」と表示されたときは**：読み取りを中断する。読み取ったところまでを送信後、読み取りを再開する
- ▶ **「リダイヤル待ち1回目」と表示された**：相手先が話し中などで送信できなかったときは、1分間隔で5回までかけ直す（オートリダイヤル）。それでも送信できないときは、不達レポートがプリントされる（→P.40）
- ▶ **A4／B4の定型を超える長さの原稿の場合は**：記録紙がなくなるまで読み取り、プリントされる

## 「留守」を設定すると

外出して電話に出られないときなどに、相手の用件を録音することができます。相手がファクスのときは自動で受信できます。



## ＜着信ベルの鳴る回数は＞

トールセイバの設定（→P.97）によって変わります。

## ・トールセイバ「する」のとき

用件が録音されていると2回鳴って留守機能がはたらきません。用件が録音されていないと5回鳴って留守機能がはたらきます。

## ・トールセイバ「しない」のとき

録音されている用件の有無にかかわらず、着信ベル回数（→P.93）で設定した回数だけ鳴ります。

着信ベル回数を0回に設定していると、着信ベルは鳴りません。また着信モード（→P.92）を「電話専用」にして、トールセイバを「しない」に設定している場合は、着信ベルが5回鳴って留守機能がはたらきます。

## ▶ 外出先から「留守」を設定したり、用件を聞くには（外線リモート→P.52）

## ▶ 用件が録音されたら外出先に転送するには（用件転送→P.53）

## ▶ 録音できる時間は：1件につき最大3分、合計で約15分まで録音できる。また合計15分を超えない限り最大30件まで録音可能。この時間には、自分で録音した応答メッセージの時間も含まれる

## ▶ 相手を確認してから電話に出るには（居留守モニター）：留守設定中に電話がかかってくると、相手の声がモニタスピーカから聞こえるので、相手を確認してから受話器をとって電話に出ることができる

## 📄 本機の固定応答メッセージの種類は

流れる応答メッセージは、電話がかかってきたときの本機の状態によって異なります。

## ・通常

「ただいま留守にしております。電話の方は、ピーという音のあとに、お名前とご用件をお話ください。ファクシミリの方は、そのまま送信してください」

※通常の応答メッセージは、自分で録音した応答メッセージに変えることができます（→P.51）。

以下の応答メッセージは、固定応答メッセージのため、変更、消去することはできません。

## ・用件は録音できないが、ファクスは受信できるとき（用件がいっぱいするとき）

「ただいま留守にしております。ファクシミリの方は、そのまま送信してください。電話の方は、恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください」

## ・用件は録音できるが、ファクスは受信できないとき

「ただいま留守にしております。電話の方は、ピーという音のあとに、お名前とご用件をお話ください。ファクシミリの方は、恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください」

## ・用件の録音も、ファクスの受信もできないとき（メモリがいっぱいするとき）

「ただいま留守にしております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください」



# 親機で留守番電話を使う

## 「留守」を設定する

・「留守」を設定しようとしたら「用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください」というメッセージが流れる場合は、「留守」を設定できません。「メモリ残量が少なくなっています。不要な用件を消去してください」というメッセージが流れる場合は、すぐに用件がいっぱいになります。不要な用件を消去してください(→P.50)。



留守ランプが点灯し、  
応答メッセージが聞こえる  
用件が残っていると点滅します。

### 応答メッセージ固定再生中

▶ **モニタスピーカ音量を調節するには**：キーボード部の[音量 大]または[音量 小]ボタンを押して調節する。[音量 大]ボタンを繰り返し押しすと音が大きくなり、[音量 小]ボタンを繰り返し押しすと音が小さくなる。さらに[音量 小]ボタンを押すと「切」(音を鳴らさない設定)になる

▶ **応答メッセージを選択するには**：本機の固定応答メッセージ、自分で録音した2種類の応答メッセージ(→P.51)の中から選択できる。応答メッセージが流れている間に[◀]または[▶]ボタンを押して、応答メッセージを選択する

▶ **電話帳に登録している相手にだけ自作の応答メッセージを流したい**：ナンバー・ディスプレイを利用している場合は設定できる(応答メッセージ選択→P.100)

### 留守ボタンを押しても応答メッセージが聞こえないときは

- ・モニタスピーカ音量が「切」になっていると聞こえません。モニタスピーカ音量を調節してください(モニタスピーカ音量→上記)。
- ・自作の応答メッセージが正しく録音されていないことが考えられます。もう一度録音し直してください(→P.51)。

## 「留守」を解除する

- ・録音された件数と用件が自動で再生されます。
- ・用件が1件再生されるごとに、録音された日時が音声で流れます(タイムスタンプ)。
- ・用件が全部再生されると、自動的に止まります。途中で止めたいときは[ストップ]ボタンを押してください。

用件があると留守ランプが点滅する → 留守ランプが点滅する → 留守ランプが点滅する

▶ 「用件は○件です」用件が再生される → 「用件は以上です」

再生中 1/3  
0312345678

再生終了\*……  
1秒ごとに\*が表示されます。

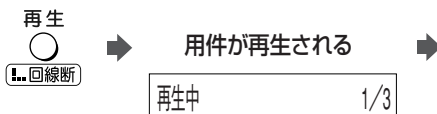
▶ **録音された用件がないときは**：「用件はありません」というメッセージが流れる

▶ **ナンバー・ディスプレイまたはネーム・ディスプレイをご利用の場合は**：用件再生時に相手の電話番号や相手先名が表示される。電話帳に登録されている場合は相手の名前が表示される

## 録音された用件を聞く

録音された用件は、消去するまで何回でも聞くことができます。留守設定中でも用件を聞くことができます。通話録音した内容も同時に再生されます。

・モニタスピーカ音量が「切」になっていると、用件が聞こえません。モニタスピーカ音量を調節してください(→左記)。



▶ 「用件は以上です」

再生終了\*……

1秒ごとに\*が表示されます。

▶ **用件が録音されていないときは**：「用件はありません」というメッセージが流れる

▶ **通話中の相手に用件を聞かせたい**：通話中の相手に録音内容を聞かせる(→P.37)

### 再生中の操作

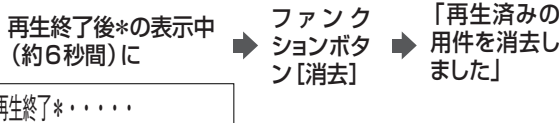
用件をとばして再生したり、再生中の用件をはじめから聞き直したりできます。

押すボタン	本機の動き
再生 ○ 回線断	押すたびに再生速度を切り替えます(通常→高速→低速→通常…)。
1 (戻し)	1回押しすると、再生中の用件をはじめから再生します。続けて2回押しすると、1つ前の用件を再生します。
3 (送り)	1回押しすると、次の用件を再生します。続けて押しすると、さらに次の用件を再生します。
ストップ ○	再生を止めます(そのあとに[再生]ボタンを押すと、1件目から再生します)。

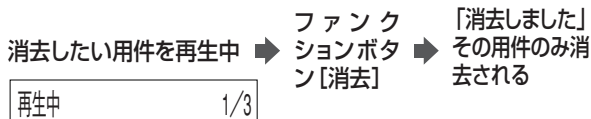
## 不要な用件を消去する

再生した用件を一度にすべて消去したり、特定の用件を消去したりすることができます。一度消去した用件は再生できません。

### 用件をすべて聞いてから一度に消去する

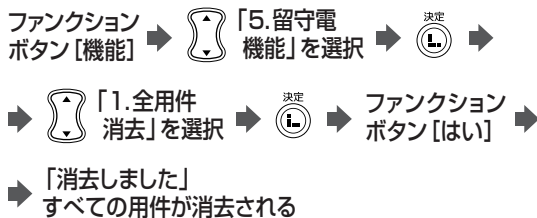


### 特定の用件を消去する



### すべての用件を一度に消去する

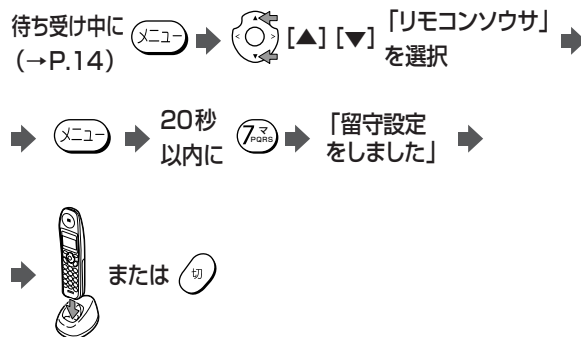
一度も再生していない用件もすべて消去されます。



## 子機で留守番電話を使う

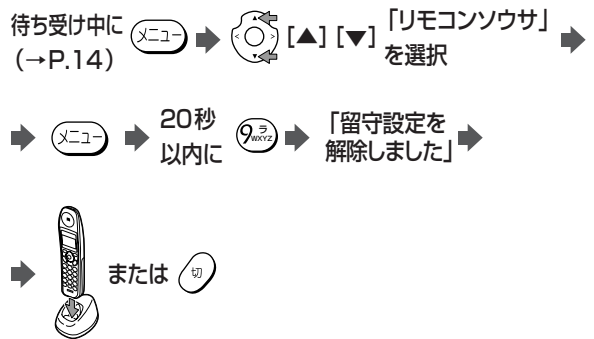
### 「留守」を設定する

子機で「留守」を設定するときには、応答メッセージを選択することはできません。



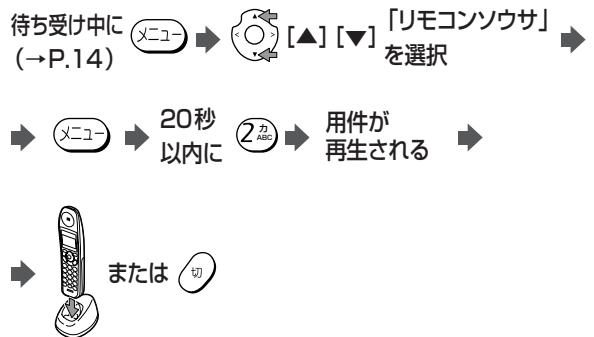
▶ [7] ボタンを押す前に「ピーピーピー」と音がして待ち受け中に戻るときは：親機が使用中。しばらくしてから操作し直す

## 「留守」を解除する



▶ [9] ボタンを押す前に「ピーピーピー」と音がして待ち受け中に戻るときは：親機が使用中。しばらくしてから操作し直す

## 録音された用件を聞く



### 再生中の操作

用件をとばして再生したり、再生中の用件をはじめから聞き直したりできます。

押すボタン	本機の動き
	1回押すと、再生中の用件をはじめから再生します。続けて2回押すと、1つ前の用件を再生します。
	押すたびに再生速度を切り替えます(通常→高速→低速→通常…)。
	1回押すと、次の用件を再生します。続けて押すと、さらに次の用件を再生します。
	再生中の用件を消去します。その用件を再生終了後、「消去しました」というメッセージが流れます。
	再生を止めます(そのあとに[2]ボタンを押すと、1件目から再生します)。

## 不要な用件を消去する

### 特定の用件を消去する

消去したい

用件を  
再生中に

8 再生

⇒「消去しました」⇒



または 切

### 用件をすべて聞いてから一度に消去する

再生終了後「ピピピピッ…」と聞こえている間(約6秒間)に

8 再生



⇒「再生済みの用件を消去しました」⇒



または 切

## 応答メッセージを録音／消去する

「留守」を設定したとき相手に流す応答メッセージを録音したり、消去することができます。

- ・2種類の応答メッセージを録音でき、何度でも録音し直すことができます。録音時間はそれぞれ最大20秒までです。
- ・メモリの残量が少なく20秒まで録音できないときは、「用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください」というメッセージが流れます。不要な用件を消去してから録音してください(→P.50)。
- ・ナンバー・ディスプレイを利用している方は、電話帳に登録している相手にだけ自作の応答メッセージを流すことができます(応答メッセージ選択→P.100)。
- ・留守設定中でも録音できます。
- ・録音していないときは、本機の固定応答メッセージが流れます(→P.48)。
- ・本機の録音方式は、人間の声の音域に合わせた設定になっています。一緒に音楽などを録音することはお勧めできません。
- ・本機の固定応答メッセージは消去できません。

親機で録音します。子機では録音できません。

### 1 ファンクションボタン [機能] を押す

2 で「5.留守電機能」を選択し、 を押す

3 で「2.応答メッセージ録音」を選択し、 を押す

1.応答メッセージ1  
2.応答メッセージ2

4 で応答メッセージ(1または2)を選択し、 を押す

受話器を上げてください

### 5 受話器をとる

録音を開始します  
スタートボタンを押してください

### 6 を押し、応答メッセージを録音する

最大20秒まで録音できます。残りの録音可能時間が画面表示されます。

### 7 応答メッセージを録音し終わったら を押す

受話器を置いてください

### 8 受話器を戻す

応答メッセージ再生中

「ピー」という音がして録音

が止まり、録音した応答メッセージが再生されます。

再生を中止するときには[ストップ]ボタンを押してください。

- ▶ **録音中に電話がかかってきたときは**：録音が中断される。その場合は最初から録音し直す
- ▶ **録音の途中で止まってしまった**：約20秒経過すると自動的に録音が止まる。20秒以内で終わるように応答メッセージを変え、録音し直す
- ▶ **録音し直したい**：最初から録音し直す。前に録音していた応答メッセージは消去される
- ▶ **録音を終わるとき[ストップ]ボタンを押さずに受話器を戻してしまった**：「ガチャン」という音が録音されてしまう。先に[ストップ]ボタンを押してから受話器を戻すようにする

### 応答メッセージの例

「はい○○です。ただいま留守にしております。電話の方はピーという音のあとに、お名前とご用件をお話してください。約3分間録音できます。ファクシミリの方は送信してください」

### 録音した応答メッセージを消去するには

- ① ファンクションボタン [機能] を押す
- ② [▲] [▼] ボタンで「5.留守電機能」を選択し、[L] ボタンを押す
- ③ [▲] [▼] ボタンで「3.応答メッセージ消去」を選択し、[L] ボタンを押す
- ④ [▲] [▼] ボタンで消去する応答メッセージ(1または2)を選択し、[L] ボタンを押す
- ⑤ ファンクションボタン [はい] を押す

## 外出先から留守番電話を操作する (外線リモート)

### リモート操作の設定とパスワードの登録

リモート操作の設定とリモートパスワード(4桁の数字)を登録しておく、留守設定中に録音された用件を外出先から聞くことができます(リモート操作→P.98)。

お買い求め時は、リモート操作は「しない」に設定されています。

- ・パスワードは大切な番号です。他人に知られないようにしてください。

### 外出先から「留守」を設定する

- ・プッシュ信号が出せる電話機で操作してください。
- ・着信モードを「電話専用」に設定しているときは(→P.92)、外出先から「留守」を設定することはできません。
- ・ダイヤルラインをご利用の場合は、外出先から親機用の番号に電話をかけて、以下の操作をしてください。

外出先から本機に電話をかける → 呼出音が変わる → **#** → 回線が接続されます。

→ リモートパスワード(4桁の数字)をダイヤルする → **#** → 「パスワードが一致しました」 →

→ 「留守設定をしました」 → 電話を切る

- ▶ 「パスワードを入れ直してください」というメッセージが聞こえたときは：再度**#**を押す→リモートパスワードの入力→**#**を押す、の順で操作する。3回間違えると電話が切れる。その場合は再度電話をかけ直す

### 外出先から用件を聞く

- ・外出前に「留守」を設定しておいてください。
- ・プッシュ信号が出せる電話機で操作してください。
- ・携帯電話やPHSから用件を聞くときは、雑音が入らないように送話口を手でおおって操作してください。
- ・リモート操作で用件を聞いても、用件は消去されません。

外出先から本機に電話をかける → 応答メッセージが聞こえたら**#** →

→ 応答メッセージが止まる → リモートパスワード(4桁の数字)をダイヤルする → **#** →

→ 「パスワードが一致しました。用件は○件です」 → 用件再生 → 電話を切る

- ▶ **[#]を押しても応答メッセージが止まらないときは**：リモートパスワードをダイヤルする前に、再度**[#]**を押す
- ▶ **外出先から用件の有無を簡単に知りたい**：ツールセイバを「する」に設定する(ツールセイバ→P.97)
- ▶ **ナンバー・ディスプレイを利用している場合は**：用件が再生されたあと、相手の番号が音声で聞こえる
- ▶ **再生以外の操作をしたい**：左記の操作でリモートパスワードを入力して**[#]**を押したあと、外線リモート操作コード(→下記)を入力する
- ▶ **再生中に早送りや巻き戻しをしたい**：外線リモート操作コード(→下記)を入力する
- ▶ **用件再生終了後、何も操作しないと**：約20秒後に電話が切れる

### 👉 外線リモート操作コード

左記の操作で、リモートパスワードを入力して**[#]**を押したあと、または再生中に以下の操作を行うことができます。

操作内容	リモート操作コード(押すボタン)	本機の動き
巻き戻し	#1#	再生中に押すと、1つ前の用件を再生します。先頭の用件を再生中にこの操作を行うと、先頭の用件を再度再生します。
用件再生	#2#	用件を先頭から再生します。再生中に押すと再生速度を切り替えます(通常→高速→低速→通常…の順)。
早送り	#3#	再生中に押すと、次の用件を再生します。続けて押すと、さらに次の用件を再生します。
用件転送設定	#61#	用件転送を設定します(→P.98)。
用件転送解除	#62#	用件転送を解除します(→P.98)。
留守設定	#7#	「留守」を設定します。
用件消去	#8#	再生中に押すと、再生中の用件が消去されます。用件をすべて聞いたあと「ピッピッピ…」と音がしている間(約6秒間)に押すと、再生済みの用件がすべて消去されます。
留守解除	#9#	「留守」を解除します。

- ▶ **外線リモート操作コード表を持ち歩きたい**：P.127の「外線リモート」の表をハンドスキャナでコピーする(→P.46)

## 用件が録音されたら外出先に転送する（用件転送）

留守設定中に用件が録音されたとき、あらかじめ登録した携帯電話や外出先の電話機に転送することができます。

### 転送先を登録する

留守設定中に録音された用件を転送するときは、あらかじめ用件転送を「する」に設定し、携帯電話や外出先の電話機の番号を登録しておきます（用件転送→P.98）。お買い求め時は、用件転送を「しない」に設定されています。

- ・用件を転送するときは、リモート操作の設定とリモートパスワードの登録を必ず行ってください（リモート操作→P.98）。
- ・転送先の電話番号は1カ所のみ登録できます。
- ・転送先につながらなかったときのために、用件転送を行う回数を最大10回まで設定できます。
- ・ブッシュ信号が出せる電話機を通知先に指定してください。
- ・転送先が携帯電話またはPHSのときは、電源が入っていない場合や電波が届かない場合など、転送されないことがあります。
- ・録音された用件が6秒未満のときは、転送されません。

### 用件転送を設定／解除する

用件転送の設定を行うと、「留守」の設定／解除と同時に用件転送が設定／解除されます。

- ▶ **用件転送を設定しているのに用件が転送されないのは：**
  - ・録音された用件が6秒未満だった
  - ・用件が録音されてから転送されるまでの間に停電などで親機の電源が切れた
- ▶ **用件転送をやめたい：**用件転送を「しない」に設定する（用件転送→P.98）
- ▶ **外出先から用件転送だけを解除するには：**外線リモート操作コードの「#62#」を押す（→P.52）

### 用件転送先での受けかた

- ・あらかじめリモート操作の設定とリモートパスワードの登録が必要です（リモート操作→P.98）。

## 1 転送先で電話に出る

## 2 「用件転送をします。パスワードを入れてください」というメッセージが聞こえている間、またはメッセージのあと3秒以内に $\square$ を押す

メッセージが止まります。

止まらないときは、再度 $\square$ を押してください。

## 3 リモートパスワード（4桁の数字）を入力し、最後に $\square$ を押す

メッセージが5回流れる間にパスワードを入力しないと、自動的に電話が切れます。

## 4 「パスワードが一致しました。用件は○件です」というメッセージが聞こえ、用件が再生される

「パスワードを入れ直してください」と聞こえたら、 $\square$ →パスワード入力→ $\square$ と入力し直してください。3回間違えると電話が切れます。

## 5 用件再生が終わったら電話を切る

- ▶ **再生以外の操作をしたい：**手順3のあと、外線リモート操作コード（→P.52）を入力する
- ▶ **再生中に早送りや巻き戻しをしたい：**外線リモート操作コード（→P.52）を入力する
- ▶ **繰り返して用件転送される：**パスワードを入力する前に電話を切ると、回線によってはこのようなことが発生する。この場合は、「用件転送先での受けかた」（→左記）の手順を最後まで行う
- ▶ **転送先が話し中のときや誰も電話に出ないときは：**5回までは1分間隔、以降は30分間隔で、設定した回数まで自動的にかけ直す。それでもつながらないときは、用件転送が止まる。また、自動的にかけ直そうとしている間（待ち受け中）に別の用件が録音されたときは、最初に録音された用件に対する用件転送の回数分だけかけ直す

## ナンバー・ディスプレイを利用する

ナンバー・ディスプレイとは、電話をかけた方またはファクスを送った方の電話（ファクス）番号などが、受信側の画面に表示されるサービスです。このサービスを利用するためには、NTT東日本またはNTT西日本との契約（有料）が必要です。

契約している場合は、ナンバー・ディスプレイを「利用する」に必ず設定してください（ナンバーディスプレイ利用→P.99）。お買い求め時は「利用する」に設定されています。

**ネーム・ディスプレイ**（有料）をご契約になると、電話（ファクス）番号の他に相手の名前が表示されます（→P.59）。

**キャッチホン・ディスプレイ**（有料）をご契約になると、お話し中に別の人から電話がかかってきたときに電話番号などが表示されます（→P.58）。

- ・ 次の場合は電話番号が表示されません。
  - 国際電話
  - オペレーター扱いの通話（100番・106番）
  - 相手が番号非通知のとき
  - 相手が公衆電話からかけてきたとき
  - 相手が圏外からかけてきたとき
  - 電話回線の雑音などで、データを正常に受信できなかったとき

### ナンバー・ディスプレイサービスを利用した便利な機能

ナンバー・ディスプレイを利用すると、いろいろな便利な機能を使うことができます。

- ・ かけてきた相手の電話番号と日時を確認する（着信データ）
- ・ 着信データを使って電話をかける（コールバック→P.55）
- ・ 着信データを電話帳に登録する（かんたん登録→P.56）
- ・ 留守中にかけてきた相手を確認する（留守録着信データ→P.57）
- ・ 電話に出たくない相手には着信拒否のメッセージを流す（着信拒否→P.57）
- ・ 電話帳に登録している相手に自作応答メッセージを流す（応答メッセージ選択→P.100）
- ・ 相手によって親機だけ／子機だけベルを鳴らしたり、着信ベルの音色やメロディを変える（親機のみ）（プライベートコール指定→P.99）
- ・ 電話番号を通知してこない相手にメッセージを流す（番号リクエスト→P.99）

- ・ ナンバー・ディスプレイを利用した機能は、電話帳に番号を登録する際に「-（ボーズ）」「\*」「#」を使用すると、番号が一致したと見なされなくなります。また、電話番号は同一市内の場合でも、必ず市外局番から登録してください。
- ・ 着信拒否を「する」に設定している場合でも、親機の登録・設定中／コピー中／Lモード画面表示中は、対象となっている相手からの電話にメッセージは流れません。

### 利用申し込みにあたって

ナンバー・ディスプレイを利用するには、NTT東日本またはNTT西日本との契約が必要です。

- ・ 本機でナンバー・ディスプレイを契約すると、次のサービスが利用できなくなります。
  - 転送電話（ボイスワープを除く）
  - ダイヤルQ2（情報提供側）
  - テレドーム（情報提供側）
  - ノーリング情報サービス（センター回線）
- ・ ブランチ接続では使えません（→P.17）。
- ・ 構内交換機やホームテレホンなどに接続されているときは、ナンバー・ディスプレイをご利用になれないことがあります。
- ・ 停電時は、ナンバー・ディスプレイはご利用できません。

### <お問い合わせ先>

NTT東日本・NTT西日本

ナンバー・ディスプレイ カスタマーセンター

 フリーダイヤル : **0120-848521**

受付時間:午前9:00～午後5:00（月曜～土曜）

#### **ダイヤルインサービスを同時に利用するときは**

必ずモデムダイヤルインサービスを契約してください。通常のダイヤルインサービスを契約している場合は、モデムダイヤルインサービスに変更する必要がありますので、ナンバー・ディスプレイ カスタマーセンターに連絡してください。

#### **ISDN回線を利用しているときは**

ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプタを使用してください。ターミナルアダプタの種類によっては、ナンバー・ディスプレイを利用できないことがあります。

## 自分の電話番号の通知・非通知について

ナンバー・ディスプレイを利用している相手に、自分の電話番号を通知するかどうかを、電話をかけることに指定できます。

- ・電話番号を通知すると、電話勧誘など思わぬ使いかたをされることがあります。

	契約の内容	
	通話ごとの非通知	回線ごとの非通知
相手に電話番号を通知する	普通にダイヤルする	[1][8][6]のあと相手の番号をダイヤル
相手に電話番号を通知しない	[1][8][4]のあと相手の番号をダイヤル	普通にダイヤルする

- ▶ **自分の契約がどちらかわからないときは**：NTT東日本またはNTT西日本の窓口などに問い合わせ、確認する

## 表示の見かた

電話がかかってくると、相手の番号が次のように表示されます。

### <電話帳に登録されていない相手のとき>

親機	子機
着信中 0312345678	0312345678

### <電話帳に登録されている相手のとき>

親機	子機
着信中 0312345678 ニッポンデンキ	ニッポンデンキ

※子機の場合は、ワンタッチダイヤルに登録されている名前も表示されます。

- ▶ **親機と子機で同じ電話番号に違う名前を登録しているときは**：親機と子機、それぞれに登録した名前が表示される

### <相手が公衆電話のとき>

親機	子機
公衆電話	コウシュツエツワ

### <相手が番号非通知のとき>

親機	子機
非通知	ヒツチ

### <相手が海外など、圏外からかけてきたとき>

親機	子機
表示圏外	ヒョウシケンガイ

<一時的な電話回線の雑音などにより正常に受信できなかったとき>

親機	子機
受信エラー	ジユシエラー

## 着信データを使って電話をかける (コールバック)

電話をかけてきた／ファクスを送ってきた相手の電話番号と日時は、親機と子機それぞれに着信データとして自動的に記憶されます(親機で最大20件、子機で最大10件)。記憶された情報は最新のものから表示して確認できます。最大件数を超えると、古いものから順に消去されます。

- ・ナンバー・ディスプレイの設定が必要です(ナンバーディスプレイ利用→P.99)。お買い求め時は「利用する」に設定されています。
- ・「非通知」「公衆電話」「表示圏外」「受信エラー」として記憶された相手は、電話をかけ直したり、電話帳に登録することはできません。

## 親機でかけ直す

着信データを表示させ、簡単な操作でかけ直すことができます。

- ・着信データは最新のものから順に、最大20件まで記憶されます。停電時あるいは電源を切ると消去されます。
- ・電話やファクスを使用しているときは、着信データを見ることはできません。

1	を押す	着信データ 1/2 受話器をとるかオンフックで電話できます
	着信データが表示されます。	相手先 着信日時
		01. 友達 2/ 1 15:30
		02. 0312345678 1/31 18:00

2	でかけたい相手を選択する	着信データ 2/2 受話器をとるかオンフックで電話できます
		相手先 着信日時
		01. 友達 2/ 1 15:30
		02. 0312345678 1/31 18:00

3	受話器をとる	ダイヤル中 0312345678
---	--------	---------------------

## 4 話しをして、用件が済んだら受話器を戻す

- ▶ **電話帳に登録されている相手のときは**：登録されている名前が表示される
- ▶ **オンフックダイヤル(→P.28)でかけるときは**：手順2のあと、[オンフック]ボタンを押す
- ▶ **「着信データはありません」と表示されたときは**：着信データが記憶されていない

▶ 着信データをプリントするときは (着信データリスト→ P.91)

▶ 着信データの表示を切り替えるには : 着信履歴で相手先を表示しているときに、ファンクションボタン [表示切替] を押すと、相手先名表示と電話番号表示を切り替えることができる

#### 📧 ファクスを送るには

原稿セット (→P.38) → → → →

スタート/コピー → 送信 → ピーッ → 送信完了

▶ 中止するときは : [ストップ] ボタンを押す

#### 📧 着信データの電話番号を電話帳に登録するには (かんたん登録)

→ → → ファンクションボタン [登録] →

ファンクションボタン [電話帳] → 相手先名、よみがな、メールアドレスなどを 入力(→P.34) →

ファンクションボタン [登録]

▶ 中止するときは : [ストップ] ボタンを押す

▶ 「電話帳がいっぱいです」と表示されたときは : 親機の電話帳から不要な相手先を消去して (→P.35) から登録し直す

#### 📧 着信データを消去するには

→ → →

ファンクションボタン [削除] → ファンクションボタン [はい]

▶ 中止するときは : ファンクションボタン [いいえ] または [ストップ] ボタンを押す

### 子機でかけ直す

着信データを表示させ、簡単な操作でかけ直すことができます。

- ・着信データは最新のものから順に、最大 10 件まで記憶されます。電池パックを抜いたり、電池がなくなったりすると消去されます。
- ・電波の届かないところに置いていた場合は、着信データは記憶されません。

1 待ち受け中 (→P.14) に [<] を2回押す  
着信データが表示されます。

2 [▲] [▼] でかけたい相手を選択し、 を押す

### 3 話しをして、用件が済んだら子機を充電器に戻す、または を押す

▶ 電話帳に登録されている相手のときは : 登録されている名前が表示される

▶ 着信データの表示を切り替えるには : [>] ボタンを押すと「相手先名 (電話帳に登録されている相手のとき) → 電話番号 → 日時」の順で切り替わる。 [<] ボタンを押すと相手先名 (または電話番号) の表示に戻る

▶ 「アリマセン」と表示されたときは : 着信データが記憶されていない

#### 📧 着信データの電話番号を電話帳に登録するには (かんたん登録)

待ち受け中に [<] 2回押す → (→P.14)

→ [▲] [▼] 登録する相手を選択 → →

→ 相手先名を入力 (→P.35) → 2回押す

▶ 「デンワチョウ フル」と表示されたときは : 子機の電話帳から不要な相手先を消去して (→P.36) から登録し直す

#### 📧 着信データを消去するには

待ち受け中に [<] 2回押す → (→P.14)

→ [▲] [▼] 消去する相手を選択 → →

→ または → ピーッ → または

▶ 中止するときは : 「ショウキョ シマスカ?」と表示されたあと [▲] [▼] ボタンを押し、「チュウシ シマスカ?」と表示されたら [メニュー] ボタンを押す



## 留守中にかけてきた相手を確認する (留守録着信データ)

留守設定中に電話がかかってくると、着信データと同時に留守録着信データが記憶されます。これにより、親機や子機で用件を再生しながら相手の電話番号を確認することができます。外線リモートや子機のリモコン操作で用件を聞いたときは、電話番号が音声で聞こえます。留守録着信データは、いったん回線がつながった相手であれば、応答メッセージが流れている間に相手が電話を切っても記憶されます。

- 留守録着信データには次のような制限があります。
  - 用件が消去されると留守録着信データも同時に消去されます。
  - 留守録着信データを使って電話をかけたりファクスを送ることはできません。
  - 電話帳や着信拒否に登録することはできません。

### <親機>

留守録の用件を再生すると、画面に留守録着信データが表示されます。電話帳に登録している相手の場合は相手の名前と電話番号が、登録していない相手は電話番号が表示されます。

### <子機>

画面に留守録着信データは表示されません。留守録の用件を再生すると、用件のあとに時間と相手の電話番号が音声で聞こえます。

- 相手が用件を録音していないと、用件かわりに話中音が聞こえ、そのあと時間と相手の電話番号が聞こえます。
- 相手の電話番号が通知されないときは、その理由が音声で聞こえます。

▶ 録音された用件を親機で聞くには (→P.49)

▶ 録音された用件を子機で聞くには (→P.50)

▶ 外出先から用件を聞くには (→P.52)

## 電話に出たくない相手には着信拒否のメッセージを流す (着信拒否)

電話に出たくない相手を着信拒否に登録しておく、その相手から電話がかかってきたときにベルを鳴らさずに「申し訳ありませんが、お取りつぎできません」という固定メッセージを流し、自動的に電話を切ることができます。

- 電話番号を着信拒否リストに登録したあとは、着信拒否を「する」に設定してください (着信拒否→P.99)。

## 着信拒否の電話番号を登録する

- 着信拒否リストは、最大10件まで登録できます。
- 電話番号は必ず市外局番から入力してください。また、「\*」「#」「- (ポーズ)」は入力しないでください。

### 1 ファンクションボタン [機能] を押す

### 2 で「6. ナンバーディスプレイ」を選択し、 を押す

### 3 で「7. 着信拒否リスト編集」を選択し、 を押す

着信拒否リスト編集	1/2
1. 0612345678	
2. 0312345678	

着信拒否リスト編集画面が表示されます。1件も登録されていないときは「1. 未登録」と表示されます。

### 4 [追加] を押す

着信拒否リスト編集 [決定] で確定 ダイヤルボタンで入力してください
<input type="text"/>




### 5 相手先の電話番号を市外局番から入力し、 を押す

電話番号が着信拒否に登録されます。

- ▶ 登録を中止するときは：[ストップ] ボタンを押す
- ▶ 「着信拒否リストがいっぱいです」と表示されたときは：不要な相手先を消去してから登録し直す (→下記)

### 着信拒否に登録した電話番号を消去するには

ファンクションボタン [機能] →  「6. ナンバーディスプレイ」を選択 →

→   「7. 着信拒否リスト編集」を選択 →  →

→  消去する相手を選択 → ファンクションボタン [消去]

- ▶ 中止するときは：[ストップ] ボタンを押す

### 着信データの電話番号を着信拒否リストに登録するには

  登録する相手を選択 →

→ ファンクションボタン [登録] → ファンクションボタン [着信拒否]

- ▶ 中止するときは：[ストップ] ボタンを押す

## お話し中に電話がかかってきたとき (キャッチホン・ディスプレイ)

電話で話しをしているときに、別の相手からかかってきた電話の電話番号などを画面で確認してから、電話に出ることができます。

キャッチホン・ディスプレイ(キャッチホン割り込み電話番号表示サービス)を利用するためには、NTT東日本またはNTT西日本との契約(有料)が必要です。サービス契約後、ナンバー・ディスプレイを「利用する」(お買い求め時の設定は「利用する」)に設定し(ナンバーディスプレイ利用→P.99)、キャッチホン・ディスプレイを「利用する」(お買い求め時の設定は「利用しない」)に設定する(キャッチホンディスプレイ→P.100)必要があります。

### ダイヤルインサービスを同時に利用するときは

必ずモデムダイヤルインサービスを契約してください。通常のダイヤルインサービスを契約している場合は、モデムダイヤルインサービスに変更する必要がありますので、ナンバー・ディスプレイ カスタマーセンターに連絡してください。

### ISDN回線を利用しているときは

キャッチホン・ディスプレイはアナログ回線用のサービスです。ISDN回線の方は、最寄りのNTT東日本またはNTT西日本の窓口にご相談ください。

## キャッチホン・ディスプレイのご利用にあたって

- ・キャッチホンが着信すると、キャッチホン着信音「ブルル・ブツツ」のあとに「ピポ」という音が聞こえ、相手の電話番号を受信する間(約1秒間)通話が途切れます。
- ・子機で通話中の場合、親機から電話番号情報を転送する間「ザッ」というノイズが聞こえます。
- ・次の場合、キャッチホンが着信しても、相手の電話番号が表示されないことがあります。
  - 保留中、留守番電話動作中、コピー中、ファクス送受信、登録・設定操作中、通話録音中、通話再生中、外線転送中、Lモード画面表示中など
  - 大声で通話したとき
  - 周囲の雑音が大きいとき
  - NTT東日本またはNTT西日本の交換機とお客様宅との距離が遠いとき


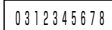
・キャッチホン・ディスプレイをご契約になる場合には、次の点にご注意ください。

- ファクスの送信中や受信中にキャッチホンが入ると、ファクスの画像が乱れたり、送信や受信が中断されることがあります。またこの場合、電話がかかってきたことはこちらではわかりません。キャッチホン・ディスプレイの異常ではありませんので、ご了承願います。
- 通話中にキャッチホン・ディスプレイにより割り込まれた相手がファクスの場合は、「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえてもファクスかんたん受信(→P.41)は動作しません。手動受信の操作(→P.42)によりファクスを受信することもできますが、受信中は前の方とのお話しに戻ることができません。親機のファンクションボタン[キャッチ]または子機の[キャッチ]ボタンをもう一度押して、先に通話していた方とお話してください。  
なお、手動受信の操作をしなかった場合は、ファクスを送られてきた相手の方は通信エラーになってしまいます。また続けてファクスが送られてくることが考えられますので、早めにお話しを終えられることをお勧めします。



## お話し中に電話がかかってきたときの表示例

キャッチホン・ディスプレイを利用すると、キャッチホン着信時に相手の番号が約30秒間表示されます(キャッチホンを受けるには→P.60)。

### <電話帳に登録されていない相手のとき>

親機	子機
 <b>0312345678</b>	

### <電話帳に登録されている相手のとき>

親機	子機
 <b>友達</b> 0312345678	

※子機の場合は、ワンタッチダイヤルに登録されている名前も表示されます。


- ・着信拒否リスト(→P.57)に登録されている電話番号の場合でも、キャッチホン着信してその番号が表示されません。
- ・番号リクエスト(→P.99)の設定が「する」になっていても、非通知の相手もキャッチホン着信して親機は「非通知」、子機は「ヒツウチ」と表示されます。
- ・プライベートコールに指定されている番号も表示されます。
- ・キャッチホンに応答する前に相手が電話を切っても、約30秒間表示されます。
- ・キャッチホンに応答したときは、その時点で通話時間表示に戻ります。応答しなくても約30秒間経過したときは通話時間表示に戻ります。

## 相手の名前を確認する (ネーム・ディスプレイ)

ネーム・ディスプレイを契約(有料)すると、電話がかかってきたときに、相手の電話番号と相手の名前や会社名など(発信者名)が親機の画面に表示されます(子機には電話番号のみ表示されます)。このサービスを利用するためには、ネーム・ディスプレイの契約のほかに、ナンバー・ディスプレイの契約(有料)が必要です。サービスを契約したあと、ナンバー・ディスプレイを「利用する」に設定すると、ネーム・ディスプレイを利用できます(ナンバーディスプレイ利用→P.99)。お買い求め時は「利用する」に設定されています。

- ・電話をかけてきた相手が、番号通知、発信者名通知を選択している場合のみ表示します。
- ・表示される発信者名は、電話をかけてきた相手がNTT東日本またはNTT西日本に申し込みをした名称です。

### ネーム・ディスプレイご利用時の表示例

ネーム・ディスプレイを追加契約すると、ナンバー・ディスプレイのみ契約しているときと表示内容が変わります。  
※「」マークは、ネーム・ディスプレイを表しています。

### 電話がかかってきたとき

<電話帳に登録されていない相手からの場合>

着信中  鈴木商店  
0312345678

<電話帳に登録されている相手からの場合>

例：相手が発信者名を「鈴木商店」で申し込み、こちらが電話帳に「魚屋さん」で登録した場合

着信中  鈴木商店  
**魚屋さん**

### 留守番電話が応答しているとき

<電話帳に登録されていない相手からの場合>

応答中  鈴木商店  
0312345678

<電話帳に登録されている相手からの場合>

例：相手が発信者名を「鈴木商店」で申し込み、こちらが電話帳に「魚屋さん」で登録した場合

応答中  鈴木商店  
**魚屋さん**

### 留守番着信データを表示しているとき



<電話帳に登録されていない相手からの場合>

再生中  鈴木商店  
0312345678

<電話帳に登録されている相手からの場合>

例：相手が発信者名を「鈴木商店」で申し込み、こちらが電話帳に「魚屋さん」で登録した場合

再生中  鈴木商店  
**魚屋さん**

- ・リダイヤル/着信データの相手先表示欄には、発信者名と  が表示されます。電話帳に登録されている相手の場合は、その名前が優先して表示されます。
- ・着信データリスト(→P.91)をプリントしたときは、相手先名欄に、発信者名と  が表示されます。電話帳に登録されている相手先の場合は、その名前が優先して表示されます。

### キャッチホン・ディスプレイを契約すると

キャッチホン・ディスプレイを契約された場合、お話し中に電話がかかってくると、相手の電話番号(電話帳に登録されている場合はその名前)に加えて発信者名が表示されます。

## キャッチホンを利用する

キャッチホンを利用すると、相手と話し中、別の方からかかってきた電話に出ることができます。

### ご利用にあたって

キャッチホンを利用するには、NTT東日本またはNTT西日本との契約(有料)が必要です。

キャッチホン・ディスプレイを契約(有料)すると、通話中にかけてきた相手の番号を表示できます(→P.58)。

- ・ファクスの送受信中にキャッチホンが入ると、ファクスの画像が乱れたり、送受信が中断されることがあります。
- ・Lモードゲートウェイに接続中にキャッチホンが入っても、電話を受けることはできません。
- ・Lモードゲートウェイに接続中にキャッチホンの着信音が入ると、通信が不安定になり切断されることがあります。

### キャッチホンを受ける

- ・キャッチホンが入っていないときにファンクションボタン [キャッチ] (子機では [キャッチ] ボタン) を押さないでください。電話が切れてしまいます。

通話中 → 「ブルルー・ブップ」  
(キャッチホンの着信音) →

→ ファンクションボタン [キャッチ] → あとからかけてきた相手と通話 →

→ ファンクションボタン [キャッチ] を押すごとに通話の相手を切り替えられる

▶ 子機で通話をしていたときは : [キャッチ] ボタンを押す

▶ 一方と通話中、もう一方の相手は : 自動的に保留になる

#### キャッチホンで入った相手がファクスのときは

いったん最初の相手に切り替え、電話を切ってもらってください。そのあと、あとから入ったファクスに切り替え、手動受信の操作をしてください(→P.42)。

ただし、手動受信するタイミングによっては、ファクスを受信できないことがあります。

## モデムダイヤルインを利用する

モデムダイヤルインを利用すると、1本の電話回線で、2つ以上の電話番号を使えます。

### ご利用申し込みにあたって

モデムダイヤルインを利用するには、NTT東日本またはNTT西日本との契約(有料)が必要です。

契約の際に以下の内容をNTT東日本またはNTT西日本に連絡してください。

窓口: **116** (無料)

受付時間: 午前9:00～午後5:00 (月曜～土曜)

- ・ダイヤルインの種類は「モデムダイヤルイン」

- ・電話番号(送出番号)は「下4桁」

「下4桁」を指定しないと、現在使用している電話番号が変わることがあります。

- ・ダイヤルインサービスの利用開始日時を確認

- ・本機はPB信号方式のダイヤルインには対応していません。お申し込み時には、モデム信号方式のダイヤルイン(モデムダイヤルイン)を指定してください。

- ・モデムダイヤルインは、NTTの他のサービスと同時に使えない場合があります。また、一部の地域ではダイヤルインサービスが利用できないことがあります。詳しくは、NTT東日本またはNTT西日本の窓口などにお問い合わせください。

- ・ブランチ(並列)接続では使えません(→P.17)。

- ・電話番号が複数になっても電話回線は1本のままです。同時に電話をかけたり受けたりすることはできません。

- ・停電中は、電話もファクスも使えません。

- ・ダイヤルインサービスが始まっていないときにダイヤルインの登録操作をすると、電話が使えなくなることがあります。

#### ISDN回線を利用しているときは

ターミナルアダプタの機種または設定によっては、本機のダイヤルイン登録が使えない場合があります。このときは、ダイヤルインを「利用しない」(お買い求め時の設定)のままにしてください(→P.61)。

## ダイヤルインの動作

電話番号(契約者回線番号)とダイヤルイン追加番号を使い分け、電話用とファクス用の番号として利用できます。

- 電話用の番号に電話がかかってくると、ベルが鳴り、電話／ファクス自動切替がはたらきます。自動切替をしたくないときは、着信モードを「電話専用」に設定してください(→P.92)。
- ファクス用の番号にファクスが送られてくると、ベルは鳴らず、自動でファクスを受信します。

### 電話用の番号にファクスが送られてきたとき

ベルが鳴り、電話に出ると「ポー、ポー、ポー…」という音が聞こえたり、または無音になっています。ファクスかんたん受信(→P.41)、またはファクスの手動受信(→P.42)の操作をしてください。

また、ファクス用の番号に電話がかかってくる時は、ベルは鳴らず、電話に出ることもできません。

### 「留守」を設定しているとき

- 電話用の番号にかかってくると、留守番電話の動作をします。用件の録音もファクスの自動受信も行えます。
- ファクス用の番号にかかってくると、ファクスの受信はできませんが、用件の録音はできません。
- 子機用の番号にかかってくると、子機もベルが鳴ります。用件の録音もファクスの自動受信もできます。

## ダイヤルインの利用例

AさんとBさんの場合を例として、契約および登録例を説明します。

- Aさんの場合
  - 電話用とファクス用の番号を分けたい
  - 電話がかかってきたら、親機も子機も鳴らしたい
- Bさんの場合
  - 子機を1台増設したい(→P.110)
  - 親機と子機2台で、3つの電話番号を使い分けたい
  - ファクス専用の番号は必要ない

## 1 NTT東日本またはNTT西日本と契約する

契約内容	Aさんの場合	Bさんの場合
契約者回線番号	xxx - aaaa (電話用)	xxx - cccc (親機用)
ダイヤルイン追加番号	xxx - bbbb (ファクス用)	xxx - dddd (付属子機用) xxx - eeee (増設子機用)

## 2 ダイヤルインサービス開始後に、本機の登録を行う

必要な登録設定(→下記)	Aさんの場合	Bさんの場合
ダイヤルイン	○	○
ファクス専用	○	×
ファクス	bbbb	—
内線1(親機)	aaaa	cccc
共通鳴動	○*	×
内線2(子機1)	aaaa	dddd
内線3(子機2)	—	eeee

\* 親機に電話がかかってくる時に、子機のベルも鳴らします。

## 3 以上で、次のように利用できる

- Aさんに電話をするときは、必ず電話用の番号をダイヤルしてもらってください。ファクス用の番号ではベルが鳴らず、電話に出られません。
- ベルが鳴っていない親機や子機でも電話に出られます。

動作	ダイヤルする番号	親機の状態	子機の状態
Aさんに電話	xxx - aaaa	ベルが鳴る	ベルが鳴る
Aさんにファクス	xxx - bbbb	ベルが鳴らずに、自動受信	ベルが鳴らない
Bさんの親機に電話	xxx - cccc	ベルが鳴る	ベルが鳴らない
Bさんの付属子機に電話	xxx - dddd	ベルが鳴らない	付属子機のベルだけ鳴る
Bさんの増設子機に電話	xxx - eeee	ベルが鳴らない	増設子機のベルだけ鳴る
Bさんにファクス	xxx - cccc	ベルが鳴り、自動受信	ベルが鳴らない

### ナンバー・ディスプレイをご利用の場合は



ダイヤルインの登録よりもナンバー・ディスプレイのプライベートコールが優先されます。このため、電話帳に登録してある相手からかかってくる時は、ベルが鳴る電話機が変わることがあります。



## ダイヤルインの登録をする

お買い求め時は、ダイヤルインを「利用しない」に設定されています。



- ダイヤルインサービスが開始されたことを確認してから行ってください。サービス開始前に行くと、電話がつかなくなる場合があります。
- ダイヤルインサービスを利用するときは、ナンバー・ディスプレイの契約にかかわらず、ナンバー・ディスプレイの設定を「利用する」にしてください(ナンバーディスプレイ利用→P.99)。

1 ファンクションボタン [機能] を押す



2  で「4.登録メニュー」を選択し、 を押す


3  で「3.ダイヤルイン」を選択し、 を押す

1.する
2.しない


4  で「1.する」を選択し、 を押す


1.する
2.しない


5  で、ファクス専用番号を設定する／しないを選択し、 を押す

ファクス番号入力  で確定 ダイヤルボタンで入力してください
<input type="text"/>



「2.しない」を選択した場合は、手順7へ進みます。

6 ファクス用番号の下4桁を入力し、 を押す

内線1番号入力  で確定 ダイヤルボタンで入力してください
<input type="text"/>


7 内線1 (親機) 用番号の下4桁を入力し、 を押す

1.する
2.しない

8  で親機に電話がかかってきたとき子機も鳴らす／鳴らさないを選択し (共通鳴動)、 を押す

ダイヤルボタンで入力してください
<input type="text"/>

鳴らす場合は「1.する」を選択してください。


9 子機用番号の下4桁を入力し、 を押す

子機を2台以上お使いのときは、内線2 (子機1) 用番号を入力して [L] ボタンを押すと、内線3用番号入力画面が表示されます。子機の数だけ手順9を繰り返してください。

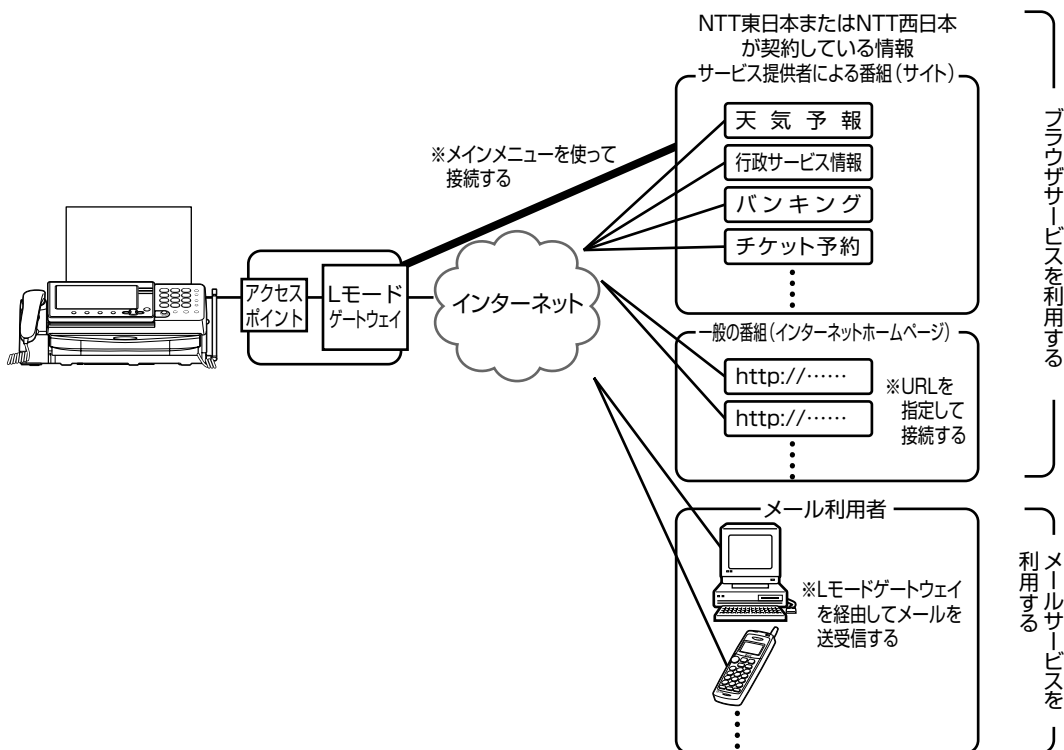
- ▶ 電話番号を変更したいとき：同じ手順で最初から登録し直す
- ▶ ダイヤルインの利用を解除したいとき：手順4で「2.しない」を選択し、[L] ボタンを押す

## Lモードをご利用になる前に必ずお読みください

Lモードとは、ブラウザ(情報閲覧)サービスの利用やメールのやりとりといったインターネットの活用が、電話機を使って手軽にお楽しみいただけるサービスです。Lモードサービスを利用するためには、NTT東日本またはNTT西日本との利用契約と同時に月額使用料が必要です。また、NTT東日本またはNTT西日本と契約したあと、Lモードサービスの利用を開始するための操作(→P.65)を行う必要があります。

- ・Lモードサービスの利用契約後、NTT東日本またはNTT西日本からLモード使用説明書が送付されます。
- ・Lモードサービスの利用契約の中には、メッセージ到着お知らせサービス(→P.104)も含まれています(一部地域を除く)。サービスご利用のため、ナンバー・ディスプレイ利用を「する」に設定してください(→P.99)
- ・Lモードサービスをご利用になるときは、発信者番号(お客様の電話番号)が通知されます。
- ・Lモードゲートウェイとの接続中(画面の「」が点灯しているとき)は、通信料金がかかります。また、接続中は電話やファクスはご利用できません。
- ・PBX(構内交換機)、ホームテレホンなど、発信元の電話番号の他にダイヤルの先頭に「0」をつける必要がある通信機器に本機を接続した場合は、Lモードをご利用いただけません。
- ・Lモード画面表示中は、Lモードゲートウェイとの接続中以外の場合でも電話をかけることができません。Lモードの操作を終了し、待ち受け画面に戻ってから電話をかけてください。
- ・Lモード画面表示中に電話を受けた場合は、他の電話機への転送や保留、ダイヤル送出行は行えません。Lモードの操作を終了し、待ち受け画面に戻ってから操作してください。
- ・NTT東日本/NTT西日本の番号指定型料金割引サービス(i・アイプラン等)をご利用するにあたって
  - Lモードのご利用電話番号(アクセスポイント電話番号)に対して料金割引サービスをご契約になる場合は、必ず本装置に登録されているアクセスポイント電話番号をご確認のうえ、お申し込みをされますようお願いいたします(センター番号確認→P.102)。
  - すでにLモードのご利用電話番号(アクセスポイント電話番号)に対して料金割引サービスをご契約されている場合、お客様が以前にお使いの装置から本装置に交換してLモードをご利用になると、アクセスポイント電話番号が変更になり料金割引サービスが適用されなくなってしまうことがあります。このため、本装置に登録されているアクセスポイントを必ずご確認ください。ご契約の料金割引サービスの電話番号と異なる場合は、ご契約の電話番号を変更いただけますようお願いいたします。
- ※Lモードと組み合わせて契約できないサービス(ダイヤルインなど)があります。詳しくは最寄りのNTT東日本/NTT西日本窓口にご相談ください。

### こんなことができます



## Lモードを申し込む

Lモードを申し込むには、付属の申込書を郵送する方法と、親機からの操作で窓口に電話をかける方法があります(送料、通信料は無料です)。ご購入店などですでに申込書を書かれた場合は必要ありません。

### Lモードを郵送で申し込む

#### 1 NTTへ申し込みをする

利用される場合は、必ずNTTへ利用契約を行ってください。

付属の「Lモードサービス申込書」に必要事項を記入します。


切手を貼らずにポストへ投函します。

数日後、Lモード使用説明書が届けられます(申し込み完了)。

Lモードの利用開始日は、登録手続きが必要なため、NTTが申し込みを受け付けてから数日後となります。ご利用開始日などの詳細は、局番なしの116番までお問い合わせください。

#### 2 ご利用開始日に、Lモードが使えるように設定をする(→P.65)

### Lモードを本機の操作で申し込む

- 画面の内容や操作手順は変更されることがあります。画面のメッセージに従って操作してください。
- 画面に「」と接続時間が表示されますが、通信料金およびオペレータとの通話料金は無料です。

#### 1 を押す

右の画面が表示されます。

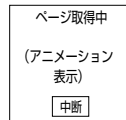
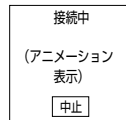
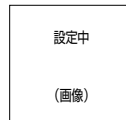
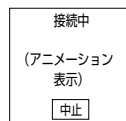
ご利用には発信者番号の通知が必要です。通知してもよろしいですか?

はい  
いいえ

#### 2 で「はい」を選択し、を押す

自動的にセンターとの接続が開始されます。センターとの接続に約30~60秒程度かかります。

ご利用にあたっては、発信者番号の通知が必要です。「いいえ」を選択するとお申し込みできません。



【ご案内画面】  
ご利用したい項目を選択してください。  
① Lモードかんたんお申込はこちら  
② ご利用開始日を過ぎてもLモードのご利用ができない方は

#### 3 で「1 Lモードかんたんお申し込みはこちら」を選択し、を押す

Lモードの「お申し込みご案内画面」へようこそ!

簡単な操作でLモードのお申し込みができます。(お申し込み操作中の通信料は無料です。)

#### 4 で「1. 承諾事項を読む」を選択し、を押す

「<承諾事項をお読みいただくにあたって>」が表示されますので、[▲][▼]ボタンで画面をスクロールしてお読みください。

<承諾事項をお読みいただくにあたって>

下記の内容を了承の上、承諾事項をお読み下さい。

●NTT西日本が定める契約約

#### 5 内容を確認したら、で「承諾事項の画面へ」を選択し、を押す

承諾事項が表示されますので、[▲][▼]ボタンで画面をスクロールしてお読みください。

#### 6 内容を確認したら、で「1. 承諾事項を承諾し、Lモードを申し込む」を選択し、を押す



画面に表示される「1. かんたんお申込に接続する」を選択すると、かんたんお申込(通話料無料)でかんたんお申込になります。

かんたんお申込が電話に出ましたら、受話器を上げて「Lモードを申

#### 7 で「1. オペレータに接続する」を選択し、を押す

お申し込みをするためにオペレータに接続します。



**8** オペレータの電話番号が表示されたら、で「はい」を選択し、を押す  
オペレータに電話につながります。




**9** 受話器をとってオペレータと話す  
必要事項をお伺いしますので、お答えください。  
このとき工事日を指定します。

**10** 申し込みが終了したら、受話器を戻す


**11** NTTにて工事を行う

※訪問による工事はありません。  
数日後、Lモード使用説明書が届けられます。

**12** Lモードが使えるように設定をする(→下記)  
指定した工事日に行ってください。

- ▶ **オペレータに接続するまえに再度内容を確認したい場合は**：ファンクションボタン[戻る]を押す(トップメニューが表示される)。ボタンで「2メインメニュー」を選択し、を押すと手順2の「ご案内画面」が表示される(→P.64)
- ▶ **オペレータに接続するまえに操作を途中でやめるときは**：[ストップ]ボタンを押す

#### Lモードの利用料金について

月額使用料：Lモードサービスへ申し込みをされ、利用契約をされると月額使用料がかかります。  
通信料：[Lモード]へ接続中(画面の)が点灯しているときは通信料がかかります。

Lモードサービスの詳しいお問い合わせは  
**局番なしの116番へ**



### Lモードが使えるように設定する

Lモードをご利用になる前に、まず次の設定を行ってください。この設定を行わないと、Lモードサービスはご利用になれません。

- ・これは、[L] ボタンを押したときに自動的にアクセスポイント電話番号(センター番号)を取得するための設定です。
- ・「接続中」「設定中」と表示されている間は、電話やファクスは利用できません。
- ・電源コードを抜いたり停電があった場合は、設定が消去されます。再度以下の操作を行ってください。

**1** を押す

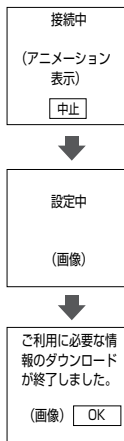
ご利用には発信者番号の通知が必要です。通知してもよろしいですか？  
(画像)  はい  いいえ


**2** で「はい」を選択し、を押す

自動的に設定センターへ接続されて設定が始まり、アクセスポイント電話番号(センター番号)を取得します。


「いいえ」を選択し、[L] ボタンを押すと「ご利用には発信者番号の通知が必要です」と表示され、サービス利用の設定ができません。Lモードをご利用になるときには、「はい」が選択されていることを確認して[L] ボタンを押してください。

▶ **設定を中止するには**：「接続中」表示中に[L] ボタンを押す



**3** 「ご利用に必要な情報のダウンロードが終了しました。」と表示されたら、を押す  
トップメニューが表示されます。

トップメニュー  
1メール  
2メインメニュー  
3マイメニュー  
4アドレス入力検索  
5画面メモ  
6Bookmark

**4** Lモードを終了するときは  を押す  
待ち受け画面に戻ります。

### Lモードのトップメニュー

[L] ボタンを押すと、トップメニューが表示されます。  
トップメニューからは、次のような操作が行えます。

トップメニュー  
1メール  
2メインメニュー  
3マイメニュー  
4アドレス入力検索  
5画面メモ  
6Bookmark

トップメニューの項目	操作	参照ページ
1 メール	メールの作成や送受信ができる	P.66
2 メインメニュー	生活に役立つ情報が取り出せる	P.66
3 マイメニュー	お気に入りの番組をマイメニューに登録しておく、すぐに表示させることができる	P.71
4 アドレス入力検索	ホームページのアドレスを入力すると、インターネット上のホームページを見ることができる	P.85
5 画面メモ	表示させた画面を保存したり、保存した画面を見ることができる	P.87
6 Bookmark	インターネットのアドレスを登録しておく、すぐに表示することができる	P.86
7 スピークスあっとらんど	スピークス@(アットマーク)をご購入いただいたお客様をサポートする	P.66
8 Nメロディタウン	Lモード向け着信音配信サービスのサイトで、アニメや青春ソング、最新ヒット曲がダウンロードできる	-
9 BIGLOBE for L	Lモード対応のポータルサービスのサイトで、エンターテインメント情報や生活情報を提供する	-

## ブラウザ（情報閲覧）サービス (基本操作→P.71～72／応用操作→P.85～90)

Lモードのトップメニュー(→P.65)から、[▲][▼]ボタンで「2メインメニュー」を選択して[L]ボタンを押すと、Lモードゲートウェイへ接続し、メインメニューが表示されます。

メインメニュー	
1	Lメニューリスト
2	選べるメニューリスト
3	天気予報
4	タウンページ
5	今日のチェック
6	お好みマガジン
7	Lモードコーナー

メインメニューからお好きなメニューを選択することによってさまざまなサイト(情報サービス提供者が提供する番組)を利用することができます。Lモード対応ページ以外は、正しく表示されないことがあります。

## メールサービス (基本操作→P.73～78／応用操作→P.78～84)

Lモードのトップメニュー(→P.65)から、[▲][▼]ボタンで「1メール」を選択して[L]ボタンを押すと、メールメニューが表示されます。

1 受信メール一覧	
2	送信済みメール一覧
3	未送信メール一覧
4	新規メール作成
5	受信メール読出
6	定型文編集

Lモードゲートウェイへ接続し、メールの送受信をすることができます。Lモード対応の電話機どうしはもちろんのこと、インターネットを経由してパソコンや携帯電話とEメール(電子メール)のやりとりができます。

Lモードゲートウェイに新着メールが蓄積されると、メッセージがあることをディスプレイに表示すると同時にメールランプが点灯します。

Lモードゲートウェイでのメールの保存期間は14日間、保存件数は最大200件です。

メールメニューからは、右表のような操作が行えます。  
※右表の他にメールワンタッチ機能があります(→P.74)。

メールメニューの項目	操作	参照ページ
1 受信メール一覧	受信メールを読む	P.78
	特定の受信メールを保護/解除する	P.81
	受信メールを返信する	P.82
	受信メールを他の宛先に転送する	P.82
	送信者のメールアドレスを電話帳に登録する	P.83
	特定の受信メールを削除する	P.83
	受信メールをまとめて削除する	P.84
	受信メールを印刷する	P.84
	文字サイズを切り替える	P.76
	2 送信済みメール一覧	送信済みのメールを読み直す
送信済みのメールを編集して送る		P.79
特定の送信済みメールを保護/解除する		P.80
特定の送信済みメールを削除する		P.81
送信済みメールをまとめて削除する		P.81
送信済みメールを印刷する		P.81
文字サイズを切り替える		P.76
3 未送信メール一覧	保存していた未送信メールを送る	P.78
	未送信メールをまとめて送る	P.79
	未送信メールを編集して送る	P.79
	特定の未送信メールを削除する	P.81
	未送信メールをまとめて削除する	P.81
	未送信メールを印刷する	P.81
4 新規メール作成	新規メールを作成して送る	P.73
	作成したメールを保存する	P.74
5 受信メール読出	Lモードゲートウェイに保管されているお客様宛のメールを読み出す	P.76
6 定型文編集	文字入力に便利な独自の定型文を編集する	P.84

## スピークスあっとらんど for Lモードのご案内

「スピークスあっとらんど」は、スピークス@(アットマーク)をご購入いただいたお客様をサポートするLモードのサイトです。

### ●サイトへのアクセス方法

[L]ボタンを押したあとのトップメニューの中に「スピークスあっとらんど」がありますので、[▲][▼]ボタンで選択し、[L]ボタンを押してください。

また、URL指定によるアクセスもできます。

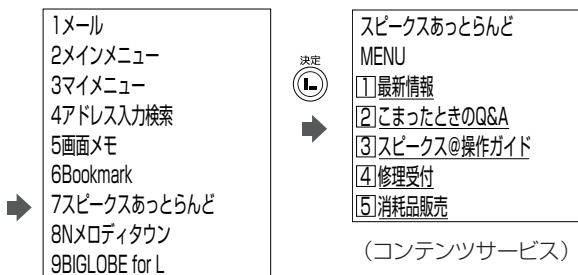
<http://speax.biglobe.ne.jp/lmode/>

### ●コンテンツのご案内

右画面のコンテンツサービスを予定しています。

また、今後随時新しいコンテンツも用意する予定ですので時々アクセスしてみてください。

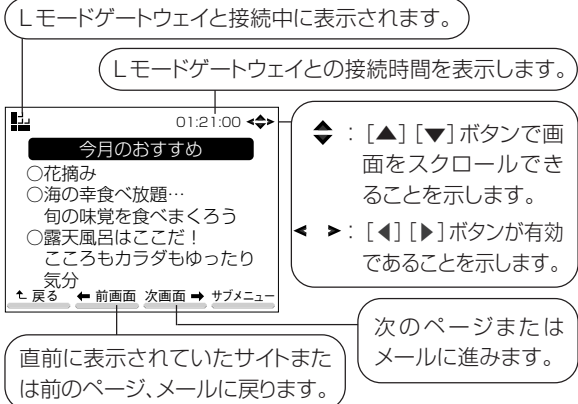
- ・トップメニュー、コンテンツ等の内容は、予告なしに変更される場合があります。
- ・接続中は通信料金がかかります。




## おぼえておいてください

サイトやホームページを見るときにも、メールの送受信をするときにも共通のLモードサービス全般の基礎知識です。

### ●Lモード中の画面表示




### <Lモードの操作をしているのに「」が表示されないことがある>

Lモードの操作には、Lモードゲートウェイと接続して行う操作と、接続しないで行う操作があります。画面の「」は、Lモードゲートウェイとの接続中にのみ表示されます。Lモードゲートウェイに接続しているときにキャッチホンやキャッチホン・ディスプレイの割り込み音が入ると、通信が不安定になり切断されることがあります。

回線の状態によっては、まれにLモードゲートウェイに接続できない場合があります。

### <Lモードの操作中は通信料金がかかる?>

Lモードゲートウェイと接続している間(画面の「」点灯中)のみ、通信料金がかかります。


回線の通信状況により、メールの送受信および、コンテンツの取得ができなかった場合でも、通話料が発生します。

### <パソコンとメールのやりとりはできる?>

Lモード契約時のLメールアドレスは「お客様の電話番号@pipopa.ne.jp」に設定されています。このアドレスを使ってLモード対応の電話機だけでなく、パソコンや携帯電話とメールのやりとりができます。


また、マイアドレス(@より前の部分)の設定を変更したり(→P.69)、電話番号アドレスとマイアドレスを併用して使用することもできます(→P.70)。

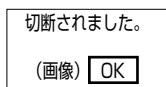
### <ブラウザまたはメール使用中に電話がかかってきたりファクスが送られてきたときは?>

画面に「」が表示されているときは「お話し中」となり、電話やファクスとしては使えません。また、キャッチホンも受けられません。

電話やファクスとしてご使用になりたいときは、[ストップ] ボタンを押してブラウザ、またはメールを終了し、待ち受け状態にしてください。

### <何もしていないのに「切断されました。」と表示されたら?>



「切断されました。」と表示されたら、回線が切断され「」が消えますので、[L] ボタンを押してください。この場合でも、画面が表示された状態は保たれます。操作中接続が必要になったときは、もう一度接続が行われます。Lモードゲートウェイと接続中、一定の時間画面操作を何もしていないと自動的に接続が切断されるのは、切断のし忘れを防止する「無通信監視タイマ」機能のはたらきです。切断までの時間を変更したり、自動的に切断されないように設定することもできます(無通信監視タイマ→P.102)。



Lモードゲートウェイに接続しているときに、キャッチホンやキャッチホン・ディスプレイの割り込み音が入ると、通信が不安定になり切断されることがあります。


回線の状態によっては、まれにLモードゲートウェイとの接続が中断することがあります。その場合は、もう一度接続の操作から始めてください。

### <Lモード画面を表示したままLモードゲートウェイとの接続を切断したいときは?>

「」が表示されているときにLモードゲートウェイとの接続を切断するには、[再生/L回線断] ボタンを押します。「」が消灯しても、画面が表示された状態は保たれます。

### <Lモードの操作をやめるときは?>

[ストップ] ボタンを押す、またはトップメニューでファンクションボタン[戻る]を押して「ブラウザを終了しますか」と表示されたら「はい」を選択すると、Lモードの画面から待ち受け画面に戻ります。

「」が表示されているときに[ストップ] ボタンを押した場合は、Lモードゲートウェイとの接続が切断され、待ち受け画面に戻ります。

### <画面に正しく表示されないことがある?>

Lモードのメニューコンテンツ以外のコンテンツは、正しく表示されない場合があります。GIF/JPEG形式、GIFアニメ以外の画像は表示されず、画像の位置に  マークが表示されます。またGIF/JPEG形式、GIFアニメで表示できない場合があります。

容量が10キロバイトを超えるページは表示できません。

### <「保存中」完了前に電源を切ると?>

メール、Bookmark、画面メモの新規登録/変更や、データをダウンロードしてから万一電源を切るときには、画面の「保存中」の表示が消え、待ち受け画面に戻ってから電源を切ってください。そうしないと、これらのデータは保存されません。

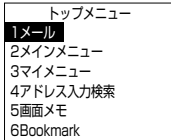
## Lモード用パスワードを変更する

パスワードは、有料番組の申し込みや解約、メールサービスの各種設定などを行うときに必要となる暗証番号です。パスワードは4桁の数字で、最初は「0000」に設定されています。

- ・パスワードは、Lモードを利用する前に必ず変更してください。
- ・パスワードは、他人に知られないように十分ご注意ください。
- ・パスワードを変更されない場合は、「0000」がパスワードとして見なされます。
- ・Lモードにおけるパスワードは、ご利用電話番号ごとに1つです。

**1** を押す

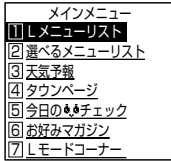
トップメニューが表示されます  
(→P.65)。



**2** で「2メインメニュー」を選択し、 を押す

Lモードゲートウェイとの接続が開始され、完了するとメインメニューが表示されます。

Lモードゲートウェイと接続している間は「」が点灯します。

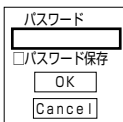


**3** で「7Lモードコーナー」を選択し、 を押す

**4** で「3Lモード各種設定」を選択し、 を押す

**5** で「1パスワード設定」を選択し、 を押す

パスワード入力画面が表示されます。




**6** でパスワード入力欄を選択し、 を押す



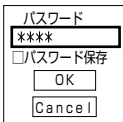
**7** 現在のパスワード(4桁の数字)を入力し、 を押す

ご契約時から変更していない場合は「0000」と入力します。

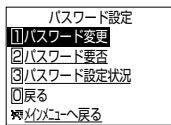


**8** を押す

パスワード入力欄に「\*\*\*\*」と表示されます。

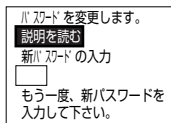


**9** で「OK」を選択し、 を押す



**10** で「1パスワード変更」を選択し、 を押す

パスワードを変更します。  
説明を読む  
新パスワードの入力  
もう一度、新パスワードを入力して下さい。

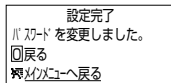


**11** で2カ所のパスワード入力欄を選択/入力する

**12** で「決定」を選択し、 を押す

パスワードが変更されました。

設定完了  
パスワードを変更しました。  
 戻る  
 戻る

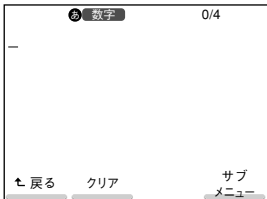


### Lモード用パスワードの入力方法


パスワードの入力が必要な操作は、有料番組の申し込み/解約、L案内メールサービスの申し込み/解約、パスワードの設定、メールサービスの設定です。

- ・Lモードゲートウェイと接続中にパスワードを1回入力すると、接続を切断するまでは、パスワード入力は不要です。
- ・パスワードを忘れたときは、Lモード使用説明書を参照してください。

**1** パスワード画面が表示されたら、 でパスワード入力欄を選択し、 を押す



**2** パスワード(4桁の数字)を入力し、 を押す



**3** を押す






## 4 で「OK」を選択し、 を押す

▶パスワードを4回連続して間違えると：メッセージが表示され、通信が切断される

### パスワードを保存したいときは

パスワードを保存すると、パスワード入力が必要な場面で自動的に入力されるので、パスワード入力が不要になります（パスワード入力画面が表示されなくなります）。

① 「Lモード用パスワードの入力方法」の手順1～3を行う（→P.68）

②   ボタンで「パスワード保存」のチェックボックスを選択し、 ボタンを押す

チェックボックス／ラジオボタンの付いた項目を選択するには（→P.72）

③   ボタンで「OK」を選択し、 ボタンを押す

▶パスワードを保存すると：ご契約者以外の方も、ご契約者同様にLモードが利用できるようになりますので、ご注意ください。

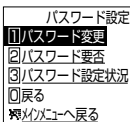
▶保存したパスワードを解除したいときは：パスワードを変更し（→P.68）、Lモードを切断してください。次のLモードゲートウェイとの接続時にはパスワード入力画面が表示されるようになります。ただし、パスワード変更の際にパスワード保存を行うと、パスワードの保存は解除されないの注意が必要です。

## パスワード入力の要／不要を設定する

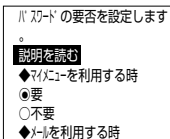
パスワード入力の要／不要を選択できる操作項目は、マイメニューの利用（有料番組利用確認）、メールの利用、サイト（番組）の閲覧です。

- ・ご家族など複数の方で利用される場合、プライバシー、セキュリティなどを考慮のうえ、パスワードの要／不要を設定してください。
- ・Lモード開始日には、すべての項目においてパスワード入力は不要となっています。
- ・メール自動受信（→P.77）をご利用の場合は、「メールを利用するとき」の項目を「不要」に設定してください。

## 1 「Lモード用パスワードを変更する」の手順1～9を行う（→P.68）

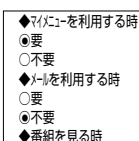


## 2 で「2パスワード要否」を選択し、 を押す



## 3 で各項目を選択し、各項目でのパスワードの要／不要を選択する






チェックボックス／ラジオボタンの付いた項目を選択するには（→P.72）



## 4 で「決定」を選択し、 を押す

パスワード要／不要が設定されます。

## パスワード要／不要の設定状況を確認するには

- ① 「Lモード用パスワードを変更する」の手順1～9を行う（→P.68）
- ②   ボタンで「3パスワード設定状況」を選択し、 ボタンを押す
- ③   ボタンで各項目の設定状況を確認する

## メールアドレスを変更する（マイアドレス）

Lメールのメールアドレスは、ご契約時には「お客様の電話番号@pipopa.ne.jp」（電話番号アドレス）に設定されていますが、下線部分を変更して、お好みのメールアドレス（マイアドレス）に変更することができます。ご契約時のメールアドレスをそのまま使用したり、簡単なマイアドレス（名前など）に変更すると、迷惑メールや間違いメールが届く場合があります。英数字や記号を組み合わせたマイアドレスへ変更してください。

例：変更前 ○○○@pipopa.ne.jp



変更後 △△△@pipopa.ne.jp

- ・使用できる文字は、半角英数字「a～z（大文字／小文字区別なし）、0～9」「-（ハイフン）」「\_（アンダーバー）」「.（ピリオド）」（ただしピリオドは最後の1文字には使用不可）です。
- ・使用できる文字数は、3文字以上16文字以内（最低1文字は半角英字もしくは「-（ハイフン）」「\_（アンダーバー）」「.（ピリオド）」を含める）です。
- ・数字のみのアドレスは登録できません。
- ・スペースは使用できません。
- ・メール受信者にお客様の電話番号を通知したくない場合は、マイアドレスへの変更を通知してください。
- ・他のお客様が使用しているマイアドレスは登録できません。
- ・マイアドレスの設定には通信料金がかかります。

## マイアドレスを登録する

- ・マイアドレスの登録が完了すると、すぐに新しいメールアドレスを使用できます。
- ・マイアドレスは何回でも変更できます。
- ・マイアドレスを登録している場合、マイアドレスの変更後から一定期間内であれば、変更したお客様のみが元のマイアドレスに戻すことができます。

元のマイアドレスのご利用期間	新マイアドレスへの変更後に元のマイアドレスに戻ることができる期間
1日未満（24時間以内）	なし（他の利用者も登録可能）
1日以上10日未満	変更後10日間
10日以上	変更後90日間

- ・メールアドレス変更後も、変更前の未読メールを含め、すべての受信メールを読むことができます。
- ・引越しなどによりお客様のご利用電話番号が変更になった場合、電話番号アドレス（ご利用電話番号@pipopa.ne.jp）は変わりますが、マイアドレスは変更されません（電話番号変更後もLモードをご利用の場合のみ）。

1 を押す  
トップメニューが表示されます(→P.65)。

2 で「2メインメニュー」を選択し、 を押す  
Lモードゲートウェイとの接続が開始され、完了するとメインメニュー(→P.66)が表示されます。

▶接続を中止するには：「接続中」表示中に[L]ボタンを押す

3 で「7Lモードコーナー」を選択し、 を押す

4 で「3Lモード各種設定」を選択し、 を押す

5 で「2Lメール設定」を選択し、 を押す  
パスワード入力画面が表示されます。  
ご契約時は「0000」に設定されています(→P.68)。

パスワード  
パスワード保存  
OK  
Cancel

6 パスワードを入力し、 で「OK」を選択し、 を押す

Lメール設定  
1 登録/変更  
2 削除  
3 電話番号7ドットの併用設定  
4 設定確認  
5 戻る  
6 マイメニューへ戻る

7 で「1マイアドレス設定」を選択し、 を押す

マイアドレス設定  
1 登録/変更  
2 削除  
3 電話番号7ドットの併用設定  
4 設定確認  
5 戻る  
6 マイメニューへ戻る

8 で「1登録/変更」を選択し、 を押す  
マイアドレスの入力画面が表示されます。

マイアドレスを登録します。  
説明を読む  
第1希望  
@pipopa.ne.jp  
第2希望

9 で第1希望の枠を選択し、 を押す

戻る クリア サブメニュー

10 第1希望のマイアドレス(@より前の部分)を入力し、 を押す

マイアドレスを登録します。  
説明を読む  
第1希望  
nec.hanako@pipopa.ne.jp  
第2希望

キーボードで文字を入力するには(→P.24)

文字入力モードが英字または数字になっていることを確認してください。

第1希望の欄に、入力したアドレスが表示されます。

▶第2、第3希望のマイアドレスを入力するときは：手順9～10を繰り返す

11 で「決定」を選択し、 を押す

設定完了  
あなたの新しいマイアドレスはnec.hanako@pipopa.ne.jpです。  
現在、電話番号7ドットを利用しない設定になっています。  
電話番号7ドットと併せて利用

登録されたマイアドレスが表示され、マイアドレスへの変更が完了します。

「ご希望のマイアドレスは使用できません」と表示されたときは、他のお客様がすでに使用していて登録できません。違うマイアドレスで登録し直してください。

### マイアドレスと電話番号アドレスを併用する

電話番号アドレスとマイアドレスの両方を使用できるように設定できます。

- 電話番号アドレスとマイアドレスの両方で、メール受信ができます。
- メール送信時の送信元アドレスは、マイアドレスになります。
- 引越などによりお客様のご利用電話番号が変更になった場合、電話番号アドレスは変わりますが、マイアドレスは変更されません(電話番号変更後もLモードをご利用の場合のみ)。
- アドレス併用設定を行うと、電話番号アドレスには迷惑メールなどが多く届く場合があります。

1 「マイアドレスを登録する」の手順1～7を行う(→P.69)

マイアドレス設定  
1 登録/変更  
2 削除  
3 電話番号7ドットの併用設定  
4 設定確認  
5 戻る

2 で「3電話番号アドレスの併用設定」を選択し、 を押す

電話番号7ドットの併用設定をします。  
説明を読む  
併用する  
併用しない  
決定

3 で「○併用する」を選択し、 を押す

電話番号7ドットの併用設定をします。  
説明を読む  
併用する  
併用しない  
決定

チェックボックス/ラジオボタンの付いた項目を選択するには(→P.72)

**4** で「決定」を選択し、 を押す  
設定が完了します。

設定完了  
マイアドレスと電話番号7桁以下の両方を利用できます。

戻る  
 マイメニューに戻る

元の電話番号アドレスだけに戻すときは

- ① 「マイアドレスを登録する」の手順 1～7を行う(→P.69)
- ② [▲][▼]ボタンで「2削除」を選択し、[L]ボタンを押す
- ③ 画面の案内に従ってマイアドレスの削除を行う

**5** Lモードゲートウェイとの回線を切断するときは、 を押す  
「」が消えます。

**6** Lモードを終了するときは を押す  
待ち受け画面に戻ります。

**何も通信しない状態が続いたときに自動的に回線を切断するには**

お買い求め時は、Lモードゲートウェイと接続しているときに、一定の時間Lモードゲートウェイと通信(メール送受信中、ページ取得中)が行われないと、自動的に回線が切断されるように設定されています。この切断までの時間を1分～10分まで、または「無監視」(自動的に切断されない)に変更できます(無通信監視タイマー→P.102)。お買い求め時は、3分に設定されています。

**ページを表示するとき画像も表示するかどうかが設定するには**

お買い求め時は、「表示する」に設定されています。これを「表示しない」に変更すると、画像表示の部分に  が表示されます(画像表示設定→P.101)。  
ただし、「表示する」に設定していても、GIF/JPEG形式、GIFアニメ以外の画像データは表示されません。またGIF/JPEG形式、GIFアニメでも表示されない場合があります。

**よく利用するサイトをマイメニューに登録する**

よく利用するサイトを表示させ、マイメニューに登録すると、次回からそのサイトに簡単に接続できるようになります。マイメニューへの登録については、Lモード使用説明書を参照してください(マイメニューに登録できないサイトもあります)。

**マイメニューに登録したサイトに接続する**

**1** を押す  
トップメニューが表示されます(→P.65)。

**2** で「3マイメニュー」を選択し、 を押す  
Lモードゲートウェイとの接続が開始され、完了するとマイメニューに登録したメニューが表示されます。

マイメニュー  
マイメニューで  
登録した  
メニューを  
表示します

▶ **接続を中止するには** : 「接続中」表示中に[L]ボタンを押す

**3** でコンテンツを選択し、 を押す

**4** 手順3を繰り返し、目的のサイトに接続する  
Lモードゲートウェイとの回線を切断するときは[再生/回線断]ボタンを押します。  
Lモードを終了するときは[ストップ]ボタンを押します。

**Lモードゲートウェイと接続して各種サービスを利用する**

Lモードゲートウェイと接続し、情報サービス提供者が提供するサイトの各種サービスを利用することができます。また、よく利用するサイトをマイメニューに登録すると、そのサイトへの接続がさらに簡単になります。

- ・Lメールやサイトによってはパスワードの入力が必要になります(→P.68)。
- ・GIF/JPEG形式、GIFアニメ以外の画像は表示されず、画像の位置には  が表示されます。また、GIF/JPEG形式、GIFアニメでも表示されない場合があります。
- ・サイトによっては、ご利用の前に別途申し込みが必要な場合があります。
- ・Lモードゲートウェイと接続中は、電話やファクスを使用できません。
- ・Lモードゲートウェイと接続中は、通信料金がかかります。
- ・Lモードのメニューコンテンツ以外は、コンテンツの規格や回線の通信状況などにより正しく表示されないことがあります。
- ・サイトを表示するときに、画像データを表示するかどうかの設定が変えられます(画像表示設定→P.101)。
- ・各サイトに接続する際、Lモード利便性向上のため、情報サービス提供者にブラウザバージョン(User-Agent)などの通信機器に関する情報を通知します。

**サイトに接続する**

Lモードゲートウェイからサイトに接続する基本的な操作方法です。  
画面上での基本操作については(→P.72)

**1** を押す  
トップメニューが表示されます(→P.65)。

**2** で「2メインメニュー」を選択し、 を押す  
Lモードゲートウェイとの接続が開始され、完了するとメインメニュー(→P.66)が表示されます。

**3** で項目(コンテンツ)を選択し、 を押す

**4** 手順3を繰り返し、目的のサイトに接続する

## 画面上での基本操作

### <画面をスクロールする>

1画面に表示しきれないときは、[▼]ボタン(下方向へ)または[▲]ボタン(上方向へ)を押して画面をスクロールします。

### <リンク先に接続する>

下線が付いている項目を[▲][▼]ボタンを押して選択し、[L]ボタンを押すと、別のサイト(リンク先)に接続できます。

### <前のサイト／ページへ戻る>

ファンクションボタン[←前画面]を押すと、直前に表示されていたサイト／ページに戻ります。

### <先のサイト／ページへ進む>

ファンクションボタン[次画面→]を押すと、次のサイト／ページに進みます。

### <サブメニューを使う>

サイトを表示しているときに、ファンクションボタン[サブメニュー]を押すと、右のようなサブメニューが表示されます。[▲][▼]ボタンを押して項目を選択し、[L]ボタンを押すか、項目番号(1~7)を入力すると、次の操作に進めます。サブメニューの表示を消したいときは、ファンクションボタン[戻る]を押します。サブメニューからは、次のような操作が行えます。

1Bookmark登録
2再読み込み
3URL参照
4Bookmark
5画面メモ登録
6印刷
7文字サイズ

サブメニューの項目	操作	参照ページ
1Bookmark登録	表示中のサイトをBookmarkに登録する	P.86
2再読み込み	表示中のサイトを、新しい情報に更新する	P.87
3URL参照	表示中のサイトのURLを確認する	P.85
4Bookmark	Bookmarkに登録してあるサイトに接続する	P.86
5画面メモ登録	表示中のサイトを画面メモに登録する	P.86
6印刷	表示中のサイトを印刷する	P.89
7文字サイズ	文字サイズを切り替える	P.76

### <文字を入力する>

[▲][▼]ボタンを押して、文字を入力したいテキストボックスに太枠を移動させ、[L]ボタンを押します。

宛先1
_____
_____
_____
_____
_____
_____

文字入力の画面が表示されたら、文字を入力して[L]ボタンを押すと、テキストボックス画面に戻り、入力した文字が表示されます。

キーボードで文字を入力するには(→P.24)

### <チェックボックス／ラジオボタンの付いた項目を選択する>

[▲][▼]ボタンを押して、目的の項目に太枠を移動させ、[L]ボタンを押して確定します。「☑」または「●」が、確定された状態です。

#### ●チェックボックス

赤	<input type="checkbox"/>	緑	<input type="checkbox"/>
黄	<input type="checkbox"/>	黒	<input type="checkbox"/>
青	<input type="checkbox"/>		



赤	<input type="checkbox"/>	緑	<input type="checkbox"/>
黄	<input type="checkbox"/>	黒	<input type="checkbox"/>
青	<input type="checkbox"/>		



赤	<input type="checkbox"/>	緑	<input type="checkbox"/>
黄	<input checked="" type="checkbox"/>	黒	<input type="checkbox"/>
青	<input type="checkbox"/>		

#### ●ラジオボタン

赤	<input checked="" type="radio"/>	緑	<input type="radio"/>
黄	<input type="radio"/>	黒	<input type="radio"/>
青	<input type="radio"/>		



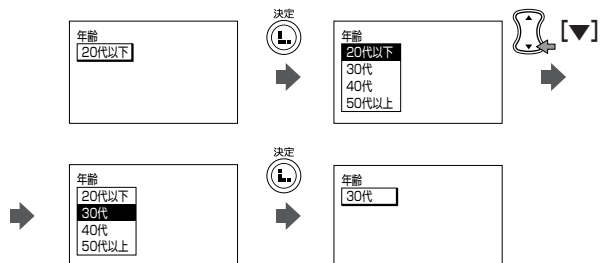
赤	<input type="radio"/>	緑	<input type="radio"/>
黄	<input checked="" type="radio"/>	黒	<input type="radio"/>
青	<input type="radio"/>		



赤	<input type="radio"/>	緑	<input type="radio"/>
黄	<input checked="" type="radio"/>	黒	<input type="radio"/>
青	<input type="radio"/>		

### <プルダウンメニューから項目を選択する>

項目を選択して[L]ボタンを押すと、隠れていた選択肢(プルダウンメニュー)が表示されます。[▲][▼]ボタンを押して項目を選択し、[L]ボタンを押すと、プルダウンメニュー表示前の画面に戻ります。





## メールを作成して送信する

メールを送信するにはいろいろな方法があります。

- ・ 新規メールを作成して送信する(→下記)
- ・ 登録したメールを[ワンタッチ]ボタンで送信する(→P.74)
- ・ 一度に複数の人にメールを送信する(同報メール→P.75)
- ・ 作成したメールを保存しておき、あとで送信する(→P.74、78、79)
- ・ 送信済メールをもう一度送信する(→P.79)
- ・ 受信メールに返信する(→P.82)
- ・ 受信メールを他の宛先に転送する(→P.82)

送信したメールは送信済メール一覧に、保存したメールは未送信メール一覧に保存されます。未送信メールと送信済メールを合わせて最大30件まで保存できます。

- ・ メールが送れるかどうかを試すときは、宛先にお客様のメールアドレスを入力して、自分宛にメールを送ってください。送信が終了したら「メールを受信する」(→P.75)の操作を行ってください。
- ・ ファイルを添付して送信することはできません。
- ・ 未送信メールと送信済メールが合わせて30件を超えると、古い送信済メールから自動的に削除されます。削除してはいけない送信済メールは保護してください(→P.80)。未送信メールは削除されません。

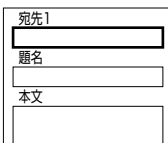
### 新規メールを作成して送信する

宛先、題名、本文を入力して新規メールを作成し、すぐに送信することができます。

- ・ 未送信メールと送信済保護メールが合わせて30件保存されていると、「メール限界」と表示され、新規メールが作成できません。不要なメールを削除してください(→P.81)。
- ・ メール作成中に停電が発生した場合は、保存されません。
- ・ 半角カタカナ、絵文字は相手側に表示されない場合があります。

#### 1 を押し、「メール送信」の を押す

「宛先1」テキストボックスが選択された状態のメール作成フォームが表示されます。



#### 2 を押す

文字入力画面が表示されます。

#### 3 宛先(最大半角50文字)を入力する

キーボードで文字を入力するには(→P.24)

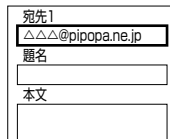
電話帳を使って宛先を入力するには(→P.74)

定型文を使って宛先を入力するには(→P.26)



#### 4 を押す

入力した宛先が表示されます。



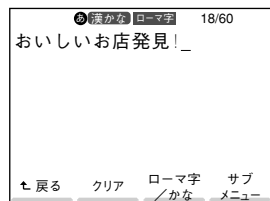
#### 5 で「題名」テキストボックスを選択し、 を押す

文字入力画面が表示されます。

#### 6 題名(最大全角30文字/半角60文字)を入力する

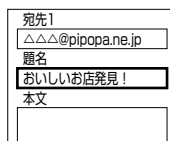
キーボードで文字を入力するには(→P.24)

定型文/絵文字/記号/顔文字を挿入するには(→P.26)



#### 7 を押す

入力した題名が表示されます。



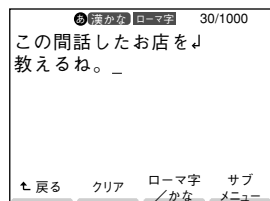
#### 8 で「本文」テキストボックスを選択し、 を押す

文字入力画面が表示されます。

#### 9 本文(最大全角500文字/半角1000文字)を入力する

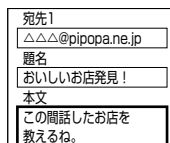
キーボードで文字を入力するには(→P.24)

改行/定型文/絵文字/記号/顔文字を挿入するには(→P.26)



#### 10 を押す

入力した本文が表示されます。



#### 11 ファンクションボタン[サブメニュー]を押す

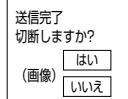
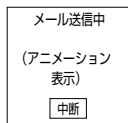
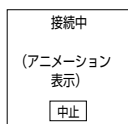
1送信  
2保存

## 12 で「1 送信」を選択し、 を押す

Lモードゲートウェイとの接続が開始され、完了するとメールが送信されます。

▶ **作成したメールを保存して、あとで送信するには**：「2 保存」を選択し、[L] ボタンを押す。メールは未送信メールとして保存される(→P.78)。Lモードの利用を終了するときは[ストップ] ボタンを押す

▶ **送信を中止するには**：「接続中」「メール送信中」表示中に[L] ボタンを押す。メールは未送信メールとして保存される(→P.78)




## 13 「送信完了 切断しますか?」と表示されたら、 で「はい」を選択し、 を押す


回線が切断されます。

そのままLモードを続けたいときは、[▲] [▼] ボタンで「いいえ」を選択し、[L] ボタンを押してください。

### 電話帳を使って宛先を入力するには

電話帳に登録してある宛先(メールアドレス)を利用することができます。

- ① 「新規メールを作成して送信する」の手順1～2を行う(→P.73)
- ② ファンクションボタン[サブメニュー]を押す  
サブメニューの項目は、入力する項目によって異なります。
- ③ [▲] [▼] ボタンで「電話帳呼出」を選択し、[L] ボタンを押す  
電話帳の一覧が表示されます。メールアドレスが登録されている宛先には が表示されます。

電話帳	1/1	
Lボタンを押すと選択できます		
名前	電話番号	メモ
友達	0312345678	

- ④ [▲] [▼] ボタンで目的の宛先を選択し、[L] ボタンを押す  
▶ **電話帳で宛先を選択してからメールを送信するときは**：電話帳の一覧から[▲] [▼] ボタンで目的の宛先を選択し、ファンクションボタン[メール送信]を押したあと、「新規メールを作成して送信する」の手順5～13(→P.73)を行う

### メールメニューから新規メールを作成するには

メールメニューから「新規メール作成」を選択して、新規メールを作成することができます。

- ① [L] ボタンを押す
- ② [▲] [▼] ボタンで「1 メール」を選択し、[L] ボタンを押す
- ③ [▲] [▼] ボタンで「4 新規メール作成」を選択し、[L] ボタンを押す  
「宛先」テキストボックスが選択された状態のメール作成フォームが表示されます。
- ④ 「新規メールを作成して送信する」の操作2～13と同じ操作を行う(→P.73)

## 登録したメールを「ワンタッチ」ボタンで送信する

あらかじめ宛先、題名、本文をワンタッチ登録しておく、「メール送信」の「ワンタッチ」ボタンを押すだけで保存済みのメールを読み出し、簡単な操作で送信できます。

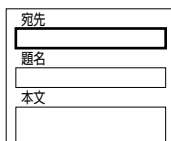
- ・ワンタッチ登録は、1件分のみ登録できます。変更したい場合は、登録内容を編集すると上書き登録されます。

### ワンタッチ登録する

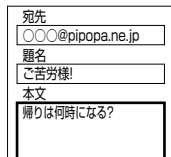
#### 1 を押し、「メール送信」の ワンタッチを押す

「宛先」テキストボックスが選択された状態のメール作成フォームが表示されます。

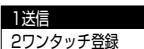
すでに登録されていた場合は、その内容が表示されます。



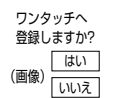
#### 2 「新規メールを作成して送信する」の手順2～10を行い(→P.73)、宛先、題名、本文を入力する



#### 3 ファンクションボタン[サブメニュー]を押す



#### 4 で「2ワンタッチ登録」を選択し、 を押す



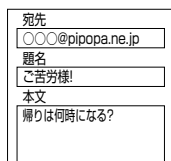
#### 5 で「はい」を選択し、 を押す

作成したメールがワンタッチ登録されます。

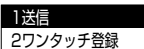
### 登録したメールをワンタッチで読み出し送信する

#### 1 を押し、「メール送信」の ワンタッチを押す

登録した宛先、題名、本文が表示されます。内容を編集することもできます。ただし、送信を選択した場合は、ワンタッチ登録されません。登録する場合は、手順2で「2ワンタッチ登録」を選択してください。



#### 2 ファンクションボタン[サブメニュー]を押す



#### 3 で「1送信」を選択し、 を押す

Lモードゲートウェイとの接続が開始され、完了するとメールが送信されます。

#### 4 「送信完了 切断しますか?」と表示されたら、

で「はい」を選択し、 を押す

回線が切断されます。

そのままLモードを続けたいときは、[▲][▼]ボタンで「いいえ」を選択し、[L]ボタンを押してください。

#### 一度に複数の人にメールを送信する (同報メール)

同じ題名、本文を入力したメールを、最大5人に送信することができます。

- ・未送信メールと送信済保護メールが合わせて30件保存されていると、「メール限界」と表示され、新規メールが作成できません。不要なメールを削除してください(→P.81)。
- ・未送信メールと送信済保護メールが合わせて29件のときは1宛先まで、28件のときは2宛先まで、27件のときは3宛先まで、26件のときは4宛先まで指定できます。

#### 1 「新規メールを作成して送信する」の手順1～10を行う (→P.73)

宛先1
***@pipopa.ne.jp
題名
おいしいお店発見!
本文
この間話したお店を教えるね。

#### 2 を押し続ける (または繰り返し押し押す)

「宛先2」が表示されます。

この間見つけたおいしいお店を教えるね。
新宿駅南口から甲州街道沿いに西に数百メートル歩くと、おもしろいお店が
宛先2
宛先3

#### 3 で「宛先2」テキストボックスを選択し、 を押す

#### 4 宛先を入力し、 を押す

#### 5 3～5人目の宛先を入力するときは、手順3～4を繰り返す

3～5人目は、「宛先3～5」を選択します。

宛先3
○○○@pipopa.ne.jp
宛先4
△△△@pipopa.ne.jp
宛先5
□□□@pipopa.ne.jp

#### 6 ファンクションボタン [サブメニュー] を押す

1送信
2保存

#### 7 で「1送信」を選択し、 を押す

Lモードゲートウェイとの接続が開始され、完了するとメールが送信されます。

▶作成した同報メールを保存して、あとで送信するには：「2保存」を選択し、[L]ボタンを押す。指定した宛先件数分の未送信メールが保存される(→P.78)。Lモードの利用を終了するときは[ストップ]ボタンを押す

#### 8 「送信完了 切断しますか?」と表示されたら、

で「はい」を選択し、 を押す

回線が切断されます。

そのままLモードを続けたいときは、[▲][▼]ボタンで「いいえ」を選択し、[L]ボタンを押してください。

▶送信を終了すると：送信できた相手先のメールは送信済メールに、送信できなかった相手先のメールは未送信メールに宛先件数分保存される

## メールを受信する

お客様宛の新しいメールがLモードゲートウェイに到着すると、画面に「センターにメールがあります」と表示され、メールランプが点灯します。メールが届いたときに着信音を鳴らすこともできます(メール到着音→P.96)。また、メールが届いたときに、読み出しの操作をしなくても自動的に受信するように設定できます(メール自動受信設定→P.102)。

メールランプでメール着信の状況がわかります。

メールランプの状態	メール着信の状況	親機の画面表示
消灯	新着メールと未読メールがないとき	—
点灯	Lモードゲートウェイに新着メールがあるとき	センターにメールがあります
点滅	親機に未読メールが保存されているとき	未読メールがあります

※センターからメールを受信しても、すぐには点灯から消灯または点滅には変わりません。センターからメッセージ消去通知を受け取ったあと、ランプの状態が変わります。

※未読メールをすべて読み、待ち受け画面に戻ると消灯します。

・メールの受信にも通信料金がかかります。  
・お客様宛のメールをLモードゲートウェイ内で保管している期間は14日間です。また、お預かりできるのは最大200件までです。

・Lモードゲートウェイとの接続が必要なのは、メールを受信するときだけです。受信したメールを読んだり、受信メール一覧に保存されているメールを読むときは、Lモードゲートウェイと接続している必要はありません。  
・受信したメールは、Lモードゲートウェイ内から削除され、再度受信を行うことはできません。

・Lモードゲートウェイとの接続中(画面に「」点灯中)は、電話やファクスを利用できません。

・添付ファイルの送受信はできません。

・宛先は半角50文字、題名は全角30文字/半角60文字、本文は全角500文字/半角1000文字まで送受信できます。超過分は削除されます。

## メールを受信して読む

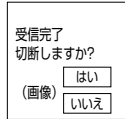
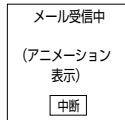
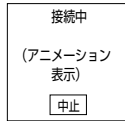
Lモードゲートウェイからメールを受信したあと、すぐに内容を読む手順を説明します。受信したメールは、受信メール一覧に最大50件まで保存されます。

- ・受信メールが50件を超えると、保護されていない古いメールから自動的に削除されます。削除してはいけない受信メールは保護してください(→P.81)。未読メールは削除されません。
- ・未読メールと受信保護メールが合わせて50件保存されていると、「メール限界」と表示され、新しいメールを受信できません。不要なメールを削除してください(→P.83)。

### 1 メールランプが点灯していたら、受信メール を押す

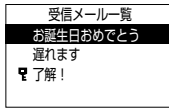
Lモードゲートウェイとの接続が開始され、完了するとメールを受信します。

▶ **受信を中止するときは**：「接続中」「メール受信中」表示中に[L]ボタンを押す



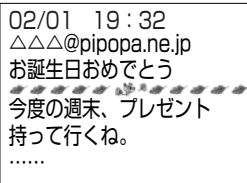
### 2 「受信完了 切断しますか?」と表示されたら、「はい」を選択し、[L]ボタンを押す

回線が切断され、受信メール一覧が表示され、最新の受信メールが選択されています。



### 3 で読みたいメールを選択し、受信 を押す

選択したメールの内容が表示されます。



### 4 メールの内容を確認したら、ファンクションボタン[戻る]を押す

画面の見かた(→右記)

受信メール一覧が表示されます。

▶ **他のメールを読みたいときは**：

- ・メール本文表示中に、ファンクションボタン[←前画面]／[次画面→]を押す(画面の見かた→右記)
- ・受信メール一覧が表示されたら、手順3を行う

### 5 待ち受け画面に戻るときは ストップ を押す

未読メールがない場合は、待ち受け画面に戻るとメールランプが消灯します。

他にも未読メールがある場合は「未読メールがあります」と表示され、メールランプが点滅します。

▶ **メール受信後、あとで保存されているメールを読むときは**(→P.78)

▶ **メールランプが消灯または点滅しているときに「受信メール」ボタンを押すと**：既読または未読の最新メール本文が表示される。受信メールがない場合は「メールありません」と表示され、待ち受け画面に戻る

### メールランプが点灯していないときにメールを受信して読むには

メールランプが消灯または点滅しているときにLモードゲートウェイに接続してメールを受信するには、メールメニューから操作を行います。

- ① [L]ボタンを押す
- ② [▲][▼]ボタンで「1メール」を選択し、[L]ボタンを押す
- ③ [▲][▼]ボタンで「5受信メール読出」を選択し、[L]ボタンを押す  
Lモードゲートウェイとの接続が開始され、完了するとメールを受信します。

▶ **受信を中止するには**：「接続中」「メール受信中」表示中に[L]ボタンを押す

- ④ 「メールを受信して読む」の手順2～5を行う(→左記)

▶ **メールがないときは**：「受信メールがありません」と表示され、待ち受け画面に戻る

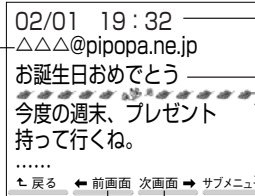
### 画面に表示される文字サイズを変えるには

- ① メールの内容を表示中、またはサイト／ホームページを表示中にファンクションボタン[サブメニュー]を押す
- ② [▲][▼]ボタンで「7文字サイズ」(未送信メール／送信済メールの場合は「5文字サイズ」)を選択し、[L]ボタンを押す
- ③ [▲][▼]ボタンで「1文字サイズ大」／「2文字サイズ小」を選択し、[L]ボタンを押す  
文字サイズが切り替わります。

## 画面の見かた

送信者のメールアドレスまたは名前(電話帳に登録済みの相手からの場合、メールアドレスのかわりに名前が表示されます)

このメールをLモードゲートウェイでお預かりした日時



題名(送信者が入力した場合のみ)

本文

前のメールに切り替わります。

次のメールに切り替わります。

### <画面をスクロールする>

メールの内容が1画面に表示しきれないときは、[▼]ボタン(下方向へ)または[▲]ボタン(上方向へ)を押して画面をスクロールします。

## <受信メール一覧画面に戻る>

アクションボタン[戻る]を押すと、受信メール一覧の画面に戻ります。

## <サブメニューを使う>

メールの内容を表示中にアクションボタン[サブメニュー]を押すと、右のようなサブメニューが表示されます。[▲][▼]ボタンを押して項目を選択し、[L]ボタンを押すか、項目番号(1~7)を入力すると、次の操作へ進めます。

- 1保護/解除
- 2削除
- 3返信
- 4転送
- 5電話帳登録
- 6印刷
- 7文字サイズ

サブメニューからは、次のような操作が行えます。

サブメニューの項目	操作	参照ページ
1 保護/解除	削除してはいけないメールとして保護する/保護を解除する	P.81
2 削除	表示中のメールを削除する	P.83
3 返信	返事のメールを送る	P.82
4 転送	表示中のメールを別の相手に転送する	P.82
5 電話帳登録	表示中のメールの送信元を電話帳に登録する	P.83
6 印刷	表示中のメールの内容を印刷する	P.84
7 文字サイズ	文字サイズを切り替える	P.76

## <電話番号やメールアドレスを選択する>

PHONE TO機能、MAIL TO機能、FAX TO機能を利用して、表示されている番号やアドレスへ電話をかけたり、メールやファクスを送信したりすることができます(→P.88)。

2/26にパーベキューパーティを開催します。  
問い合わせ先は  
tel: 0312345678  
です。  
ふるってご参加ください。

## メールを自動受信する

### メール自動受信を設定する

新着メール到着時に自動受信するように設定したり(メール到着時受信)、毎日1回指定した時刻に自動受信するように設定したりできます(指定時刻受信)。また、自動受信時にメールをプリントさせることもできます(自動印刷)。お買い求め時は、メール自動受信しないように設定されています。

- ・メールを受信する際、自動的にLモードゲートウェイに接続します。このとき、通話料金がかかります。
- ・メッセージ到着お知らせサービス(→P.104)未提供地域では、「メール到着時受信」設定での自動受信をご利用になれません。「指定時刻受信」設定による自動受信をご利用ください。
- ・指定時刻受信を設定するときは、必ず時刻をセットしてください(→P.22、P.96)。

- ・電源コードを抜いたり停電があった場合は、アクセスポイント番号(センター番号)が消去され、自動受信ができなくなります。再度「Lモードが使えるように設定する」(→P.65)の操作を行ってください。
  - ・以下の場合、メール自動受信設定が解除されます。
    - 「パスワード要否」-「メールを利用する時」の設定を「要」にしている  
→「不要」に設定してください(→P.69)。
    - 電話帳/Bookmarkをデータアップロードしている(→P.90)  
→「受信メール」ボタンを押して、電話帳/Bookmarkをダウンロードしてください。
- 操作終了後、メール自動受信を再設定してください。

## 1 アクションボタン[機能]を押す

機能メニューが表示されます。

## 2 で「10.Lモード設定」を選択し、を押す

## 3 で「7メール自動受信設定」を選択し、を押す

メール自動受信の設定画面が表示されます。

自動受信しない
<input checked="" type="radio"/> メール到着時受信
<input type="radio"/> 指定時刻受信
00 時 00 分
OK

## 4 で「自動受信しない」と表示されている項目を選択し、を押す

自動受信しない
<input type="radio"/> 自動受信する(印刷あり)
<input checked="" type="radio"/> 自動受信する(印刷なし)

## 5 で自動受信時に印刷する場合は「自動受信する(印刷あり)」、印刷しない場合は「自動受信する(印刷なし)」を選択し、を押す

「自動受信しない」を選択したときは手順9へ進みます。

## 6 で「メール到着時受信」または「指定時刻受信」を選択し、を押す

メール到着時受信: メール到着時に自動受信する  
指定時刻受信: 毎日1回指定時刻に自動受信する  
メール到着時受信/指定時刻受信は、ラジオボタンで設定します。が選択された状態です(→P.72)。  
「メール到着時受信」を選択したときは手順9へ進みます。  
「指定時刻受信」を選択したときは手順7へ進みます。

## 7 で「時」または「分」を選択し、を押す

## 8 プルダウンメニューから時/分を選択し、を押す

時間は1時間単位(24時間制)、分は10分単位で設定できます。

## 9 設定を終了するとき、で「OK」を選択し、を押す

### 自動印刷についての注意事項

- ・記録紙なし/記録紙づまり/ヘッド過熱/インクフィルムなし/操作パネルが開いているときは、印刷が行われません。
- ・メール受信時に、受信したメールを印刷します。また、すでに受信していても、未読メールがあるときは未読メールも印刷します。
- ・印刷中に「中止」を選択して[L]ボタンを押すと、印刷中のメールのみ、印刷を中止して未読メールとして保存されます。複数の受信メールがある場合、他のメールは印刷されます。

## メールが届くと

1 画面に「センターにメールがあります」と表示され、メールランプが点灯する

2 自動的にセンターにあるメールの受信が行われる

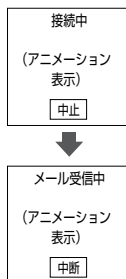
時刻を設定している場合は、その時刻に自動受信されます。

メール自動受信の設定により、次のように受信します。

自動受信（印刷なし）の場合：受信を終了すると「未読メールがあります」と表示され、待ち受け画面に戻ります。

自動印刷（印刷あり）の場合：受信を終了すると自動的にメールが印刷され、印刷が完了すると待ち受け画面に戻ります。正常に印刷されたメールは既読メールとなります。

▶メールが届いたときに着信音を鳴らすには（メール到着音→P.96）



## メールを読む

メールランプが消灯または点滅しているときに[受信メール]ボタンを押すと、既読または未読の最新メール本文が表示されます。また、受信メール一覧から読みたいメールを選択し、内容を読むことができます。

・Lモードゲートウェイへは接続しません。

1 受信メールを押す

既読または未読の最新メール本文が表示されます。

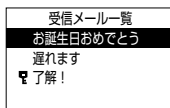
画面の見かた（→P.76）

受信メール一覧から他のメールを選択して読みたいときは手順2へ、待ち受け画面に戻るときは手順5へ進みます。

02/01 19:32  
△△△@pipopa.ne.jp  
お誕生日おめでとう  
今度の週末、プレゼント  
持って行くね。  
.....

2 ファンクションボタン[戻る]を押す

受信メール一覧が表示されます。



3 読みたいメールを選択し、決定を押す

選択した受信メールの内容が表示されます。

4 メールの内容を確認したら、ファンクションボタン[戻る]を押す

画面の見かた（→P.76）

受信メール一覧が表示されます。

5 待ち受け画面に戻るときはストップを押す

## メールメニューからメールを読むには

- [L]ボタンを押す  
トップメニューが表示されます（→P.65）。
- [▲][▼]ボタンで「1メール」を選択し、[L]ボタンを押す  
メールメニューが表示されます（→P.66）。
- [▲][▼]ボタンで「1受信メール一覧」を選択し、[L]ボタンを押す  
受信メール一覧が表示されます。
- 「メールを読む」の手順3～5を行う（→左記）

## 未送信メール/送信済メール一覧を利用する

未送信メールは未送信メール一覧に、送信済メールは送信済メール一覧に保存されます。未送信メールと送信済メールを合わせて最大30件まで保存できます。

・未送信メールと送信済メールが合わせて30件を超えると、古い送信済メールから自動的に削除されます。削除してはいけない送信済メールは保護してください（→P.80）。未送信メールは削除されません。

## 保存していた未送信メールを送信する

保存しておいた未送信メールを、内容を確認してから送信します。

1 決定を押す

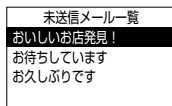
トップメニューが表示されます（→P.65）。

2 未送信メール一覧を押す

メールメニューが表示されます（→P.66）。

3 未送信メール一覧から読みたいメールを選択し、決定を押す

未送信メールをまとめて一度に送信するには（一括送信→P.79）



4 送信したい未送信メールを選択し、決定を押す

選択した未送信メールの内容が表示されます。

画面に表示される文字サイズを変えるには（→P.76）

△△△@pipopa.ne.jp  
おいしいお店発見！  
この間話したお店を  
教えるね。  
.....

5 ファンクションボタン[サブメニュー]を押す



- 送信
- 編集
- 削除
- 印刷
- 文字サイズ

## 6 で「1送信」を選択し、 を押す

接続が完了するとメールが送信されます。

メールの内容を編集してから送信するには(→右記)

## 7 「送信完了 切断しますか?」と表示されたら、

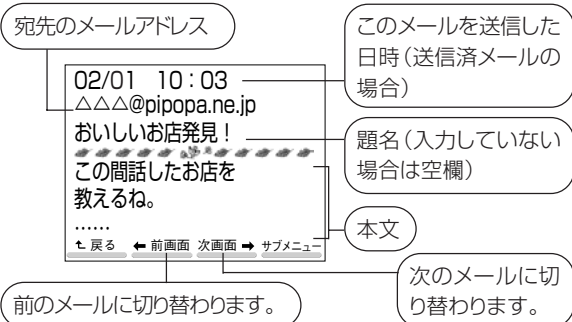
 で「はい」を選択し、 を押す

そのままLモードを続けたいときは、[▲][▼]ボタンで「いいえ」を選択し、[L]ボタンを押してください。

### 未送信メールをまとめて一度に送信するには(一括送信)

- ① 「保存していた未送信メールを送信する」の手順1～3を行う(→P.78)
  - ② ファンクションボタン[サブメニュー]を押す
  - ③ [▲][▼]ボタンで「2一括送信」を選択し、[L]ボタンを押す
- ▶ **送信を中止するには**：「接続中」「メール送信中」表示中に[L]ボタンを押す。送信が中止されると、その時点で送信されていないメールのみが未送信メール一覧に保存され、送信されたメールは送信済メール一覧に保存される

## 画面の見かた



### <画面をスクロールする>

メールの内容が1画面に表示しきれないときは、[▼]ボタン(下方向へ)または[▲]ボタン(上方向へ)を押して画面をスクロールします。

### <未送信メール/送信済メール一覧画面に戻る>

ファンクションボタン[戻る]を押すと、未送信メール/送信済メール一覧の画面に戻ります。

### <サブメニューを使う>

メールの内容を表示中にファンクションボタン[サブメニュー]を押すと、次のようなサブメニューが表示されます。[▲][▼]ボタンを押して項目を選択し、[L]ボタンを押すか、項目番号(1～5)を入力すると、次の操作へ進めます。

サブメニューからは、右表のような操作が行えます。

## ●未送信メールの場合

1送信 2編集 3削除 4印刷 5文字サイズ	サブメニュー の項目	操作	参照 ページ
	1送信	表示中のメールを送信する	P.78
	2編集	宛先、題名、本文を編集する	P.79
	3削除	表示中のメールを削除する	P.81
	4印刷	表示中のメールを印刷する	P.81
	5文字サイズ	文字サイズを切り替える	P.76

## ●送信済メールの場合

1保護/解除 2編集 3削除 4印刷 5文字サイズ	サブメニュー の項目	操作	参照 ページ
	1保護/解除	削除してはいけないメールとして保護する/保護を解除する	P.80
	2編集	宛先、題名、本文を編集する	P.79
	3削除	表示中のメールを削除する	P.81
	4印刷	表示中のメールを印刷する	P.81
	5文字サイズ	文字サイズを切り替える	P.76

## 未送信メール/送信済メールを編集して送信する

未送信メールや送信済メールの宛先や題名、本文などを手直ししてから送信できます。

- ・未送信メールと送信済保護メールが合わせて30件保存されていると、「メール限界」と表示され、メールの編集ができません。不要なメールを削除してください(→P.81)。

### 1 を押す

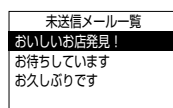
トップメニューが表示されます(→P.65)。

### 2 で「1メール」を選択し、 を押す

メールメニューが表示されます(→P.66)。

### 3 で「2送信済メール一覧」または「3未送信メール一覧」を選択し、 を押す

送信済メール一覧または未送信メール一覧が表示されます。



例:未送信メール一覧の場合

4 で編集したいメールを選択し、 を押す

メールの内容が表示されます。

△△△@pipopa.ne.jp  
 おいしいお店発見！  
 この間話したお店を  
 教えるね。  
 ……

5 ファンクションボタン [サブメニュー] を押す

1送信  
 2編集  
 3削除  
 4印刷  
 5文字サイズ

6 で「2編集」を選択し、 を押す

宛先1  
 △△△@pipopa.ne.jp  
 題名  
 おいしいお店発見！  
 本文

7 で編集したい項目のテキストボックスを選択し、 を押す

編集画面が表示されます。

8 内容を編集する

▶文字を消去するときは：ファンクションボタン [クリア] またはキーボード部の [クリア] ボタンを押す  
 キーボードで文字を入力するには (→P.24)

9 を押す

メール作成フォームに戻ります。

10 ファンクションボタン [サブメニュー] を押す

1送信  
 2保存

11 で「1送信」を選択し、 を押す

接続が完了するとメールが送信されます。

12 「送信完了 切断しますか?」と表示されたら、 で「はい」を選択し、 を押す

そのままLモードを続けたいときは、[▲] [▼] ボタンで「いいえ」を選択し、[L] ボタンを押してください。

## 送信済メールを保護／解除する

自動的に削除されないように、送信済メールを保護することができます (最大15件)。

・すでに送信済メールが15件保護されていると、それ以上送信済メールを保護することはできません。保護を解除するか、不要な送信済保護メールを削除してください (→P.81)。

1 「未送信メール／送信済メールを編集して送信する」の手順1～2を行う (→P.79)

メールメニューが表示されます (→P.66)。

2 で「2送信済メール一覧」を選択し、 を押す

送信済メール一覧が表示されます。

送信済メール一覧  
 おいしいお店発見！  
 お待ちしています  
 お久しぶりです

3 で保護したい送信済メールを選択し、 を押す

選択した送信済メールの内容が表示されます。

02/01 10:03  
 △△△@pipopa.ne.jp  
 おいしいお店発見！  
 この間話したお店を  
 教えるね。  
 ……

4 ファンクションボタン [サブメニュー] を押す

1保護／解除  
 2編集  
 3削除  
 4印刷  
 5文字サイズ

5 で「1保護／解除」を選択し、 を押す

送信済メール一覧に戻ります。保護されたメールには「」が付きます。

送信済メール一覧  
 おいしいお店発見！  
 お待ちしています  
 お久しぶりです

保護したメールを解除するには

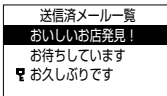
- ① 「送信済メールを保護／解除する」の手順1～2を行う (→上記)
- ② [▲] [▼] ボタンで解除したい保護メールを選択し、[L] ボタンを押す  
 保護メールには「」が付いています。
- ③ ファンクションボタン [サブメニュー] を押す
- ④ [▲] [▼] ボタンで「1保護／解除」を選択し、[L] ボタンを押す  
 保護が解除されると「」が消えます。




## 未送信メール／送信済メールを削除する

不要な未送信メール／送信済メールを削除できます。送信済メールは、保護メールも削除できます。未送信メール／送信済メールを一度にすべて削除することもできます。

### 1 「未送信メール／送信済メールを編集して送信する」の手順1～3を行う(→P.79)

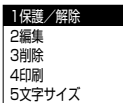


未送信メールまたは送信済メール一覧が表示されます。送信済メール一覧を選択した場合、保護メールには「」が付いています。

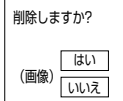
### 2 で削除したい未送信メールまたは送信済メールを選択し、 を押す

選択した未送信メールまたは送信済メールの内容が表示されます。

### 3 ファンクションボタン [サブメニュー] を押す



### 4 で「3削除」を選択し、 を押す



### 5 で「はい」を選択し、 を押す


選択したメールが削除され、未送信メールまたは送信済メール一覧に戻ります。

### 6 待ち受け画面に戻るときは を押す

#### 未送信メール／送信済メールを一度にすべて削除するには(一括削除)



保護メールだけを残すこともできます。



① 「未送信メール／送信済メールを編集して送信する」の手順1～3を行う(→P.79)

送信済メール一覧または未送信メール一覧が表示されます。送信済メール一覧を選択した場合、保護メールには「」が付いています。

② ファンクションボタン [サブメニュー] を押す

③   ボタンで「1一括削除」を選択し、[L] ボタンを押す

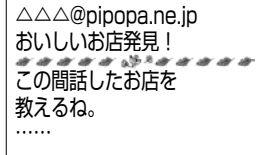
④   ボタンで「はい」を選択し、[L] ボタンを押す  
メールが一括削除され、空になった未送信メールまたは送信済メール一覧に戻ります。

保護メールが含まれていた場合は「保護メールも削除しますか?」と表示されます。  ボタンで「はい」／「いいえ」(保護メールは残す)を選択し、[L] ボタンを押してください。

⑤ 待ち受け画面に戻るときは [ストップ] ボタンを押す

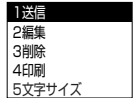
## 未送信メール／送信済メールを印刷する

### 1 「未送信メール／送信済メールを編集して送信する」の手順1～4を行い(→P.79)、印刷するメールの内容を表示させる

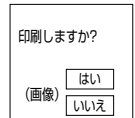


例:未送信メールの場合

### 2 ファンクションボタン [サブメニュー] を押す



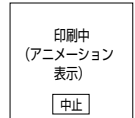
### 3 で「4印刷」を選択し、 を押す



### 4 で「はい」を選択し、 を押す

選択したメールの印刷が開始されます。

▶印刷を中止するには:「印刷中」表示中に[L] ボタンを押す



### 5 待ち受け画面に戻るときは を押す

## 受信メール一覧を利用する

受信したメールは、受信メール一覧に最大50件まで保存されます。

- ・受信メールが50件を超えると、保護されていない古いメールから自動的に削除されます。削除してはいけない受信メールは保護してください(→下記)。未読メールは削除されません。

## 受信メールを保護／解除する

自動的に削除されないように、受信メールを保護することができます(最大25件)。

- ・すでに受信メールが25件保護されていると、それ以上受信メールを保護することはできません。保護を解除するか、不要な受信保護メールを削除してください(→P.83)。

### 1 を押す

トップメニューが表示されます(→P.65)。

### 2 で「1メール」を選択し、 を押す

メールメニューが表示されます(→P.66)。

3 で「1 受信メール一覧」を選択し、 を押す

受信メール一覧が表示されます。

受信メール一覧
パーティ開催のお知らせ
遅れます
了解!

4 で保護したい受信メールを選択し、 を押す

選択した受信メールの内容が表示されます。

02/01 19:32  
△△△@pipopa.ne.jp  
お誕生日おめでとう  
今度の週末、プレゼント  
持って行くね。  
……

5 ファンクションボタン [サブメニュー] を押す

1保護/解除
2削除
3返信
4転送
5電話帳登録
6印刷
7文字サイズ

6 で「1 保護/解除」を選択し、 を押す

受信メール一覧に戻ります。保護されたメールには「」が付きます。

受信メール一覧
お誕生日おめでとう
遅れます
了解!

保護したメールを解除するには

- ① 「受信メールを保護/解除する」の手順1~3を行う(→P.81)
- ② [▲][▼]ボタンで解除したい保護メールを選択し、[L]ボタンを押す  
保護メールには「」が付いています。
- ③ ファンクションボタン [サブメニュー] を押す
- ④ [▲][▼]ボタンで「1 保護/解除」を選択し、[L]ボタンを押す  
保護が解除されると「」が消えます。

## 受信メールに返信する (返信メール)

- ・未送信メールと送信済保護メールが合わせて30件保存されていると、「メール限界」と表示され、返信メールが作成できません。不要なメールを削除してください(→P.81)。
- ・送信完了した返信メールは、送信済メールとして保存されます。

1 「受信メールを保護/解除する」の手順1~3を行う(→P.81)

受信メール一覧が表示されます。

2 で返信したい受信メールを選択し、 を押す

選択した受信メールの内容が表示されます。

3 ファンクションボタン [サブメニュー] を押す

1保護/解除
2削除
3返信
4転送
5電話帳登録
6印刷
7文字サイズ

4 で「3返信」を選択し、 を押す

宛先(返信先)がすでに入力され、「題名」テキストボックスが選択された状態のメール作成フォームが表示されます。

題名「Re>×××」の「Re>」は、「×××」というメールへの返信メールであることを表します。

宛先1
△△△@pipopa.ne.jp
題名
Re>お誕生日おめでとう
本文

5 必要に応じて題名を編集したあと、本文を入力する

題名は最大全角30文字/半角60文字まで、本文は最大全角500文字/半角1000文字まで入力できます。

新規メールを作成して送信するには(→P.73)

キーボードで文字を入力するには(→P.24)

6 を押す

メール作成フォームに戻ります。

7 ファンクションボタン [サブメニュー] を押す

1送信
2保存

8 で「1送信」を選択し、 を押す

接続が完了するとメールが送信されます。

9 「送信完了 切断しますか?」と表示されたら、 で「はい」を選択し、 を押す

そのままLモードを続けたいときは、[▲][▼]ボタンで「いいえ」を選択し、[L]ボタンを押してください。

## 受信メールを他の宛先に転送する (フォワードメール)

- ・未送信メールと送信済保護メールが合わせて30件保存されていると、「メール限界」と表示され、フォワードメールが作成できません。不要なメールを削除してください(→P.81)。
- ・送信完了したフォワードメールは、送信済メールとして保存されます。

1 「受信メールを保護/解除する」の手順1~3を行う(→P.81)

受信メール一覧が表示されます。

2 で転送したい受信メールを選択し、 を押す

選択した受信メールの内容が表示されます。

3 ファンクションボタン [サブメニュー] を押す

1保護/解除
2削除
3返信
4転送
5電話帳登録
6印刷
7文字サイズ

4 **で「4転送」を選択し、** **決定** **を押す**

題名と本文がすでに入力され、「宛先1」テキストボックスが選択された状態のメール作成フォームが表示されます。

題名「Fw>xxx」の「Fw >」は、「xxx」というメールのフォワードメールであることを表します。

5 **決定** **を押す**

宛先入力画面が表示されます。

6 宛先(最大半角50文字)を入力する

キーボードで文字を入力するには(→P.24)

電話帳を使って宛先を入力するには(→P.74)

7 **決定** **を押す**

メール作成フォームに戻ります。

8 ファンクションボタン[サブメニュー]を押す

9 **で「1送信」を選択し、** **決定** **を押す**

接続が完了するとメールが送信されます。

10 「送信完了 切断しますか?」と表示されたら、**で「はい」を選択し、** **決定** **を押す**

そのままLモードを続けたいときは、[▲][▼]ボタンで「いいえ」を選択し、[L]ボタンを押してください。

## 送信者のメールアドレスを電話帳に登録する

メールの送信元のメールアドレスを、簡単な方法で電話帳に登録することができます。

- ・電話帳にすでに100件登録されている場合は登録できません。不要な電話帳を削除してください(→P.35)。

1 「受信メールを保護／解除する」の手順1～3を行う(→P.81)

受信メール一覧が表示されます。

2 **で電話帳に登録したい受信メールを選択し、** **決定** **を押す**

選択した受信メールの内容が表示されます。

3 ファンクションボタン[サブメニュー]を押す

4 **で「5電話帳登録」を選択し、** **決定** **を押す**


メールアドレスがすでに入力された状態の電話帳登録フォームが表示されます。

5 各項目を入力し、電話帳登録を行う(→P.34)

## 受信メールを削除する

不要な受信メールを削除できます。保護メールも削除できます。受信メールを一度にすべて削除することもできます。

1 「受信メールを保護／解除する」の手順1～3を行う(→P.81)

受信メール一覧が表示されます。保護メールには「」が付いています。

2 **で削除したい受信メールを選択し、** **決定** **を押す**

選択した受信メールの内容が表示されます。

3 ファンクションボタン[サブメニュー]を押す

4 **で「2削除」を選択し、** **決定** **を押す**

5 **で「はい」を選択し、** **決定** **を押す**


選択したメールが1件削除され、受信メール一覧に戻ります。

6 待ち受け画面に戻るときは **ストップ** **を押す**

## 受信メールを一度にすべて削除するには(一括削除)

保護メールだけを残すこともできます。

- ① 「受信メールを保護／解除する」の手順1～3を行う(→P.81)

受信メール一覧が表示されます。保護メールには「」が付いています。

- ② ファンクションボタン[サブメニュー]を押す
- ③ [▲][▼]ボタンで「1一括削除」を選択し、[L]ボタンを押す
- ④ 「一括削除しますか?」と表示されたら、[▲][▼]ボタンで「はい」を選択し、[L]ボタンを押す

受信メールが一括削除され、空になった受信メール一覧に戻ります。


保護メールが含まれていた場合は「保護メールも削除しますか?」と表示されます。[▲][▼]ボタンで「はい」/「いいえ」(保護メールは残す)を選択し、[L]ボタンを押してください。

- ⑤ 待ち受け画面に戻るときは[ストップ]ボタンを押す

## 受信メールを印刷する

- 1 「受信メールを保護／解除する」の手順1～3を行う(→P.81)

受信メール一覧が表示されます。

- 2  で印刷したい受信メールを選択し、 を押す

選択した受信メールの内容が表示されます。



- 3 ファンクションボタン[サブメニュー]を押す

1保護／解除  
2削除  
3返信  
4転送  
5電話帳登録  
6印刷  
7文字サイズ

- 4  で「6印刷」を選択し、 を押す

印刷しますか?

(画像)

- 5  で「はい」を選択し、 を押す

選択した受信メールの印刷が開始されます。

印刷中  
(アニメーション表示)

▶印刷を中止するには: 「印刷中」表示中に[L]ボタンを押す

- 6 待ち受け画面に戻るときは  を押す



## 定型文を編集する

本機には、あらかじめ10種類の定型文が登録されています(→P.111)。これを編集して、独自の定型文を作成することができます。



例: 「了解しました」という定型文を「こんにちは」に変える場合

- 1  を押す

トップメニューが表示されます(→P.65)。



- 2  で「1メール」を選択し、 を押す

メールメニューが表示されます(→P.66)。

- 3  で「6定型文編集」を選択し、 を押す

定型文一覧が表示されます。

了解しました  
メール見ました  
メールありがとう  
早く帰って来てね♥  
何時ごろになる?

- 4  で編集したい定型文を選択し、 を押す

定型文編集画面が表示されます。

④ 確かな? ローマ字 12/50  
了解しました  
↑戻る クリア ローマ字 サブ  
/かな メニュー

- 5 定型文(最大全角25文字/半角50文字)を編集する

キーボードで文字を入力するには(→P.24)

▶文字を消去するときは:

ファンクションボタン[クリア]またはキーボード部の[クリア]ボタンを押す

⑤ 確かな? ローマ字 10/50  
こんにちは\_  
↑戻る クリア /かな サブ  
メニュー

- 6  を押す

編集した定型文が登録されます。

こんにちは  
メール見ました  
メールありがとう  
早く帰って来てね♥  
何時ごろになる?

- 7 待ち受け画面に戻るときは  を押す

## ホームページを見る (URL 入力)

見たいホームページのアドレス (URL) を指定してインターネットに接続し、ホームページを見ることができます。

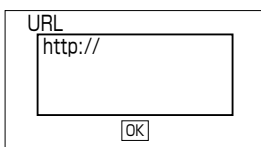
- ・データ量の大きいホームページに接続すると、すべての内容が表示されない場合があります。
- ・GIF/JPEG形式、GIFアニメ以外の画像は表示されず、画像の位置には ☒ マークが表示されます。また、GIF/JPEG形式、GIFアニメでも表示されない場合があります。
- ・Lモードのメニューコンテンツ以外は正しく表示されないことがあります。
- ・最新の情報を見るときは、再読込を行ってページを更新します (→P.87)。

### 1 を押す

トップメニューが表示されます (→P.65)。

### 2 で「4アドレス入力検索」を選択し、 を押す

URL フォームが表示されます。



### 3 を押す

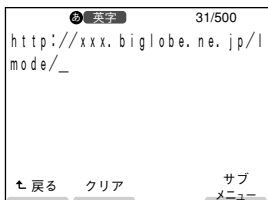
URL入力画面が表示されます。

### 4 URL (最大半角 500文字) を入力 する

キーボードで文字を入力するには (→P.24)

▶ 入力を間違えたときは :

ファンクションボタン [クリア] またはキーボード部の [クリア] ボタンを押して入力し直す



### 5 を押す

URL フォームに戻ります。

### 6 で「OK」を選択し、 を押す

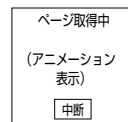
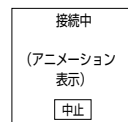
接続が完了すると、目的のホームページが表示されます。

▶ 接続を中止するには : 「ページ取得中」表示中に [L] ボタンを押す。接続が中止されると、直前に表示していたページに戻る

▶ 気に入ったホームページをBookmarkに登録するには (→下記)

▶ 気に入ったホームページを画面メモに保存するには (→P.86)


▶ 画面に表示される文字サイズを変えるには (→P.76)



#### 今月のおすすめ

- 花摘み
- 海の幸食べ放題…旬の味覚を食べまろう
- 露天風呂はここだ！ ところもカラダもゆったり気分

### 7 待ち受け画面に戻るときは を押す

 表示中のページのURLを確認するには

- ① ページを表示中にファンクションボタン [サブメニュー] を押す
- ② [▲] [▼] ボタンで「3URL参照」を選択し、[L] ボタンを押す URLが表示されます。全桁表示されないときは、[L] ボタンを押してから [▲] [▼] ボタンを押すと確認できます。URL表示画面に戻るときは、再度 [L] ボタンを押します。
- ③ ページの表示に戻るときは、[▲] [▼] ボタンで「OK」を選択し、[L] ボタンを押す

## お気に入りのサイト／ホームページを登録する (Bookmark)

お気に入りのサイトやホームページをBookmarkに登録しておく (最大10件)、いつでも簡単にそのサイト／ホームページへ接続できます。また、他のサイト／ホームページからの移動も簡単に行えます。各Bookmarkにわかりやすいタイトルを付けることもできます。

- ・サイトやホームページによっては、Bookmarkに登録できない場合があります。

## お気に入りのサイト／ホームページをBookmarkに登録する

- 1 登録したいサイト／ホームページを表示中に、ファンクションボタン [サブメニュー] を押す

1Bookmark登録
2再読み込み
3URL参照
4Bookmark
5画面メモ登録
6印刷
7文字サイズ

- 2 で「1Bookmark登録」を選択し、 を押す

Bookmarkが登録されました。

- ▶登録されたサイト／ホームページは：Bookmark一覧にURLまたはタイトルで表示される
- ▶登録されるURLは：先頭の500文字まで登録される
- ▶「これ以上登録できません」と表示されたときは：不要なBookmarkを削除する(→右記)

## Bookmarkを使ってサイト／ホームページを見る

- 1 を押す  
トップメニューが表示されます(→P.65)。

- 2 で「6Bookmark」を選択し、 を押す  
Bookmarkの一覧が表示されます。

Bookmark
1お天気
2料理
3交通
4旅行
5エンターテイメント

- 3 で表示させたいサイト／ホームページを選択し、 を押す  
目的のサイト／ホームページが表示されます。

<別のサイト／ホームページを表示中にBookmarkを使うときは>

- 1 サイト／ホームページを表示中に、ファンクションボタン [サブメニュー] を押す

1Bookmark登録
2再読み込み
3URL参照
4Bookmark
5画面メモ登録
6印刷
7文字サイズ

- 2 で「4Bookmark」を選択し、 を押す  
Bookmarkの一覧が表示されます。

- 3 で表示させたいサイト／ホームページを選択し、 を押す  
目的のサイト／ホームページが表示されます。

## Bookmarkにタイトルを付けるには

- ① 「Bookmarkを使ってサイト／ホームページを見る」の手順1～2を行う(→左記)  
Bookmarkの一覧が表示されます。
- ② [▲] [▼] ボタンでタイトルを編集したいBookmarkを選択し、ファンクションボタン [サブメニュー] を押す
- ③ [▲] [▼] ボタンで「1タイトル編集」を選択し、[L] ボタンを押す
- ④ [L] ボタンを押す  
タイトル編集画面が表示されます。
- ⑤ タイトル(最大全角8文字／半角16文字)を編集する  
「,」(半角カンマ)は入力できません。  
キーボードで文字を入力するには(→P.24)
- ⑥ [L] ボタンを押す
- ⑦ [▲] [▼] ボタンで「OK」を選択し、[L] ボタンを押す  
タイトルが登録され、Bookmarkの一覧に戻ります。

## Bookmarkを削除するには

- ① 「Bookmarkを使ってサイト／ホームページを見る」の手順1～2を行う(→左記)  
Bookmarkの一覧が表示されます。
- ② [▲] [▼] ボタンで削除したいBookmarkを選択し、ファンクションボタン [サブメニュー] を押す
- ③ [▲] [▼] ボタンで「2削除」を選択し、[L] ボタンを押す  
選択したBookmarkが削除され、Bookmarkの一覧に戻ります。

## 表示中のページの内容を保存しておく(画面メモ)

表示中のサイトのページ／ホームページを画面メモに登録し(最大5件)、画面データとして保存しておくことができます。画面メモに保存しておくこと、Lモードゲートウェイに接続せずにいつでも繰り返し見ることができます。また、気に入った画面メモの画像を、待ち受け中の画面として表示させることもできます。

## 気に入ったページを画面メモに登録する



- 1 登録したいページを表示させる

### 今月のおすすめ

- 花摘み
- 海の幸食べ放題…旬の味覚を食べまわろう
- 露天風呂はここだ！こころもカラダもゆったり気分

- 2 ファンクションボタン [サブメニュー] を押す



1Bookmark登録
2再読み込み
3URL参照
4Bookmark
5画面メモ登録
6印刷
7文字サイズ

3  で「5画面メモ登録」を選択し、 を押す  
画面メモに登録され、手順1の画面に戻ります。

▶「画面メモが満杯 一番古いメモに上書きしますか?」と表示されたときは：すでに5件登録されている。上書きする場合は「はい」(しない場合は「いいえ」)を選択して[L]ボタンを押す。上書きしない場合は、不要な画面メモを削除してから再度登録する(→右記)

## 保存した画面メモを見る

1  を押す  
トップメニューが表示されます(→P.65)。

2  で「5画面メモ」を選択し、 を押す  
画面メモが表示されます。

### 今月のおすすめ

- 花摘み
- 海の幸食べ放題…旬の味覚を食べまろう
- 露天風呂はここだ！  
こころもカラダもゆったり気分

3 画面を切り替えるときは、ファンクションボタン[←前画面]または[次画面→]を押す

## 画面メモの画像を待ち受け画面に表示させる



- ・この登録を行うと、待ち受け画面の設定(→P.93)にかかわらず、ここで登録した画面メモの画像が待ち受け画面に表示されます。
- ・画面メモの内容によっては、待ち受け画面に表示できない場合があります。「画像データがありません。」と表示されます。

1 「保存した画面メモを見る」の手順1~2を行う(→上記)  
画面メモが表示されます。


2 ファンクションボタン[←前画面]または[次画面→]を押して、待ち受け画面に表示させたい画面メモを表示させる

3 ファンクションボタン[サブメニュー]を押す

- 1 削除
- 2 待ち受け画面登録
- 3 印刷
- 4 文字サイズ

4  で「2待ち受け画面登録」を選択し、 を押す

画像が複数ある場合は、ファンクションボタン[←前画面]または[次画面→]を押して、待ち受け画面に表示させたい画面を選択します。

5  を押す  
登録が完了すると、画面メモの表示に戻ります。

## 画面メモを削除するには

- ① 「保存した画面メモを見る」の手順1~2を行う(→左記)  
画面メモが表示されます。
- ② ファンクションボタン[←前画面]または[次画面→]を押して、削除したい画面メモを表示させる
- ③ ファンクションボタン[サブメニュー]を押す
- ④ [▲][▼]ボタンで「1削除」を選択し、[L]ボタンを押す  
表示させていた画面メモが削除されます。  
画面メモが残っているときは、その画面が表示されます。「画面メモなし。」と表示されたときは、[L]ボタンを押すとトップメニューに戻ります。

## 画面メモを印刷するには

- 画面メモをそのまま印刷することができます。
- ① 「保存した画面メモを見る」の手順1~2を行う(→左記)  
画面メモが表示されます。
  - ② ファンクションボタン[←前画面]または[次画面→]を押して、印刷したい画面メモを表示させる
  - ③ ファンクションボタン[サブメニュー]を押す
  - ④ [▲][▼]ボタンで「3印刷」を選択し、[L]ボタンを押す
  - ⑤ 「印刷しますか?」と表示されたら、[▲][▼]ボタンで「はい」を選択し、[L]ボタンを押す  
表示させていた画面メモが印刷されます。



## ページを更新して最新の情報を見る(再読込)

ページを表示中に再読込を行うと、ページが更新され、最新の情報が表示されます。たびたび情報が更新されるニュース速報などを見るときに便利です。

- ・Lモードのメニューコンテンツ以外は正しく表示されないことがあります。


1 サイト/ホームページを表示中に、ファンクションボタン[サブメニュー]を押す

- 1Bookmark登録
- 2再読込
- 3URL参照
- 4Bookmark
- 5画面メモ登録
- 6印刷
- 7文字サイズ

2  で「2再読込」を選択し、 を押す  
再読込が行われます。

## 表示されている情報を使って親機を操作する

ページやメールに表示されている電話番号やメールアドレス、URLなどを利用して、簡単に電話をかけたり、メールを送信したり、インターネット接続などが行えます。また、ページに表示されたファクス番号を利用して、ファクスデータを受信することができます。

- ・Lモードゲートウェイやインターネットとの接続中（画面に「」点灯中）は、電話やファクスを利用できません。

### 表示されている電話番号に電話をかける (PHONE TO 機能)

ページやメールに表示されている電話番号へ電話をかけることができます。

- ・「tel:」から始まる電話番号がある場合、反転表示されません。
- ・ページやメールによっては電話番号が反転表示されることがあります。この場合は以下の操作で電話をかけることはできません。
- ・発信後の通話には、通話料金がかかります。

#### 1 サイト／メールを表示中に、で電話番号を反転表示させる

イタリア料理  
「ミラノ」  
春のスペシャルメニュー  
ランチ : 2000円～  
ディナー : 6000円～  
お問い合わせ：  
tel : 0312345678

#### 2 を押す

発信の確認画面が表示されます。表示は最大28桁までです。  
電話番号は必ず確認してください。

0312345678  
に発信します。  
  
(画像)

#### 3 で「はい」を選択し、を押す

相手先を呼び出します。相手が出たら受話器をとって話します。

- ・Lモードゲートウェイに接続してサイトやメールを表示させていた場合は、相手先にダイヤルする前に、Lモードゲートウェイとの接続が自動的に切断されます。
- ・「ダイヤル待ち」表示中に外線着信があると、PHONE TO機能は取り消されます。外線通話終了後に再度操作してください。

## 表示されているメールアドレス宛にメールを送信する (MAIL TO 機能)

サイトのページやメールに下線の付いたメールアドレスがあるときは、簡単な操作でそのメールアドレス宛にメールを送信することができます。

- ・「mailto:」から始まるメールアドレスがある場合、反転表示されます。
- ・サイトやメールによってはメールアドレスが反転表示されないことがあります。この場合は以下の操作でメールを作成、送信することはできません。
- ・Lモードゲートウェイと接続したままにしていると、メール作成中も通話料金がかかります。ご注意ください。
- ・未送信メールと送信済保護メールが合わせて30件保存されていると、「メール限界」と表示され、送信メールを作成できません。不要なメールを削除してください。

#### 1 サイト／メールを表示中に、でメールアドレスを反転表示させる

.....  
問い合わせ  
tel : 0312345678  
mailto : △△△@pipopa.ne.jp  
p

#### 2 を押す

送信メールを作成  
しますか？  
  
(画像)

#### 3 で「はい」を選択し、を押す

宛先が入力された状態のメール作成フォームが表示されます。

宛先]  
△△△@pipopa.ne.jp  
題名  
本文

- ▶Lモードゲートウェイに接続してサイトやメールを表示させていた場合は、「センタとの接続を切断しますか？」と表示されたら、[▲][▼]ボタンで「はい」/「いいえ」を選択し、[L]ボタンを押す

#### 4 題名や本文を入力し、送信する

「新規メールを作成して送信する」の手順5～13を行います(→P.73)。

## 表示されている URL に接続する (WEB TO 機能)

- ・「http://」から始まるURLがある場合、反転表示されます。
- ・ページやメールによってはURLが反転表示されないことがあります。この場合は以下の操作でインターネットに接続することはできません。
- ・Lモードのメニューコンテンツ以外は正しく表示されないことがあります。

#### 1 サイト／メールを表示中に、でURLを反転表示させる

02/01 09:30  
友達  
パーティのお知らせ  
会場レストランの案内が http://xxxx.biglobe.ne.jp/lmode  
にありますのでご覧ください



## 2 を押す

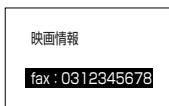
接続が完了すると、目的のサイト／ホームページが表示されます。

### ファクスデータを受信する (FAX TO 機能)

サイトのページやメールに下線の付いたファクス番号があるときは、簡単な操作でその番号へ発信し、ファクスを受信することができます。

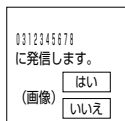
- ・「fax:」から始まるファクス番号がある場合、反転表示されます。
- ・ページやメールによってはファクス番号が反転表示されないことがあります。この場合は以下の操作でファクスデータを受信することはできません。
- ・発信後のファクス受信には、通話料金がかかります。

## 1 サイト／メールを表示中に、でファクス番号を反転表示させる



## 2 を押す

発信の確認画面が表示されます。表示は最大28桁までです。  
番号は必ず確認してください。



## 3 で「はい」を選択し、を押す

相手先を呼び出します。回線が接続されるとモニタスピーカからガイダンスが流れます。

- ・「ダイヤル待ち」表示中に外線着信があると、FAX TO 機能は取り消されます。外線通話後に再度操作してください。

## 4 ガイダンスの内容に応じてダイヤルボタンを押す

※ ガイダンスがない場合もあります。

## 5 ガイダンスに従って を押す

ファクス受信が開始され、自動的にプリントされます。

## ページを印刷する

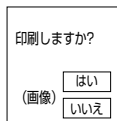
表示中のページの内容を記録紙に印刷することができます。ページの内容とともに、そのページのURLの内容が印刷されます。

- ・表示内容により、印刷に時間がかかる場合があります。
- ・印刷中の通話料金を節約したいときは、[再生/L回線断] ボタンを押し、回線を切断してから印刷してください。
- ・印刷中に電話がかかってきたときは、親機で受けるようにしてください。子機で電話に出ると雑音聞こえる場合があります。その場合は印刷を中止してください。
- ・印刷中に電話がかかってきたときは、親機の着信ベルをメロディなどに設定していても、自動的に「ベル1」のベル音が鳴ります。

## 1 ページを表示中に、ファンクションボタン [サブメニュー] を押す

1Bookmark登録
2再読込
3URL参照
4Bookmark
5画面メモ登録
6印刷
7文字サイズ

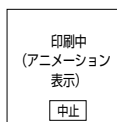
## 2 で「6印刷」を選択し、を押す



## 3 で「はい」を選択し、を押す


印刷が開始されます。

▶印刷を中止するには：「印刷中」表示中に[L]ボタンを押す



## サイトから新しい着信メロディをダウンロードする

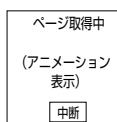
サイトからお好みのメロディのデータを受信し(ダウンロード)、着信メロディとして使うことができます。ダウンロード完了後に、演奏を聴いてから保存するかどうかを判断できます。保存できるのは3曲までです。

- ・ダウンロードしたメロディを着信メロディとして設定するには(親機ベル音・メロディ→P.92)
- ・ダウンロードしたメロディを子機の着信メロディに設定することはできません。
- ・ご利用になれるのは、4和音の着信メロディだけです。
- ・タイトル(最大全角20文字/半角40文字)もダウンロードされます。
- ・ダウンロードしたメロディが、すでに3曲保存されている場合、新しいメロディを保存すると、保存されていたメロディに上書きされます。
- ・Lモードゲートウェイとの接続中(画面に「」点灯中)は、電話やファクスを利用できません。
- ・試聴を目的としたサイトからのダウンロードの場合、著作権で保護されているために保存できないことがあります。
- ・Lモードのメニューコンテンツ以外は正しくダウンロードされないことがあります。

## 1 メロディがダウンロードできるサイト／ホームページを表示させる

着信メロディー一覧
1メロディA
2メロディB
3メロディC
4メロディD

## 2 でダウンロードしたいメロディを選択し、を押す



3 で「演奏する」を選択し、 を押す  
メロディ演奏中  
演奏が開始されます。

4 演奏を止めるときはファンクションボタン [停止] を押す

5 で「保存する」を選択し、 を押す  
「保存しない」を選択すると、直前の画面に戻ります。

6 で保存先 (1~3) を選択し、 を押す  
メロディが保存されます。

7 Lモードを終了するときには を押す

## 機種変更後も電話帳 / Bookmark データを利用できるようにする (データアップロード)

機種変更をされる場合に、本機に登録されている電話帳やBookmarkのデータを引き続き利用することができます。

機種変更前の電話機で「電話帳データ送信」または「Bookmarkデータ送信」の操作を行うと、電話帳 / BookmarkのデータがLモードゲートウェイに送信され、一時的に保管されます。

機種変更後の電話機で、保管されていたデータを受信 (ダウンロード) すると、電話帳 / Bookmarkのデータを利用できます。

- ・Lモードゲートウェイに送信された電話帳 / Bookmarkのデータは、送信済メールとして保存されません。
- ・電話帳 / Bookmark データ送信時にデータがない場合は、「データがありません。」と表示されます。

例:電話帳データを送信 (アップロード) する場合

1 ファンクションボタン [機能] を押す  
機能メニューが表示されます。

2 で「10.Lモード設定」を選択し、 を押す  
1画像表示設定  
2端末機器自動設定  
3センター番号確認  
4電話帳データ送信  
5Bookmarkデータ送信  
6無通信監視タイマ  
7メール自動受信設定

3 で「4 電話帳データ送信」を選択し、 を押す  
Bookmark データを送信する場合は「5Bookmarkデータ送信」を選択し、[L] ボタンを押します。

データを送信しますか?  
(画像) はい  
いいえ

4 で「はい」を選択し、 を押す  
送信先メールアドレスを入力して下さい。  
OK  
Cancel

5 を押す  
送信先入力画面が表示されます。

6 お客様のLモードのメールアドレス (@より前の部分) を入力し、 を押す

7 で「OK」を選択し、 を押す  
接続が完了するとメールが送信されます。

8 「送信完了」と表示されたら、 を押す

### 電話帳 / Bookmark データをダウンロードする

機種変更後、Lモードが使えるように電話機を設定したあと、通常のメール受信の操作を行います。

受信操作中に「...から転送された電話帳データをコピーしますか?」と表示されたら [L] ボタンを押し、その後「コピー元アドレスを入力して下さい。」と表示されたらお客様のLモードのメールアドレス (@より前の部分) を入力してください。自動的に電話帳 / Bookmarkのデータが登録されます。

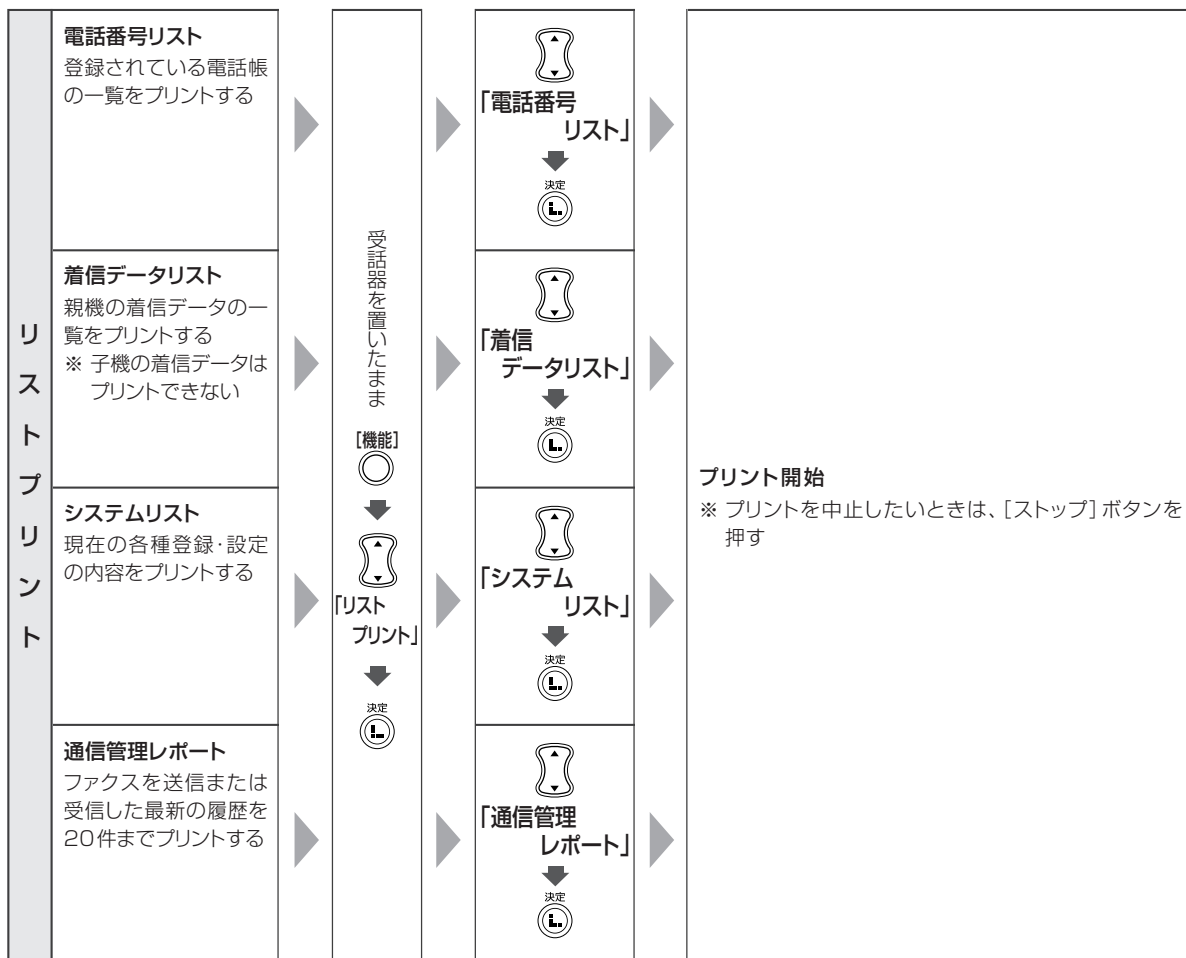
- ・メール自動受信が「自動受信する」に設定されていると、電話帳 / Bookmark データをダウンロードできません。「自動受信しない」に設定 (→P.77) したあと、データアップロード / ダウンロードを行ってください。
- ・Lモードゲートウェイでの電話帳 / Bookmarkデータの保存期間は、14日間です。
- ・すでに電話帳やBookmarkが登録されている電話機でデータのダウンロードを行うと、登録されているデータにダウンロードしたデータが追加されます。
- ・機種によってはLモードゲートウェイに保管した電話帳 / Bookmark データが正常にダウンロードされない場合があります。
- ・データのアップロードを行った電話機と、データのダウンロードを行う電話機のメールアドレスが一致しないと、ダウンロードできません。
- ・電話帳 / Bookmarkデータは受信メールとして受信されますが、受信メール一覧には保存されません。

# いろいろな登録・設定

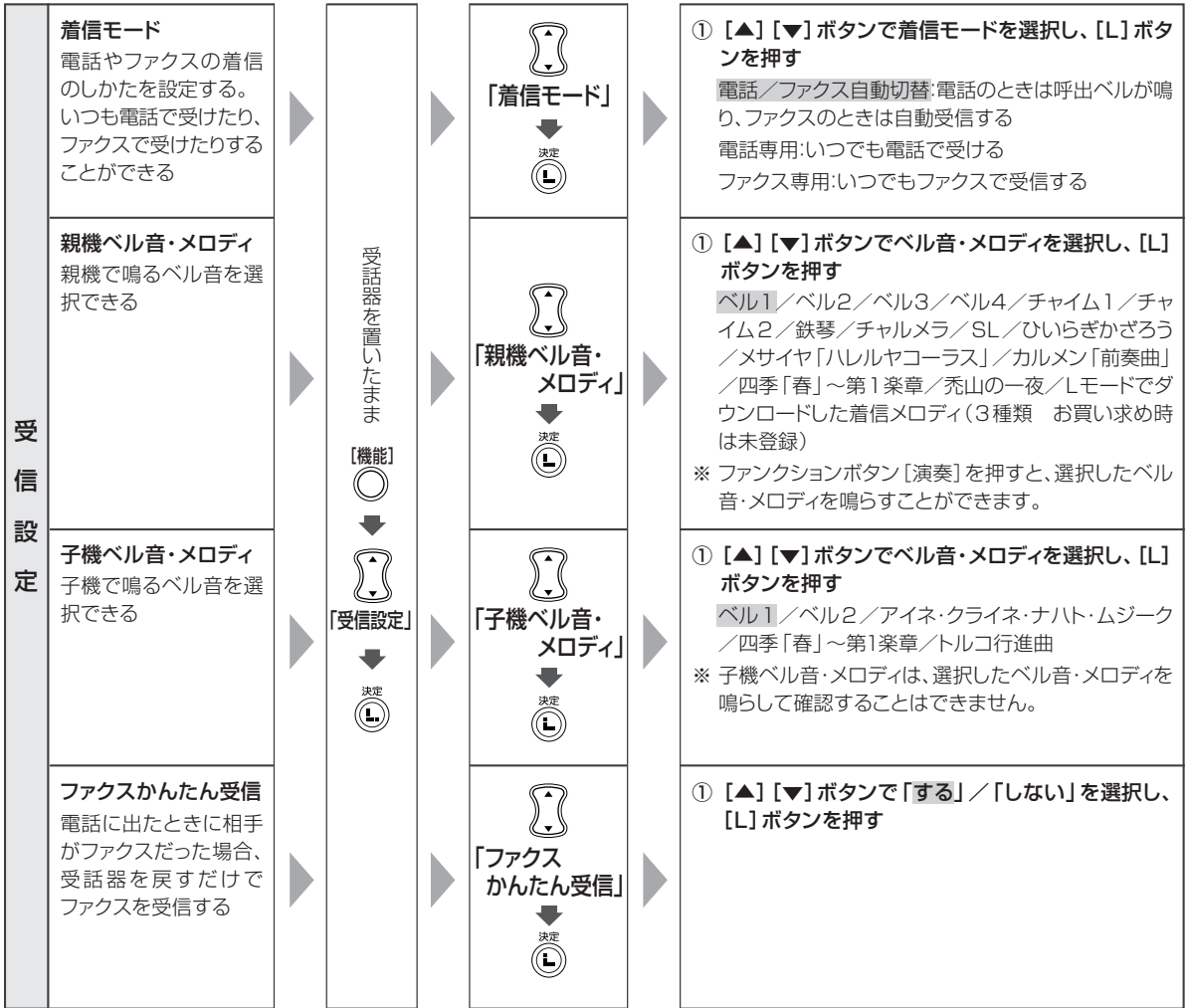
使い勝手に合わせて、いろいろな機能を登録したり設定を変更したりすることができます。

## 親機での登録・設定

- 登録・設定を途中でやめたいときは [ストップ] ボタンを押します。
- 登録・設定の途中で約 90 秒以上何も操作しなかったときは待ち受け中に戻ります。



- 電話番号リストに関して
  - ・ 子機の電話帳の登録内容はプリントされません。
  - ・ 電話帳に 1 件も登録されていない場合には、「未登録」と表示され、プリントされません。
- 着信データリストに関して
  - ・ ナンバー・ディスプレイを利用していないと、着信データは記憶されません (→ P.54)。
  - ・ 着信データが記憶されていない場合は、「着信データはありません」と表示され、プリントされません。

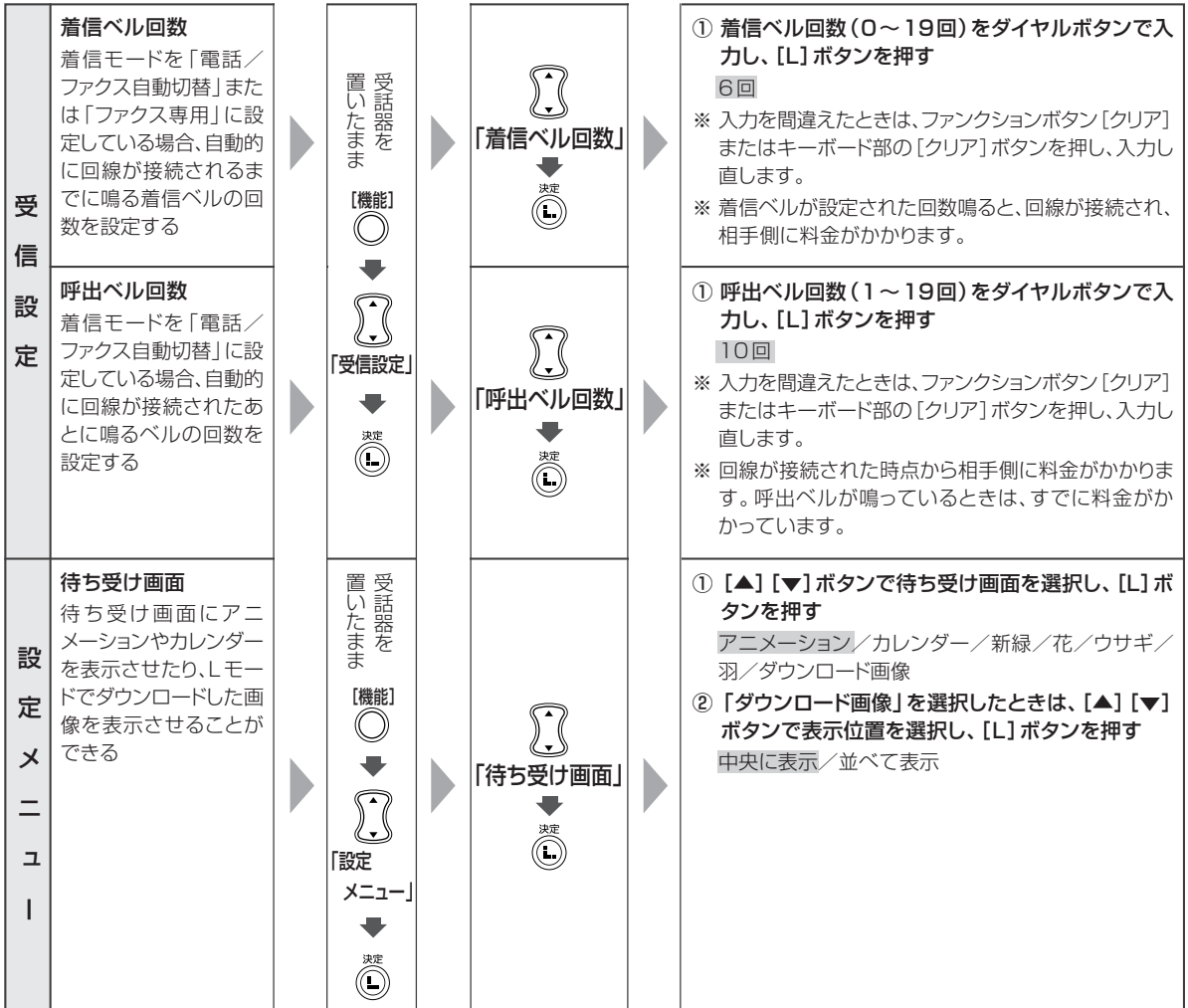


● 着信モードに関して

- ・「電話専用」に設定し、トールセイバ(→P.97)を「しない」に設定している場合、留守設定中は着信ベルが5回鳴ったあと留守番機能がはたらきます。
- ・「ファクス専用」で着信ベルを0回に設定すると、相手がファクスのときは着信ベルが1回も鳴らずにファクスを受信します。この場合は電話が受けられません。
- ・留守設定中は、「ファクス専用」を設定しても留守設定が優先されます(→P.48)。
- ・着信モードを「電話専用」に設定したときは、「着信ベル回数」「呼出ベル回数」はメニューに表示されません。また、着信モードを「ファクス専用」に設定したときは、「呼出ベル回数」は表示されません。

● ファクスかんたん受信に関して

- ・相手が電話の場合でも、声質や音によってファクスの受信状態になることがあります。ひんぱんに起こる場合は、ファクスかんたん受信を「しない」に設定してください。
- ・ファクスかんたん受信を「しない」に設定したときは、相手がファクスの場合、親機では[スタート/コピー]ボタン、子機では[内線]ボタンを押したあと[6]を押すと受信できます。
- ・いたずらファクスでお困りのときは、ファクスかんたん受信を「しない」に設定してください。

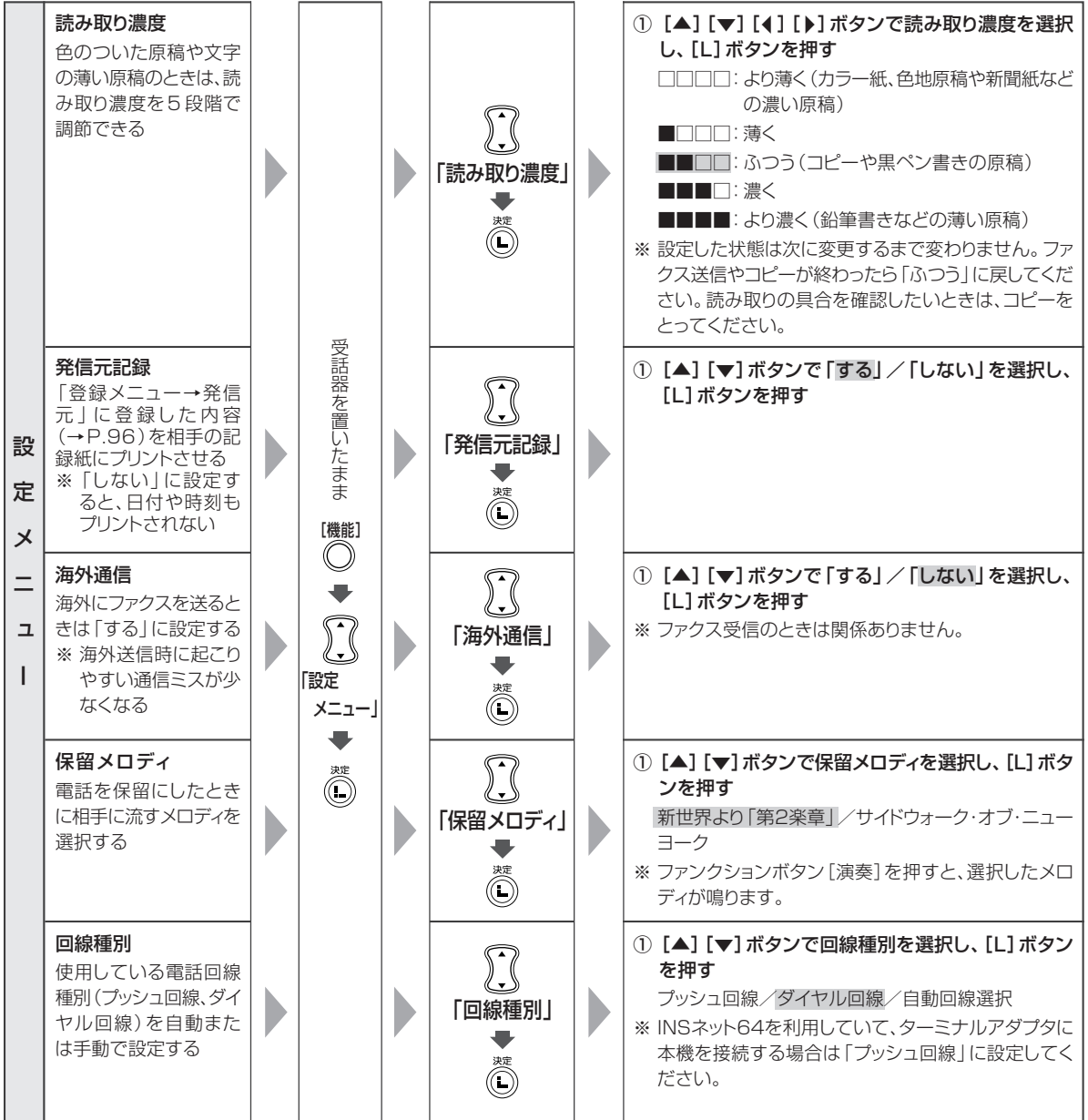


● 着信ベル回数に関して

- ベルを鳴らさずにファクスを受信したいとき(無鳴動着信)は、着信ベル回数を「0回」に設定してください。なお、設定している着信モードにより、次のように動作します。
  - 電話／ファクス自動切替：相手が電話だったときは、回線が接続されてから約5秒後に呼出ベルが鳴ります。電話に出てから手動受信してください(手動で受ける→P.42)。
  - ファクス専用：着信ベルが1回も鳴らさずにファクスを受信します。電話は受けられません。
- 着信ベル回数はなるべく9回以下で設定してください。10回以上に設定すると相手がファクスを自動受信したとき、受信できないことがあります。
- トールセイバを「する」に設定していると、留守設定中は着信ベルの設定に関わらずトールセイバのベル回数が優先されます。留守設定中もここで設定したベル回数で回線を接続したいときは、トールセイバを「しない」に設定してください(→P.97)。
- 子機の着信ベルは、親機より遅れて鳴り始めるため、設定した回数より少なくなります。

● 待ち受け画面に関して

- 「カレンダー」を選択した場合は、時刻設定に応じて「今月」ひと月分のカレンダーが表示されます。「前月」「次月」などに表示を切り替えることはできません。
- ダウンロード画像を登録していないときにダウンロード画像を設定すると、待ち受け画面が白く表示されます(気に入ったページを画面メモに登録する→P.86)。



● 発信元記録の相手先でのプリント例

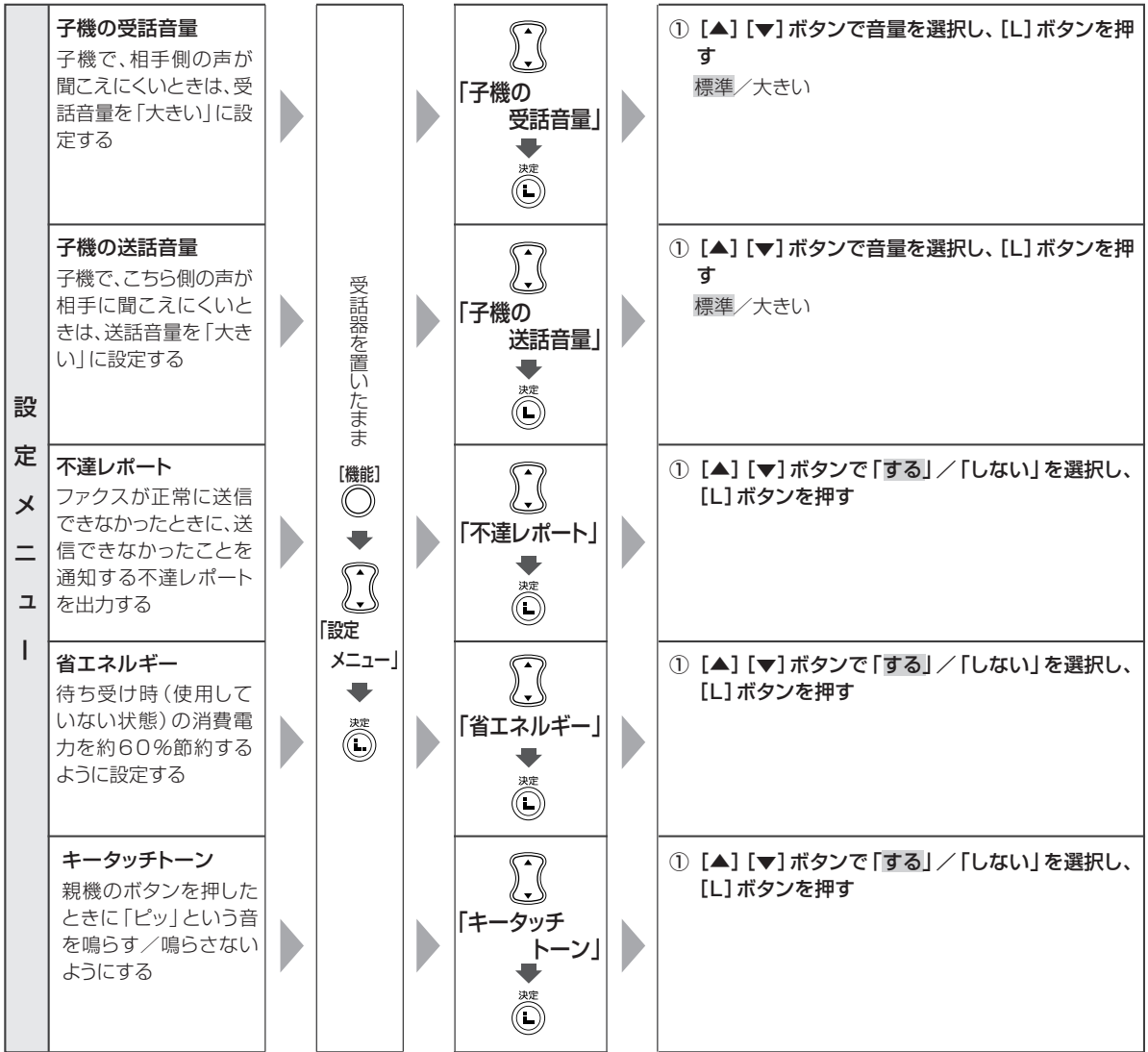
登録した内容がプリントされます  
 時刻を設定しているときは日付・時刻がプリントされず




















自動的にプリントされます  
 ページ番号 (自動的にプリントされます)

● 回線種別：自動回線選択に関して

- ・本機が自動的に回線を接続します。
- ・「接続確認」と表示されたときは、電話回線の接続を確認してください。
- ・「自動選択失敗」と表示されたときは、自動回線選択できませんでした。上記手順で「プッシュ回線」か「ダイヤル回線」を手動で設定してください。



- **子機の受話音量に関して**
  - ・内線通話時の受話音量は変更されません。
  - ・すべての子機の受話音量が大きくなります。子機ごとに受話音量を変更したいときは、子機側で設定してください（受話音量→P.29）。
- **子機の送話音量に関して**
  - ・内線通話時の送話音量は変更されません。
- **省エネルギーに関して**
  - ・本機はボタン入力や外線着信など、何らかの操作が約5分間ない場合、省エネルギーモードになります。省エネルギーモードでボタン入力を行った場合、表示画面の切り替わりや画面表示までに数秒かかることがあります。
  - ・以下の場合は、省エネルギーを「する」に設定しても、機能ははたしません。  
画面受信（→P.43、44） / メモリ代行受信の文書がある場合（→P.44） / アラーム表示時（カバーが開いているなど）
  - ・省エネルギーを「しない」に設定しても、操作をしない時間が5分以上続いた場合は、バックライトが消え、表示は見えなくなります。

設定メニュー	<p><b>メール到着音</b> メールが届いたときに親機で着信音を鳴らすようにする(約5秒間)</p>	<p>受話器を置いたまま</p> <p>機能</p>  <p>設定</p>  <p>メニュー</p>  <p>決定</p> 	<p>「メール到着音」</p>  <p>決定</p> 	<p>① [▲] [▼] ボタンで「する」/「しない」を選択し、[L] ボタンを押す</p> <p>② 「する」を選択したときは、[▲] [▼] ボタンでメール到着音を選択し、[L] ボタンを押す</p> <p>ベル1/ベル2/ベル3/ベル4/チャイム1/チャイム2/鉄琴/チャルメラ/SL/ひいらぎかざろう/メサイヤ「ハレルヤコーラス」/カルメン「前奏曲」/四季「春」~第1楽章/禿山の一夜/Lモードでダウンロードした着信メロディ(3種類 お買い求め時は未登録)</p>
	<p><b>自分の電話番号</b> ここで自分の電話番号を登録すると、ファクス送信中に相手先のディスプレイに表示されたり、相手の通信管理レポートなどにプリントされる</p> <p>※ ここで登録した電話番号は、相手の記録紙にはプリントされない。相手の記録紙にプリントする場合は、下記「発信元」に登録する</p>	<p>受話器を置いたまま</p> <p>機能</p>  <p>登録</p>  <p>メニュー</p>  <p>決定</p> 	<p>「自分の電話番号」</p>  <p>決定</p> 	<p>① 自分の電話番号(最大20桁)を市外局番から入力し、[L] ボタンを押す</p> <p>※ 登録できる文字は、数字とスペースです。</p> <p>※ 削除するときは、ファンクションボタン[クリア]またはキーボード部の[クリア]ボタンで内容をすべて消去してから、[L] ボタンを押します。</p> <p>※ 修正するときは、[◀] [▶] ボタンで修正したい箇所へカーソルを移動させ、ファンクションボタン[クリア]またはキーボード部の[クリア]ボタンで消去し、修正してから[L] ボタンを押します。</p>
	<p><b>発信元</b> ここで自分の名前や電話番号を登録すると、ファクスを送信したとき、相手の記録紙の各ページの最上部にプリントされる</p> <p>※ 発信元をプリントさせるには、「設定メニュー」→「発信元記録」を「する」に設定する(→P.94)</p>		<p>「発信元」</p>  <p>決定</p> 	<p>① 自分の名前や電話番号を入力し、[L] ボタンを押す</p> <p>※ 登録できる文字は、かな、漢字、カナ、数字、英字、絵文字、記号で、最大40文字(空白含む)まで入力できます。</p> <p>※ 削除するときは、ファンクションボタン[クリア]またはキーボード部の[クリア]ボタンで内容をすべて消去してから、[L] ボタンを押します。</p> <p>ファンクションボタン[サブメニュー]を押し、[▲] [▼] ボタンで「オールクリア」を選択して[L] ボタンを押しても、すべて削除することができます。</p> <p>※ 修正するときは、[◀] [▶] ボタンで修正したい箇所へカーソルを移動させ、ファンクションボタン[クリア]またはキーボード部の[クリア]ボタンで消去し、修正してから[L] ボタンを押します。</p> <p>※ 登録できたか確認したいときは、システムリストをプリントしてください(→P.91)。</p>
	<p><b>ダイヤルイン</b> ダイヤルインの設定をする</p>		<p>「ダイヤルイン」</p>  <p>決定</p> 	<p>※ 詳細はP.61を参照してください。</p>
<p><b>時刻設定</b> 時刻がずれてきたときや、時刻をセットしなかったときに、ここで時刻を設定する</p> <p>※ 時計の精度は平均月差±60秒以内</p>	<p>「時刻設定」</p>  <p>決定</p> 		<p>① 西暦(4桁)、月(2桁)、日(2桁)、時刻(24時間制)を入力し、[L] ボタンを押す</p> <p>例:2003年2月1日午後6時5分の場合→200302011805と入力</p> <p>※ 月日や時刻が1桁のときは、頭に0を付けてください。</p> <p>※ 入力を間違えたときは、[◀] [▶] ボタンで修正したい箇所へカーソルを移動させ、入力し直します。</p>	

● メール到着音に関して

- ・メール自動受信を「自動受信する(印刷なし)」または「自動受信する(印刷あり)」に設定している場合(→P.77)は、メール自動受信の前にメール到着音が鳴ります。

● 自分の電話番号に関して

- ・相手機種によっては、相手先のディスプレイなどに表示されないことがあります。
- ・引越などで電話番号が変わったときは、もう一度登録をやり直してください。



登録メニュー	<p><b>電話帳転送</b> 親機の電話帳に登録した内容を子機に転送する</p>	<p>受話器を置いたまま [機能] ↓ [登録メニュー] ↓ 決定</p>	<p>「電話帳転送」 ↓ 決定</p>	<p>※ 詳細はP.36を参照してください。</p>
	<p><b>全用件消去</b> 留守番電話に録音されているすべての用件を一度に消去する</p>		<p>「全用件消去」 ↓ 決定</p>	<p>※ 詳細はP.50を参照してください。</p>
留守電機能	<p><b>応答メッセージ録音</b> 留守番電話の応答メッセージを自分で録音する ※ 2種類まで録音でき、何度でも録音し直すことができる</p>	<p>受話器を置いたまま</p>	<p>「応答メッセージ録音」 ↓ 決定</p>	<p>※ 詳細はP.51を参照してください。</p>
	<p><b>応答メッセージ消去</b> 自分で録音した応答メッセージを消去する</p>	<p>[機能] ↓ [留守電機能] ↓ 決定</p>	<p>「応答メッセージ消去」 ↓ 決定</p>	<p>※ 詳細はP.51を参照してください。</p>
	<p><b>トールセイバ</b> 留守番電話が応答するまでのベルの回数を、用件が録音されているときは2回、録音されていないときは5回にする機能で、外出先から用件の有無を簡単に確認することができる ※ 用件が録音されていないときは、呼出音を3回聞き終わってから電話を切ると、通話料金がかからない</p>		<p>「トールセイバ」 ↓ 決定</p>	<p>① [▲] [▼] ボタンで「する」/「しない」を選択し、[L] ボタンを押す</p>

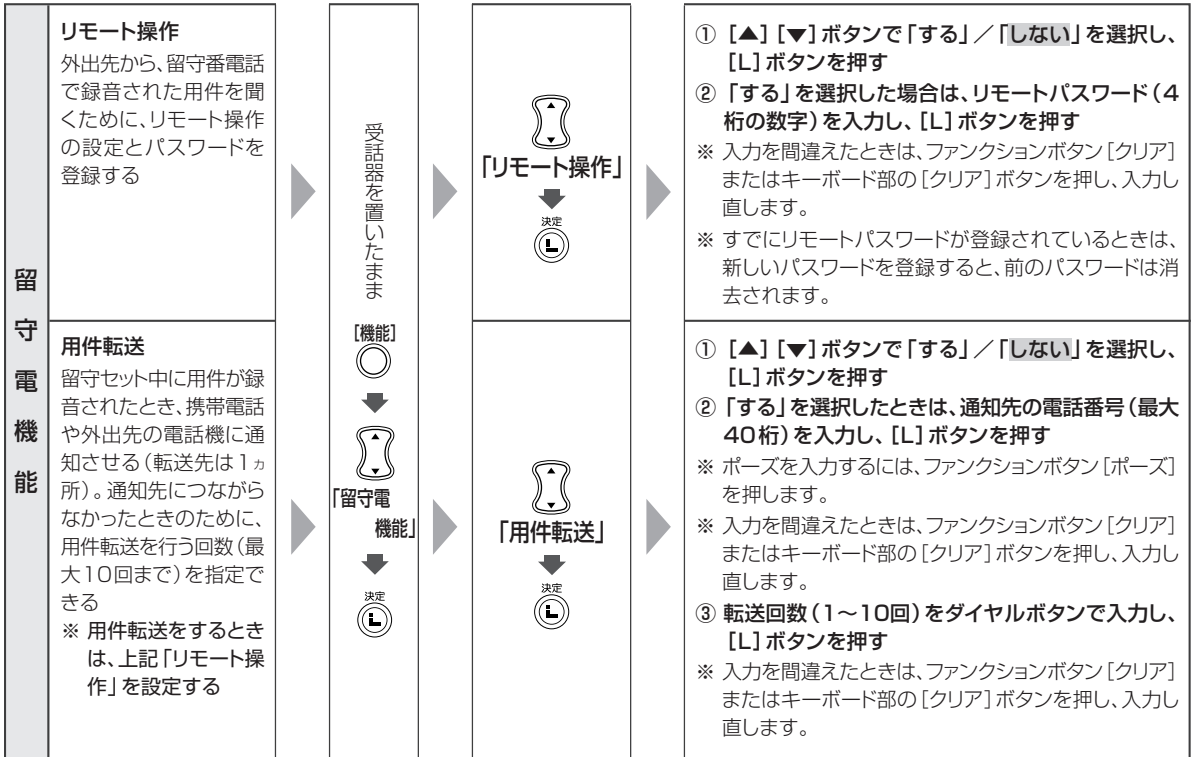
● 全用件消去に関して

・一度も再生していない用件もすべて消去されます。

● トールセイバに関して

・一度聞いた用件でも、残っていると（消去しないかぎり）トールセイバがはたらきます。

・子機は親機より遅れてベルが鳴り始めるため、トールセイバを「する」に設定していて留守番電話の用件が録音されているときは、子機が鳴る前に着信して留守応答になることがあります。

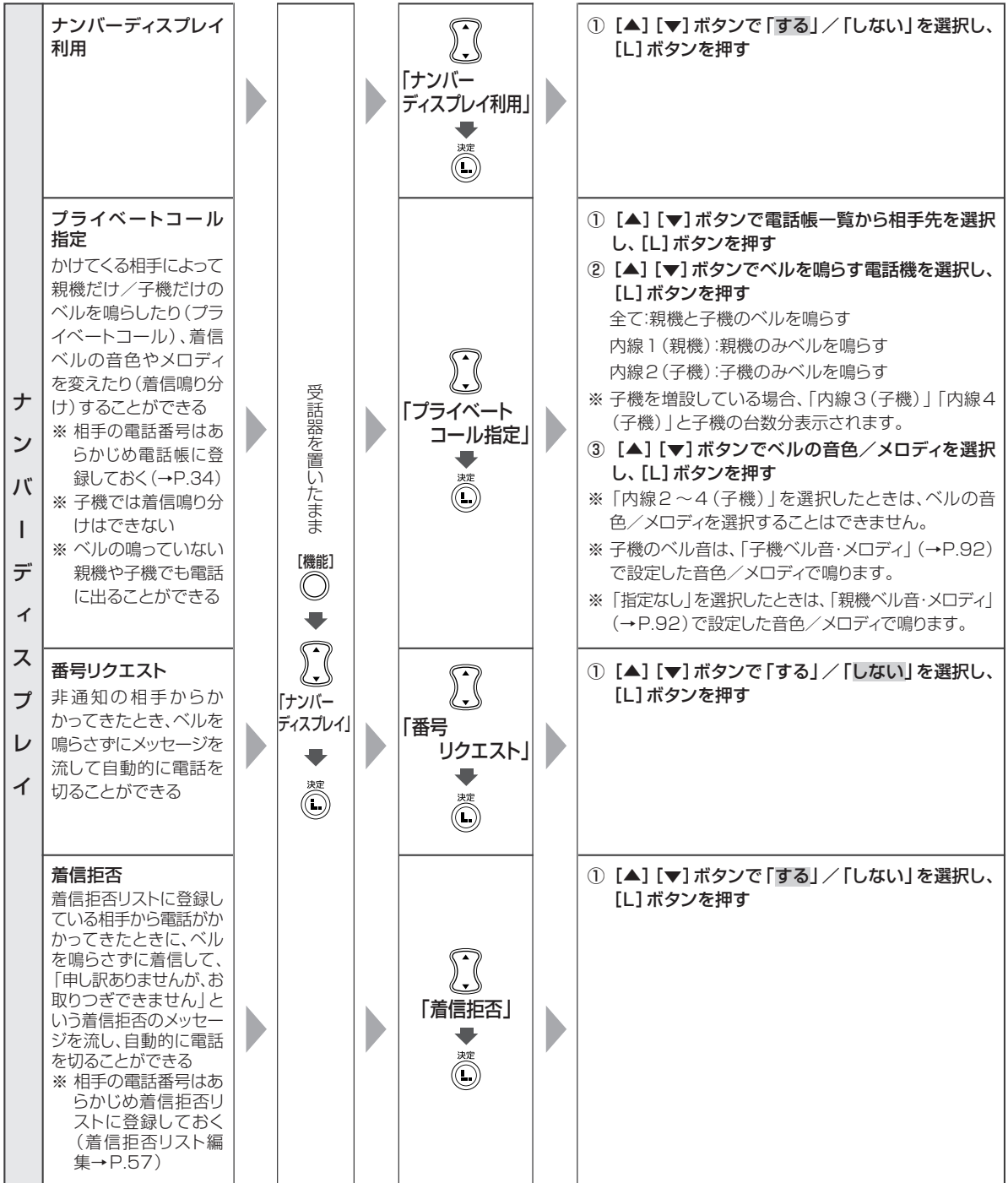


● リモート操作に関して

- ・パスワードは大切な番号です。他人に知られないようにしてください。

● 用件転送に関して

- ・転送先にはプッシュ信号が出せる電話機を指定してください。
- ・転送先が携帯電話またはPHSのときは、電源が入っていない／電波が届かないなどで転送されないことがあります。
- ・録音された用件が6秒未満のときや、用件が録音されてから用件転送するまでの間に停電などで親機の電源が切れたときは転送されません。
- ・ポケベルにメッセージを表示させるには、転送先の電話番号を、以下のように入力します。メッセージ番号についてはポケベルの説明書を参照してください。[ポーズ] や [#] も1桁と数えます。
  - ・ダイヤル回線のときは、ポケベル番号→ [ポーズ] → [\*] →メッセージ番号→ [#] [#] の順に押す
  - ・プッシュ回線のときは、ポケベル番号→ [ポーズ] →メッセージ番号→ [#] [#] の順に押す
- ・登録した電話番号や転送回数を変えたいときは、最初から登録し直してください。
- ・ポーズは、ポケベルのサービス会社につながったとき、音声案内が終わるまでの待ち時間を作るために必要です。音声案内の長さは、各サービス会社にお問い合わせください。ファンクションボタン [ポーズ] 1回で約3秒間のポーズが入ります。また、登録できる桁数は、ポケベル番号から最後の [#] までの合計が40桁までです。



















● ナンバー・ディスプレイ利用に関して

- ・ 以下の場合、「利用する」に設定してください。
  - ・ ナンバー・ディスプレイ (→P.54) を契約しているとき
  - ・ モデムダイヤルイン (→P.60) を契約しているとき
  - ・ メッセージ到着お知らせサービス (→P.104) を契約しているとき

● 番号リクエストに関して

- ・ 非通知の相手に流すメッセージは、「番号を通知しておかけ直してください。また回線ごと非通知の方は番号の前に186をダイヤルしておかけ直してください」(固定)です。
- ・ 番号リクエストを「する」に設定すると、留守設定中も非通知の相手からの電話は留守録音やファクス受信ができません。
- ・ 公衆電話や表示圏外からの電話は通常どおり着信します。

ナンバードイスプレィ	<b>応答メッセージ選択</b> 留守設定中に電話がかかってきたときに、電話帳に登録されている相手にだけ自作応答メッセージを流す	受話器を置いたまま [機能]  ↓  [ナンバーディスプレイ] ↓ 	 「応答メッセージ選択」 ↓ 	① [▲] [▼] ボタンで「する」/「しない」を選択し、[L] ボタンを押す
	<b>キャッチホンディスプレイ</b> 電話で話しをしているときに、別の方からかかってきた電話番号などを画面で確認してから、電話に出ることができる		 「キャッチホンディスプレイ」 ↓ 	① [▲] [▼] ボタンで「する」/「しない」を選択し、[L] ボタンを押す
	<b>着信拒否リスト編集</b> 電話に出たくない相手先を着信拒否リストに登録しておく、着信拒否のメッセージを流し、自動的に電話を切ることができる ※ 登録した相手を着信拒否するためには「着信拒否」の設定を「する」に設定する(→P.99)		 「着信拒否リスト編集」 ↓ 	※ 詳細はP.57を参照してください。
ハンドスキャナ	<b>読み取り記録幅</b> ハンドスキャナで原稿を読み取るときに、自動的に拡大/縮小する	受話器を置いたまま [機能]  ↓  [ハンドスキャナ] ↓ 	 「読み取り記録幅」 ↓ 	① [▲] [▼] ボタンで項目を選択し、[L] ボタンを押す A4→A4 等倍:100% :A4の原稿をA4でプリント B5→A4 拡大:115% :B5の原稿をA4でプリント A5→A4 拡大:141% :A5の原稿をA4でプリント B4→A4 縮小:82% :B4の原稿をA4でプリント ※ 設定した状態は次に変更するまでそのままです。
	<b>メロディハンドスキャナ</b> ハンドスキャナで原稿を読み取るときに、スピードを表すメロディが流れるようにする/流さない ※ モニタスピーカ音量を「切」に設定しているとき(→P.49)は、メロディは流れない		 「メロディハンドスキャナ」 ↓ 	① [▲] [▼] ボタンで「する」/「しない」を選択し、[L] ボタンを押す する :メロディを流す しない :メロディを流さない

● 応答メッセージ選択に関して

- ・相手に流すメッセージは、留守設定で設定したものと同一メッセージです(→P.49)。
- ・自作応答メッセージを録音していない、または留守設定の応答メッセージを固定メッセージにしている場合は、すべて固定応答メッセージになります。

● ハンドスキャナに関して

- ・ハンドスキャナを取り外しているときは、ファンクションボタン [機能] を押し、「読み取り記録幅」または「メロディハンドスキャナ」を選択して [L] ボタンを押したあと、各設定操作を行います(手順が少し省略されます)。
- ・メロディハンドスキャナで流れるメロディの音量を調節するには、メロディが流れているときにキーボード部の [音量 大] または [音量 小] ボタンを繰り返し押します。

プリント設定	<p><b>受信縮小率</b> 受信縮小率を「100%」以外に設定すると、受信したファクスが縦方向にA4サイズをわずかに超える場合（発信元記録の付加など）でも、設定した比率で縦方向に縮小してプリントする</p>	<p>置いたまま 受話器を</p> <p>【機能】</p> <p>「受信縮小率」</p> <p>決定</p>	<p>「受信縮小率」</p> <p>決定</p>	<p>① 【▲】【▼】ボタンで項目を選択し、【L】ボタンを押す</p> <p>縮小85%:85%に縮小してプリント 縮小90%:90%に縮小してプリント 縮小93%:93%に縮小してプリント 等倍100%:等倍（原寸大）でプリント</p>
	<p><b>メモリ受信</b> ファクスを受信するとき、いったんメモリに蓄積してからプリントする</p>	<p>「プリント設定」</p> <p>決定</p>	<p>「メモリ受信」</p> <p>決定</p>	<p>① 【▲】【▼】ボタンで「する」／「しない」を選択し、【L】ボタンを押す</p>
ファクス情報サービス	<p>いろいろな情報をファクスで入手することができる</p>	<p>置いたまま 受話器を</p> <p>【機能】</p> <p>「ファクス情報サービス」</p> <p>決定</p>	<p>※ 詳細はP.42を参照してください。</p>	
Lモード設定	<p><b>画像表示設定</b> ページを表示するとき、画像データも表示するかどうかを設定する</p>	<p>置いたまま 受話器を</p> <p>【機能】</p> <p>「画像表示設定」</p> <p>決定</p>	<p>「画像表示設定」</p> <p>決定</p>	<p>① 【▲】【▼】ボタンで「表示する」／「表示しない」を選択し、【L】ボタンを押す</p> <p>※ 「表示しない」にすると、画像表示の部分に ☒ が表示されます。</p> <p>② 【▲】【▼】ボタンで「OK」を選択し、【L】ボタンを押す</p>
	<p><b>端末機器自動設定</b> Lモードの利用を開始する操作（→P.65）と同様で、アクセスポイント電話番号（センター番号）を自動的に登録する ※ P.65の操作を行い、すでにLモードをご利用になっている場合は、この操作は不要</p>	<p>「Lモード設定」</p> <p>決定</p>	<p>「端末機器自動設定」</p> <p>決定</p>	<p>① 【▲】【▼】ボタンで「はい」／「いいえ」を選択し、【L】ボタンを押す</p>

● 受信縮小率に関して

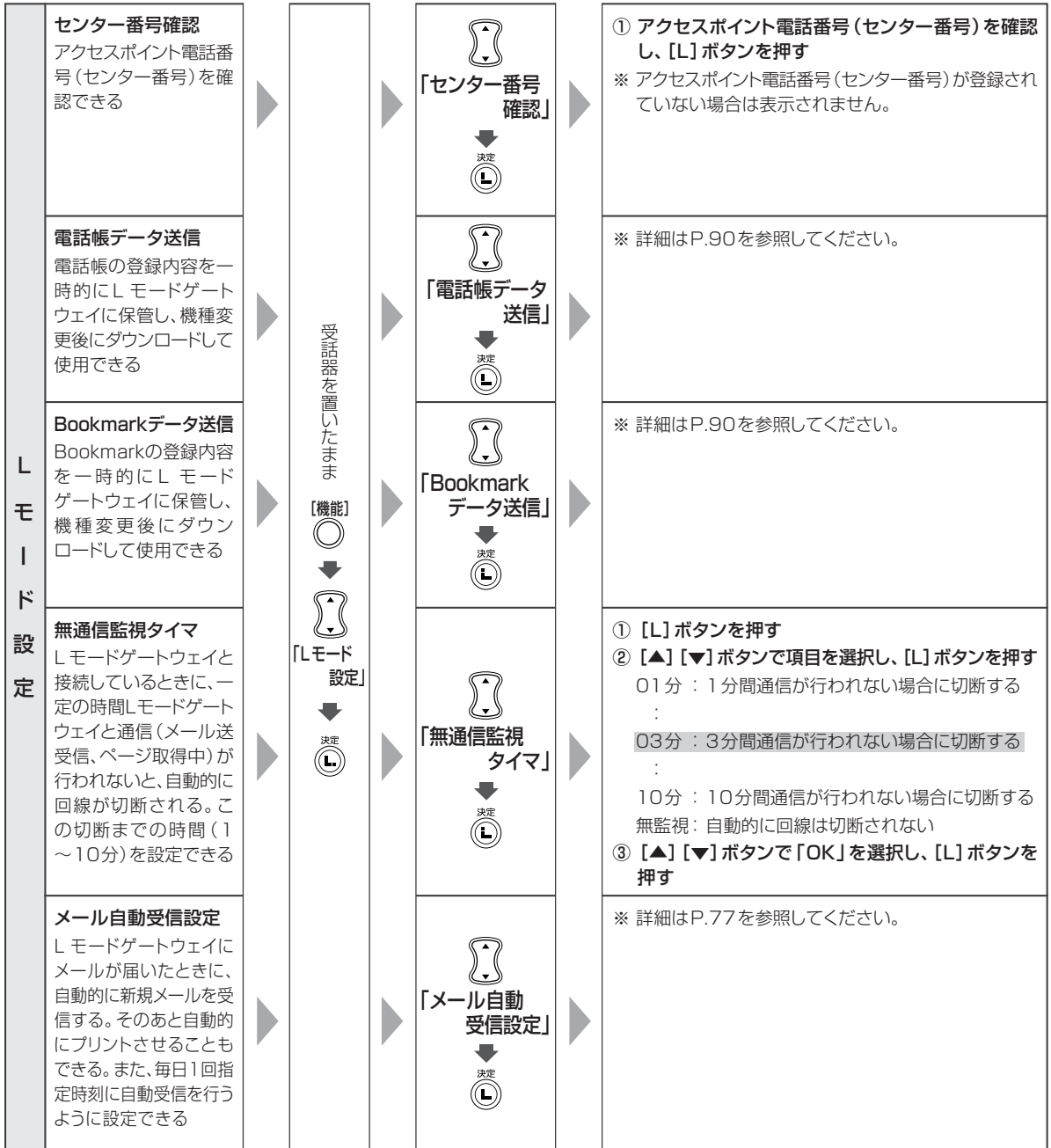
- ・ 受信縮小率を「100%」以外に設定すると、縮小することにより、原稿の画質が劣化する場合があります。これを解消したいときは、「100%」に設定してください。
- ・ 受信縮小率の設定に関わらず、印字範囲を縦方向にはみ出した部分は次の記録紙にプリントされます。

● メモリ受信に関して

- ・ メモリ受信を「する」に設定すると、写真などのデータ量の多い原稿は受信できないことがあります。その場合は、不要な用件を消去するか（→P.50）、メモリ受信を「しない」に設定してください。
- ・ メモリ受信を「しない」に設定したとき、ファクス受信中に以下の状態が起これると通信異常となります。以下の状態が復旧したあとに、再度ファクスを送信してもらってください。  
記録紙がなくなった／操作パネルが開いた／サーマルヘッドが過熱した／インクフィルムがなくなった／記録紙がつまった
- ・ メモリ受信を「しない」に設定しても、画面受信が設定されているとき（→P.43）、または記録紙がセットされていないなど、プリントできない状態のときはメモリに受信します（メモリ代行受信→P.44）。

● 画像表示設定に関して

- ・ 「する」に設定しても、GIF/JPEG形式、GIFアニメ以外の画像データは表示できません。またGIF/JPEG形式、GIFアニメであっても表示できない場合があります。



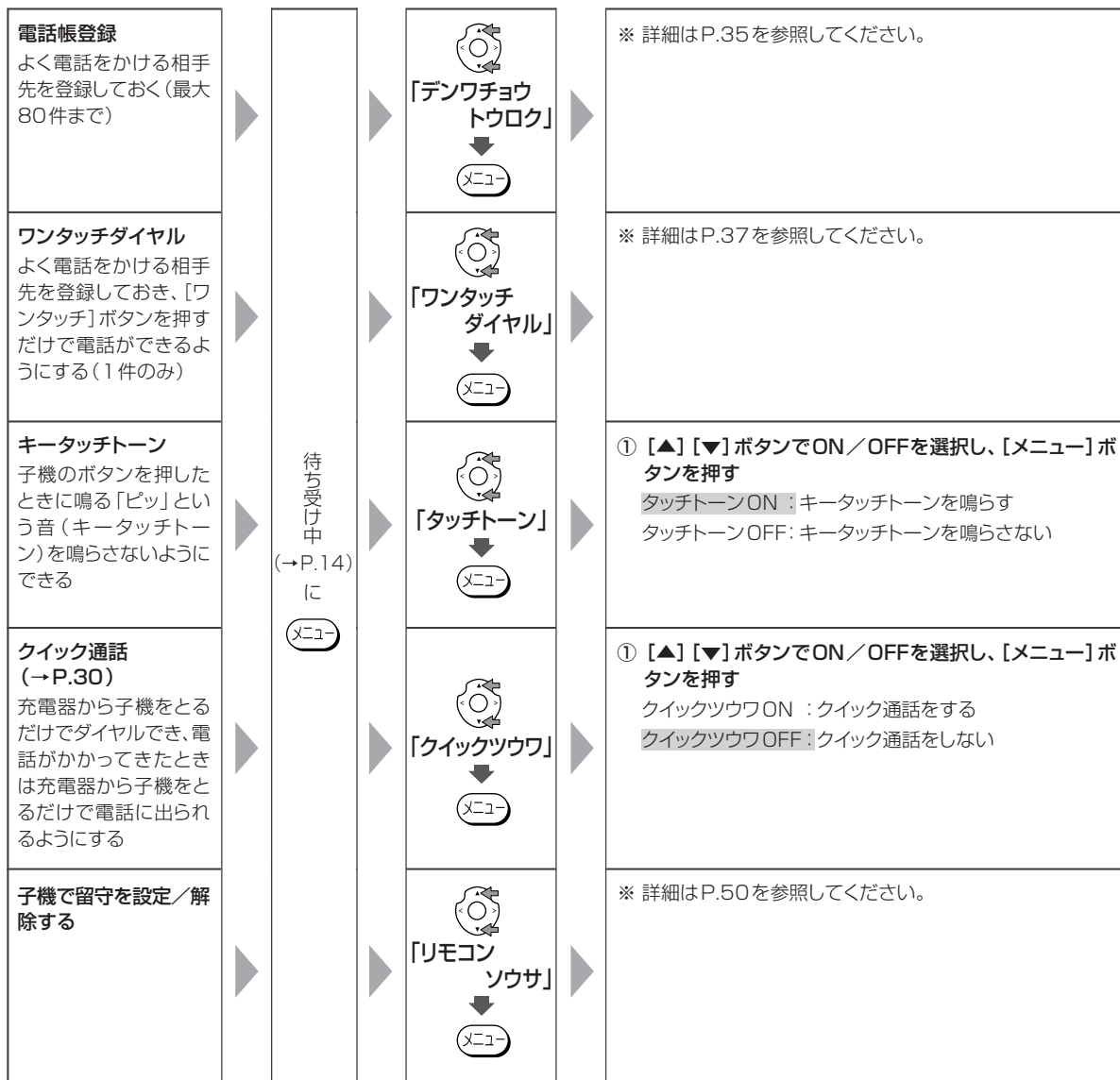
● 無通信監視タイマに関して

- ・「無監視」に設定したときは、Lモードのご利用が終了したあと、回線を切断するのを忘れないようにご注意ください。回線が切断されないと、通話料金がかかります(→P.67)。

# 子機での登録・設定

● 登録・設定の途中で約 60 秒以上何も操作しなかったときは待ち受け中に戻ります。

お買い求め時の設定:



● 子機のキータッチトーンに関して

- ・ キータッチトーンを「OFF」に設定すると、エラーを知らせる音や、設定終了を知らせる音も鳴らなくなります。ただし、キータッチトーンの ON/OFF を設定したときの音は鳴ります。

## その他のサービスを利用する

### メッセージ到着お知らせサービスを利用する

メッセージ到着お知らせサービスとは、NTT東日本またはNTT西日本のメッセージセンタにお客様へのメッセージが録音されたときや、Lモードゲートウェイでお客様宛のメールを保管しているときなどに、メッセージがあることを親機のディスプレイ表示でお客様にお知らせするサービスです。

このサービスをご利用になるためには、NTT東日本またはNTT西日本とのサービスの利用契約(有料)が必要です(一部の地域のお客様は本サービスをご利用になれません)。詳しくは最寄りのNTT東日本/NTT西日本窓口にご相談ください。

また、契約したあとナンバー・ディスプレイを「利用する」に設定する必要があります(お買い求め時は「利用する」に設定されています)(→P.99)。

### 本機でご利用になれる機能

Lモードをご契約され、メッセージ到着お知らせサービスをご利用の場合、本機の以下の機能をご利用になれます。

#### ●「メッセージ有り」表示機能

お客様宛の新しいメールがLモードゲートウェイに到着すると、メールランプが点灯し、親機のディスプレイに右のように表示されます。

センターにメールがあります

また、[◀]ボタンを押すと、着信データとして右のように表示されます。

センタ2

センタ2(Lモードゲートウェイ)にメールがある

- ・ 停電時はメッセージ到着お知らせによる機能(「メッセージ有り」表示、メール到着音、メール自動受信)はご利用できません。また、「センターにメールがあります」の表示中に停電になった場合は、その後復電しても表示は戻りません。
- ・ 通話中やLモードご利用中は、メッセージ到着お知らせによる機能(「メッセージ有り」表示、メール到着音、メール自動受信)は作動しません。回線切断後に作動します。
- ・ 通話中、操作中およびアラーム表示中には、「センターにメールがあります」表示は表示されません。
- ・ メールを受信を行っても、すぐには「センターにメールがあります」の表示が消えない場合があります。「センターにメールがあります」表示は、センターからのメッセージ消去通知を受信すると自動的に消えます。
- ・ 内線呼出中にセンターからメッセージ有り通知およびメッセージ消去通知を受信すると、内線呼出を中止します。

- ・ 本機でLモードサービスの利用契約を行った場合およびINSネットでターミナルアダプタのアナログポート収容によるLモード対応電話機等をご利用の方は、メール到着のお知らせと電話の発信が同時に行われた場合、メール到着のお知らせが正常に届かない場合があります。また、メール到着のお知らせ表示の消去と電話の発信が同時に行われた場合、メール到着のお知らせが正常に消えない場合があります。INSネットでもターミナルアダプタのアナログポートに本機を接続される場合は、メッセージ到着お知らせサービス対応のターミナルアダプタをご使用ください。

#### ●メール到着音

メールが到着したときに、到着音が鳴るように設定することができます。

センターから到着の通知が届くと、約5秒間メール到着音が鳴ります(メール到着音→P.96)。

- ・ 本機操作中にセンターから到着の通知が届いたときは、操作終了後にメール到着音が鳴ります。
- ・ メール到着音は、親機のみ鳴り、子機では鳴りません。
- ・ メール到着音の音量は、親機で設定しているベル音量で鳴ります。
- ・ メール到着音が鳴っているときに子機で操作しようとするると、「ピーピーピー」という音が鳴り、使用することはできません。

#### ●メール自動受信—メール到着時受信

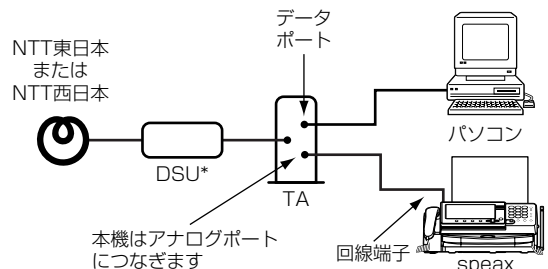
メール自動受信設定でメール到着時受信を設定すると、メールが到着したときに自動的にセンターにあるメールを受信することができます(→P.77)。

メッセージ到着お知らせサービスがご利用になれないお客様は、メール自動受信の指定時刻受信をご利用ください。

## INS ネット 64 を利用するには

INS ネット 64 を利用すると、インターネットやパソコン通信をしながら電話が使えます。

- ・ INS ネット 64 を利用するには、NTT東日本またはNTT西日本との契約が必要です(有料)。
- ・ 本機のほかに、次の機器が必要です。
  - ISDNターミナルアダプタ(TA)
  - デジタルサービスユニット(DSU)



\* TAの機種によってはDSUが内蔵されています。詳しくはTAの取扱説明書を参照してください。



- ・回線種別の設定はTAの取扱説明書を参照して、設定してください（回線種別→P.94）。
- ・TAの設定（ダイヤル桁間タイムなど）によっては、「0077」などから始まる番号や、電話帳登録（→P.33）で「ポーズ」を入力した番号に電話をかけられないことがあります。

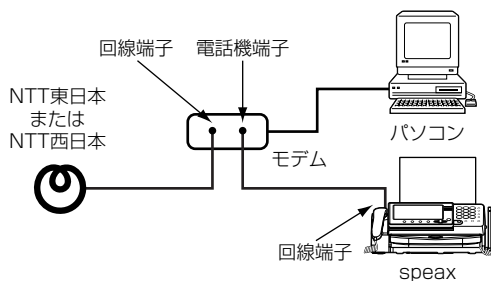
▶ **ナンバー・ディスプレイを利用するときは**：INSナンバー・ディスプレイ対応のTAを使用する

▶ **ダイヤルインサービスを利用するときは**：TAの取扱説明書に従って設定する。TAの機種または設定によって、本機のダイヤルイン機能が使えないことがある。この場合は「ダイヤルインを利用しない」に設定する（ダイヤルイン→P.61）

## パソコンやモデムにつなぐには

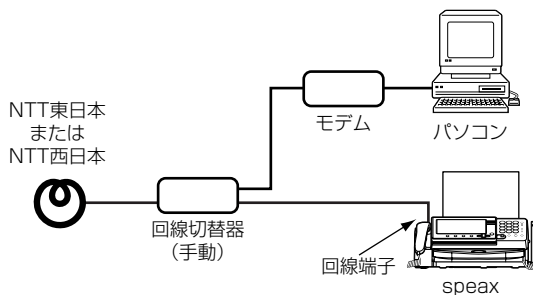
INSネット64を利用しないでインターネットやパソコン通信をする場合は、モデムやモデム内蔵パソコンに本機をつなぎます。

- ・回線種別は手動で設定してください（回線種別→P.94）。
- ・モデムやモデム内蔵パソコンで電話を受けるようになるときは、本機の「電話／ファクス自動切替」がはたらく前に着信するように設定してください。詳しくは、モデムやパソコンの取扱説明書を参照してください。
- ・モデムやモデム内蔵パソコンで通信中は、本機を操作しないでください。
- ・本機で通話中やファクス中には、モデムやモデム内蔵パソコンの通信操作はしないでください。本機での通話や通信が切れます。



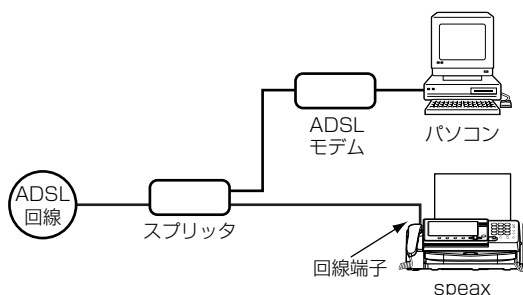
### 回線切替器を使うときは

下図のようにつなぎます。



## ADSL回線を利用するには

- ・ADSL回線を利用するには、ADSL接続事業者と、電話共用型（タイプ1）の契約が必要です（有料）。
- ・本機のほかに、次の機器が必要です。
  - ADSLモデム
  - スプリッタ
- ・誤った接続をすると、通話中の雑音や本機誤動作の原因となります。ご加入のADSL接続事業者に正しい接続方法をお問い合わせください。



- ・本機はスプリッタのTEL（またはPHONE）端子につなぎます。詳しくはスプリッタまたはADSLモデムの取扱説明書を参照してください。

## 紙づまりのときは

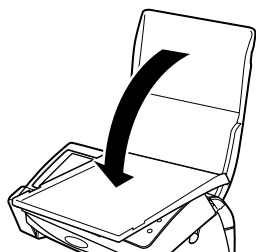
### 「記録紙が詰まりました」と表示されたとき

「記録紙が詰まりました」と「操作パネルを開けてください」が交互に表示される場合は、記録紙が詰まったか、または記録紙の給紙不良が考えられます。操作パネルを開け、記録紙が詰まっているかどうかを確認してください。

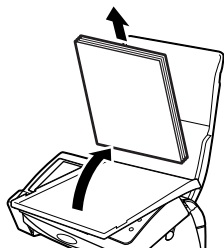
- ・作業するときは、操作パネルを一番上まで持ち上げて開けてください。中途半端に開いた状態では、操作パネルの重さで作業中に閉まる場合があります。
- ・作業中は、指をはさまないように注意してください。
- ・液晶パネルとテンキーカバー(SPL-S505V/S505VWのみ)を閉じた状態で作業をしてください(→P.13)。

### <操作パネルを開ける>

#### 1 記録紙カバーを前に倒す

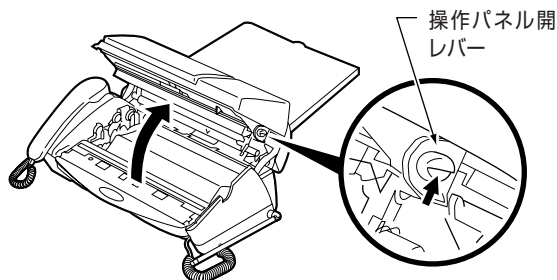


#### 2 記録紙カセット内にある記録紙を取り除き、記録紙カバーを閉じる



#### 3 操作パネルを開ける

親機右側面にある操作パネル開レバーを引き上げながら、矢印の方向に操作パネルを開けてください。



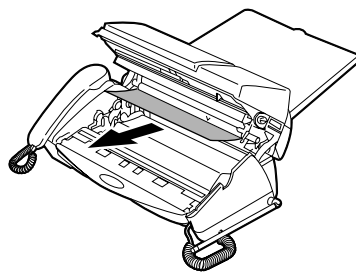
### <記録紙が詰まっていなかった場合>

給紙不良です。記録紙給紙用ローラを清掃してください(→P.106)。

### <記録紙が詰まっていた場合>

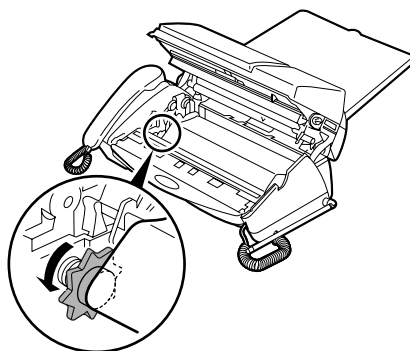
#### 1 記録紙を取り除く

詰まった記録紙を矢印の方向に引き抜きます。



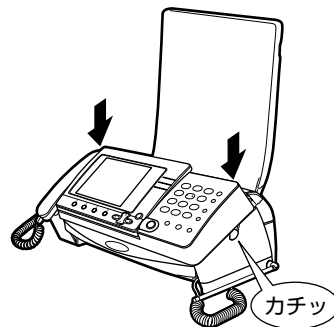
- ・記録紙は破れないように静かに取り除いてください。取り除く途中で記録紙が破れてしまったときは、紙片を親機の中に残さないようにすべて取り除いてください。

#### 2 青色ギヤを矢印の方向に回し、インクフィルムのたるみを取る



#### 3 操作パネルを閉じる

操作パネルの両端(矢印の位置)を、矢印の方向に「カチッ」という音がするまで押し込みます。



- ・操作パネルの前端を押すと、閉まりにくい場合があります。

#### 4 記録紙をセットする(→P.21)

▶「記録紙が詰まりました」と繰り返し表示されたときは：記録紙給紙用ローラを清掃する(→P.109)

## 「操作パネルが開いています」と「インクフィルムがなくなりました」が交互に表示されたときは

- ・操作パネルが浮いています。確実に閉めてください。操作パネルがきちんと閉じていないと、記録紙づまりや原稿づまりの原因となります。
- ・ハンドスキャナを親機から取り外している状態で操作パネルを閉めたり、電源を入れたりすると表示される場合があります。ハンドスキャナを親機に戻してください。
- ・ハンドスキャナでコピー中にインクフィルムがなくなったり、インクフィルムがなくなっている状態でハンドスキャナを外すと、この表示が出ます。インクフィルムを交換してください(→右記)。

## 「原稿がつまりました」と表示されたとき

コピーやファクス送信中の原稿がつまっています。

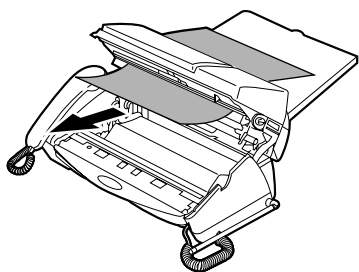
- ・作業中は、指をはさまないように注意してください。

## 1 記録紙カセット内にある記録紙を取り除き、操作パネルを開ける

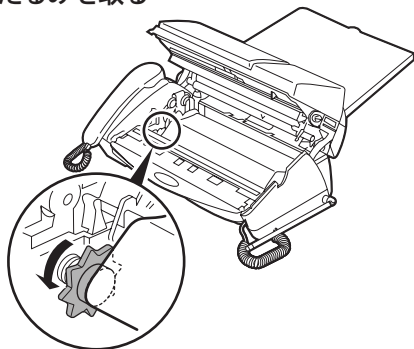
「操作パネルを開ける」の手順1～3(→P.106)

## 2 原稿を取り除く

つまった原稿を矢印の方向に引き抜きます。



## 3 青色ギヤを矢印の方向に回し、インクフィルムのたるみを取る



## 4 操作パネルを閉じる

「記録紙がつまっていた場合」の手順3(→P.106)

## 5 記録紙をセットする(→P.21)

- ▶「原稿がつまりました」と「ローラを清掃してください」が交互に表示されたときは：原稿送り用ローラを清掃する(→P.109)

## インクフィルムを交換する

- ・交換用インクフィルムは、指定(型名:SP-FA430)のインクフィルムをお使いください。型名:SIF-A4040、SIF-A4030Tのインクフィルムは、使用できません。
- ・指定以外のインクフィルムを使用すると、故障や印字かすれの原因となります。
- ・廃棄時以外は、インクフィルムカートリッジを分解しないでください。破損する場合があります。

## インクフィルム1本でプリントできる枚数は

添付テスト用インクフィルム:A4記録紙 約20枚  
別売インクフィルム(30m):A4記録紙 約95枚

電源を入れたときやカバーを閉めたとき、品質保証のためインクフィルムの巻き取り(約3cm)を行います。このためご使用の状況によっては、プリントできる枚数が少なくなる場合があります。

## インクフィルムカートリッジを取り外す

次の手順でインクフィルムカートリッジ(以降カートリッジと略す)を取り外してください。

- ・作業中は、指をはさまないように注意してください。

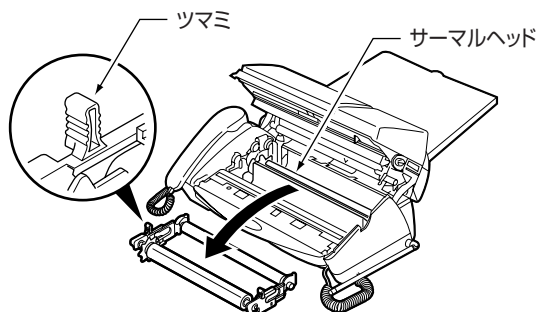
## 1 記録紙カセット内の記録紙を取り除き、操作パネルを開ける

「操作パネルを開ける」の手順1～3(→P.106)

## 2 使用済みカートリッジを取り出す

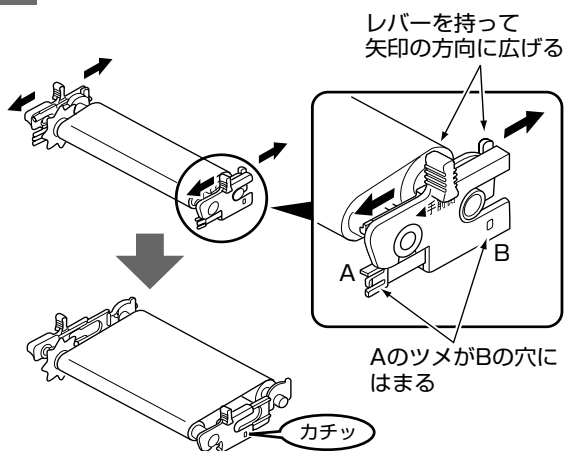
カートリッジの左右のツマミをつまんで取り外してください。

- ・サーマルヘッドの周辺は高温になっている場合があります。高温時は手を触れないよう、ご注意ください。やけどをする場合があります。
- ・サーマルヘッド両端の金属部分に手を触れないよう、ご注意ください。



## インクフィルムカートリッジを取り付ける

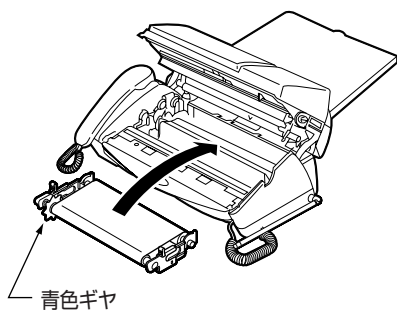
### 1 新しいカートリッジを広げる



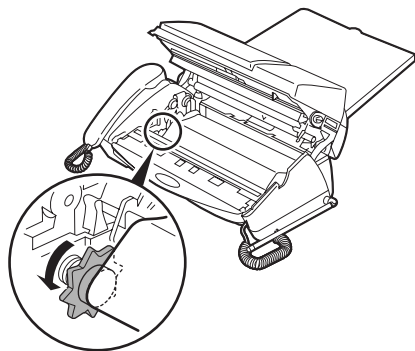
### 2 カートリッジを取り付ける

青色ギヤが、手前側になるように取り付けてください。

- ・サーマルヘッドの周辺は高温になっている場合があります。高温時は手を触れないよう、ご注意ください。やけどをする場合があります。
- ・サーマルヘッド両端の金属部分に手を触れないよう、ご注意ください。



### 3 青色ギヤを矢印の方向に回し、インクフィルムのたるみを取る



### 4 操作パネルを閉じる

操作パネルの両端を、矢印の方向に「カチッ」という音がするまで押し込みます。

「記録紙がつまっていた場合」の手順3(→P.106)

### 5 記録紙をセットする(→P.21)

#### インクフィルムの処分方法について

- ・使用済のインクフィルムには、コピーや受信したときの内容が白く残っています。内容を他の人に見られたくないときは、ハサミなどで切ってから捨ててください。
- ・インクフィルムの芯は紙、フィルム部分はポリエステル、カートリッジはポリエチレン、金属などでできています。使用済のインクフィルムは、お住まいの地域で定められた分別により捨ててください。

## お手入れのしかた

- ・お手入れ前に親機の電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグを抜くと、時計のデータなど、消えてしまう情報(→P.111)がありますので、ご注意ください。
- ・ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となります。

### 親機・子機の外装の清掃

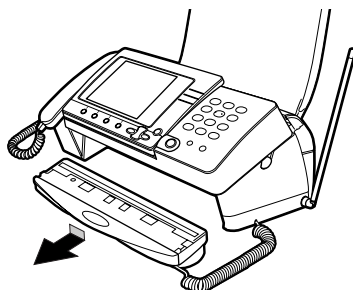
装置表面の汚れは、薄めた台所用中性洗剤に浸した布を固く絞って拭き取り、最後に乾いた柔らかい布で拭いてください。

水拭きをするときは、布を固く絞ってから拭いてください。

### ハンドスキャナの清掃

原稿を読み取る部分のガラス面が汚れると、コピーや相手の記録画に汚れが出てしまいます。原稿読み取り面は、月に1回くらいの周期で清掃し、いつもきれいにしておいてください。

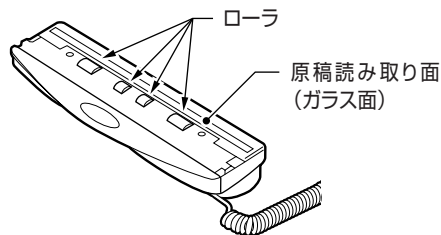
### 1 ハンドスキャナを下に押しながら手前に引き抜く



### 2 ガラス面を柔らかい布で拭く

### 3 ローラを拭く

水に浸した布を固く絞って、拭いてください。



### 4 ハンドスキャナを元どおりに取り付ける

原稿読み取り面を上に向けて、親機に押し込みます。

#### 原稿送り用ローラの清掃

原稿送り用ローラが汚れると、原稿づまりの原因になります。月に1回くらいの周期で清掃してください。

- ・作業中は、指をはさまないように注意してください。

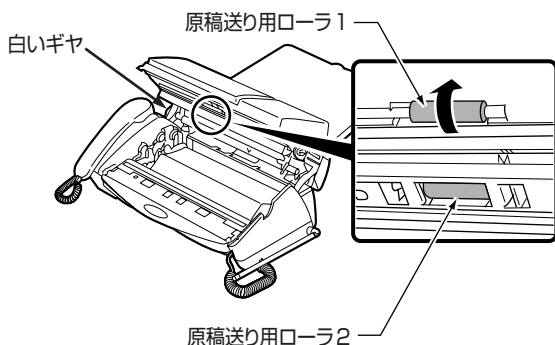
### 1 記録紙を取り除き、操作パネルを開ける

「操作パネルを開ける」の手順1～3(→P.106)

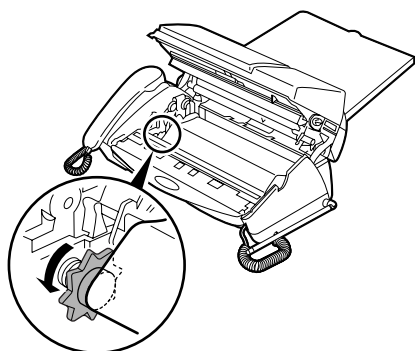
### 2 原稿送り用ローラを拭く

水に浸した布を固く絞り、原稿送り用ローラ1を手で矢印の方向に回しながら、原稿送り用ローラ1および2の表面全体を拭きます。

- ・ローラの軸に取り付けられている白いギヤには潤滑剤が塗布されていますので、触らないようにしてください。



### 3 青色ギヤを矢印の方向に回し、インクフィルムのたるみを取る



### 4 操作パネルを閉じる

「記録紙がつまっていた場合」の手順3(→P.106)

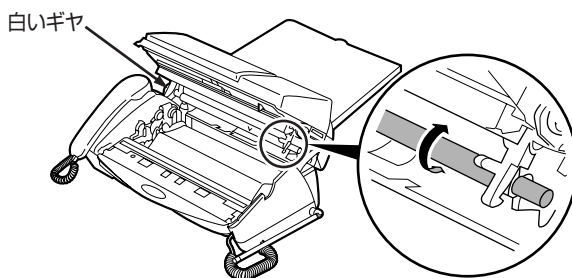
### 5 記録紙をセットする(→P.21)

#### 記録ローラの清掃

記録紙がうまく送れないときや、プリントした記録紙が汚れるときは、記録ローラを清掃してください。

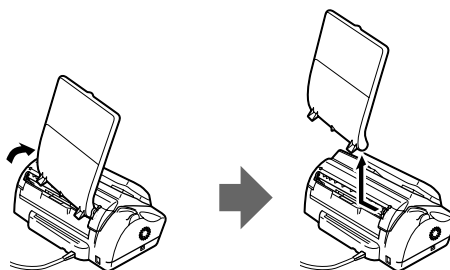
水に浸した布を固く絞り、記録ローラを手で回しながら、ローラの表面全体を拭きます。

- ・ローラの軸に取り付けられている白いギヤには潤滑剤が塗布されていますので、触らないようにしてください。

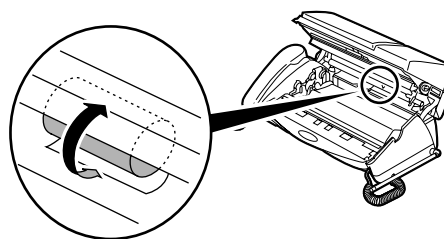


#### 記録紙給紙用ローラの清掃

- ・記録紙給紙用ローラを清掃するときは、操作パネルを開ける前に記録紙カセットから記録紙を取り除き、記録紙カセットを取り外してください。記録紙カセットを取り外さないと、記録紙給紙用ローラが隠れてしまい、拭くことができません。



長い間使用していると記録紙給紙用ローラに紙の粉などが付いて、うまく送れなくなる場合があります。月に1回くらいの周期で清掃してください。水に浸した布を固く絞り、記録紙給紙用ローラを手で回しながら、ローラの表面全体を拭きます。



## 子機について

### 電池パックを交換する

#### ⚠ 危険

- 子機の充電は、子機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となることがあります。
- 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 専用の電池パックを使用してください。また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックを水や火の中に投入したり、加熱しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックに直接はんだ付けしないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックのコネクタの赤（プラス）・黒（マイナス）を、針金などの金属類で接触しない（ショートさせない）でください。火災、感電の原因となります。
- 電池パックを分解・改造しないでください。電池パックの発熱、破裂の原因になることがあります。
- 電池パックのビニールカバー（チューブ）は、はがさないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 万一、電池パックが液漏れして、液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。また、漏れた液が皮膚や衣服に付いたときは、きれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になります。
- 電池パックを使用中や充電中、または保管中に異臭を発したり、発熱したり、変色・変形その他、今までと異なることに気がついたときは、子機から電池パックを取り出し、使用を中止してください。

- ・ 電池パックは、必ず本機専用のものを使用してください。

電池仕様：SP-N1, 2.4V, 600mAh

型名	標準価格
SP-N1 (ニカド電池)	1,680円(税抜1,600円)

- ・ 新しい電池パックは充電されていません。電池パックを交換したときは、子機を充電器に置いて10時間以上充電してください。

- ・ 電池パックにはニカド電池を使用しています。ニカド電池はリサイクル可能な貴重な資源です。交換した電池パックはもちろん、本機を廃棄する際には、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、電池パックを取り出し、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れて、お買い求めいただいた販売店、またはお近くの「ニカド電池リサイクル協力店」へお持ちください。



Ni-Cd

- ・ 「ニカド電池リサイクル協力店」へのお問い合わせは下記へお願いします。

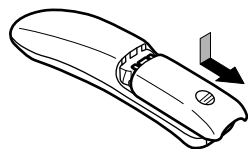
- 本機または電池パックをお買い求めいただいた販売店
- 「(社)電池工業会小形二次電池再資源化推進センターおよび充電式電池リサイクル協力店くらぶ」事務局( (社)電池工業会ホームページ <http://www.baj.or.jp/> ) をご参照ください)

- ・ 電池パックの寿命は通常の使用で約2年です。
- ・ 電池パックの購入については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ・ 電池パックを交換しても、電話帳に登録した電話番号は消去されません。

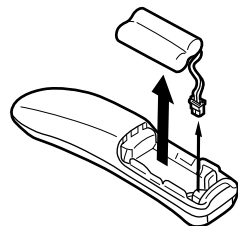
- ・ 電池パックを入れていない状態で、子機を充電器に置かないでください。
- ・ 電池パックは必ず本機専用のもの (SP-N1) を使ってください。
- ・ 電池パックのコードを強くひっぱらないでください。また、電池カバーではさまないように注意してください。故障の原因になります。

#### 1 電池カバーを外す

電池カバーを下に押しながら手前に引くと外れます。



#### 2 古い電池パックを取り出す



#### 3 新しい電池パックを取り付ける (→ P.19)

#### 4 充電器に置いて充電する

新しい電池パックは充電されていません。10時間以上、充電してください。

### 子機を増設するとき

増設する子機は別途、本機をお買い上げいただいた販売店で、お買い求めください。

- ・ お買い求め時には、必ず下記の型名をご指定ください。指定以外の子機はご使用になれません。

型名	標準価格
SP-ZK30 (カナ表示)	13,650円(税抜13,000円)

- 増設できる子機の台数は、付属の子機と合わせて合計で3台です。

	付属	増設
SPL-S50	1台	2台
SPL-S50W	2台	1台
SPL-S505V	1台	2台
SPL-S505VW	2台	1台

- 増設子機を使える状態にするには、識別番号 (IDコード) の登録が必要です。増設子機に同梱の説明書に従って増設を行ってください。

### 👉 子機どうしの通話

子機が2台以上ある場合、子機どうしの通話はトランシーバー方式での簡易子機間通話となります。双方向の通話はできません。

## 停電したとき

停電したときや親機の電源プラグをコンセントから抜いたときは、親機・子機ともに使用できません。

停電したとき、消えてしまう情報と消えない情報があります。

消えてしまう情報	・ Lモードのアクセスポイント電話番号 (センター番号) ..... (→P.65)
	・ ハンドスキャナ送信時のメモリに記憶されている文書 ..... (→P.46)
	・ 親機に記憶されている リダイヤルの電話番号 ..... (→P.28)
	・ 時計のデータ ..... (→P.22、96)
	・ 親機に記憶されている着信データ (ナンバー・ディスプレイ利用時) ..... (→P.55)
	・ キーボード送信文書 ..... (→P.40)
	・ 画面受信したファクス ..... (→P.43)
消えない情報	・ メモリ代行受信文書 ..... (→P.44)
	・ 留守番電話に録音した 自作応答メッセージ ..... (→P.51)
	・ 留守番電話に録音された用件 ..... (→P.49)
	・ 通話録音した内容 ..... (→P.37)
	・ 登録した電話番号や各種の設定値
	・ 通信管理レポート ..... (→P.91)
	・ 子機に記憶されている リダイヤルの電話番号 ..... (→P.30)
	・ 子機に記憶されている着信データ (ナンバー・ディスプレイ利用時) ..... (→P.56)
	・ ダウンロードした着信メロディ ..... (→P.89)
	・ 画面メモ (Lモード) ..... (→P.86)
	・ Bookmark (Lモード) ..... (→P.85)
	・ Lメール各文書 (Lモード) ..... (→P.73、75)

## 停電が復旧したとき

- 停電が復旧すると、本機は自動的に使用できる状態に戻ります。

ハンドスキャナ送信中またはキーボード送信中に停電したときは、メモリクリアレポートが自動的に出力されます。

- 停電したときは、時計が初期化され、2003年1月1日0時0分になります。

この場合は、時刻を合わせてください (時刻設定→P.96)。

### メモリクリアレポートのプリント例

メモリクリア		レポート	
日本電気			
以下の内容が、停電により クリアされました。			
ハンドスキャナ送信文書			
実行日	実行時刻	実行先	実行結果
2月 1日 15時30分	00秒	0 0 1 2 3 4 5 6 7 9	EDM 1 停電

## 定型文／顔文字／絵文字／記号一覧

### <定型文一覧>

了解しました  
メール見ました  
メールありがとう  
早く帰って来てね ♡  
何時ごろになる?  
食事はどうしますか?  
頑張ってるね ☺  
ありがとう  
電話ください  
ごめんなさい m(v\_v)m

### <顔文字一覧>


(^o^)(^-^)(^\_^)(^\_~)  
(^0^)^-^;(^^;(^o;  
(^-^;(^.^;(^\_~;(^0;  
f(^\_^)(-\_-;) (ToT) (T-T)  
(T.T) (T\_T) (TOT) (\*^\*)  
(\*^o\*) (\*^-\*) (\*.^\*) (\*\_~\*)  
(o^o^o) (o^-o) (o.^o) (o\_~o)  
(^-^)\_ p(^-^)\_q (^\_-) (^o^)/~  
m(v\_v)m (v\_v)Zzz (-\_-#) (>\_<)/~  
(>\_<) (>.<) (+\_+) (x\_x)  
(?\_?) (@\_@;)





# 困ったときは (Q&A)

	こんなときは	内容	参照ページ
待ち受け中	ディスプレイに何も表示されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源プラグは電源コンセントに差し込んでありますか？</li> <li>お客様が操作をしない時間が5分以上続くとディスプレイのバックライトが消え、表示は見えなくなります。[ストップ] ボタンを押して表示が見られるようになってから操作してください(表示までに数秒かかることがあります)。</li> </ul>	P.22
	「記録紙がつまりました」「操作パネルを開けてください」と交互に表示された	<ul style="list-style-type: none"> <li>記録紙がつまっていませんか？ つまっている場合は、操作パネルを開けて取り除いてください。</li> <li>記録紙がつまっていない場合は、記録紙の給紙不良です。記録紙給紙用ローラを清掃してください。</li> </ul>	P.106 P.109
	「操作パネルが開いています」「インクフィルムがなくなりました」と交互に表示された	<ul style="list-style-type: none"> <li>操作パネルが開いているか、インクフィルムがなくなっています。</li> <li>ハンドスキャナが外れている場合は、親機に戻してください。</li> </ul>	P.107 P.45
	ハンドスキャナが外れていないのに「スキャナ A4 小さい」が表示される	<ul style="list-style-type: none"> <li>操作パネルがしっかり閉まっていないと表示される場合があります。操作パネルを閉め直してください。</li> </ul>	P.106
電話(親機/子機)	電話を受けられるが、かけられない	<ul style="list-style-type: none"> <li>回線種別は合っていますか？</li> <li>ターミナルアダプタを使用していませんか？</li> </ul>	P.94 P.104
	電話をかけられるが、受けられない	<ul style="list-style-type: none"> <li>ナンバー・ディスプレイやダイヤルインの契約をしている場合は、必ず「利用する」に設定してください。</li> <li>ターミナルアダプタを使用していて、ターミナルアダプタ側でダイヤルインの設定をしている場合は、本機側のダイヤルイン設定を「利用しない」にしてください。</li> </ul>	P.61、99
	受話器から何も聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源プラグは電源コンセントに差し込んでありますか？</li> <li>電話回線が接続されていますか？</li> <li>受話器のコードは接続されていますか？</li> <li>子機を使用中ではありませんか？</li> </ul>	P.22 P.21 P.21 P.28
	ベルが鳴らない、音が小さい(大きい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベルの音量が「切」になっていませんか？</li> <li>ベルの音量を調節してください。</li> </ul>	P.29、31
	ベルが鳴り、電話をとったが何も聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手がファクスかもしれません。親機の[スタート/コピー] ボタン(子機では[内線] ボタンを押したあと[6]) を押してください。</li> </ul>	P.29、31
	相手の声が聞き取りにくい	<ul style="list-style-type: none"> <li>受話音量を調節してください。</li> </ul>	P.28、29
	トーン(ブッシュ) 信号の送出しがたは？	<ul style="list-style-type: none"> <li>P.37を参照してください。</li> </ul>	
	着信ベル/呼出ベルの意味は？	<ul style="list-style-type: none"> <li>P.41、93を参照してください。</li> </ul>	
	公衆電話で電話をかけた相手から、応答もしないのに通話料金がかかると言われた また、呼出音が少しおかしいと言われた	<ul style="list-style-type: none"> <li>P.41を参照してください。</li> </ul>	
	電話をかけたとき、相手に自分の電話番号が表示されるのか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手がNTT東日本または西日本のナンバー・ディスプレイを契約している場合、自分の電話番号を通知したときに表示されます。</li> <li>ファクス送信のときは、お客様が自分の電話番号を登録していたら、その番号が相手機に表示されます。</li> </ul>	P.54
親機から子機を呼び出せない 親機に「電波使用中」「子機応答ありません」と表示された 子機から親機や他の子機が呼び出せない	<ul style="list-style-type: none"> <li>子機を親機に近づけてみてください。</li> <li>親機のアンテナの向きを変えてみてください。</li> <li>親機あるいは子機の近くに電気製品や電子機器がありませんか？ 約2m以上離してご使用ください。</li> <li>近くで他のコードレス電話機を使用していないですか？</li> <li>子機は充電されていますか？</li> </ul>	P.18 P.20	

	こんなときは	内 容	参照 ページ
電話 (親機／子機)	電話をかけてから呼出音が聞こえ始めるまでに時間がかかる	・ 相手がナンバー・ディスプレイを利用している場合は、接続までに時間がかかることがあります。	P.54
	「電話回線を確認してください」と表示された	・ 電話回線接続コードが抜けていませんか？ ・ 話し中に相手が電話を切り、一定の時間が経つと表示されます。	P.21
	受話器が温かい	・ コピーやファクスを送受信したあとは、受話器が温かくなるがありますが、問題ありません。	
電話 (子機)	電話がかかけられない(「ツー」という音が聞こえない)	・ 親機の電源プラグは、電源コンセントに差し込んでありますか？ ・ 子機を充電してください。 ・ 親機に電話回線が接続されていますか？ ・ 回線種別は合っていますか？ ・ 親機から離れ過ぎています。親機に近づいてください。 ・ 親機が通話中、またはファクスの送受信、登録・設定中、Lモード画面表示中、コピー中ではありませんか？ ・ [通話] ボタンを押しましたか？	P.22 P.20 P.21 P.94 P.18 P.29
	ベル(呼出音)が鳴らない	・ ベルの音量が「OFF」になっていませんか？ ・ 親機に近づいてください。 ・ 親機のアンテナの向きを変えてください。 ・ 子機は充電されていますか？	P.31 P.18 P.20
	相手の声が聞き取りにくい	・ 受話音量を調節してください。 ・ いつも聞き取りにくいときは、子機の受話音量を「大きい」に設定してください。	P.29 P.95
	相手からこちらの声が聞き取りにくいと言われる	・ 子機の話音量を「大きい」に設定してください。	P.95
	通話中に声が途切れたり雑音が入る	・ 子機は電波を使っているため、通話中に雑音が入ることがありますが、故障ではありません。雑音がひどい場合は、次のことをご確認ください。 ・ 親機に近づいてください。 ・ 親機のアンテナの向きを変えてください。 ・ テレビやラジオなどの電気機器から離れてください。 ・ 蛍光灯が近くにあったら離してください。 ・ 子機の近くに携帯電話などの充電器があったら離してください。	P.18
	通話中に「ピッピッピッ…」という音が鳴り、  が点滅した	・ 電池の充電残量が少なくなっています。充電してください。	P.20
	通話中にすぐ電池がなくなる	・ 電池パックを交換してください。	P.110
	充電器に置いたとき、[切] ボタンが点灯しない	・ 充電器のプラグを電源コンセントに差し込んでありますか？ ・ 充電器に正しく置いてください。	P.19 P.20
	他のファクスの子機を本機の子機として使えるのか？	・ 使えません。子機を増設する場合は指定のものをお買い求めください。	P.110
	増設子機が使えない	・ 増設子機に対する識別番号(IDコード)の登録が必要です。増設子機に同梱の説明書に従って増設を行ってください。	P.110
ファクス (コピー)	コピーが鮮明でない	・ ハンドスキャナの上原稿読み取り面を清掃してください。 ・ 当社指定の記録紙を使用してください。	P.108 P.16、120
	コピーが白紙になる	・ コピーする面を裏向きにして原稿をセットしましたか？	P.38
	コピーがかすれた、薄い	・ 原稿読み取り濃度を濃くして、もう一度コピーをとってください。	P.94
	コピー中に「ピーピーピーピー」という音が鳴った	・ [ストップ] ボタンを押すと、音が止まります。 ・ 原稿がつかまっています。 ・ 記録紙の給紙不良です。記録紙給紙用ローラを清掃してください。 ・ 記録紙がつかまったか、なくなっています。	P.107 P.109 P.21、106

	こんなときは	内容	参照ページ
ファクス(コピー)	コピー面の左端または右端が欠ける(シングルコピー)	・ A4原稿のとき、原稿セットガイドをB4の位置のままで、左右どちらかに合わせてコピーをすると、プリント結果が約2～3cm欠けます。原稿セットガイドは必ず合わせてください。	P.38
	コピー画面の両端または片側に、数本黒い線が印刷される(マルチコピー)	・ A4原稿のとき、原稿セットガイドをB4の位置のままで、左右どちらかに合わせてコピーをすると、プリント結果が縮小され、両端または片側に黒い線がプリントされる場合があります。	P.38
	B4サイズの原稿をコピーすると、両端が欠ける	・ シングルコピーでは、A4サイズ幅でのプリントとなり、両端が印刷されません。 ・ B4→A4に縮小してプリントしたい場合は、マルチコピーまたはハンドスキャナコピーをしてください。	P.44 P.44、100
	記録紙の裏面が汚れる	・ 記録ローラ、記録紙給紙用ローラを清掃してください。	P.109
	原稿とプリント結果のサイズが違う	・ 原稿の厚さと表面状態の差により、送り誤差(原稿読み取りの伸び縮み)があります。 ・ 原稿送り用ローラが汚れていると、送り誤差がでる場合があります。原稿送り用ローラを清掃してください。	P.109
ファクス(送信)	原稿をセットしたのに「原稿がつまりました」「原稿をセットしてください」と表示された 原稿が送り込まれない	・ いったん操作パネルを開けたあと閉じてください。 ・ 原稿送り用ローラを清掃してください。 ・ 原稿が自動的に引き込まれるまで軽く差し込んでください。 ・ 原稿が小さすぎる／厚すぎる／薄すぎます。ハンドスキャナを使って送信してください。	P.106 P.109 P.38、46
	原稿が斜めに入った	・ 原稿を取り除き、やり直してください。 ・ 原稿セットガイドを原稿の幅に合わせてください。 ・ 原稿送り用ローラを清掃してください。	P.107 P.38 P.109
	原稿の読み取り中に「ピーピーピーピー」という音がして止まってしまう、「原稿がつまりました」「ローラを清掃してください」と交互に表示された	・ 原稿を取り除き、やり直してください。 ・ 原稿送り用ローラを清掃してください。	P.107 P.109
	原稿が送られず、「無応答 相手先が無応答です」と表示された	・ 相手の電話番号を確認してください。 ・ 相手が電話に出ません。しばらくしてから、かけ直してください。 ・ 相手のファクスが受信できない状態です。相手に確認して、かけ直してください。	
	原稿が送られず、「話し中 相手先が話し中です」と表示された	・ 相手が話し中、または回線が混み合っています。しばらくしてから、かけ直してください。	
	何回送信しても「リダイヤル待ち」になる	・ 相手が話し中です。 ・ 電話がかかけられるかを確認してください。 ・ 手動(電話をかけて話しをして、そのあと双方がファクスを送る／受ける操作をする方法)で送信してください。	P.40
	送信中に「ピーピーピーピー」という音が鳴り出した	・ 相手のファクスに記録紙切れなどが起きたため、送信が中断されました。相手に確認して、送り直してください。	
	送信した原稿が相手先で白紙になる	・ 原稿を表裏逆にセットしていませんか? 送る面を裏向きにセットして送り直してください。 ・ 相手先の記録紙が表裏逆になっているかもしれません。相手に確認して、送り直してください。	P.38
	相手先で受信した記録がかすれた／薄い	・ 原稿の読み取り濃度を濃くして、送り直してください。	P.94
	相手先で受信した記録の状態が鮮明でない	・ 本機でコピーをとってください。コピーが鮮明でないときは、原稿読み取り面を清掃してください。コピーが鮮明なときは、回線または相手先に原因があると思われます。再度送り直してください。 ・ 通話中にキャッチホンが入ると画像が乱れることがあります。再度送り直してください。 ・ 画質モードを変えて送り直してください。	P.44、108 P.39

	こんなときは	内 容	参照 ページ
ファクス(送信)	相手先で受信した記録に黒いすじが入る	・ 本機でコピーをとってください。コピーにも黒いすじが入るときは、原稿読み取り面を清掃してください。コピーが正常なときは、相手側に原因があると思われます。再度送り直してください。	P.44、108
	送信に時間がかかる	・ 画質モードの設定が「細かい」「写真」のときは、「ふつう」「小さい」のときに比べ、送信に時間がかかります。 ・ 原稿に黒い部分が多いときや原稿の裏に印刷があるときは、送信に時間がかかります。 ・ 回線の状態が悪い場合は、送信に時間がかかることがあります。	P.39
	海外への送信ができない	・ 海外へ送信するときは、国内と違い接続に時間がかかります。手動で送信するのが確実です。 ・ 海外通信の設定をすると、エコーキャンセルや、ファクス信号を長く送出するため、海外との通信がしやすくなります。	P.40 P.94
	送ったファクスが縮小された	・ 相手先がA4サイズの記録紙を使用している場合、B4サイズの原稿を送ると、自動的にA4サイズに縮小して送信されます。 ・ A4の原稿のとき、原稿セットガイドをB4の位置のままで、原稿をガイドの左右どちらかに合わせると縮小して送信され、記録面の両端または片側に黒い線がプリントされます。	P.39 P.38
	送受信でサイズが違う	・ ファクスの場合は、送受信で若干の差が出ます。原稿／記録紙の送り誤差(原稿読み取りおよび受信画の伸び縮み)があります。 ・ 上記「送ったファクスが縮小された」を参照してください。	
ファクス(受信)	ベルが鳴り続け、自動的に受信できない	・ 受信したファクスをプリント中は受信できません。 ・ コピー／登録・設定／Lモード画面表示中は、[ストップ] ボタンを押してコピー／登録・設定／Lモード画面表示をやめてください。 ・ 着信モードの設定が「電話専用」のときは、自動受信できません。 ・ 相手先がファクス信号を出さないタイプのときは自動受信できません。手動受信をしてください。 ・ 着信ベル回数を10回以上に設定している場合、相手が自動送信のファクスのときは受信できません。 ・ 留守番電話などの録音でメモリがいっぱいのときは、ベルが鳴り続けて受信できません。不要な用件を消去してください。	P.92 P.42 P.93 P.50、51
	受信した記録紙に黒いすじが入る	・ 本機でコピーをとってください。コピーが正常なときは、回線または相手側に原因があると思われます。相手に連絡して送り直してもらってください。 ・ コピーに黒いすじが入るときは、NEC フィールディング(株) パーソナルコールセンターにご連絡ください。	P.44 P.121
	「しばらくお待ちください」と表示されたままになった	・ 電源プラグを入れたまま、しばらく使用を控えてください。	
	「操作パネルが開いています」「インクフィルムがなくなりました」と交互に表示された	・ 操作パネルが開いているか、インクフィルムがなくなっています。 ・ ハンドスキャナを親機に戻してください。	P.107 P.45
	「記録紙がつもりました」と表示された	・ つまった記録紙を取り除いてください。 ・ 記録紙の給紙不良です。記録ローラ、記録紙給紙用ローラを清掃してください。	P.106 P.109
	「普通紙を入れてください」と表示された	・ 記録紙がなくなっています。	P.21
	受信中に「ピーピーピー」という音が鳴り出した	・ [ストップ] ボタンを押すと音が止まります。 ・ 記録紙の給紙不良です。記録ローラ、記録紙給紙用ローラを清掃してください。 ・ 記録紙がつまったか、なくなっています。 ・ インクフィルムがなくなっています。 ・ 相手のファクスに原稿つまりなどが起きたため、受信が中断されました。相手に確認して、送り直してもらってください。	P.109 P.21、106 P.107

	こんなときは	内容	参照ページ
ファクス(受信)	受信した記録紙が白紙になる	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手が原稿を表裏逆にセットしたかもしれません。相手に確認してください。</li> <li>相手から後端部分が白い(文字が書かれていない)原稿が送られてきた場合は記録紙が2枚に分かれ、2枚目が白紙になることがあります。</li> <li>受信縮小率を100%に設定している場合は、記録紙が2枚に分かれ、2枚目が白紙になることがあります。</li> </ul>	P.101
	受信した画像が鮮明でない	<ul style="list-style-type: none"> <li>通信中にキャッチホンが入ると画像が乱れることがあります。送り直してもらってください。</li> <li>本機でコピーをとってください。コピーが鮮明なときは、回線または送信側の異常です。相手に連絡して、送り直してもらってください。</li> </ul>	P.60 P.44
	ファクスかんたん受信ができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファクスかんたん受信するように設定されているかどうか確認してください。</li> <li>受話器から「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください。」というメッセージを聞いてから、受話器を戻してください。メッセージが流れる前に受話器を戻すと回線が切断される場合があります。</li> <li>周囲に騒音などはありませんか?</li> <li>相手がファクス信号を出さない機種の場合は、ファクスかんたん受信はできません。親機は[スタート/コピー]ボタンを押してください。子機は[内線]ボタンを押したあとに[6]を押してください。</li> <li>受信したファクスをプリント中は受信できません。</li> </ul>	P.92 P.42
	記録紙がつまる 記録紙が送られない	<ul style="list-style-type: none"> <li>当社指定の記録紙を使用してください。</li> <li>セットできる枚数は20枚までです。</li> <li>記録紙を補充するときは、記録紙カセットに残っている記録紙をすべて取り出し、追加する記録紙とあわせてよくさばいたあと、さばいた側を下に先端をそろえてそっと置いてセットしてください。</li> <li>しわ、折れのある記録紙、湿っている記録紙などは使用しないでください。</li> <li>記録ローラ、記録紙給紙用ローラを清掃してください。</li> </ul>	P.16、120 P.21 P.109
	記録紙が一度に複数枚送られる	<ul style="list-style-type: none"> <li>当社指定の記録紙を使用してください。</li> <li>記録紙を記録紙カセットに入れるときは、記録紙をよくさばいたあと、さばいた側を下に先端をそろえてそっと置いてセットしてください。</li> <li>記録紙を補充するときは、記録紙カセットに残っている記録紙をすべて取り出し、追加する記録紙とあわせてよくさばいたあと、さばいた側を下に先端をそろえてそっと置いてセットしてください。</li> <li>しわ、折れのある記録紙、湿っている記録紙などは使用しないでください。</li> </ul>	P.16、120 P.21 P.21
	プリントした記録紙が汚れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>記録ローラ、記録紙給紙用ローラを清掃してください。</li> </ul>	P.109
	ファクスの送信はできるが、受信ができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>同じ回線にモデムが接続されていませんか? モデムの電源をOFFにしてテストしてください。</li> <li>留守番電話などの録音でメモリがいっぱいのときは、受信できません。不要な用件を消去してください。</li> </ul>	P.105 P.50、51
	メモリーオーバーによる通信異常が多発する	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機はファクス受信中にインクフィルムや記録紙がなくなってもメモリ代行受信がはたらくように、いったんメモリに蓄積しながらプリントしています。ただし、受信できるメモリ容量を超えるデータ量の原稿が送られてくると、メモリーオーバーとなり受信できません。このようなことがひんぱんに起こるときは、以下の操作を行ってください。</li> <li>不要な用件を消去する</li> <li>メモリ受信を「しない」に設定する</li> </ul>	P.50、51 P.101
	記録紙を入れるたびに、同じ内容が印刷される	<ul style="list-style-type: none"> <li>A4長を超える原稿を受信した場合、記録紙が2枚以上に分割されます。このとき、記録紙が1枚しかセットされていないと、プリント中に記録異常となり、記録紙を追加しても、はじめからプリントし直します。常に多めに記録紙をセットしておいてください。</li> </ul>	

	こんなときは	内 容	参照 ページ
ファクス(受信)	海外からの受信ができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>国によってはかなり回線状態が悪い場合があり、受信できないことがあります。</li> <li>ファクス信号を出さない装置からの場合は留守設定にしてください。無音検出機能で受信できます。</li> <li>コールバックサービスをご利用のときは、送受信の手順などが違う場合があります。サービス提供会社などにお問い合わせください。</li> </ul>	P.49、50
	海外からのファクスを受けるときは、常に海外通信を「する」に設定しておく方がよいのか?	海外通信の設定は、ファクスを送るとき機能です。ファクスを受けるときは関係ありません。	
	A4の原稿を受信しているが、縮小されてしまう	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手が原稿の大きさにきちんと原稿セットガイドを合わせて送ったかどうか確認してください。</li> <li>受信縮小率を100%以外に設定していませんか?</li> </ul>	P.101
	記録紙、インクフィルムがなくなったときはどうなるのか?	記録紙、インクフィルムがなくなったページからメモリ代行受信します。	P.44
	ファクス情報サービスの取り出しがたは?	P.42を参照してください。	
	子機で出たときのファクスの受信方法は?	P.42を参照してください。	
留守番電話	留守設定ができない	用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください。	P.50、51
	留守設定にしているが、ベル回数を常に一定にしたい	トールセイバを「しない」に設定すると、設定した回数だけ着信ベルが鳴ります。	P.48、97
	留守番電話の内容が聞こえなくなってしまった(用件件数は表示されている)	モニタスピーカ音量が「切」になっています。	P.49
	留守設定時に自動送信で送られたファクスを受信できない	着信ベル回数を9回以下に設定してください。	P.93
	外出先から操作(リモート操作)できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>留守設定にしてありますか?</li> <li>パスワードは登録しましたか?</li> <li>プッシュ信号の出せる電話機で操作していますか?</li> <li>リモート操作を「する」に設定してありますか?</li> </ul>	P.49、50 P.98 P.52 P.98
	用件転送は6秒以上メッセージが録音されないと転送されないのか?	転送されません。内容のない用件が転送されるのを防止しています。	P.53
	「メモリ残量が少なくなっています。不要な用件を消去してください」というメッセージが流れた	用件がすぐにいっぱいになります。不要な用件を消去してください。	P.50、51
ハンドスキャナ	「ハンドスキャナがはずれています」と表示された	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハンドスキャナを取り外し、もう一度セットしてください。</li> <li>原稿がある場合は取り除いてください。</li> </ul>	P.45
	ハンドスキャナで読み取ると、拡大または縮小コピーになる	拡大/縮小の設定を確認してください。	P.100
	ハンドスキャナでコピーできない	<ul style="list-style-type: none"> <li>普通に原稿をセットしてコピーできますか?</li> <li>凹凸のある原稿を読み取っていませんか?</li> </ul>	P.44 P.45
	読み取り中に「ピッピッ…」という音がした	読み取りが速すぎます。ゆっくり動かしてください。	P.46
	記録位置がズれる	原稿を基準線と読取位置マークに合わせてください。	P.45

	こんなときは	内容	参照ページ
こ の お し ら せ サ ー ビ ス	キャッチホンの操作は？ キャッチホンサービスを受けた 場合のファクス使用上の問題点 は？	・ P.60を参照してください。	
	停電時にダイヤルイン機能は使 用できるか？	・ 使用できません。	P.60
	ダイヤルインサービスを利用し ているが、用件転送はできるか？	・ 用件転送はできます。	
	NTT東日本／NTT西日本のボ イスワープ（転送サービス）に 加入したが、電話への転送がで きるか？	・ 着信ベル回数を、ボイスワープ（転送）するまでに鳴らすベル回数より多 い回数に設定してください。つまり、本機が自動的に回線を接続する前 にボイスワープ（転送）するようにします。 ・ ボイスワープに加入すると、相手が電話の場合もファクスの場合も転送 されるので、ファクスの自動受信はできません。	P.93
	ナンバー・ディスプレイに加入し、 使用しているが、着信データが 親機には残るが、子機に残らな いときがある	・ 子機が親機の電波の届かない場所に置かれていませんか？ 子機を親 機に近づけてみてください。 ・ 子機が呼び出される前に親機で電話に出ていませんか？ ・ 着信拒否やプライベートコール設定により、子機が呼び出されなかった 場合は、子機に着信データは残りません。	P.18 P.99
レ モ ー ド	「これ以上保護できません」と表 示された	・ これ以上保護できません。すでに保護している送信済メールまたは受信 メールの保護を解除するか、不要な保護メールを削除してください。	P.80、81、 83
	「これ以上登録できません」と表 示された	・ すでに登録しているBookmarkを削除してください。	P.86
	「パスワードが違います」と表示 された	・ パスワードの入力が間違っています。正しいパスワードを入力し、再度ア クセスしてください。	P.68
	「パスワード認証を不要にしてく ださい」と表示された	・ 「パスワード要否」-「メールを利用する時」の設定を「不要」にしてく ださい。	P.69
接 続 方 法	ホームテレホンまたはビジネス ホンにファクスを接続できるか？	・ 接続できません。	
	パソコンと接続しているが、ファ クスの受信ができない	・ P.105を参照してください。	
	パソコンと接続しているが、時々 ファクスが動作し、パソコン通信 ができない	・ パソコン、モデムの雑音電波で、ファクスが誤動作しています。装置を離 して置いてみてください。 ・ パソコン通信の信号の影響でファクスが誤動作しています。切替器によ り装置を分離してください。	P.17 P.105
そ の 他	「原稿がつもりました」と表示さ れたが、原稿が取れない	・ 操作パネルを開け、原稿をゆっくりと引き抜いてください。	P.107
	どのボタンを押しても何も反応 しない	・ 親機の場合は、電源プラグを電源コンセントからいったん抜いて、再度差 し込んでください。 ・ 子機の場合は、電池パックのコネクタをいったん抜いて、再度取り付け てください。	P.22 P.19
	操作を間違えた	・ P.23を参照してください。	
	液晶パネルが見えにくい	・ 液晶パネルの上面にあるコントラスト調整つまみを左右にスライドさせ て調整してください。	P.11

## ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。



## ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

## ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

## 仕様

### ファクス

原稿サイズ	最大:257(幅)×1000(長さ)mm 最小:128(幅)×128(長さ)mm
記録紙サイズ	普通紙 ・ A4サイズ(210×297mm) ・ 厚さ 0.08~0.1mm
記憶容量*1	A4(700文字程度)の原稿で約25枚(最大10文書)
有効読取幅	B4のとき:250mm A4のとき:208mm
有効記録幅	205mm
走査方法	CCDによる原稿移動型平面走査、またはハン ドスキャナ移動による平面走査
走査線密度	主走査 8ドット/mm 副走査 細かい:15.4 line/mm 小さい:7.7 line/mm 普通:3.85line/mm
通信モード	G3/ECM*2
通信速度	9600/7200/4800/2400 bps
電送時間*3	G3:約27秒 ECM:約12秒
記録方式	熱転写記録方式
適用回線	・ 一般電話回線 ・ モデムダイヤルイン回線 ・ NCC回線
自動受信	有(電話/ファクス自動切替機能内蔵)
電源	AC 100V 50/60 Hz
消費電力	待受時*4:省エネルギーモードON時 約2.1W 省エネルギーモードOFF時 約3.4W 最大時:約100W 送信時:約18W(標準的原稿) 受信時:約21W(標準的原稿) コピー時:約22W(標準的原稿)
直流抵抗	281Ω(20mA)
外形寸法	約336(横幅)×231(奥行き)×155(高さ) mm(突起部を除く)
質量	約3.6kg(記録紙、インクフィルムを除く)
使用環境	温度:5~35℃ 湿度:35~85%
推奨環境	温度:15~30℃ 湿度:35~70%

- ・ 本機の外観・仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。
- ・ 本機を設置する場所が、NTT 東日本または NTT 西日本の支店・営業所(交換機)から離れていると、使用できないことがあります。NEC フィールディング(株)パーソナルコールセンターにご相談ください(→P.121)。

### コードレス電話

使用可能距離	見通し距離:約100m
使用周波数帯	250MHz / 380 MHz 帯
送信出力	10mW(FM)

#### <子機>

電源	DC 2.4 V(専用ニカド電池使用)
電池充電時間	約10時間
電池持続時間	連続待受時:約200時間*5 連続通話時:約6時間
外形寸法	約46(横幅)×43(奥行き)×185(高さ) mm(突起部を除く)
質量	約150g(電池パックを含む)

#### <子機充電器>

外形寸法	約76(横幅)×100(奥行き)×60(高さ) mm
質量	約155g(電源コード含む)
消費電力	約1.0W(充電時)
電源	AC 100V 50/60 Hz

- ・ 充電端子のない無接点充電方式です。

### 留守番電話

録音方式	DPS方式
最大録音時間	1件につき3分
合計録音時間	約15分(標準音声)
最大録音件数	30件
応答メッセージ	自作:2 固定:1

\*1: 記憶容量は、留守番電話の応答メッセージや用件、通話録音、メモリ代行受信などを含むすべての記憶容量となります。

\*2: メモリ受信を「しない」に設定(→P.101)している場合の受信は、G3モードになります。

\*3: 電送時間は、A4版700文字程度の原稿を画質モード「ふつう」(8×3.85line/mm)、通信速度9600bpsで送ったときの速さです。これは、画像情報の電送時間のみを示しており、通信の制御時間は含まれません。実際の通信時間は、原稿の内容、相手機種、回線の状態により変化します。

\*4: 待受時とは、操作をしない時間が5分以上続き、バックライトが消えた状態のことです。

\*5: 待受時とは、充電が完了したあと子機を充電器から外し、一度も通話しない状態のことです。通話したり、着信ベルが鳴ったりした場合には、待受時の電池持続時間が短くなります。

# 操作早わかりガイド

## 親機

- : 受話器をとる   
 : 受話器を戻す   
 ○ : ボタンを押す  
 ○ : 画面下部の機能名 [ ] に対応したファンクションボタンを押す

電話	
電話をかける	→ 相手先番号 → 通話 →
オンフックでかける	オンフック ○ → 相手先番号 →  → 通話 →
リダイヤルする	→ 通話 →  → 相手先番号を選ぶ →  → 通話 →
電話を受ける	着信音(ベル) →  → 通話 →
保留する	通話中 → 保留/内線 ○ →
通話に戻る	保留中 →  → 通話
子機で話す	保留中 →  → 通話 → 子機で通話 →  または 切
転送子機へ	外線と通話中 → 保留/内線 ○ → 内線番号* → 子機と通話 →
<子機>	親機からの呼出 →  → 親機と通話 → 外線と通話
内線通話	保留/内線 ○ → 内線番号* →  → 子機と通話 →
<子機>	親機からの呼出 →  → 親機と通話 →  または 切
電話帳でかける	相手を選ぶ →  → 通話 →
通話録音	外線と通話中 →  [録音] → 録音 → ストップ ○
録音内容を聞く	再生 ○ → 再生 → ストップ ○
	※ 外線と通話中に [再生/L回線断] ボタンを押すと、録音内容や留守電の用件を相手と一緒に聞けます。

電話	
ベル音量	待ち受け中 →  →  または着信中 「切」 ↔ 1 ↔ 2 ↔ 3 ↔ 4 ↔ 5 ↔ 6
音量調整	モニタスピーカ音量 モニタスピーカから音が聞こえているときに 「切」 ↔ 「小」 ↔ 「中」 ↔ 「大」
受話音量	通話中 →  → 「小」 ↔ 「中」 ↔ 「大」
トーン信号を送る	電話をかける →  以後のダイヤルはトーン(プッシュ)信号で送出される
キャッチホンの利用	外線と通話中 → 「フルルー・プップ」 →  [キャッチ] → 次の人と通話 最初の人と通話 ←  [キャッチ]

ファクス/コピー	
画質モード	[画質] → 「ふつう→小さい→細かい→写真」
自動送信	原稿セット → 相手先番号 →  スタート
電話帳で送信	原稿セット →  相手先を選ぶ →  スタート
手動送信	原稿セット →  相手先番号 → 通話 →  相手が受信操作 →  スタート
キーボード送信	(画面でファクス) →  文書作成 →  宛先/本文を選ぶ →  決定 →  宛先/本文を入力 →  決定 →  [送信]

- \* 内線番号・親機…内線1  
 ・ 付属の子機…内線2  
 ・ 増設子機…1台目:内線3\*\*, 2台目:内線4  
 ・ すべての子機を一斉に呼ぶとき…[✳]
- \*\*SPL-S50W/S505VWでは内線3も付属の子機となります。

ファクス/コピー	
<b>手動受信</b> かんたん受信「する」 着信音 (ベル) → 「ポー・ポー…」 → 「ファクシミリを受信します…」 かんたん受信「しない」 着信音 (ベル) → 「ポー・ポー…」 → スタートコピー → 着信音 (ベル) 通話してから受信する 通話中 → 相手が送信操作 → 「ポー・ポー…」 → スタートコピー → 着信音 (ベル)	
<b>画面受信設定/解除</b> 画面でファクス受信設定 → 画面受信ランプ点灯(設定) → 画面受信ランプ消灯(解除)	
<b>表示操作</b> 画面受信ランプが点滅 [ファクス一覧] → ファクスを選ぶ → [表示] → ファクスの内容を画面で確認 → [戻る]	
<b>コピー</b> 原稿セット → スタートコピー → (複数部コピーするときは部数を指定) → スタートコピー	

HANDSCANNER	
<b>準備</b> HANDSCANNERを外して裏返し、原稿の上に置く → 画質選択 → コピーまたはファクス送信(下記へ)	
<b>コピー</b> 準備(上記から) → スタートコピー → 読み取り → ストップ → HANDSCANNERを戻す	
<b>ファクス送信</b> 準備(上記から) → 相手先番号 → スタートコピー → 読み取り → ストップ → [はい] → HANDSCANNERを戻す	

留守電	
<b>留守の設定/解除</b> 留守	
<b>用件の再生</b> 再生 → 再生 (L 回線断)	※聞き終えた用件を一度に消去したいときは「用件は以上です」のあとファンクションボタン[消去]を押します。
<b>用件の消去</b> 消去したい用件を再生中 → [消去]	

## 子機

:充電器から取る
 :充電器に戻す
 :ボタンを押す

### クイック通話がONのとき

電話がかかってきたとき、充電器に置いてある子機をとると[通話]ボタンを押さずに相手と話ができます。

### クイック通話がOFFのとき

電話がかかってきたとき、相手を確認してから、[通話]ボタンを押して相手と話することができます。

(本ガイドは、クイック通話OFFのときの説明です。)

電話	
<b>電話をかける</b> 電話 → 相手先番号 → 通話 → または 切	
<b>リダイヤルする</b> 電話 → [<] → 相手先を選ぶ → [▲] [▼] → 通話	
<b>電話を受ける</b> 着信音 → 通話 → 通話	
<b>保留する</b> 通話中 → 保留消去 → または 切	
<b>通話に戻る</b> 保留中 → 通話 → 通話	
<b>親機で話す</b> 保留中 → 親機で通話	

電話	
転送 親機へ	<p>※親機がでないときは[内線]ボタンを押します。</p>
〈親機〉	
他の子機へ	<p>※子機がでないときは[内線]ボタンを押します。</p>
〈子機〉	
内線通話	
〈親機〉	
簡易子機間通話 トランシーバー方式	<p>※送受話を切り替えられるのは、送信側のみです。</p>
ワンタッチボタンでかける	
電話帳でかける	
素早く探してかける	
音量調整	


電話	
トーン信号を送る	
キャッチホンの利用	

ファクス	
手動受信 かんたん受信「する」	
かんたん受信「しない」	
通話してから受信する	

- \*内線番号・親機…内線1  
 ・付属の子機…内線2  
 ・増設子機…1台目:内線3\*\*、2台目:内線4  
 ・すべての子機を一斉に呼ぶとき…[\*]  
 \*\*SPL-S50W/S505VWでは内線3も付属の子機となります。

留守電	
設定	待ち受け中 → 「リモコンソウサ」を選ぶ(下記) → 20秒以内に <b>7</b> (7) →  または <b>切</b>
解除	待ち受け中 → 「リモコンソウサ」を選ぶ(下記) → 20秒以内に <b>9</b> (9) →  または <b>切</b>
用件の再生	待ち受け中 → 「リモコンソウサ」を選ぶ(下記) → 20秒以内に <b>2</b> (2) → <b>再生</b> →  または <b>切</b>
早送り	用件を再生中 → <b>3</b> (3)
巻き戻し	用件を再生中 → <b>1</b> (1)
再生中の用件を消去	用件を再生中 → <b>8</b> (8)
聞き終えた用件を一度に消去	用件を再生 → 「用件は以上です」 → 「ピッピッピッ…」 → <b>6秒以内に</b> <b>8</b> (8) →  または <b>切</b>

「リモコンソウサ」の選びかた

**メニュー** →  **[▲][▼]** 「リモコンソウサ」が表示されるまで押す → **メニュー**

外出先からの操作 (外線リモート)	
本機に電話をかける	→ <b>#</b> <b>パスワード</b> <b>#</b> → 操作コード(下記) プッシュ信号
<b>操作コード</b>	
・巻き戻し .....	<b># 1 #</b>
・用件再生 .....	<b># 2 #</b>
・早送り .....	<b># 3 #</b>
・用件転送設定..	<b># 6 1 #</b>
・留守設定 .....	<b># 7 #</b>
・留守設定解除..	<b># 9 #</b>
・用件消去 .....	<b># 8 #</b>
・用件転送解除..	<b># 6 2 #</b>

# 索引

## アルファベット

ADSL	
ADSL回線	105
ADSLモデム	105
Bookmark	85
DSU	104
FAX TO機能	89
[http://]ボタン	13
INSネット64	104
ISDN	
ISDN回線	54, 58, 60
ISDNターミナルアダプタ	104
[L]ボタン	12
Lモード	63
Lモードを申し込む	22, 64
Lモードが使えるように 設定する	65
Lモードゲートウェイとの接続を 切断する	67
Lモード中の画面表示	67
Lモード用パスワードを 変更する	68
サイトを見る	71
トップメニュー	65
ブラウザ(情報閲覧)サービス	66
ホームページを見る	85
メインメニュー	66
メールアドレスを変更する	69
メールを受信する	75
メールを送信する	73
メールサービス	66
メールメニュー	66
Lモードゲートウェイ	63, 67
Lモード設定	101
Bookmarkデータ送信	90
画像表示設定	101
センター番号確認	102
端末機器自動設定	101
電話帳データ送信	90
無通信監視タイマ	102
メール自動受信設定	77
MAIL TO機能	88
PHONE TO機能	88
TA	104
URL入力	85
WEB TO機能	88

## ア行

アース線	20
アース端子	11, 20
アンテナ	11, 22
一斉転送	36
インクフィルム	
交換する	107
保管について	16
液晶パネル(チルト式)	11
絵文字	26, 112

応答メッセージ消去	51
応答メッセージ選択	100
応答メッセージ録音	51
オプション品	120
親機	
相手の声を大きくしたい (受話音量)	28, 29
親機から子機にかける (内線通話)	31
親機から子機に転送する (外線転送)	32
オンフックダイヤル	28
組み立てる	20
コピーする	44
電話を受ける	29
電話をかける	28
ファクスを受ける (画面受信)	43
ファクスを受ける (自動受信)	41
ファクスを受ける (手動受信)	42
ファクスを送る (キーボード送信)	40
ファクスを送る(自動送信)	39
ファクスを送る(手動送信)	40
ベル音量	29
保留にする	29
文字を入力する	24
モニタスピーカ音量を 調節する	49
らくらく電話帳でかける	28
らくらく電話帳に登録する	34
リダイヤル	28
留守を設定/解除する	49
親機ベル音・メロディ	92
オンフックダイヤル	28
[オンフック]ボタン	12
通話中の使いかた	28
音量	
受話音量(親機)	28, 29
受話音量(子機)	29, 95
送話音量(子機)	95
ベル音量(親機)	29
ベル音量(子機)	31
モニタスピーカ音量	49
[音量]ボタン	13

## カ行

海外通信	94
改行	26
回線	
ADSL回線	105
ISDN回線	54, 58, 60
回線切替器	105
回線種別	22, 94
回線切替器	105
回線種別	22, 94
回線端子	11, 21
外線転送	
親機から子機に転送する	32
子機から親機に転送する	33

子機から子機に転送する	33
1人で転送する	32, 33
外線リモート	52
顔文字	26, 111
[顔文字]ボタン	13
[確定]ボタン	13
画質モード	39
かなめくり入力	24, 26
紙づまり	
記録紙がつまったとき	106
原稿がつまったとき	107
画面受信	
回転する	44
拡大/縮小する	43
設定する	43
メモリに受信したファクスを 表示する	43
画面受信ランプ	12, 43
画面でファクス	40, 43
画面メモ	86
[漢/半カナ/英]ボタン	13
かんたん登録	
親機	56
子機	56
キータッチトーン	95
キーボード送信	40
キーボード部	13
記号	26, 112
基準線	45
[切]ボタン	14
[キャッチ]ボタン	14
キャッチホン	60
キャッチホン・ディスプレイ	58
設定する	100
記録紙	16
記録紙がつまったとき	106
セットする	21
保管について	16
記録紙カセット	11
取り付ける	20
記録紙カバー	11
記録紙排出口	11
クイック通話	30, 103
組み立て	
親機を組み立てる	20
組み立ての確認をする	23
子機を組み立てる	18
[クリア]ボタン	13
原稿	
原稿がつまったとき	107
原稿セットのしかた	38
原稿の色	39
写真や小さい文字の原稿のとき (画質モード)	39
そのままでは読み取れない 原稿	38
読み取れる原稿のサイズ (ハンドスキャナ)	45
読み取れる原稿のサイズと厚さ (親機)	38
読み取れる範囲(親機)	38
原稿セットガイド	11
原稿排出口	11
コールバック	55



子機	
相手の声を大きくしたい (受話音量)	29、95
キータッチトーン	103
クイック通話	30、103
組み立てる	18
子機から親機にかける (内線通話)	31
子機から親機に転送する (外線転送)	33
子機から子機にかける (内線通話)	32
子機から子機に転送する (外線転送)	33
充電器	14、19、20
充電する	20
受話音量	29、95
使用上のご注意	18
増設するとき	110
送話音量	95
待ち受け中の状態	14
長時間使わないときは	20
通話範囲	18
電池パックの交換	110
電話を受ける	31
電話をかける	29
ファクスを受ける (手動受信)	42
ベル音量	31
保留にする	30
文字を入力する	27
らくらく電話帳でかける	30
らくらく電話帳に登録する	35
リダイヤル	30
留守の設定／解除	50
ワンタッチダイヤル でかける	30
ワンタッチダイヤルに 登録する	37
子機ベル音・メロディ	92
コピーする	
親機でコピーする	44
コピーしてはいけないもの	44
ハンズキャナで コピーする	46
個別転送	36
コントラスト調整つまみ	11

## サ行

[再生／L回線断]ボタン	12
再読込	87
時刻設定	22、96
システムリスト	91
充電する	20
受信縮小率	101
[受信設定]ボタン	13
[受信メール]ボタン	12
受話音量	
親機	28、29
子機	29、95
受話器	11
取り付ける	21

受話器端子	11、21
受話器用コード	11、21
省エネルギー	95
消耗品	120
[スタート／コピー]ボタン	12
[ストップ]ボタン	12
スプリッタ	105
清掃	
親機・子機	108
記録紙給紙用ローラ	109
記録ローラ	109
原稿送り用ローラ	109
ハンズキャナ	108
接続	
アース線の接続	20
電源に接続する	19、22
電話回線に接続する	21
ブランチ接続	17
設置スペース	17
全用件消去	50
操作パネル	11、12
操作パネル開レバー	11

## タ行

ダイヤルインサービス	54、58
ダイヤルボタン	12、14
ダストカバー	11
着信拒否	57、99
着信拒否リスト編集	57
着信データ	
着信拒否リストに登録する	57
着信データを使って電話をかける (コールバック)	55
着信データを使ってファクスを 送る	56
らくらく電話帳に登録する	56
留守録着信データ	57
着信データリスト	91
着信ベル	41、48
着信ベル回数	93
着信メロディ	89
着信モード	92
チルト式液晶パネル	11
通信管理レポート	91
[通話]ボタン	14
通話録音	37
定型文	26、111
編集する	84
ディスプレイ	12、14、15
停電	111
デジタルサービスユニット	104
デモモード	22
テンキーカバー	11、12
電源コード	11
転送	
一斉転送	36
外線転送	32
個別転送	36
電話帳転送	36
電池	
電池カバー	19
電池パック	19、110
電池パックの交換	110

電話／ファクス自動切替	41
電話回線	
電話回線に接続する	21
電話回線接続コード	21
電話コンセント	17
電話帳転送	36
[電話帳登録]ボタン	13
[電話帳]ボタン	12、14
電話番号	
自分の電話番号の通知・非通知 について	55
自分の電話番号を登録する	96
電話番号リスト	91
電話を受ける	
親機	29
子機	31
ベル音量(親機)	29
ベル音量(子機)	31
電話をかける	
親機	28
親機から子機にかける (内線通話)	31
オンフックダイヤル	28
子機	29
子機から親機にかける (内線通話)	31
子機から子機にかける (内線通話)	32
受話音量(親機)	28、29
受話音量(子機)	29、95
らくらく電話帳(親機)	28
らくらく電話帳(子機)	30
リダイヤル(親機)	28
リダイヤル(子機)	30
ワンタッチダイヤル	30
トールセイバ	48、97
トーン信号	37

## ナ行

内線通話	31
親機から子機にかける	31
子機から親機にかける	31
子機から子機にかける	32
内線番号	31
[内線]ボタン	14
ナンバー・ディスプレイ	54
着信データを消去する	56
着信データを使って電話をかける (コールバック)	55
着信データを使ってファクスを 送る	56
着信データを電話帳に登録する (かんたん登録)	56
電話に出たくない相手には着信拒 否のメッセージを流す (着信拒否)	57
留守中にかけてきた相手を確認す る(留守録着信データ)	57
ナンバーディスプレイ利用	99
入力モード	24
ネーム・ディスプレイ	59

## ハ行

パソコン	
パソコンやモデムにつなぐ ...	105
発信元	96
発信元記録	94
番号リクエスト	99
ハンズキャナ	11
置かた／動かしかた	45
コピーする	46
使いかた	45
取り外し／取り付け	45
ファクスを送る	46
ハンズキャナ用コード	11
[開く]ボタン	13
ファクスかんたん受信	41、92
ファクスを受ける	41
親機で手動で受ける (手動受信)	42
子機で手動で受ける (手動受信)	42
自動で受ける	41
電話／ファクス自動切替	41
ファクスかんたん受信	41、92
メモリに受信したファクスを画面 に表示する(画面でファクス/ 画面受信)	43
ファクスを送る	39
相手と話してから送る (手動送信)	40
キーボードで入力した文書を送る (画面でファクス/ キーボード送信)	40
自動で送る(自動送信)	39
ファクス情報サービス	42
ファンクションボタン	12、15
不達レポート	40、95
プライベートコール指定	99
ブラウザ(情報閲覧)サービス	66
FAX TO機能	89
MAIL TO機能	88
PHONE TO機能	88
URL入力	85
WEB TO機能	88
印刷する	89
お気に入りのサイト／ホームページ を登録する(Bookmark) ...	85
機種変更後も電話帳／Bookmark データを利用できるようにする (データアップロード)	90
サイトに接続する	71
着信メロディを	
ダウンロードする	89
データアップロード	90
表示中のページの内容を保存して おく(画面メモ)	86
ページを更新して最新の情報を 見る(再読込)	87
ホームページを見る (URL入力)	85
ブランチ接続	17
[文書作成]ボタン	13

ベル音量	
親機	29
子機	31
[変換]ボタン	13
保留	
親機	29
子機	30
[保留／消去]ボタン	14
[保留／内線]ボタン	12
保留メロディ	94

## マ行

マイアドレス	69
待ち受け画面	93
メール	66
印刷する	81、84
削除する	81、83
自動印刷	77
自動受信	77
受信する	75
送信済メールを送信する	79
送信する	73
転送する(フォワードメール)	82
返信する(返信メール)	82
保護／解除	80、81
未送信メールを 送信する	78、79
メールアドレスを電話帳に 登録する	83
メール到着音	96
メールランプ	12、75
メッセージ到着 お知らせサービス	104
[メニュー]ボタン	14
メモリクリアレポート	111
メモリ受信	101
メモリ代行受信	44
メロディハンズキャナ	100
文字の入力	
親機のキーボード	24
子機	27
モデム	
パソコンやモデムにつなぐ ...	105
モデムダイヤルイン	60
登録する	61
利用例	61
モニタスピーカ	11
モニタスピーカ音量	49

## ヤ行

用件転送	53、98
呼出ベル回数	41、93
読取位置マーク	45
読み取り記録幅	100
読み取り濃度	94
読み取り幅マーク	45
読み取れる原稿サイズ	
親機	38
ハンズキャナ	45
読み取れる範囲	38

## ラ行

らくらく電話帳	28、30、33
親機でかける	28
親機に登録する	34
親機の電話帳の登録内容を 削除する	35
親機の電話帳の登録内容を 変更する	34
親機のリダイヤル表示から 登録する	34
子機でかける	30
子機に登録する	35
子機の電話帳の登録内容を 消去する	36
子機の電話帳の登録内容を 変更する	35
子機のリダイヤル表示から 登録する	35
リダイヤル	
親機	28
子機	30
リモート操作	98
留守番電話	48
応答メッセージを録音/ 消去する	51
外出先から操作する	52
固定メッセージの種類	48
着信ベル	48
トールセイバ	48、97
用件が録音されたら 転送する	53
用件を聞く	49、50
用件を消去する	50、51
用件をすべて消去する	50
リモート操作を設定する	98
留守設定／解除	49、50
[留守]ボタン	12
留守ランプ	12
留守録着信データ	57
ローマ字入力	24、25
録音	
通話録音	37

## ワ行

ワンタッチダイヤル	30
登録する	37
[ワンタッチ]ボタン	13、14
[ワンタッチ]ボタンで送信する	74
登録する	74

## ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。




本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等はありません。

This equipment (including the softwar) has the specifications to be used only in Japan.  
Also our maintenance service and technical support are not available overseas.



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品がエネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。



このマークはNECの定める環境基準を満たした製品に表示されるものです。お買い上げいただいた本製品はこの基準に適合した環境配慮型の製品です。この基準の詳細はNECのホームページをご覧ください。  
<http://www.nec.co.jp/kan/>



Ni-Cd

ニカド電池のリサイクルにご協力ください。

<p>一般消費者様 製品廃棄方法について この製品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。 詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。</p>	<p>事業者様 製品廃棄方法について この製品を廃棄するときは法律や地方自治体の条例に従って産業廃棄物として適正処理してください。なおNECは法律にもとづき、使用済み製品（情報通信機器）の回収/再資源化等を有償にて行っています。詳細はこちらのページ<a href="http://www.nec.co.jp/eco/ja/recycle/recycle.html">http://www.nec.co.jp/eco/ja/recycle/recycle.html</a>（平成16年3月現在）をご覧ください。</p>
---	--

## ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。  
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

品番	SPL-S50 SPL-S50W SPL-S505V SPL-S505VW	お買い上げ日	年 月 日
お買い上げ店	TEL ( )		

NECアクセステクニカ株式会社

〒436-8501 静岡県掛川市下俣800番地

NG-087969-0G05

ND-023098 (J)

2004年 3月 第5版

© NEC Corporation 2004

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。  
本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。